

人権に関する市民意識調査
報 告 書

令和8年3月

横浜市市民局人権課

はじめに

国連総会で昭和23年に採択された「世界人権宣言」は、その第1条において「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」と謳い、人類共通の理念を示しました。この理念は、時代を超えて私たちの社会における人権尊重の基盤となっています。

しかし、現代社会においても人権をめぐる課題は依然として存在し、むしろ多様化・複雑化しています。女性や子ども、高齢者、障害者への差別、性的少数者への偏見、ハラスメントなどの問題は根強く残っています。さらに、外国人に対する差別や排斥的な言動、ヘイトスピーチなどは、国際化が進む中で深刻な社会問題となっています。インターネットやSNSの急速な普及により、誹謗中傷やプライバシー侵害といった新たな人権侵害も顕在化しています。近年では、感染症の流行や自然災害といった社会的危機の中で差別や偏見が顕在化するのを目の当たりにしました。

こうした状況を踏まえ、私たちは人権尊重の理念を改めて確認し、社会全体で理解を深めることが求められています。今回実施した「人権に関する市民意識調査」は、市民の皆様の人権意識の現状と変化を把握し、今後の施策や啓発活動に活かすことを目的としています。本調査の結果は、「横浜市人権施策基本指針」の改訂や、各種施策の企画・実施に反映し、誰もが尊厳をもって暮らせる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

最後になりましたが、この調査の実施にあたり、御協力をいただきました市民の皆様に、心からお礼申し上げます。

令和8年3月

横浜市市民局人権課

目次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	8
1	関心のある人権問題【問1】	9
2	差別についての認識と行為【問2】	12
3	「人権問題」や「差別の問題」についての考え【問3】	20
4	差別された経験【問4】	28
5	差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問5】	32
6	風習についての認識と行為【問6】	34
7	結婚相手の身元調査をすることについての認識【問7】	36
8	法律についての認知度【問8】	39
9	同和地区や同和问题についての認知【問9】	47
10	同和地区や同和问题についての認知時期【問10】	49
11	同和地区や同和问题について知ったきっかけ【問11】	51
12	親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応【問12】	53
13	同和地区出身の人との結婚についての対応【問13】	55
14	同和问题で人権上問題があると思うこと【問14】	62
15	同和问题を解決するために必要なこと【問15】	64
16	女性について人権上問題があると思うこと【問16】	66
17	子どもについて人権上問題があると思うこと【問17】	68
18	高齢者について人権上問題があると思うこと【問18】	70
19	障害のある人について人権上問題があると思うこと【問19】	72
20	外国人について人権上問題があると思うこと【問20】	78
21	疾病・感染症の患者等について人権上問題があると思うこと【問21】	83
22	ホームレスについて人権上問題があると思うこと【問22】	89
23	性的少数者について人権上問題があると思うこと【問23】	91
24	自殺（自死）について、どのように思うか【問24】	97
25	アイヌ民族について人権上問題があると思うこと【問25】	99
26	犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと【問26】	101
27	刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと【問27】	103
28	インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと【問28】	105
29	大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと【問29】	107
30	職業や職場環境について人権上問題があると思うこと【問30】	109

31	北朝鮮による拉致問題について知っていること【問 31】	111
32	人権問題に関する知識や情報の収集源【問 32】	113
33	参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組【問 33】	115
34	参加したいと思えるイベント等【問 34】	119
35	「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組【問 35】	121
36	市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動【問 36】	124
Ⅲ	自由意見	130
	資料 1—アンケート調査票	137
	資料 2—集計結果	165
1	関心のある人権問題	166
2	差別についての認識と行為	168
3	「人権問題」や「差別の問題」についての考え	171
4	差別された経験	175
5	差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応	176
6	風習についての認識と行為	177
7	結婚相手の身元調査をすることについての認識	178
8	法律についての認知度	179
9	同和地区や同和问题についての認知	182
10	同和地区や同和问题についての認知時期	183
11	同和地区や同和问题について知ったきっかけ	184
12	親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応	185
13	同和地区出身の人との結婚についての対応	186
14	同和问题で人権上問題があると思うこと	188
15	同和问题を解決するために必要なこと	189
16	女性について人権上問題があると思うこと	190
17	子どもについて人権上問題があると思うこと	191
18	高齢者について人権上問題があると思うこと	192
19	障害のある人について人権上問題があると思うこと	193
20	外国人について人権上問題があると思うこと	196
21	感染症・疾病の患者等について人権上問題があると思うこと	198
22	ホームレスについて人権上問題があると思うこと	201
23	性的少数者について人権上問題があると思うこと	202
24	自殺（自死）について、どのように思うか	204
25	アイヌ民族について人権上問題があると思うこと	205
26	犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと	206
27	刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと	207
28	インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと	208
29	大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと	209
30	職業や職場環境について人権上問題があると思うこと	210
31	北朝鮮による拉致問題について知っていること	211

32	人権問題に関する知識や情報の収集源	212
33	参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組	213
34	参加したいと思えるイベント等	215
35	「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組	216
36	市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動	217

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の人権に関する意識、行動等を明らかにし、今後の横浜市の人権に関する様々な取組をより効果的に進めていくために、人権に関する市民の意識調査（アンケート）を実施する。

2 調査方法

- ◇調査対象 横浜市在住の15歳以上の男女5,000人について、横浜市が住民基本台帳から無作為抽出した。
合計 5,000人（うち外国籍市民150人）
- ◇調査方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回収及び回答
- ◇調査期間 令和7年7月25日（金）～ 8月22日（金）
- ◇調査会社 株式会社ケンズシステム
- ◇調査結果の表記 SA：単一回答方式の設問
MA：複数回答方式の設問
LA（制限した質問数）：複数回答（制限あり）方式の設問
n：当該設問の有効回答数

3 調査項目

- <問1> 関心のある人権問題
- <問2> 差別についての認識と行為
- <問3> 「人権問題」や「差別の問題」についての考え
- <問4> 差別された経験
- <問5> 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応
- <問6> 風習についての認識と行為
- <問7> 結婚相手の身元調査をすることについての認識
- <問8> 法律についての認知度
- <問9> 同和地区や同和问题についての認知
- <問10> 同和地区や同和问题についての認知時期
- <問11> 同和地区や同和问题について知ったきっかけ
- <問12> 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応
- <問13> 同和地区出身の人との結婚についての対応
- <問14> 同和问题で人権上問題があると思うこと
- <問15> 同和问题を解決するために必要なこと
- <問16> 女性について人権上問題があると思うこと
- <問17> 子どもについて人権上問題があると思うこと
- <問18> 高齢者について人権上問題があると思うこと
- <問19> 障害のある人について人権上問題があると思うこと
- <問20> 外国人について人権上問題があると思うこと
- <問21> 感染症、疾病の患者等について人権上問題があると思うこと
- <問22> ホームレスについて人権上問題があると思うこと
- <問23> 性的少数者について人権上問題があると思うこと
- <問24> 自殺（自死）について、どのように思うか
- <問25> アイヌ民族について人権上問題があると思うこと

- <問 2 6 > 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと
- <問 2 7 > 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと
- <問 2 8 > インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと
- <問 2 9 > 大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと
- <問 3 0 > 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと
- <問 3 1 > 北朝鮮による拉致問題について知っていること
- <問 3 2 > 人権問題に関する知識や情報の収集源
- <問 3 3 > 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組
- <問 3 4 > 参加したいと思えるイベント等
- <問 3 5 > 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組
- <問 3 6 > 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動

4 回収結果

有効回収票数 1,270 票 (有効回収率 25.4%)
 うちインターネット回答 702 票

5 集計にあたって

- ◇ 単純回答の設問の場合、回答者割合の%値は小数点第2位を四捨五入するため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- ◇ 「N」は有効回答者数を示し、「n」は該当者の回答数を示している。
- ◇ 前回調査（令和2年度）結果について、今回新設した設問、前回調査とは内容や表現が大幅に変更となった設問については、比較としての結果を表示していない。
 また、同じ設問であっても、選択肢が追加・変更・削除となった設問や、回答形式が異なった設問については、表示していないものがある。

6 標本誤差について

本調査の標本誤差は、およそ以下の表のとおりである。

$$\text{標本誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団（横浜市人口）

n = 比率算出の基数（回答者数）

P = 回答比率（%）

k = 定数（今回は信頼度を95%と設定したので1.96）

N:横浜市人口 3,764,821人（令和7年3月1日現在）

n:回答数 1,270

P:回答比率 25.4%

統計学上よく使用される信頼度は95%（許容できる誤差の範囲が5%）であり、本調査の標本誤差も信頼度95%で計算している。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は回答比率25.4%で、±2.39%以内となる。（前回調査は±2.04%）

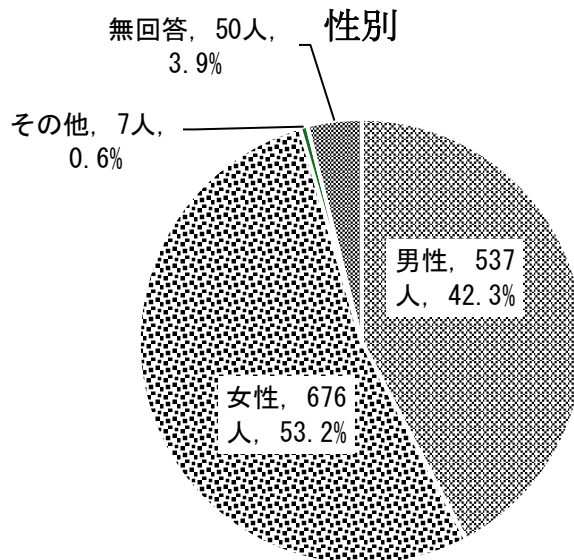
なお、回答の比率における誤差早見表は、次のとおりである。

回答比率	10%又は 90%	20%又は 80%	今回調査 25.4%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
今回調査 有効回答数 1,270件	±1.65%	±2.20%	±2.39%	±2.52%	±2.69%	±2.75%
前回調査 (令和2年度) 有効回答数 2,301件	±1.23%	±1.63%		±1.87%	±2.00%	±2.04%

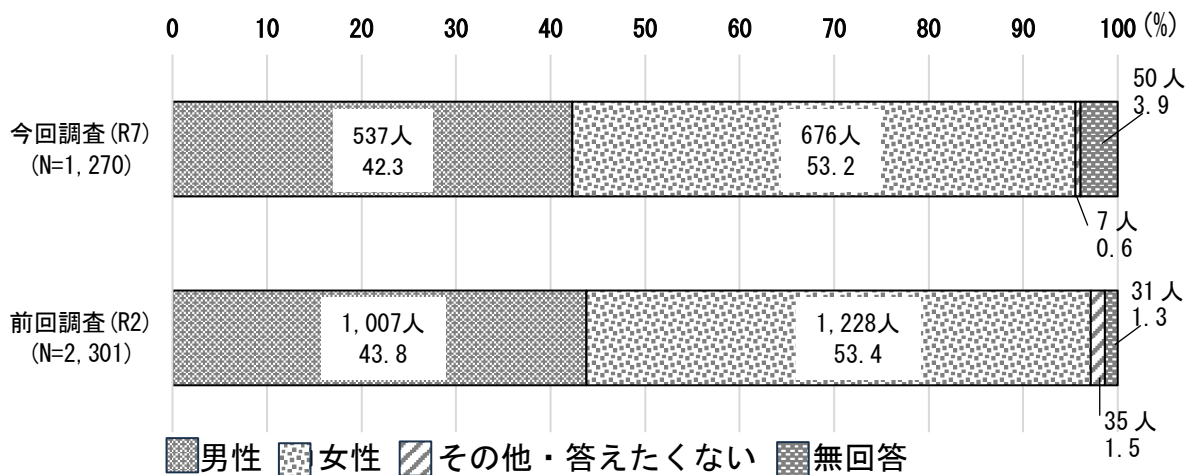
7 回答者の属性

Q 1 性別 (N=1,270)

図 I — 1 回答者属性：性別

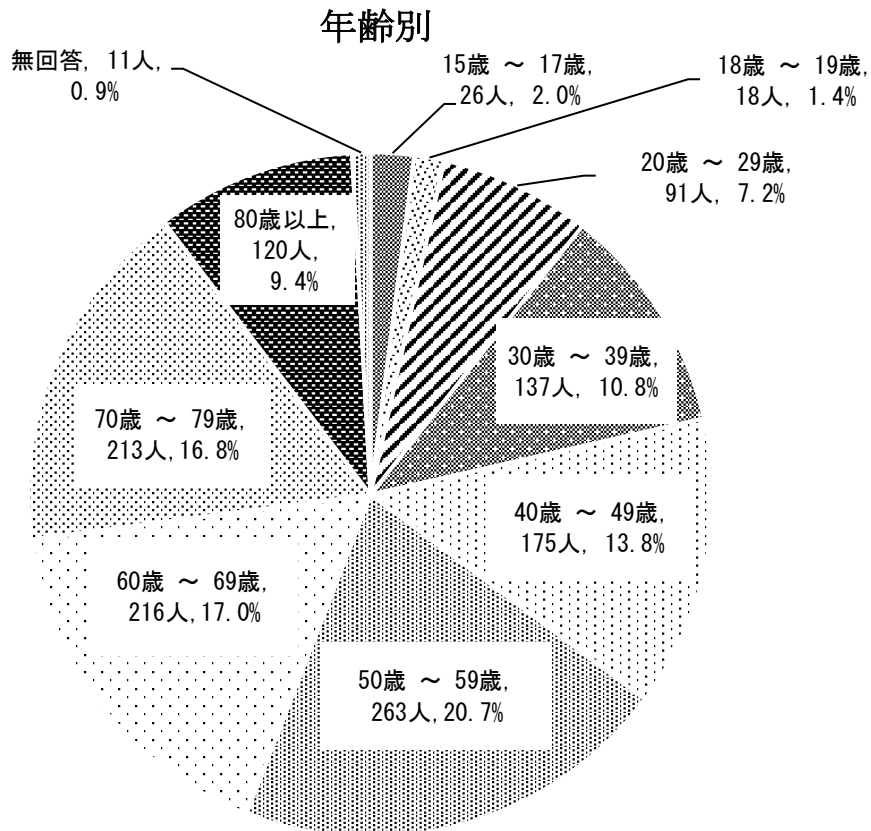


前回調査比較

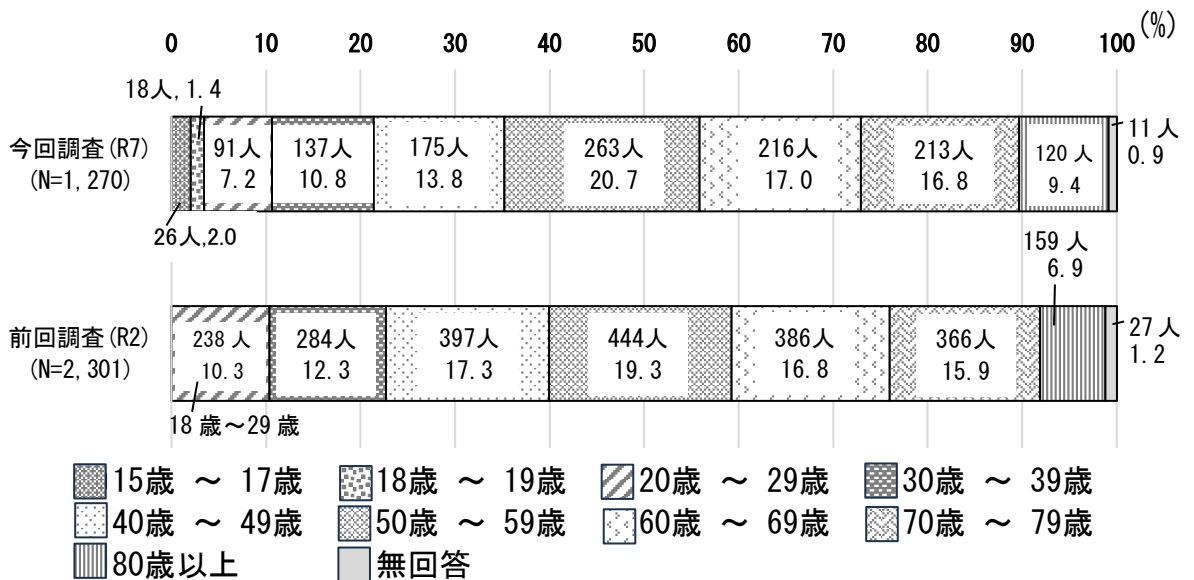


Q2 年齡 (N=1,270)

図 I — 2 回答者属性：年齢

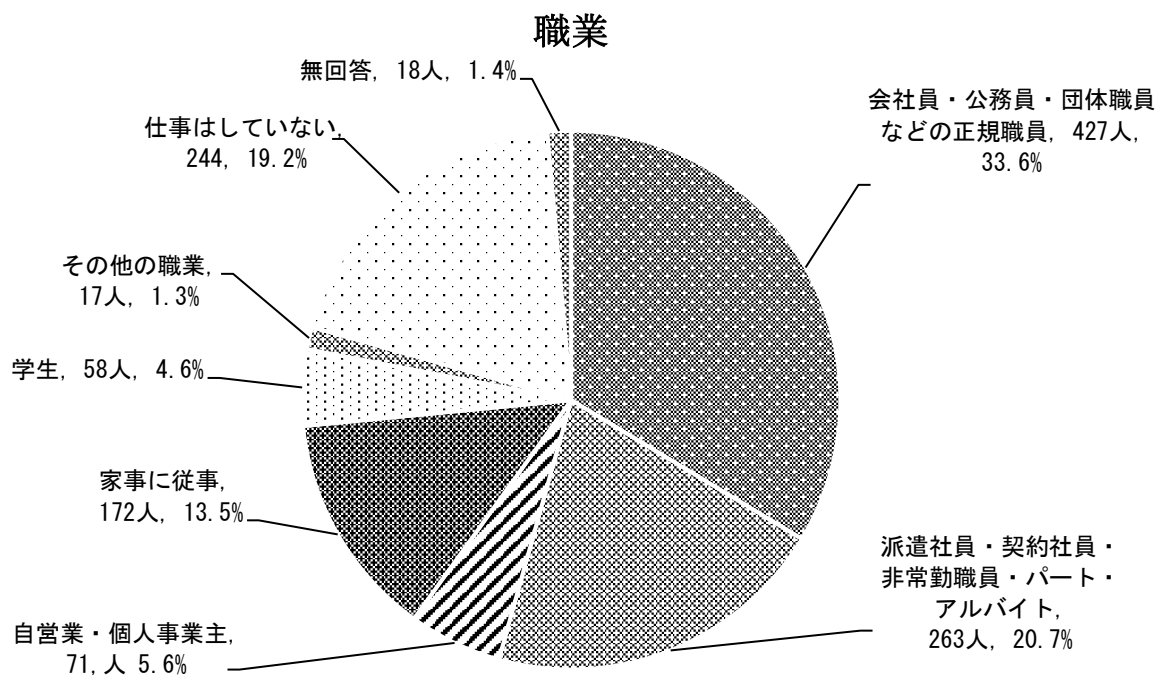


前回調査比較

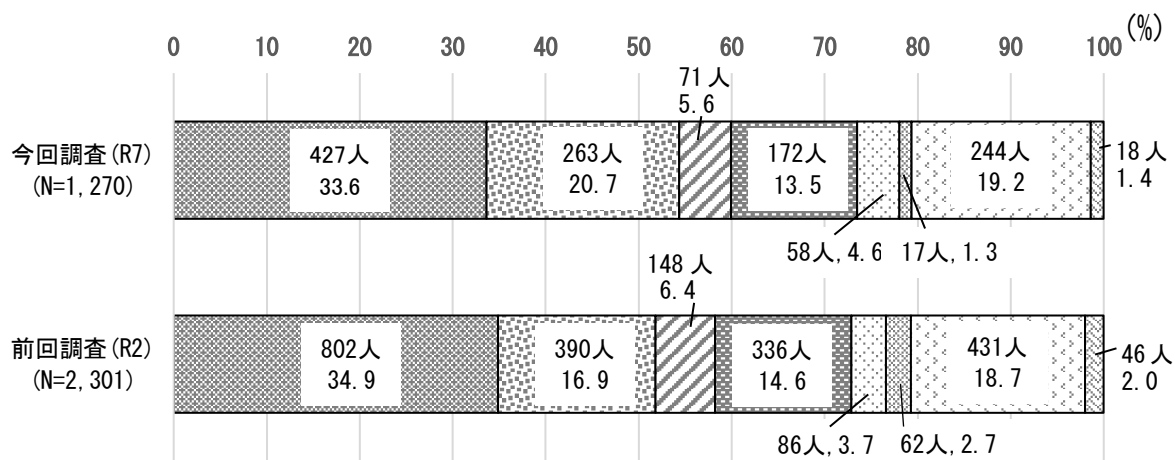


Q3 職業 (N=1,270)

図 I — 3 回答者属性：職業



前回調査比較



- 会社員・公務員・団体職員などの正規職員(前回調査では会社員・公務員・団体職員)
- 派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト
- 自営業・個人事業主
- 家事に従事
- 学生
- その他の職業
- 仕事はしていない
- 無回答

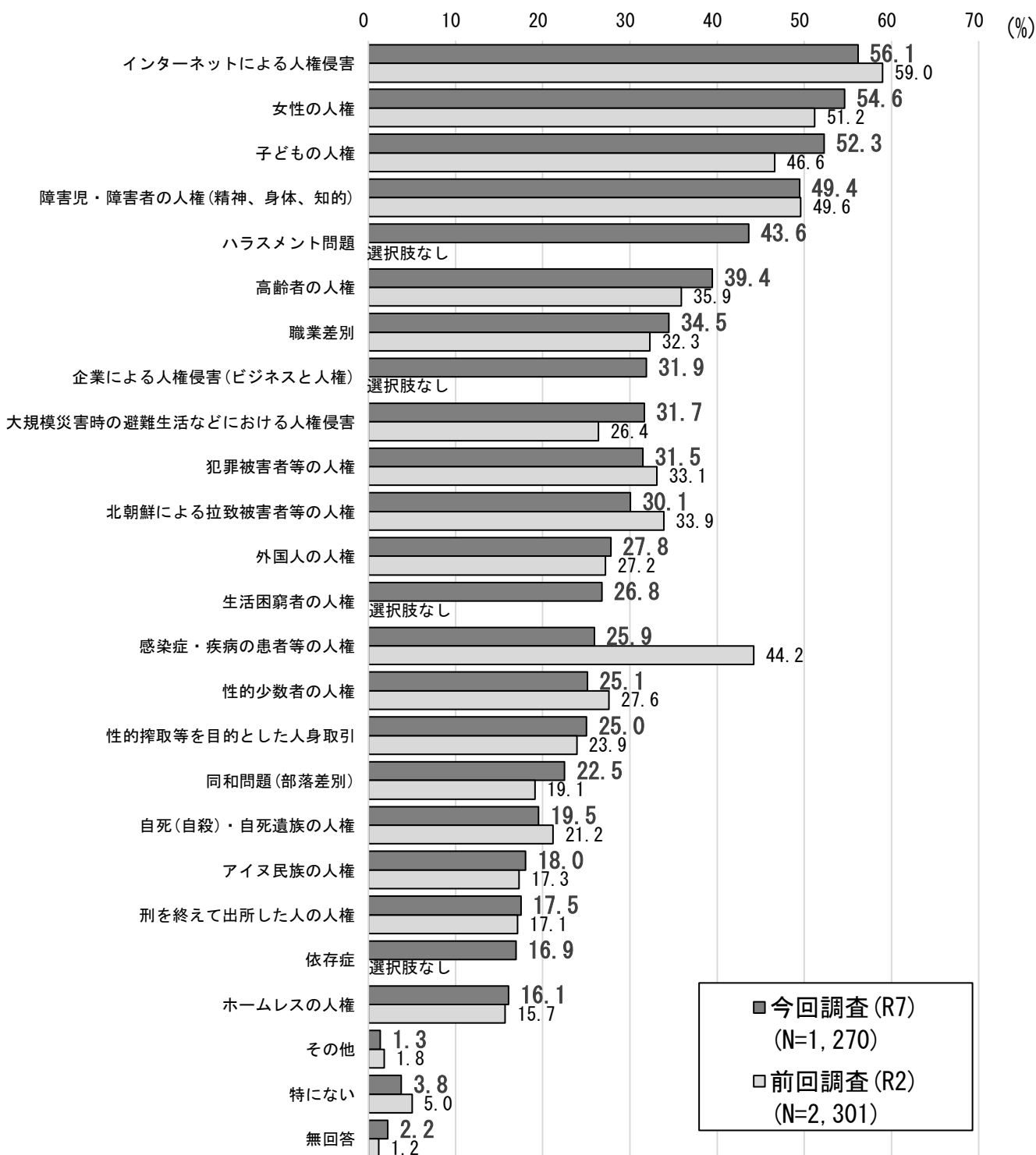
Ⅱ 調査の結果

1 関心のある人権問題【問1】

日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題がある中で、どの人権問題に関心があるかを尋ねたところ、「インターネットによる人権侵害」が56.1%と最も多く、次いで「女性の人権」が54.6%、「子どもの人権」が52.3%と続いている。

前回調査と比較すると、今回は新型コロナウイルスの影響で関心が高くなったと思われる「感染症・疾病の患者等」が、今回はおよそ18ポイント減少している。

図Ⅱ—1—1 関心のある人権問題 [MA]



※1 前回調査では「障害児・障害者の人権」

性別で見ると、「女性の人権」については、男性より女性がおよそ 26 ポイント高くなっている。また、「外国人の人権」は、女性より男性がおよそ 12 ポイント高く、「子どもの人権」は男性より女性がおよそ 11 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15 歳～17 歳では「ハラスメント問題」、18 歳～19 歳では「ハラスメント問題」と「女性の人権」、20 歳代では「女性の人権」、30 歳代～60 歳代では「インターネットによる人権侵害」、70 歳代では「インターネットによる人権侵害」と「障害児・障害者の人権（精神、身体、知的）」80 歳以上では「高齢者の人権」が最も多くなっている。

表Ⅱ—1—1 関心のある人権問題（性別・年齢別）[MA]

		女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障害児・障害者の人権(精神、身体、知的)	同和問題(部落差別)	外国人の人権	感染症・疾病の患者等の人権	職業差別	ホームレスの人権	性的少数者の人権	自死(自殺)・自死遺族の人権	アイヌ民族の人権	犯罪被害者等の人権
全体 N=(1,270)		54.6%	52.3%	39.4%	49.4%	22.5%	27.8%	25.9%	34.5%	16.1%	25.1%	19.5%	18.0%	31.5%
性別	男性 (n=537)	39.7%	45.8%	34.5%	45.4%	24.2%	34.1%	22.9%	33.1%	16.0%	22.3%	19.2%	17.7%	30.9%
	女性 (n=676)	66.1%	57.0%	42.9%	52.7%	21.2%	22.3%	27.5%	35.7%	15.5%	26.6%	19.5%	17.9%	30.9%
	その他 (n=7)	85.7%	57.1%	57.1%	85.7%	57.1%	71.4%	71.4%	57.1%	57.1%	85.7%	42.9%	57.1%	71.4%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	34.6%	38.5%	11.5%	38.5%	7.7%	26.9%	23.1%	30.8%	7.7%	15.4%	19.2%	7.7%	23.1%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	27.8%	0.0%	33.3%	5.6%	27.8%	22.2%	38.9%	11.1%	27.8%	16.7%	0.0%	22.2%
	20歳～29歳 (n=91)	56.0%	53.8%	20.9%	41.8%	23.1%	24.2%	23.1%	42.9%	12.1%	34.1%	18.7%	14.3%	23.1%
	30歳～39歳 (n=137)	52.6%	49.6%	14.6%	39.4%	10.9%	27.7%	20.4%	29.2%	13.9%	19.7%	16.8%	12.4%	24.1%
	40歳～49歳 (n=175)	55.4%	56.0%	25.1%	44.6%	19.4%	29.1%	18.3%	28.6%	12.0%	26.9%	16.0%	14.3%	29.7%
	50歳～59歳 (n=263)	54.8%	50.6%	38.0%	50.6%	25.1%	28.1%	28.9%	37.6%	17.1%	24.3%	21.3%	21.7%	38.4%
	60歳～69歳 (n=216)	60.2%	55.1%	52.8%	53.7%	23.6%	30.6%	26.9%	34.3%	19.0%	27.8%	20.4%	21.3%	32.4%
	70歳～79歳 (n=213)	55.9%	54.5%	57.3%	57.7%	27.7%	28.6%	30.5%	37.6%	17.8%	27.2%	19.7%	18.8%	31.5%
	80歳以上 (n=120)	48.3%	50.0%	60.0%	54.2%	30.0%	23.3%	30.0%	31.7%	19.2%	16.7%	22.5%	22.5%	34.2%

		刑を終えて出所した人の人権	インターネットによる人権侵害	大規模災害時の避難生活などにおける人権侵害	北朝鮮による拉致被害者等の人権	生活困窮者の人権	性的搾取等を目的とした人身取引	ハラスメント問題	依存症	企業による人権侵害(ビジネスと人権)	その他	特にない	無回答
全体 N=(1,270)		17.5%	56.1%	31.7%	30.1%	26.8%	25.0%	43.6%	16.9%	31.9%	1.3%	3.8%	2.2%
性別	男性 (n=537)	17.9%	57.4%	29.6%	31.1%	27.2%	23.1%	44.9%	16.8%	35.4%	1.5%	5.6%	2.0%
	女性 (n=676)	16.6%	55.3%	32.8%	28.6%	25.9%	25.9%	42.3%	17.0%	29.0%	1.2%	2.5%	2.2%
	その他 (n=7)	71.4%	71.4%	57.1%	71.4%	57.1%	42.9%	85.7%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	19.2%	42.3%	15.4%	30.8%	23.1%	11.5%	53.8%	19.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	11.1%	38.9%	22.2%	27.8%	11.1%	16.7%	50.0%	11.1%	33.3%	0.0%	5.6%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	13.2%	48.4%	26.4%	17.6%	26.4%	25.3%	48.4%	18.7%	36.3%	0.0%	1.1%	1.1%
	30歳～39歳 (n=137)	13.1%	55.5%	27.7%	15.3%	21.9%	21.2%	40.9%	19.7%	31.4%	1.5%	3.6%	1.5%
	40歳～49歳 (n=175)	14.9%	65.7%	29.7%	21.1%	23.4%	21.7%	49.1%	17.7%	30.3%	0.0%	6.3%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	14.8%	57.0%	34.6%	31.6%	24.3%	28.1%	43.3%	16.3%	30.8%	0.4%	4.6%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	19.9%	61.1%	35.6%	32.4%	26.9%	26.4%	47.7%	17.6%	32.4%	2.8%	4.2%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	22.1%	57.7%	33.3%	39.0%	31.9%	25.4%	40.8%	15.0%	34.3%	2.3%	1.4%	3.3%
	80歳以上 (n=120)	23.3%	41.7%	29.2%	45.0%	35.8%	25.8%	30.8%	14.2%	26.7%	1.7%	5.0%	8.3%

関心のある人権課題について、平成12年度調査以降、調査年度ごとの順位を比較した。平成27年度から「インターネットによる人権侵害」が、もっとも多い傾向が続いている。コロナ禍にあった令和2年度調査では5位だった「感染症・疾病の患者等」が今回調査では11位以下に下がり、今回追加した「ハラスメント問題」が5位に入っている。

表Ⅱ—1—2 関心のある人権問題（経年別）[MA]

	令和7年度調査		令和2年度調査		平成27年度調査		平成22年度調査		平成17年度調査		平成12年度調査	
		※		※		※		※		※		※
1位	インターネットによる人権侵害 (56.1%)	①	インターネットによる人権侵害 (59.0%)	①	インターネット上での人権侵害 (45.6%)	⑤	障害者 (46.5%)	②	子ども (51.3%)	①	子ども (77.6%)	-
2位	女性 (54.6%)	②	女性 (51.2%)	③	子ども (44.3%)	②	子ども (41.7%)	①	障害者 (47.7%)	②	障害者 (59.1%)	-
3位	子ども (52.3%)	④	障害児・障害者 (49.6%)	④	女性 (44.2%)	④	高齢者 (39.1%)	④	女性 (45.6%)	⑥	高齢者 (58.8%)	-
4位	障害児・障害者 (精神・身体・知的) (49.4%)	③	子ども (46.6%)	②	障害児・者 (44.1%)	①	女性 (37.1%)	③	高齢者 (41.2%)	③	HIV感染者等 (40.7%)	-
5位	ハラスメント問題 (43.6%)	-	感染症・疾病の患者等 (44.2%)	⑪	高齢者 (42.2%)	③	インターネット上での人権問題 (33.9%)	⑥	犯罪被害者等 (37.9%)	-	外国人 (36.7%)	-
6位	高齢者 (39.4%)	⑥	高齢者 (35.9%)	⑤	犯罪被害者等 (35.8%)	⑥	犯罪被害者等 (32.7%)	⑤	インターネット上での人権問題 (29.7%)	-	女性 (36.5%)	-
7位	職業差別 (34.5%)	⑨	北朝鮮による拉致被害者等 (33.9%)	⑦	北朝鮮による等拉致被害者 (35.5%)	⑦	北朝鮮による拉致被害者等 (30.2%)	-	HIV感染者やハンセン病患者・元患者等 (29.3%)	④	職業差別 (34.4%)	-
8位	企業による人権侵害 (ビジネスと人権) (31.9%)	-	犯罪被害者等 (33.1%)	⑥	大規模災害時の避難生活などにおける問題 (31.4%)	-	職業差別 (29.7%)	⑧	職業差別 (24.0%)	⑦	刑を終えて出所した人 (23.6%)	-
9位	大規模災害時の避難生活などにおける人権侵害 (31.7%)	⑫	職業差別 (32.3%)	⑨	職業差別 (26.4%)	⑧	HIV感染者やハンセン病患者・元患者等 (23.8%)	⑦	外国人 (22.7%)	⑤	同和問題 (23.0%)	-
10位	犯罪被害者等 (31.5%)	⑧	性的少数者 (27.6%)	⑭	性的搾取等を目的とした人身取引 (21.1%)	-	外国人 (17.6%)	⑨	同和問題 (16.5%)	⑨	アイヌ(ウタリ) (13.7%)	-

※前回調査の順位。調査年度により選択肢の項目名が異なる場合がある。

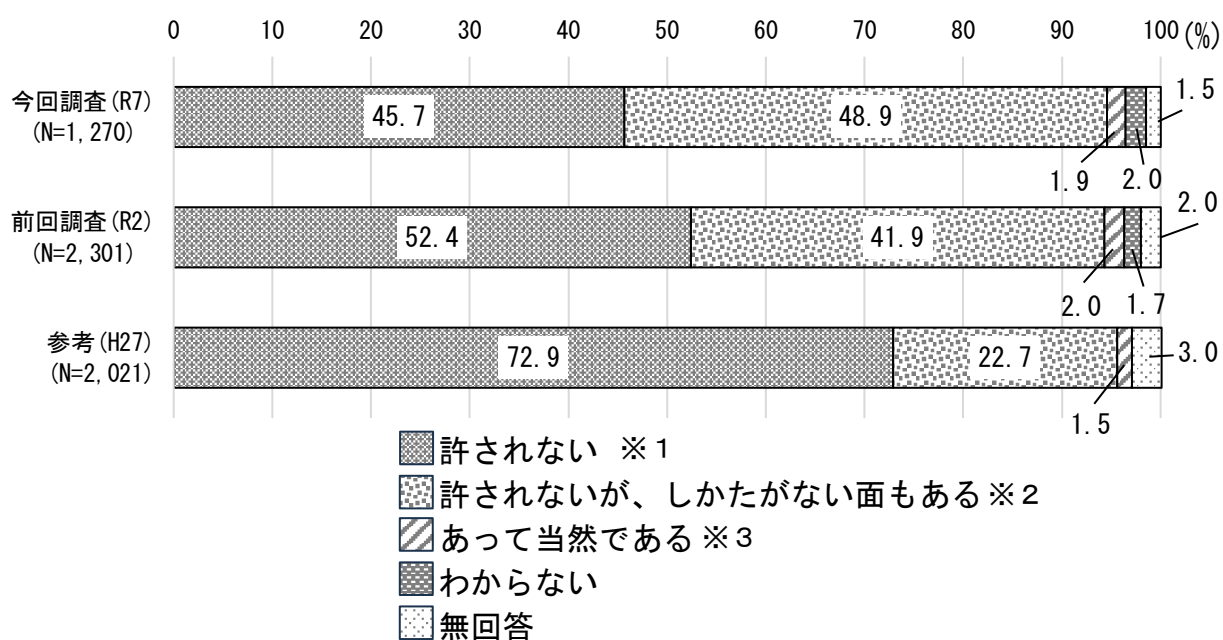
2 差別についての認識と行為【問2】

差別についての考えを尋ねたところ、「許されないが、しかたがない面もある」が48.9%と最も多く、次いで「許されない」が45.7%と続いている。「あって当然である」は1.9%となっている。

全体の9割以上が「許されない（「許されない」及び「許されないが、しかたがない面もある）」と回答しているが、そのうちの半数以上が「しかたがない面もある」と回答している。

前回調査と比較すると、設問は、選択肢文言を「あってはならない」から「許されない」に変えているが、およそ7ポイント減少している。

図Ⅱ—2—1 差別についての認識 [SA]



※1 令和2年度及び平成27年度調査では「あってはならない」

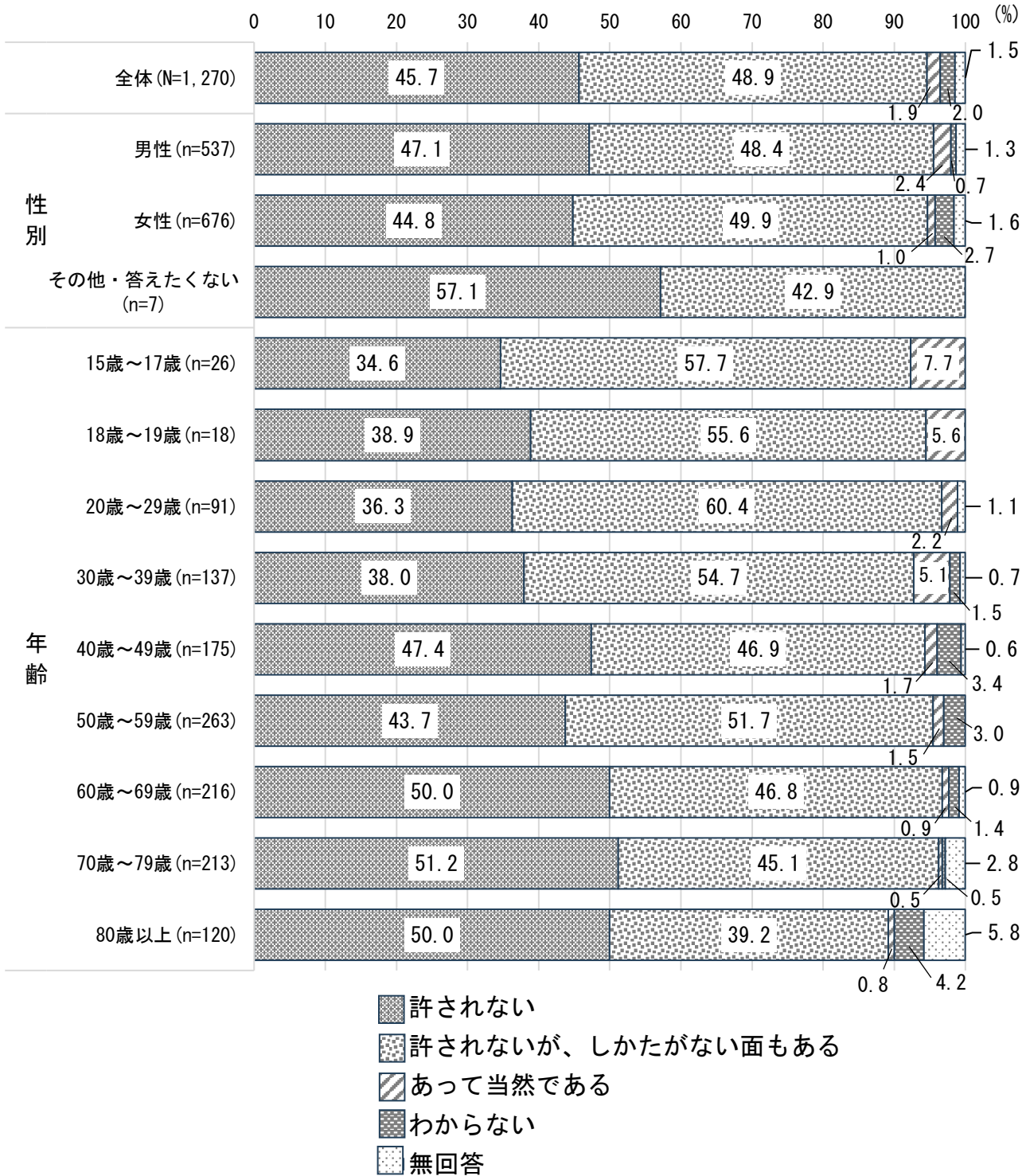
※2 令和2年度調査では「あってはならないが、しかたがない面もある」、平成27年度調査では「あるのはしかたがない」

※3 平成27年度調査では「される側に原因がある」

性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、年齢層が高い方が「許されない」が多い傾向にある。

図Ⅱ—2—2 差別についての認識（性別・年齢別） [SA]

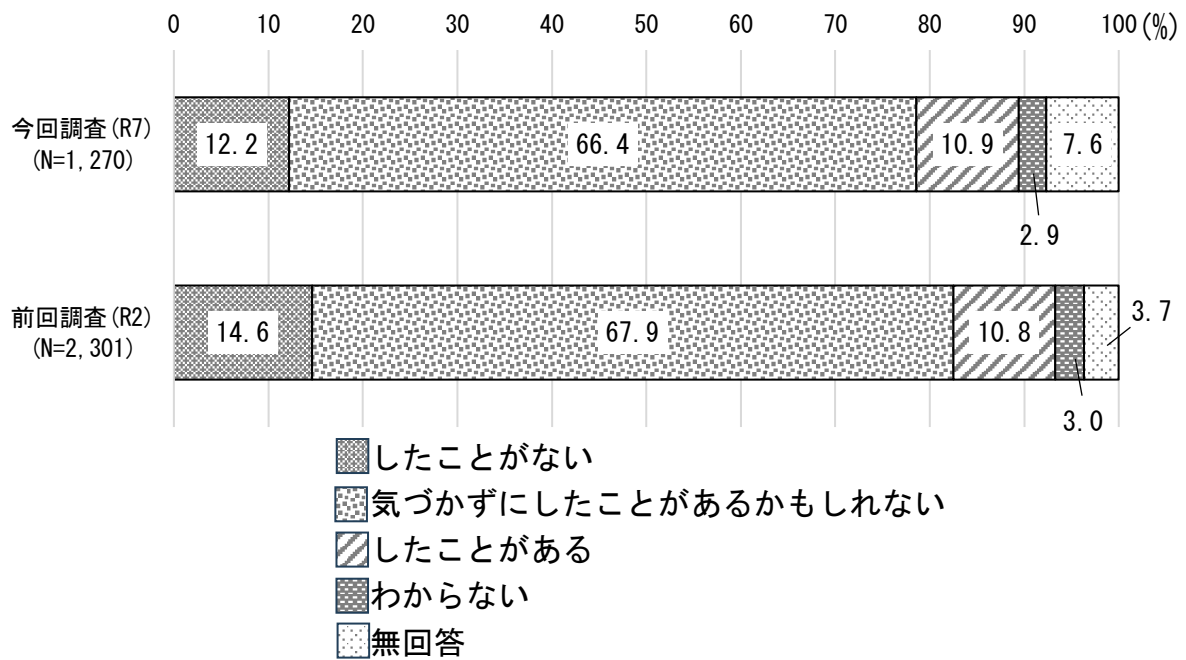


差別をしたことがあるかを尋ねたところ、「気づかずにしたことがあるかもしれない」が66.4%と最も多くなっている。「したことがない」が12.2%、「したことがある」が10.9%と続いている。

全体のおよそ8割が「したことがある（「気づかずにしたことがあるかもしれない」及び「したことがある」）」と回答している。

前回調査と比較すると、設問の回答は概ね同じ傾向にあるが、「したことがない」は、およそ2ポイント減少している。

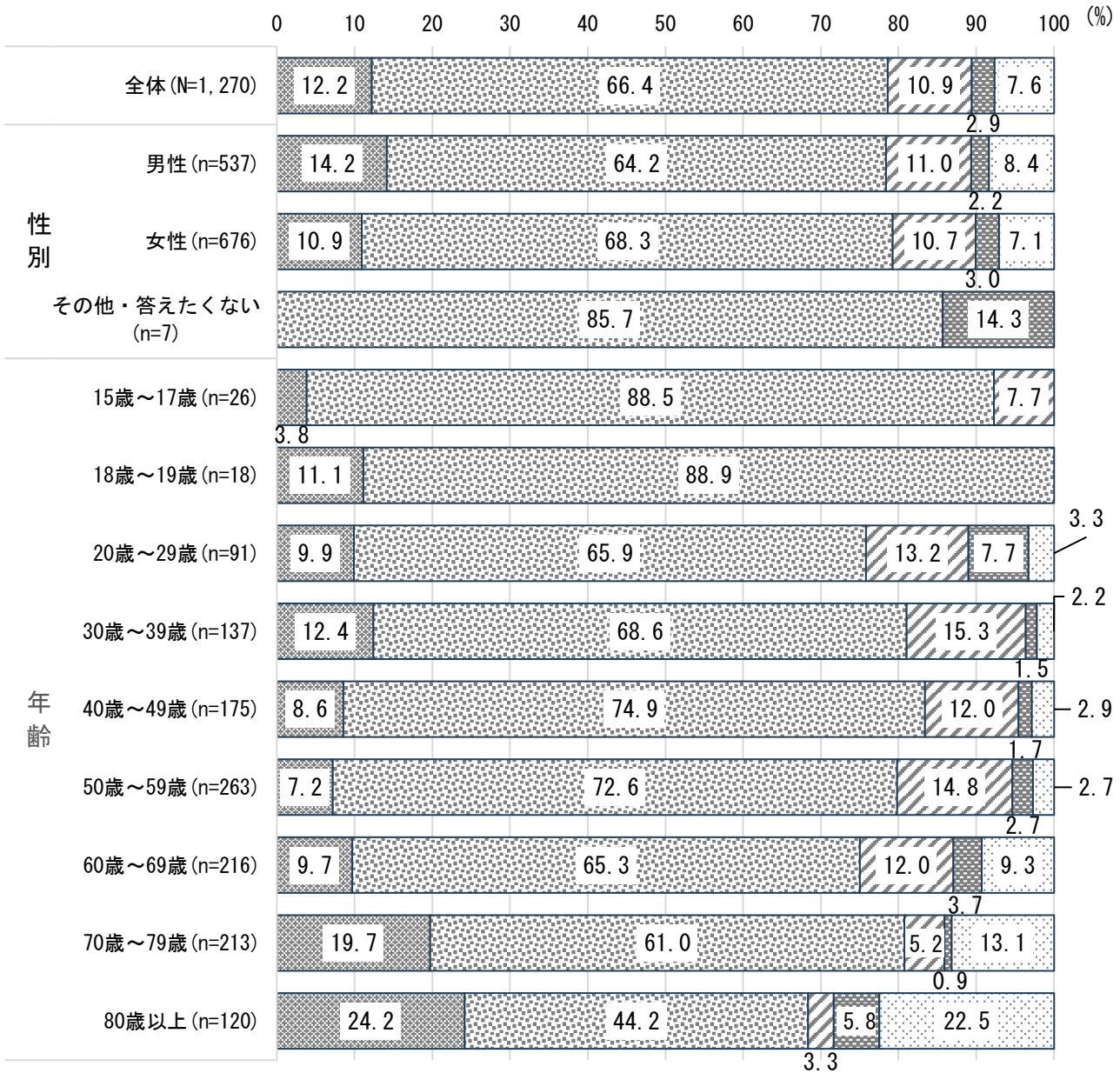
図Ⅱ—2—3 差別についての行為 [SA]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「したことがない」については、70歳代でおよそ8ポイント、80歳以上では12ポイント、全体よりそれぞれ高くなっている。また、「気づかずにしたことがあるかもしれない」については、15歳～19歳では、およそ22ポイント、全体よりも高くなっている。

図Ⅱ—2—4 差別についての行為（性別・年齢別） [SA]



- したことがない
- 気づかずにしたことがあるかもしれない
- したことがある
- わからない
- 無回答

設問間クロス集計 1

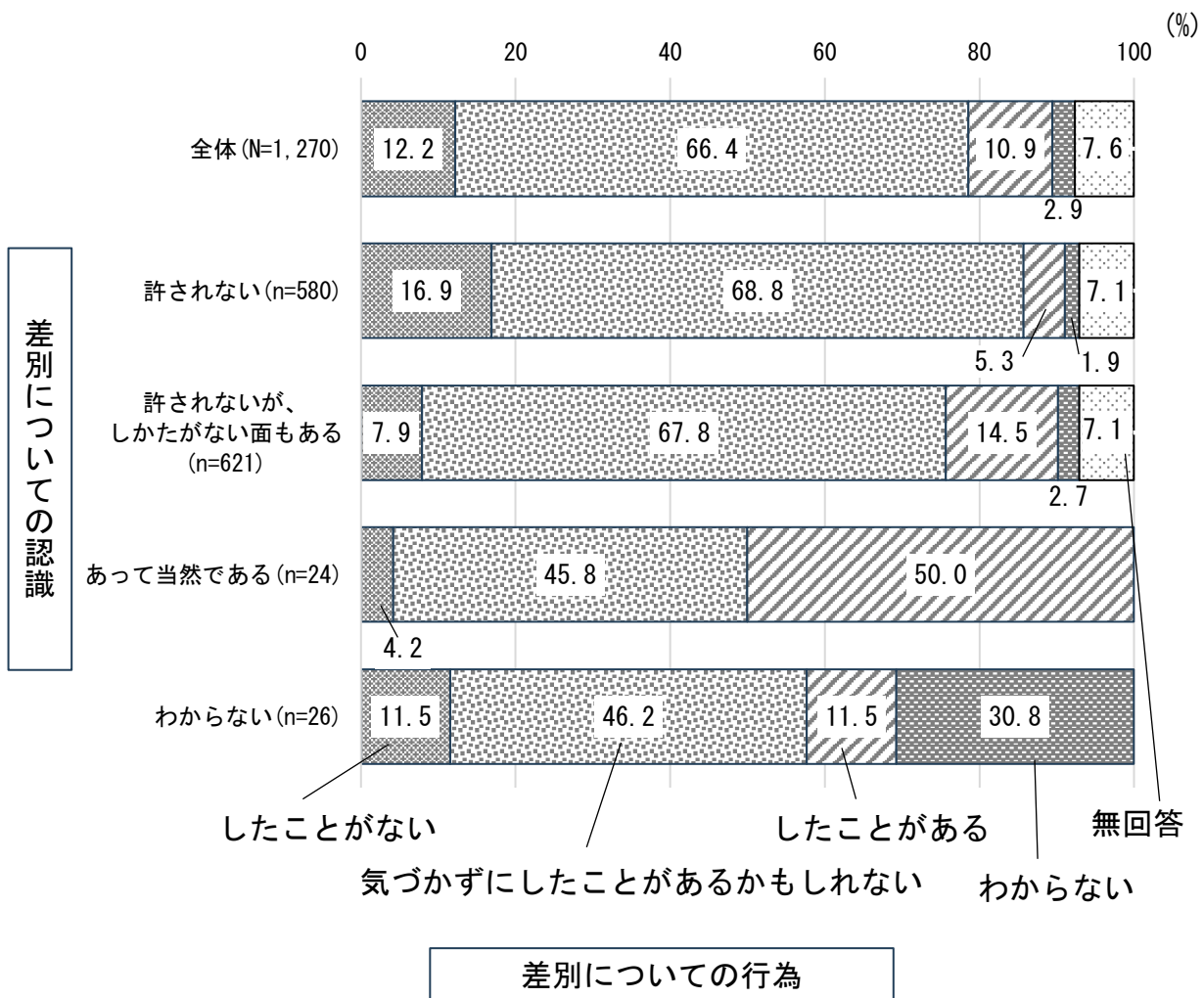
差別についての認識と、行為との関係を見るため、「差別についての行為」の設問【問2-2】の回答について、「差別についての認識」の設問【問2-1】の回答別に集計した。

差別は「許されない」と回答した人の中で、差別を「したことがない」と回答した人は16.9%であり、全体(12.2%)よりおよそ5ポイント高くなっている。

一方、差別は「あって当然である」と回答した人の中で、差別を「したことがある」と回答した人は50.0%と、全体(10.9%)よりおよそ39ポイント高くなっている。

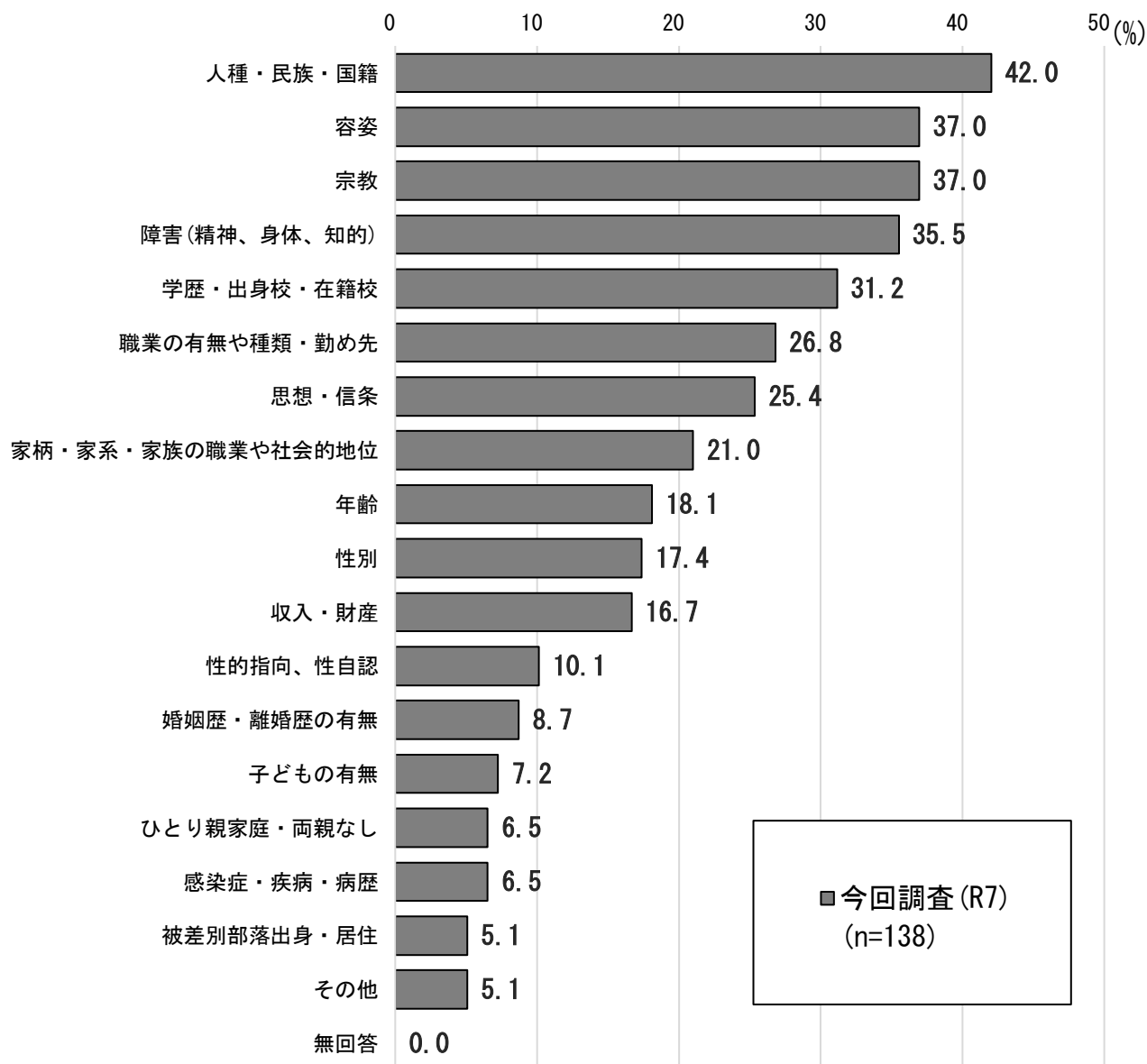
また、差別は「許されないが、しかたがない面もある」と回答した人の中で、差別を「気づかずにしたことがあるかもしれない」(67.8%)または「したことがある」(14.5%)と回答した人の合計は82.3%で、全体(「気づかずにしたことがあるかもしれない」66.4%+「したことがある」10.9%=77.3%)より5ポイント高くなっている。

図クロス1 差別についての認識【問2-1】 × 差別についての行為【問2-2】



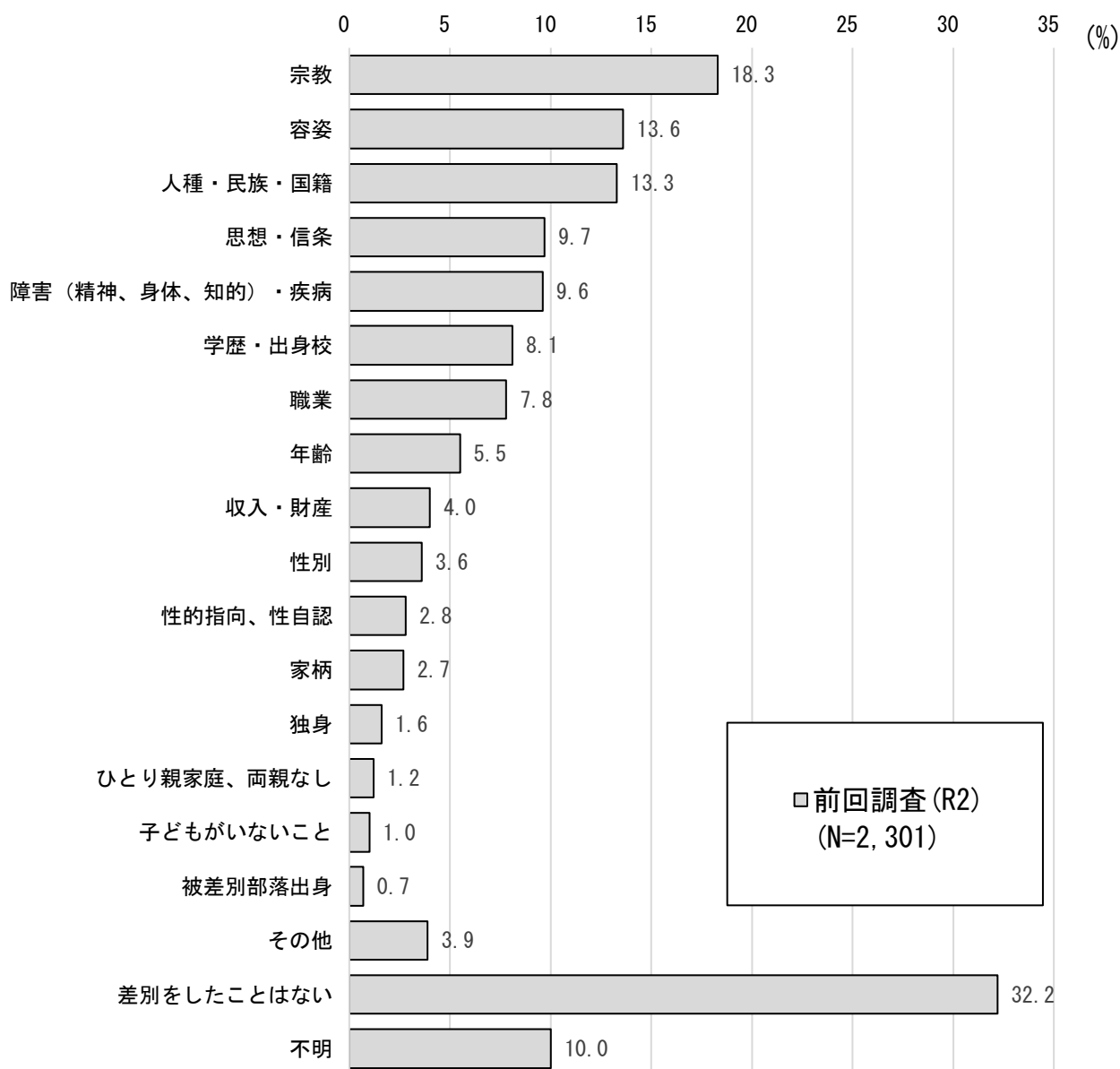
【問2-2】で「差別したことがある」と回答した人について、何について差別したことがあるかを尋ねたところ、「人種・民族・国籍」が、42.0%と最も多く、次いで「容姿」、「宗教」が37.0%と続いている。

図Ⅱ—2—5 差別をした経験 [MA]



■参考（前回調査（R2）結果）

前回調査では、「他人を差別したことはあるか、ある場合、何について差別をしたことがあるか」を尋ねた。そのため、前回調査では差別をしたことがないと回答した人も含む、母数がN=2,301での回答割合となっている。



性別では、「学歴・出身校・在籍校」が、男性より女性がおおよそ18ポイント高い。また、「収入・財産」、「家柄・家系・家族の職業や社会的地位」は、男性より女性がおおよそ14ポイント高い。

年齢別で見ると、20歳代では「容姿」が最も多く、30歳代、60歳代～70歳代では、「人種・民族・国籍」が最も多い。40歳代では「障害(精神、身体、知的)」と「宗教」が、50歳代では「宗教」が、最も多くなっている。

表Ⅱ-2-1 「差別をしたことがある」(性別・年齢別) [MA]

		年齢	学歴・出身校・在籍校	職業の有無や種類・勤め先	収入・財産	家柄・家系・家族の職業や社会的地位	ひとり親家庭・両親なし	婚姻歴・離婚歴の有無	子どもの有無	性別	性的指向、性自認
全体 N=(138)		18.1%	31.2%	26.8%	16.7%	21.0%	6.5%	8.7%	7.2%	17.4%	10.1%
性別	男性 (n=537)	16.9%	22.0%	22.0%	8.5%	13.6%	5.1%	5.1%	5.1%	13.6%	10.2%
	女性 (n=676)	18.1%	40.3%	30.6%	22.2%	27.8%	8.3%	11.1%	8.3%	20.8%	11.1%
	その他 (n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	25.0%	50.0%	41.7%	25.0%	33.3%	16.7%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%
	30歳～39歳 (n=137)	28.6%	19.0%	23.8%	19.0%	9.5%	14.3%	4.8%	14.3%	23.8%	14.3%
	40歳～49歳 (n=175)	14.3%	28.6%	23.8%	14.3%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	19.0%
	50歳～59歳 (n=263)	23.1%	35.9%	28.2%	20.5%	28.2%	5.1%	17.9%	12.8%	20.5%	7.7%
	60歳～69歳 (n=216)	15.4%	26.9%	23.1%	7.7%	11.5%	3.8%	3.8%	0.0%	11.5%	0.0%
	70歳～79歳 (n=213)	0.0%	36.4%	36.4%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%
80歳以上 (n=120)	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

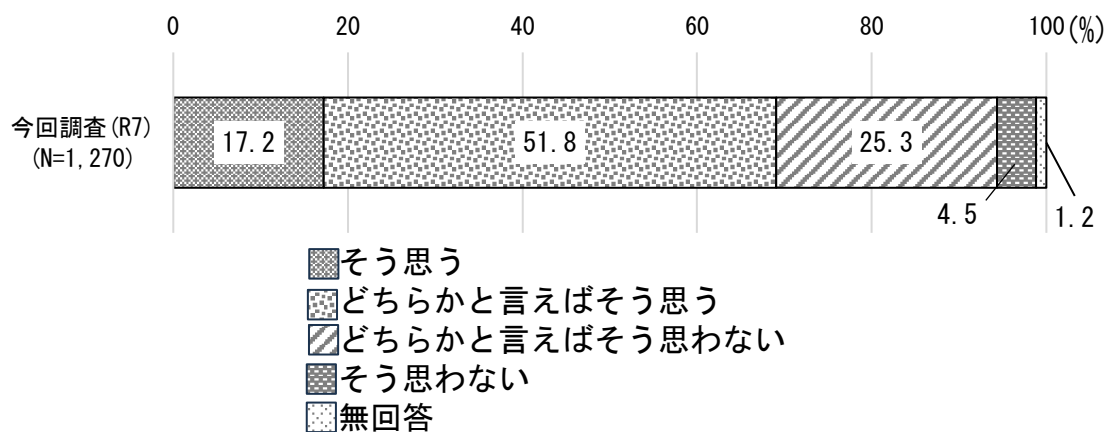
		障害(精神、身体、知的)	感染症・疾病・病歴	容姿	被差別部落出身・居住	人種・民族・国籍	思想・信条	宗教	その他	無回答
全体 (N=138)		35.5%	6.5%	37.0%	5.1%	42.0%	25.4%	37.0%	5.1%	0.0%
性別	男性 (n=537)	39.0%	10.2%	40.7%	5.1%	37.3%	30.5%	37.3%	5.1%	0.0%
	女性 (n=676)	31.9%	1.4%	33.3%	5.6%	43.1%	22.2%	37.5%	5.6%	0.0%
	その他 (n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	41.7%	8.3%	58.3%	8.3%	41.7%	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	42.9%	9.5%	33.3%	0.0%	47.6%	19.0%	28.6%	4.8%	0.0%
	40歳～49歳 (n=175)	52.4%	4.8%	38.1%	0.0%	47.6%	33.3%	52.4%	4.8%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	38.5%	5.1%	35.9%	10.3%	38.5%	25.6%	51.3%	5.1%	0.0%
	60歳～69歳 (n=216)	19.2%	0.0%	26.9%	7.7%	34.6%	23.1%	23.1%	3.8%	0.0%
	70歳～79歳 (n=213)	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%	45.5%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%
80歳以上 (n=120)	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

3 「人権問題」や「差別の問題」についての考え【問3】

人権問題に関心がある方かを尋ねたところ、「どちらかと言えばそう思う」が51.8%と最も多くなっている。「どちらかと言えばそう思わない」が25.3%、「そう思う」が17.2%と続いている。

全体のおよそ7割が「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と関心があるとの回答をしている。

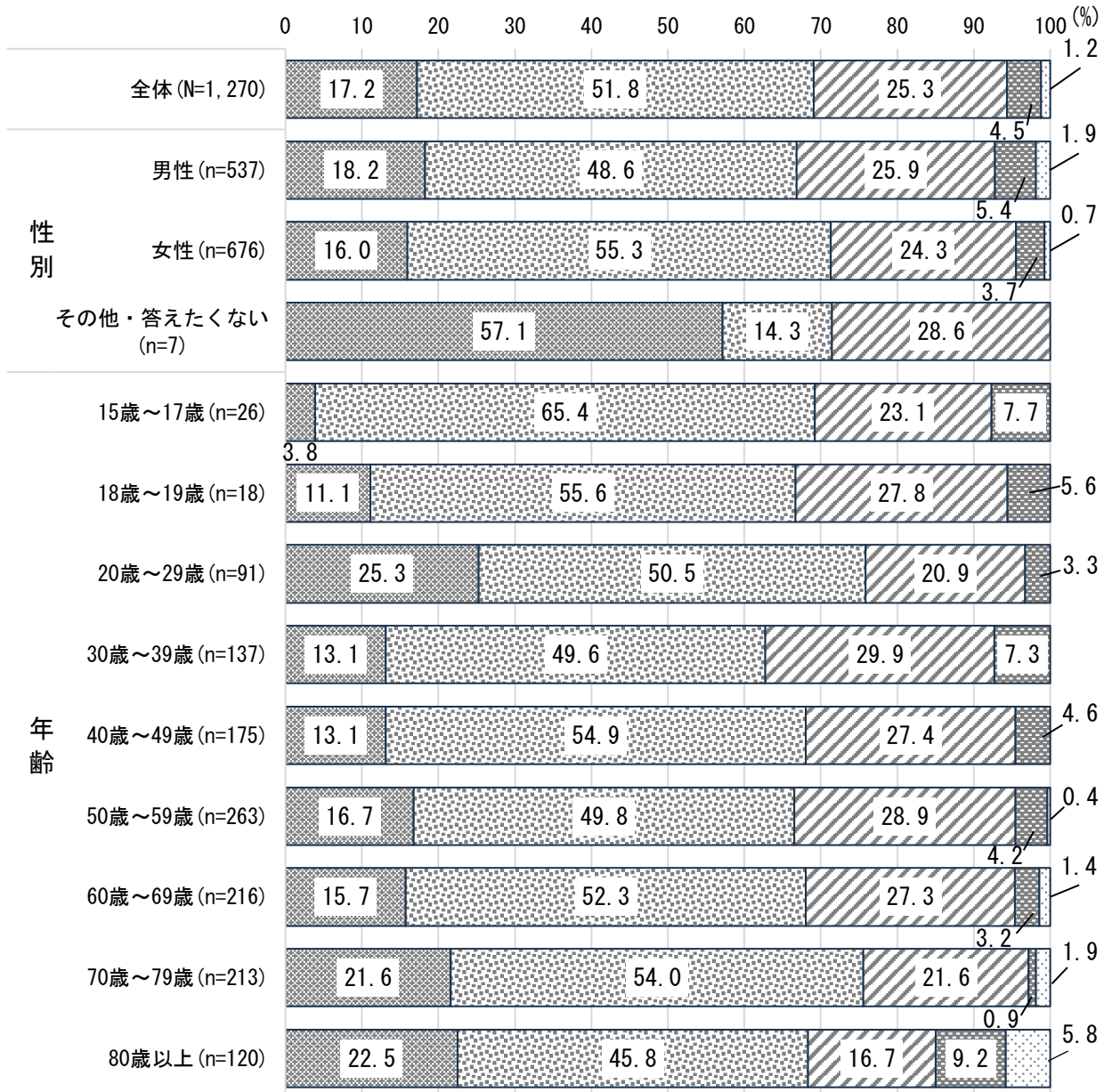
図Ⅱ—3—1 人権問題への関心があるか [SA]



「人権問題に関心があるか」について、性別には大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「そう思う」（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）の回答は20歳代が最も多い。一方で、「そう思わない」（「そう思わない」、「どちらかと言えばそう思わない」）の回答は30歳代が最も多くなっている。

図Ⅱ—3—2 人権問題への関心があるか（性別・年齢別）[SA]

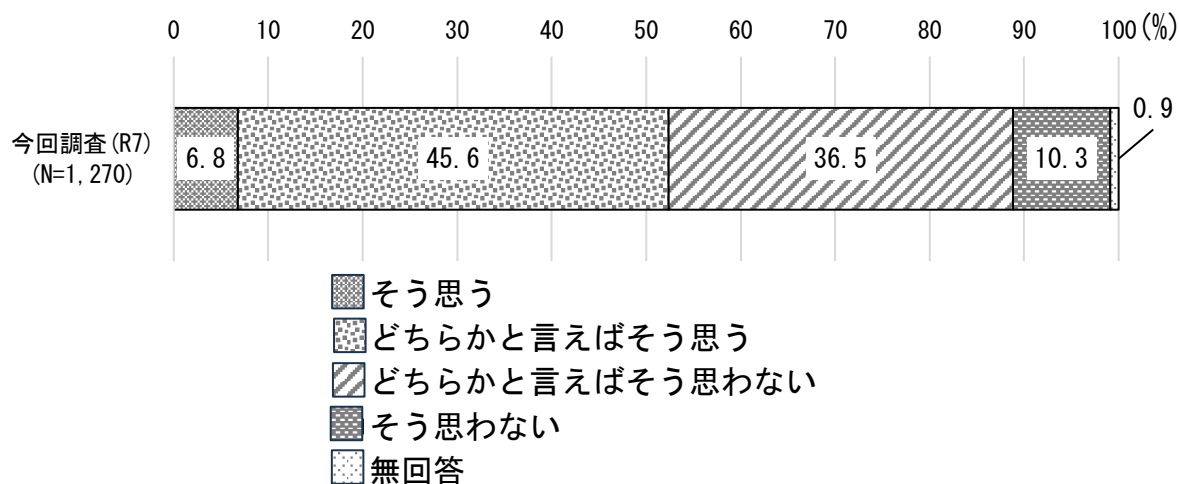


- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思うかを尋ねたところ、「どちらかと言えば
そう思う」が45.6%と最も多くなっている。「どちらかと言えばそう思わない」が36.5%、「そう思
わない」が10.3%と続いている。

全体のおよそ5割強は、「そう思う」（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）と回答を
している。

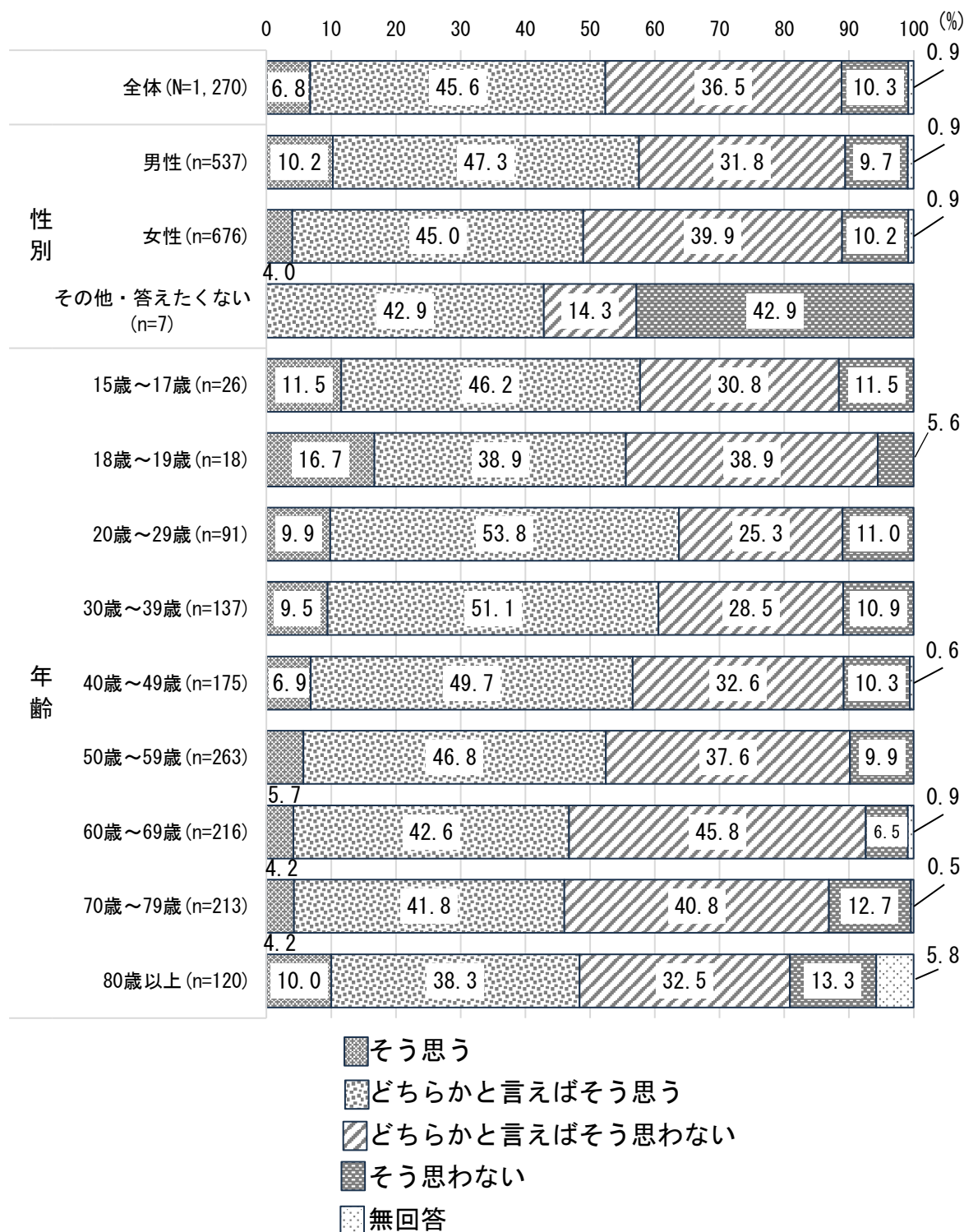
図Ⅱ—3—3 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思うか [SA]



「今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思うか」について、性別で見ると、「そう思う」の回答は、男性の方が女性に比べおよそ6ポイント高い。

年齢別で見ると、「そう思う」（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）の回答は20歳代が最も多い。一方で、「そう思わない」（「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」）の回答は70歳代が最も多い。

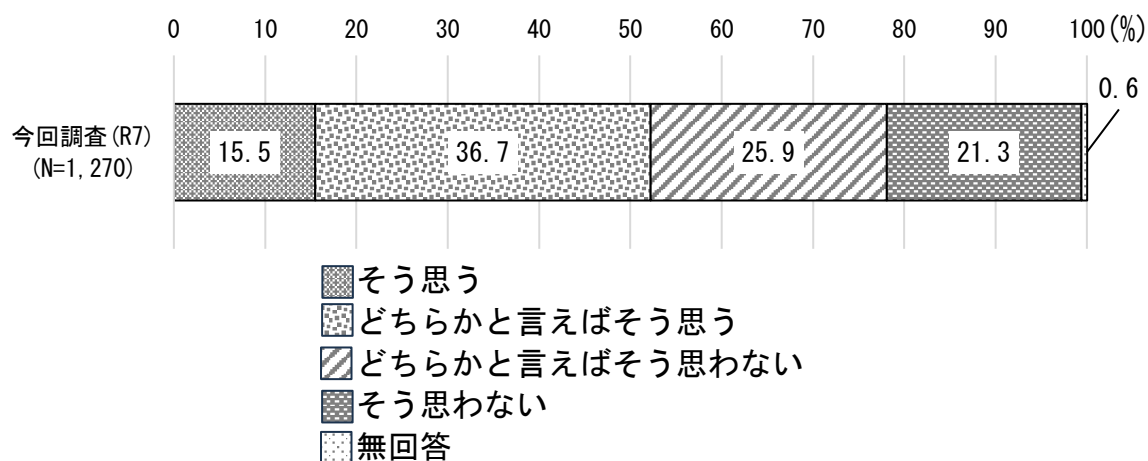
図Ⅱ—3—4 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思うか（性別・年齢別）[SA]



みんながやさしさと思いやりさえ持てば人権問題は解決するかを尋ねたところ、「どちらかと言えばそう思う」が36.7%と最も多くなっている。「どちらかと言えばそう思わない」が25.9%、「そう思わない」が21.3%と続いている。

全体のおよそ5割は、「そう思う」（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）との回答であり、「そう思わない」（「そう思わない」、「どちらかと言えばそう思わない」）の回答より5ポイント高い。

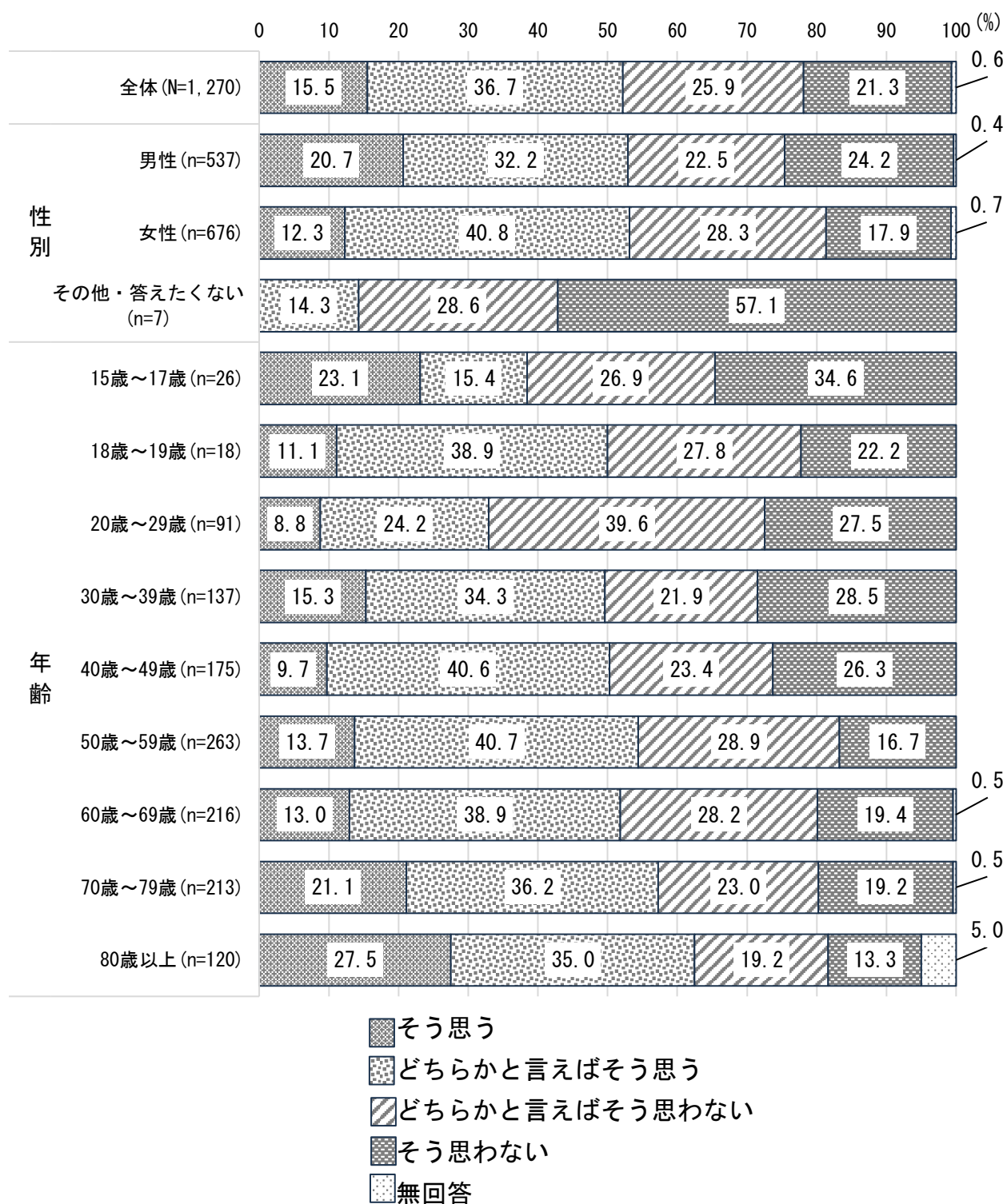
図Ⅱ—3—5 みんながやさしさと思いやりさえ持てば人権問題は解決するか [SA]



「みんながやさしさと思いやりさえ持てば人権問題は解決するか」について、性別で見ると、「そう思う」は女性より男性が、およそ8ポイント高い。

年齢別で見ると、「そう思う」（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）の回答は、80歳以上が最も多い。一方、「そう思わない」（「そう思わない」、「どちらかと言えばそう思わない」）の回答は、20歳代が最も多い。

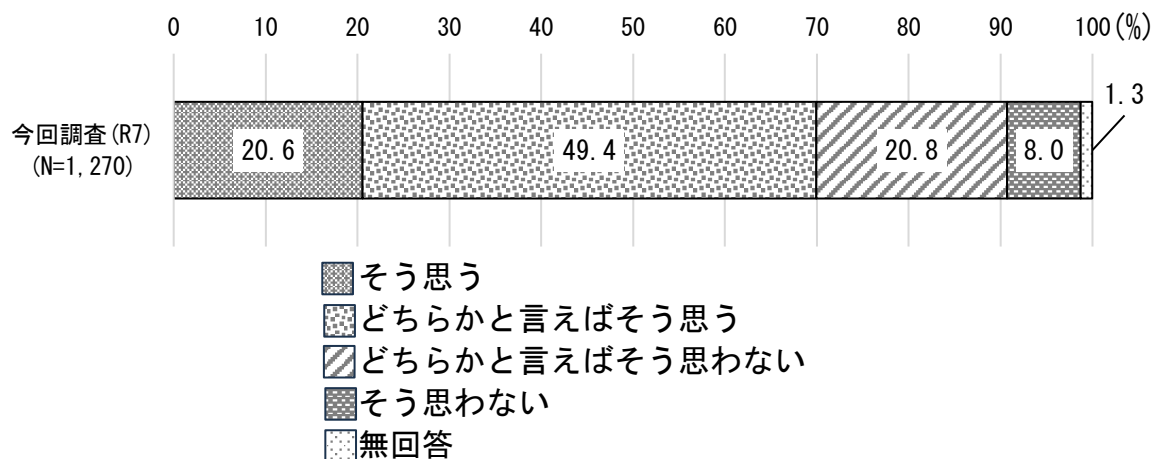
図Ⅱ—3—6 みんながやさしさと思いやりさえ持てば人権問題は解決するか
(性別・年齢別) [SA]



差別をしたり人権を侵害したりした人は罰則で取り締まるべきかを尋ねたところ、「どちらかと言えばそう思う」が49.4%と最も多い。次いで「どちらかと言えばそう思わない」が20.8%、「そう思う」が20.6%と続いている。

全体の7割は、「そう思う」または「どちらかと言えばそう思う」という意見だった。

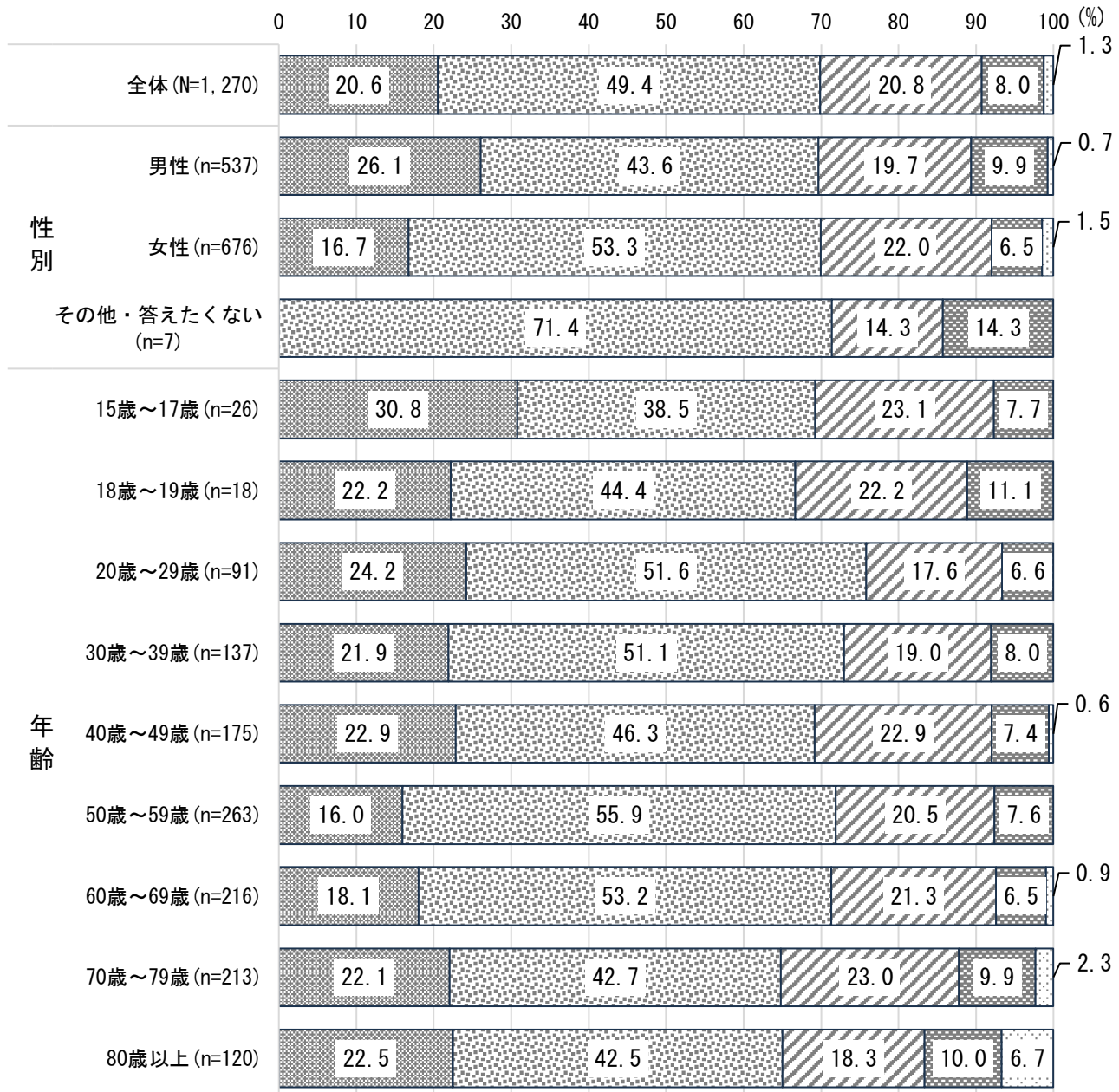
図Ⅱ—3—7 差別をしたり人権を侵害したりした人は罰則で取り締まるべきかについて [SA]



「差別をしたり人権を侵害したりした人は罰則で取り締まるべきか」について、性別で見ると、男性が女性より、「そう思う」の意見がおよそ10ポイント高い。

年齢別で見ると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の意見が、20歳代で最も多い。一方で「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の意見は、70歳代の年齢で最も多い。

図Ⅱ—3—8 差別をしたり人権を侵害したりした人は罰則で取り締まるべきかについて [SA]



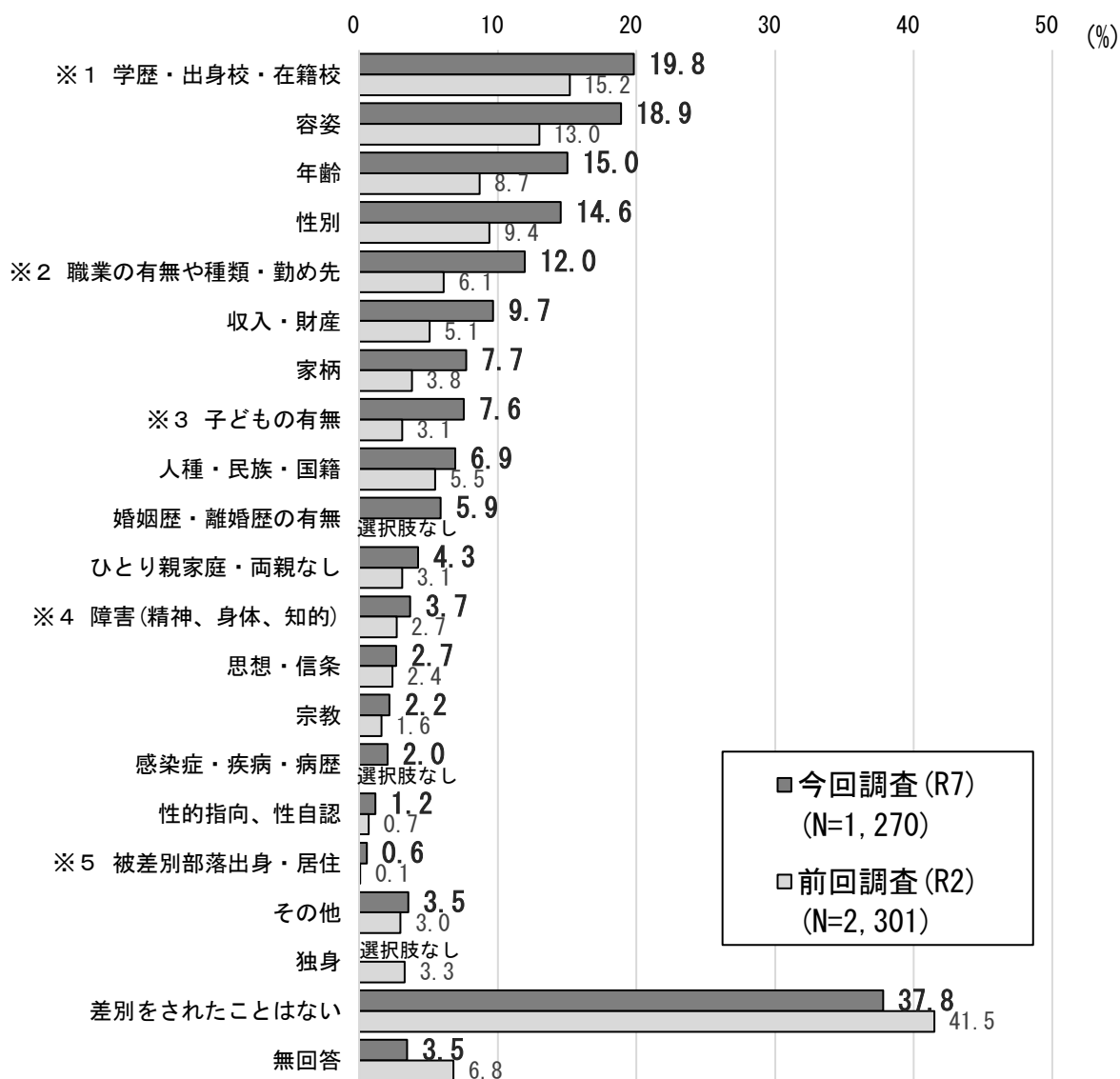
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

4 差別された経験【問4】

自分がこれまでに、差別をされたと思ったことがあるか、ある場合、何について差別をされたかを尋ねたところ、「差別をされたことはない」は、37.8%となっている。差別されたことがある場合は、「学歴・出身校・在籍校」が19.8%と最も多く、次いで「容姿」が18.9%、「年齢」が15.0%と続いている。

「差別をした経験」【問2-3】と「差別をされた経験」【問4】を比較すると、差別された経験では上位になっている「学歴・出身校・在籍校」や「性別」は、差別をした経験では下位になっている。一方で、差別をした経験では上位になっている「宗教」、「障害（精神、身体、知的）・疾病」、「思想・信条」は、差別された経験では下位になっている。また、「人種・民族・国籍」については、「差別をした経験」では最も多い回答となっていたが、「差別をされた経験」では9番目となっており、両設問間で回答に差があった。

図Ⅱ—4—1 差別された経験【MA】



- ※1 前回調査では「学歴・出身校」
- ※2 前回調査では「職業」
- ※3 前回調査では「子どもがいないこと」
- ※4 前回調査では「障害（精神、身体、知的）・疾病」
- ※5 前回調査では「被差別部落出身」

性別で見ると、「差別をされたことはない」は、女性より男性がおおよそ12ポイント高くなっている。また、差別をされたことがある場合、男性では「学歴・出身校・在籍校」が最も多く、「容姿」、「年齢」の順となっている。一方、女性では「性別」が最も多く、「容姿」、「学歴・出身校・在籍校」の順となっている。また、「性別」の回答は男性より女性がおおよそ19ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、差別をされたことがある場合、15歳～49歳では「容姿」、60歳代では「年齢」、50歳代、70歳以上では「学歴・出身校・在籍校」の回答が最も多くなっている。

表Ⅱ-4-1 「差別をされたことがある」(性別・年齢別) [MA]

		年齢	学歴・出身校・在籍校	職業の有無や種類・勤め先	収入・財産	家柄	ひとり親家庭、両親なし	婚姻歴・離婚歴の有無	子どもの有無	性別	性的指向、性自認
全体 N=(1270)		15.0%	19.8%	12.0%	9.7%	7.7%	4.3%	5.9%	7.6%	14.6%	1.2%
性別	男性 (n=537)	10.1%	19.0%	12.7%	9.5%	5.8%	2.8%	3.7%	4.1%	3.7%	0.9%
	女性 (n=676)	18.0%	20.4%	11.4%	9.8%	9.3%	4.7%	7.7%	10.2%	22.2%	1.3%
	その他 (n=7)	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	71.4%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	11.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	16.5%	28.6%	9.9%	11.0%	9.9%	3.3%	5.5%	6.6%	27.5%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	16.8%	22.6%	16.8%	8.8%	6.6%	8.8%	11.7%	13.9%	19.7%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	14.9%	19.4%	13.7%	13.1%	8.0%	4.6%	8.0%	13.1%	19.4%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	17.9%	25.9%	12.9%	9.9%	9.1%	4.6%	9.9%	10.6%	16.7%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	19.4%	17.6%	12.5%	8.8%	5.6%	3.7%	3.2%	6.0%	14.4%	0.5%
	70歳～79歳 (n=213)	10.3%	16.0%	11.7%	8.9%	10.8%	1.4%	2.8%	2.3%	6.1%	0.9%
80歳以上 (n=120)	6.7%	11.7%	5.0%	7.5%	5.0%	5.0%	0.0%	0.8%	3.3%	0.0%	

		障害(精神、身体、知的)	感染症・疾病・病歴	容姿	被差別部落出身・居住	人種・民族・国籍	思想・信条	宗教	その他	差別をされたことはない	無回答
全体 N=(1,270)		3.7%	2.0%	18.9%	0.6%	6.9%	2.7%	2.2%	3.5%	37.8%	3.5%
性別	男性 (n=59)	4.3%	2.4%	15.8%	0.7%	8.8%	4.1%	2.8%	3.0%	44.3%	2.4%
	女性 (n=72)	3.3%	1.6%	21.0%	0.3%	5.3%	1.6%	1.8%	3.8%	32.8%	4.1%
	その他 (n=0)	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=2)	3.8%	0.0%	19.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	61.5%	0.0%
	18歳～19歳 (n=0)	11.1%	5.6%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	38.9%	0.0%
	20歳～29歳 (n=12)	7.7%	6.6%	35.2%	1.1%	8.8%	3.3%	3.3%	1.1%	30.8%	1.1%
	30歳～39歳 (n=21)	6.6%	2.2%	29.9%	0.7%	13.1%	2.9%	2.2%	2.9%	31.4%	2.2%
	40歳～49歳 (n=21)	5.1%	1.7%	22.9%	0.0%	9.7%	4.0%	1.1%	4.6%	32.6%	1.7%
	50歳～59歳 (n=39)	2.7%	1.5%	19.0%	0.4%	7.2%	2.3%	1.1%	4.2%	29.7%	2.3%
	60歳～69歳 (n=26)	1.9%	2.3%	18.1%	1.4%	6.5%	1.4%	3.2%	5.1%	37.5%	3.2%
	70歳～79歳 (n=11)	3.3%	1.4%	8.9%	0.0%	3.8%	2.8%	2.3%	1.9%	49.3%	4.7%
80歳以上 (n=4)	0.0%	0.0%	5.0%	0.8%	0.8%	2.5%	4.2%	5.0%	52.5%	10.8%	

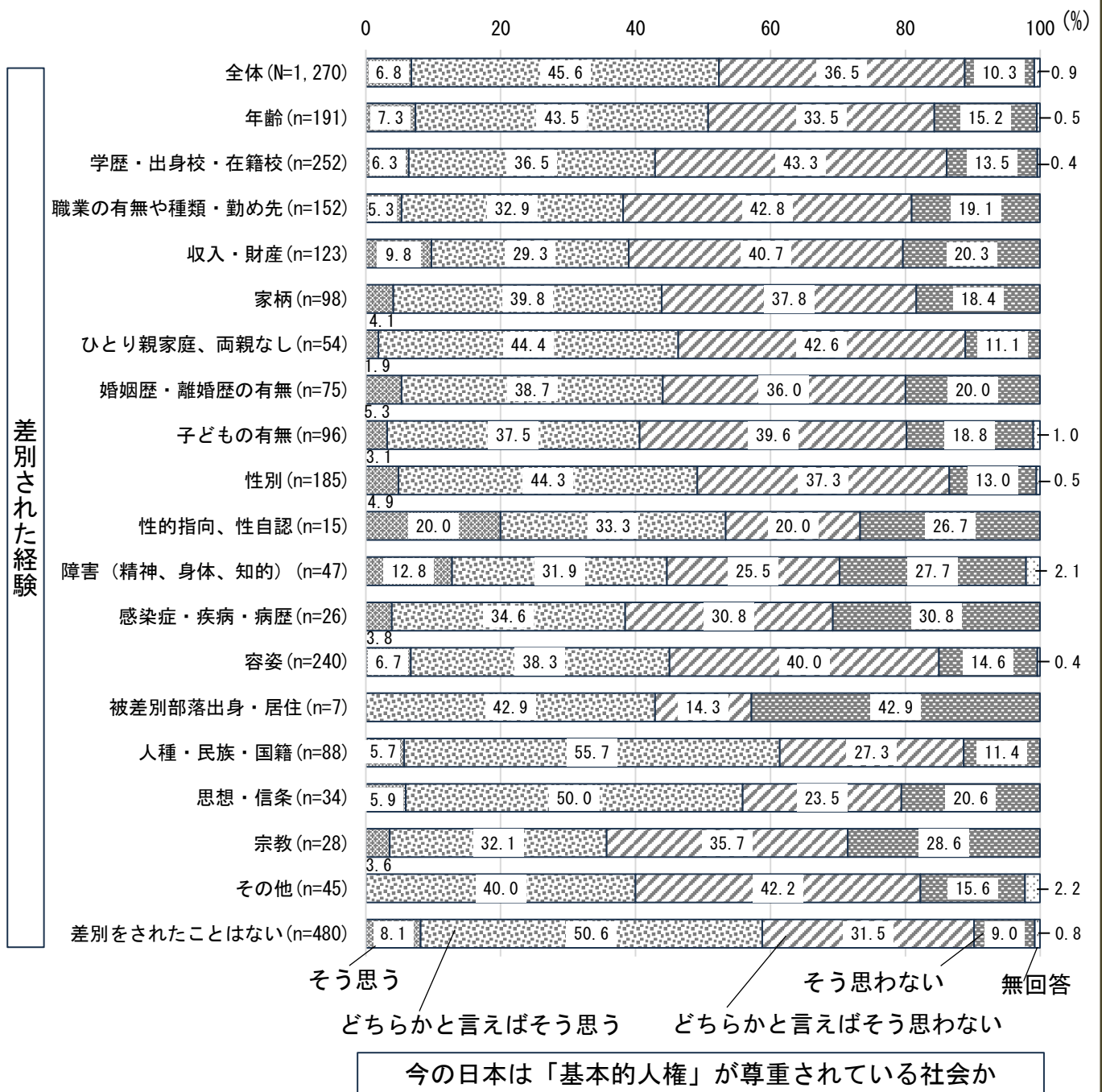
設問間クロス集計 2

差別をされた経験が、今の日本では一人ひとりの人権が大切にされているか、という認識にどう影響するかを見るため、「今の日本は一人ひとりの人権が大切にされているか」という設問【問3-B】の回答について、「差別された経験」についての設問【問4】の回答別に集計した。

何らかの差別をされた経験がある人のうち、「人種・民族・国籍」について差別された経験があると回答した人のみ、今の日本は一人ひとりの人権が大切にされていると思う（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した人の割合が6割を超えている。これは「差別をされたことはない」と回答した人の回答（58.7%）よりも高かった。

図クロス2 差別された経験【問4】

× 今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思うか【問3-B】

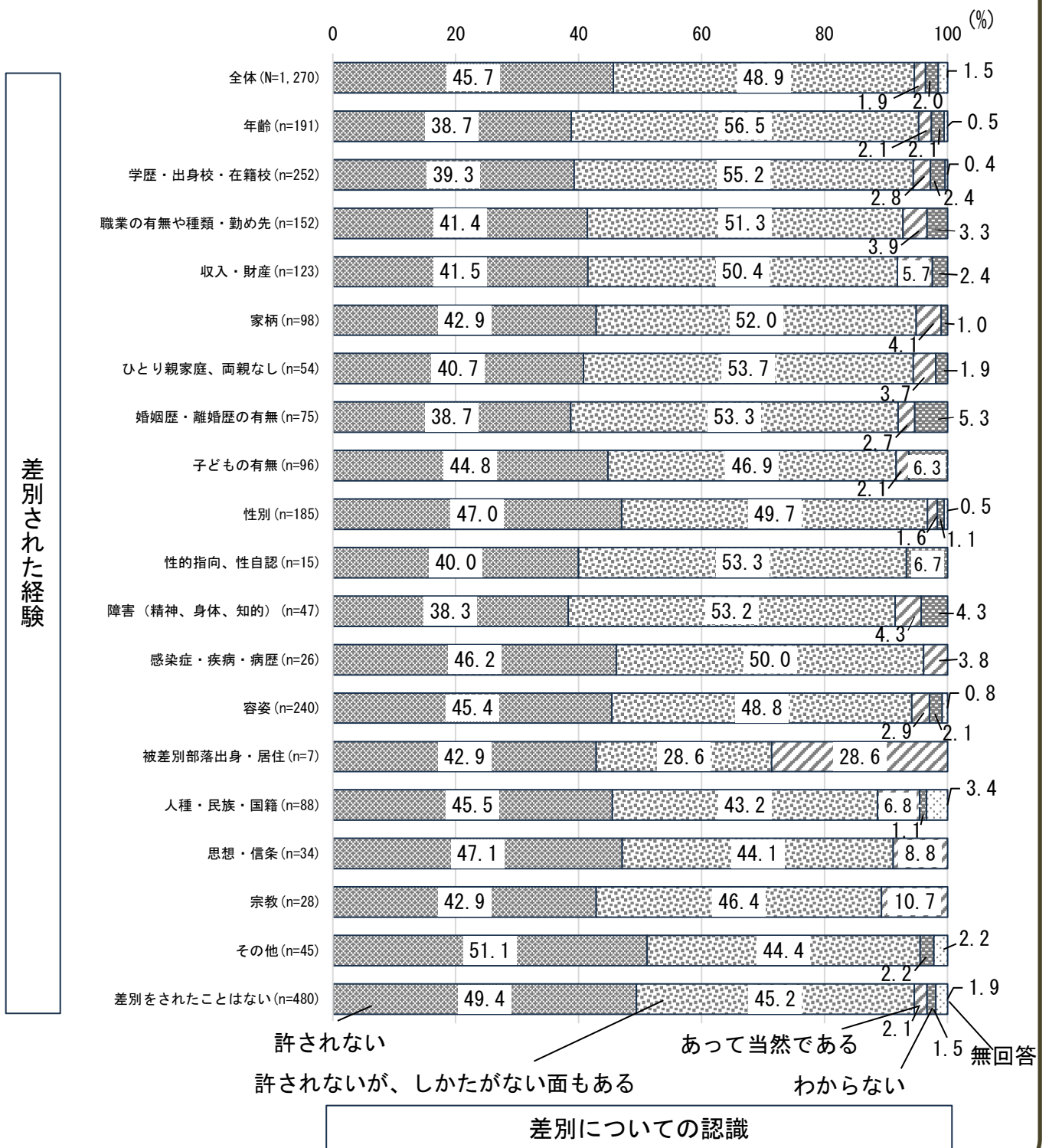


設問間クロス集計 3

差別についての認識と、差別された経験との関係を見るため、「差別についての認識」の設問【問2-1】の回答について、「差別された経験」の設問【問4】の回答別に集計した。

何らかの差別をされた経験があると回答した人（「その他」を除く）が、「許されない」と回答した割合はいずれの選択肢も「差別をされたことはない」と回答した人の回答（49.4%）を下回った。また、「年齢」及び「学歴・出身校・在籍校」について差別された経験があると回答した人で、「しかたがない面もある」と回答した人は、「差別をされたことはない」と回答した人の回答（45.2%）よりおよそ10ポイント程度高かった。

図クロス3 差別についての認識【問2-1】 × 差別された経験【問4】

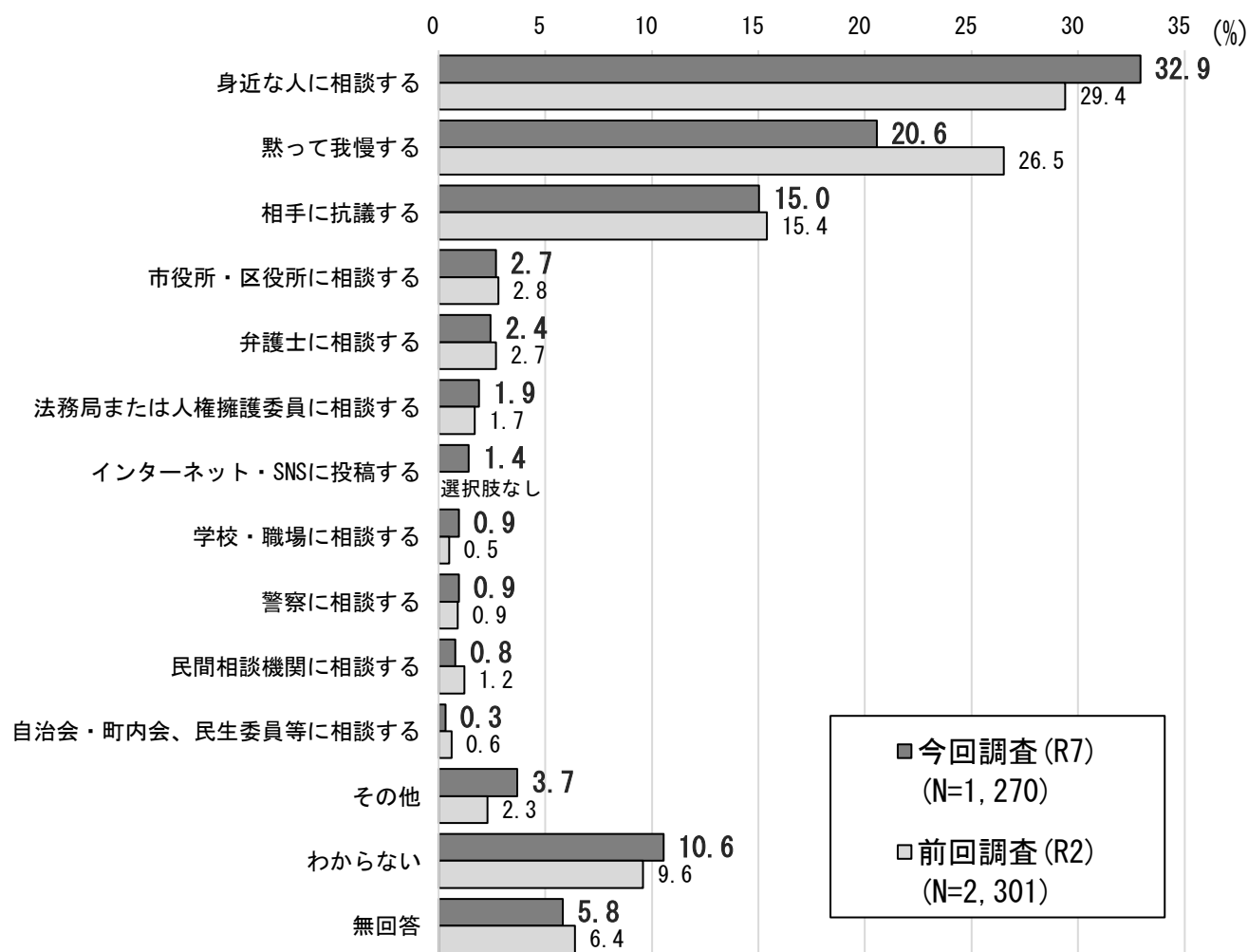


5 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応【問5】

もし、自分が差別をされたり人権を侵害されたりした場合、まずどうするかを尋ねたところ、「身近な人に相談する」が32.9%と最も多く、次いで「黙って我慢する」が20.6%、「相手に抗議する」が15.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「黙って我慢する」がおよそ6ポイント減少した。

図Ⅱ—5—1 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応 [SA]



性別で見ると、「身近な人に相談する」は、男性より女性がおよそ16ポイント高くなっている。また、「相手に抗議する」は、女性より男性がおよそ8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢層が若い方が「黙って我慢する」、「身近な人に相談する」が多くなり、年齢層が高いほど「市役所・区役所に相談する」、「わからない」が多くなる。

表Ⅱ—5—1 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応（性別・年齢別）[SA]

		黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	インターネット・SNSに投稿する	弁護士に相談する	市役所・区役所に相談する	学校・職場に相談する
全体 (N=1,270)		20.6%	15.0%	32.9%	1.4%	2.4%	2.7%	0.9%
性別	男性 (n=537)	20.1%	19.2%	24.6%	1.9%	2.4%	2.4%	1.3%
	女性 (n=676)	21.0%	11.5%	40.4%	1.2%	2.4%	2.8%	0.6%
	その他 (n=7)	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	30.8%	7.7%	57.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	38.9%	16.7%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	20.9%	17.6%	46.2%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	22.6%	15.3%	32.1%	5.1%	2.9%	0.7%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	25.1%	16.0%	34.9%	1.1%	1.7%	0.6%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	22.4%	14.4%	33.1%	1.1%	2.3%	3.4%	2.3%
	60歳～69歳 (n=216)	20.8%	18.1%	31.5%	0.5%	3.2%	1.4%	0.5%
	70歳～79歳 (n=213)	15.5%	16.0%	26.8%	0.9%	1.9%	6.1%	0.0%
80歳以上 (n=120)	11.7%	7.5%	31.7%	0.0%	5.0%	4.2%	0.8%	
		自治会・町内会、民生委員等に相談する	法務局または人権擁護委員に相談する	民間相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		0.3%	1.9%	0.8%	0.9%	3.7%	10.6%	5.8%
性別	男性 (n=537)	0.4%	2.4%	0.7%	1.9%	5.0%	10.4%	7.3%
	女性 (n=676)	0.3%	1.5%	0.9%	0.1%	2.5%	10.1%	4.7%
	その他 (n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	5.5%	4.4%
	30歳～39歳 (n=137)	0.0%	0.7%	1.5%	0.7%	4.4%	10.2%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	4.6%	12.0%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	0.0%	1.5%	0.8%	0.4%	4.9%	9.1%	4.2%
	60歳～69歳 (n=216)	0.5%	2.3%	0.9%	1.4%	1.4%	13.9%	3.7%
	70歳～79歳 (n=213)	0.5%	4.7%	0.5%	1.9%	2.8%	10.8%	11.7%
80歳以上 (n=120)	1.7%	3.3%	1.7%	2.5%	4.2%	13.3%	12.5%	

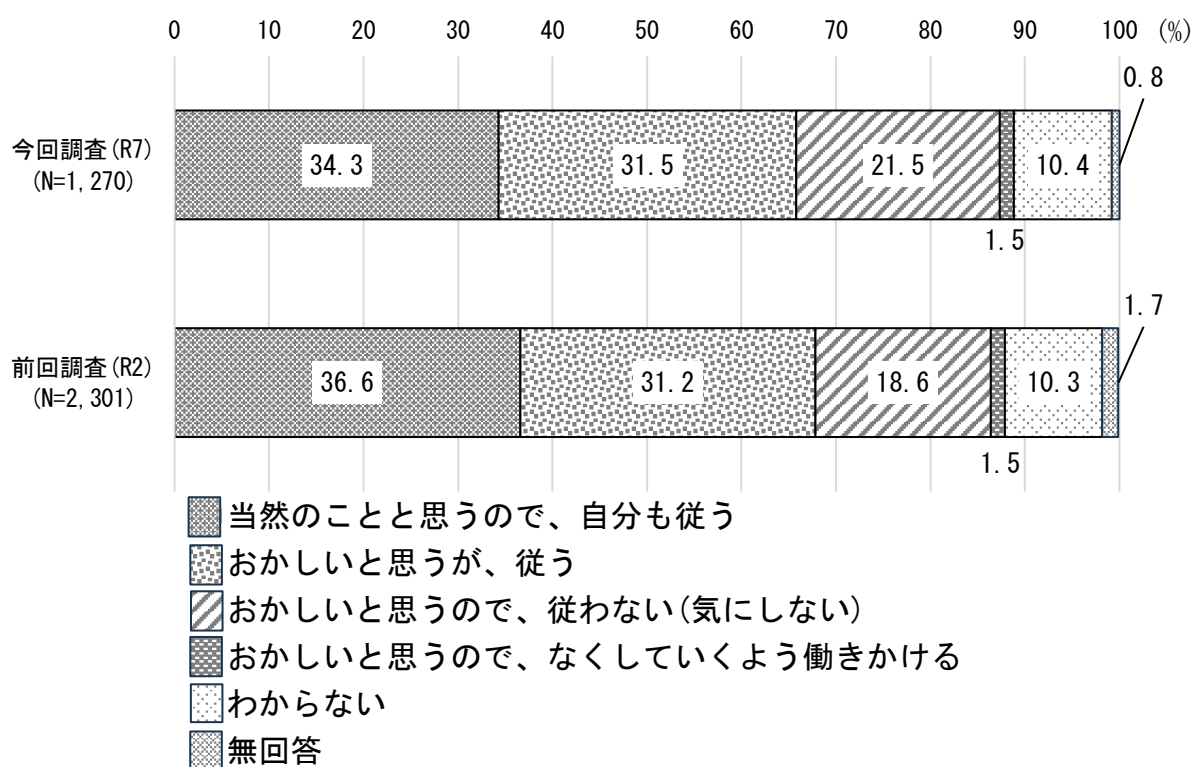
6 風習についての認識と行為【問6】

たとえば、お祝い事は「仏滅」の日を、「友引」の日はお葬式を避ける、といった昔からの風習について自分の考えに近いものはどれかを尋ねたところ、「当然のことと思うので、自分も従う」が34.3%と最も多く、次いで「おかしいと思うが、従う」が31.5%、「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」が21.5%と続いている。

「おかしいと思う（「おかしいと思うが、従う」、「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」及び「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける）」の回答は全体の5割を超える一方で、「従わない（「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」及び「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける）」の回答が全体の約2割となっている。

前回調査（R2）と比較すると、「当然のことと思うので、自分も従う」が、約2ポイント減少、「おかしいと思う（「おかしいと思うが、従う」、「おかしいと思うので、従わない（気にしない）」及び「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける）」の回答は、およそ3ポイント増加している。

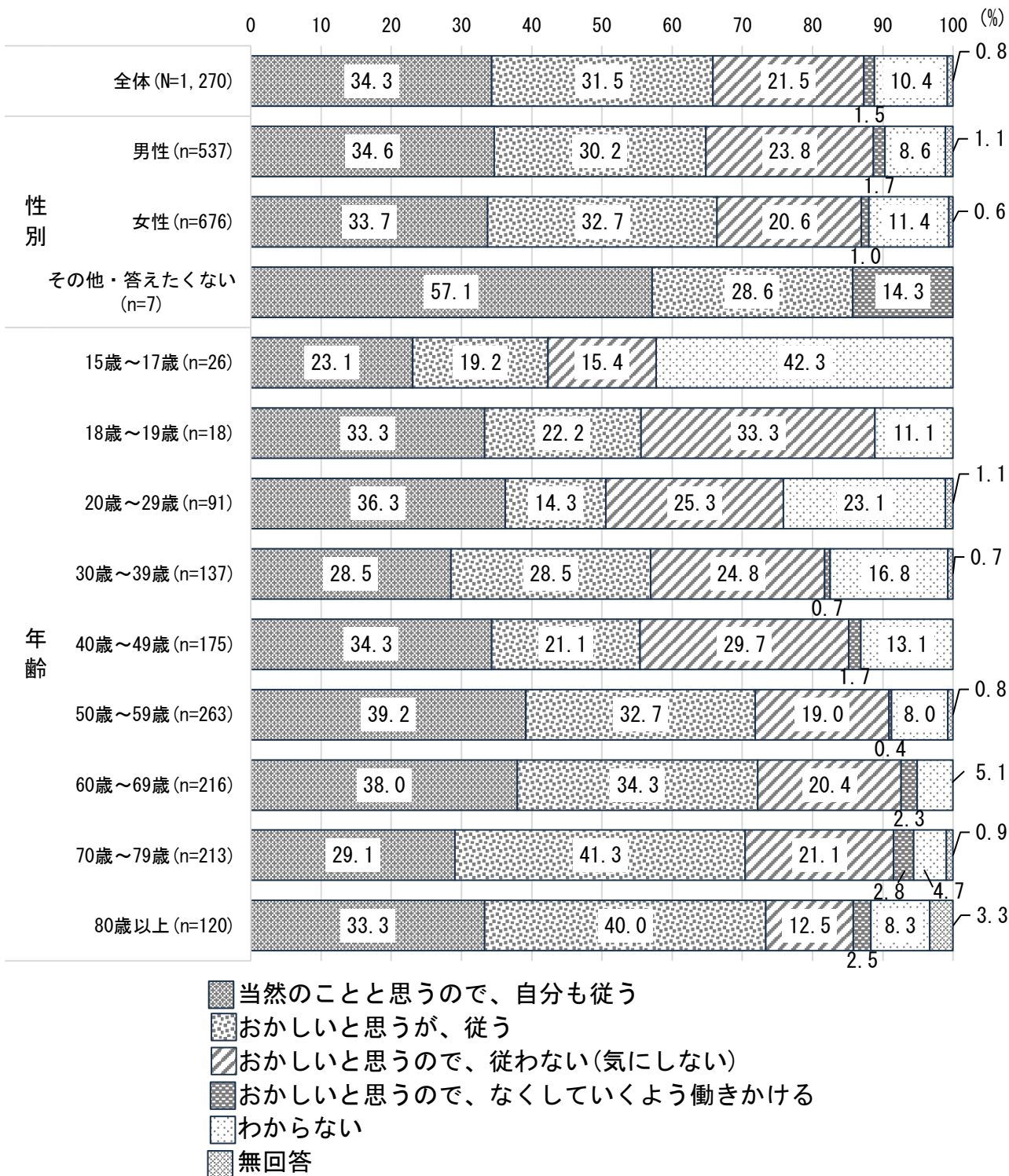
図Ⅱ—6—1 風習についての認識 [SA]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、15歳～17歳は「わからない」が最も多い。70歳代以上の年齢層では「おかしいと思うが、従う」が最も多い。

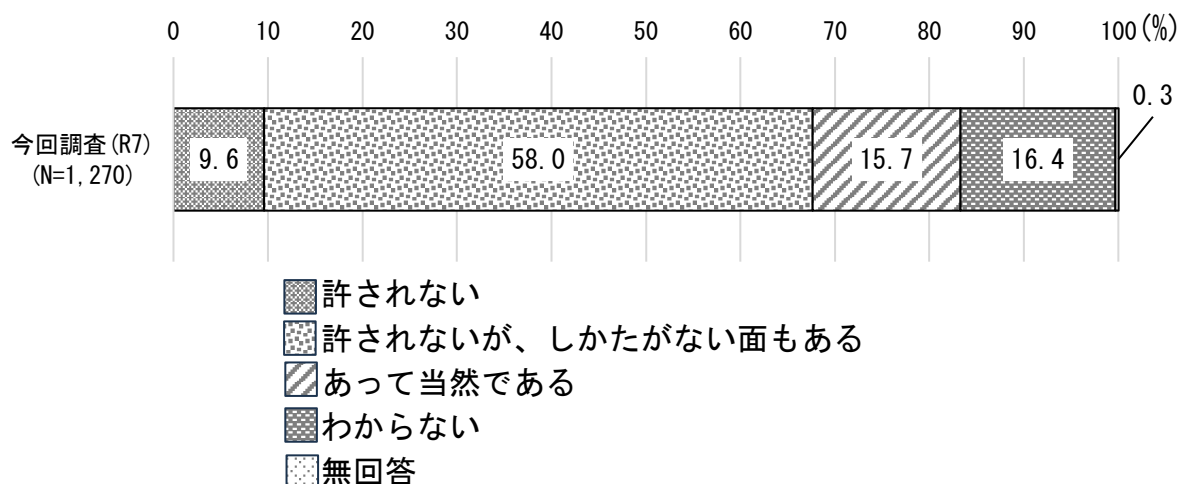
図Ⅱ—6—2 風習についての認識と行為（性別・年齢別）[SA]



7 結婚相手の身元調査をすることについての認識【問7】

結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、自分の考えに近いものはどれかを尋ねたところ、「許されないが、しかたがない面もある」が58.0%、次いで「あって当然である」が15.7%、「わからない」が16.4%と続いている。

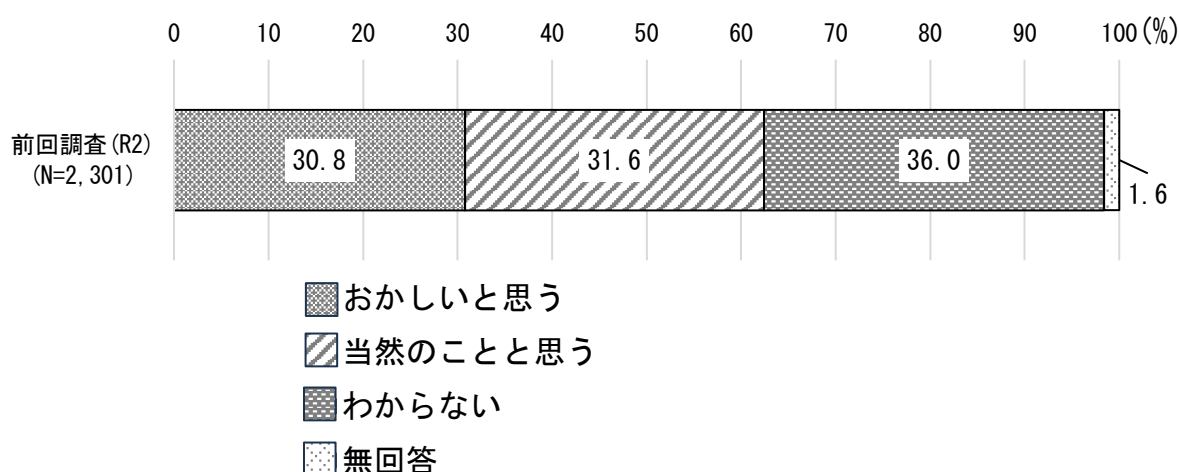
図Ⅱ-7-1 結婚相手の身元調査をすることについての認識 [SA]



■参考（前回調査（R2）結果）

前回調査（R2）と比較すると、質問の意向が少し異なるが、前回の「当然のことと思う」から、今回の「あって当然である」の割合は、およそ16ポイント減少している。また、「わからない」は、およそ20ポイント減少している。

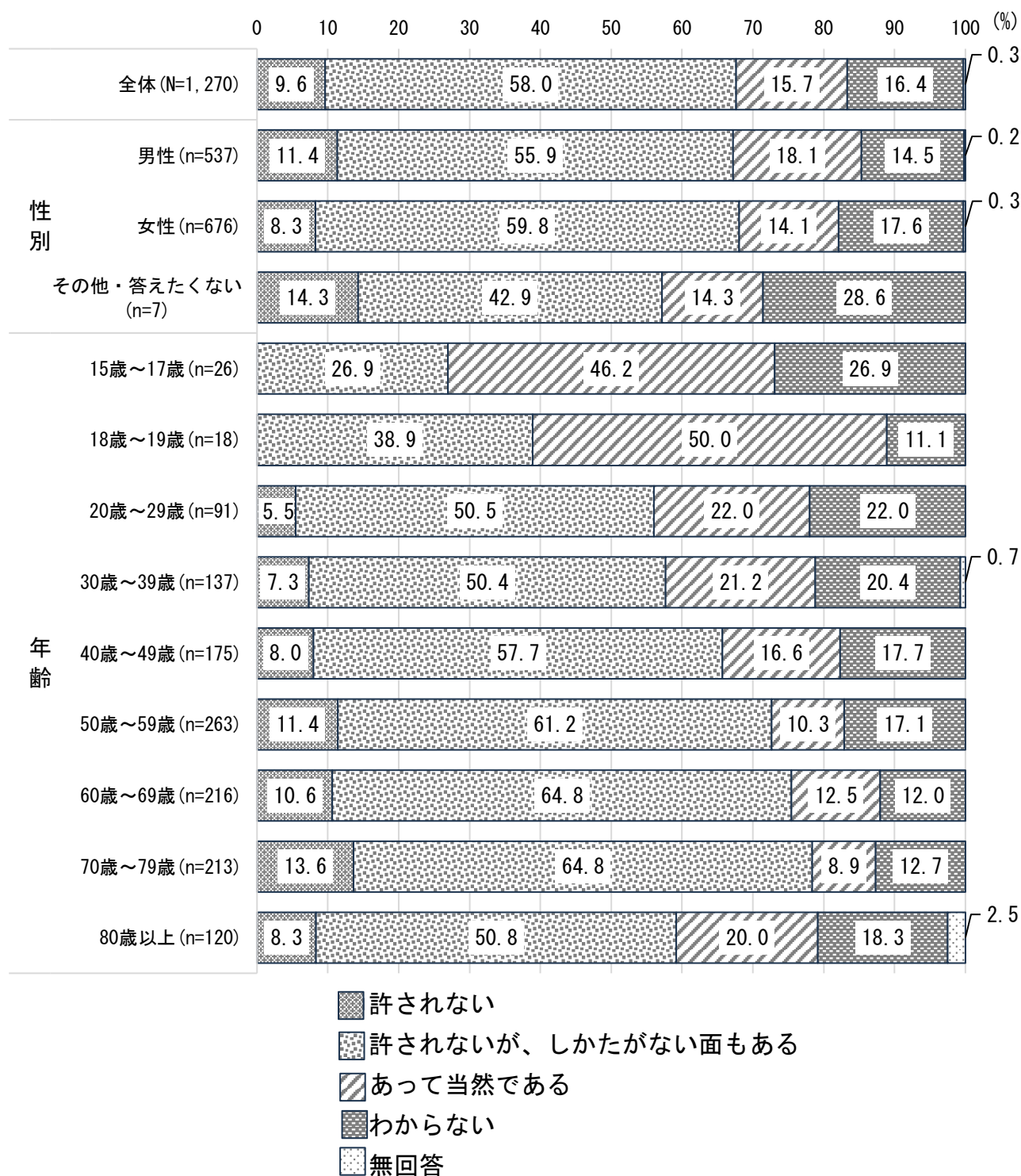
図Ⅱ-7-2 結婚相手の身元調査をすることについての認識（前回調査）[SA]



性別で見ると、「許されないが、しかたがない面もある」は、男性より女性がおよそ4ポイント高い。

年齢別で見ると、20歳未満では「許されない」を選択した回答者がいなかった。「許されないが、しかたがない面もある」と回答した割合は、若年層よりも高齢層のほうが高い。

図Ⅱ—7—3 結婚相手の身元調査をすることについての認識（性別・年齢別）[SA]



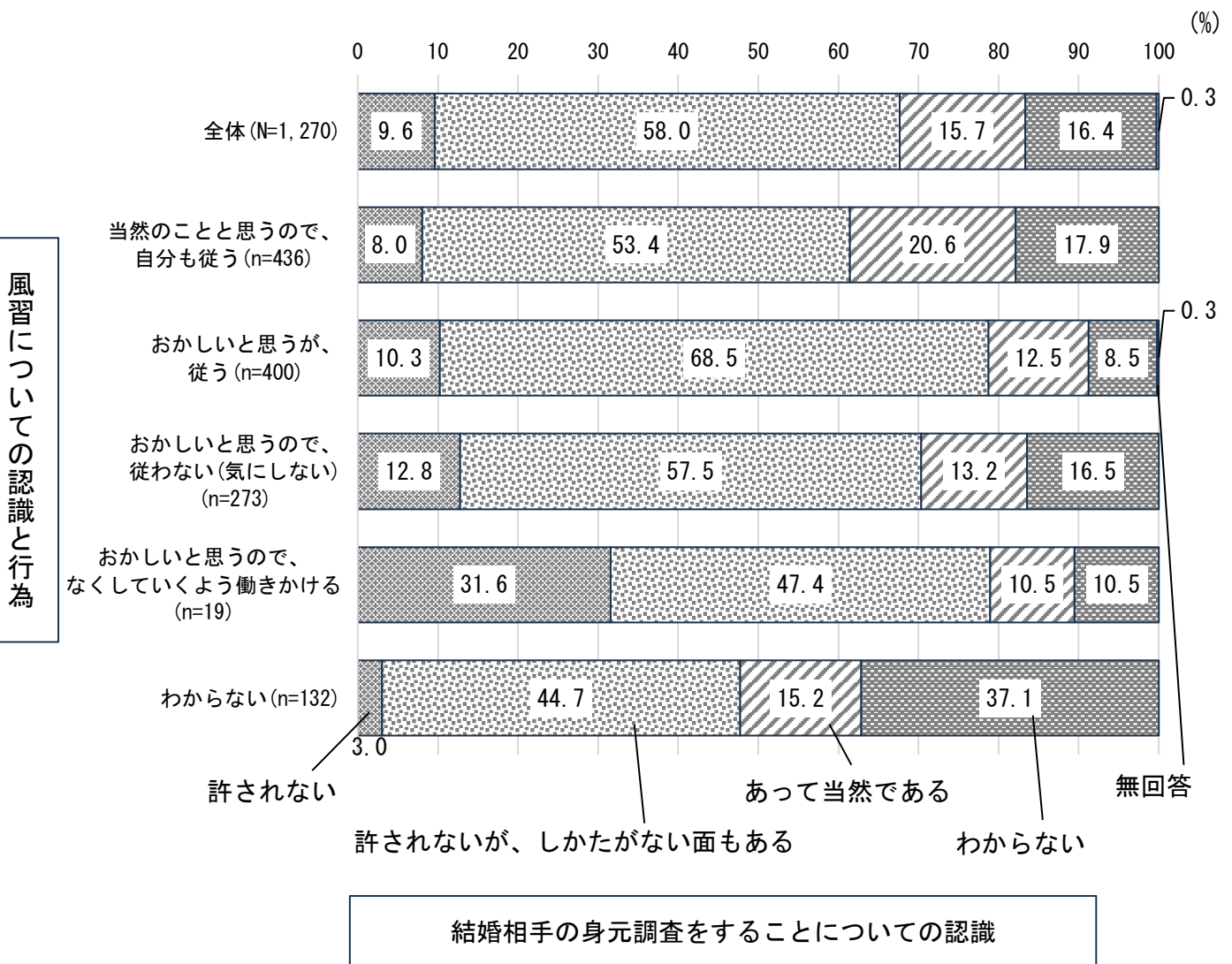
設問間クロス集計 4

風習についての認識・行為と、結婚相手の身元調査をすることについての認識との関係を見るため、「結婚相手の身元調査をすることの認識」についての設問【問7】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問6】の回答別に集計した。

風習を「当然のことと思うので、自分も従う」と回答した人の中で、結婚相手の身元調査について「あつて当然である」と回答した人は20.6%と、全体（15.7%）よりおよそ5ポイント高くなっている。

一方、風習を「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける」と回答した人の中で、身元調査についても「許されない」と回答した人の割合を見ると31.6%で、全体（9.6%）より22ポイント高くなっている。

図クロス4 風習についての認識と行為【問6】×
結婚相手の身元調査をすることについての認識【問7】

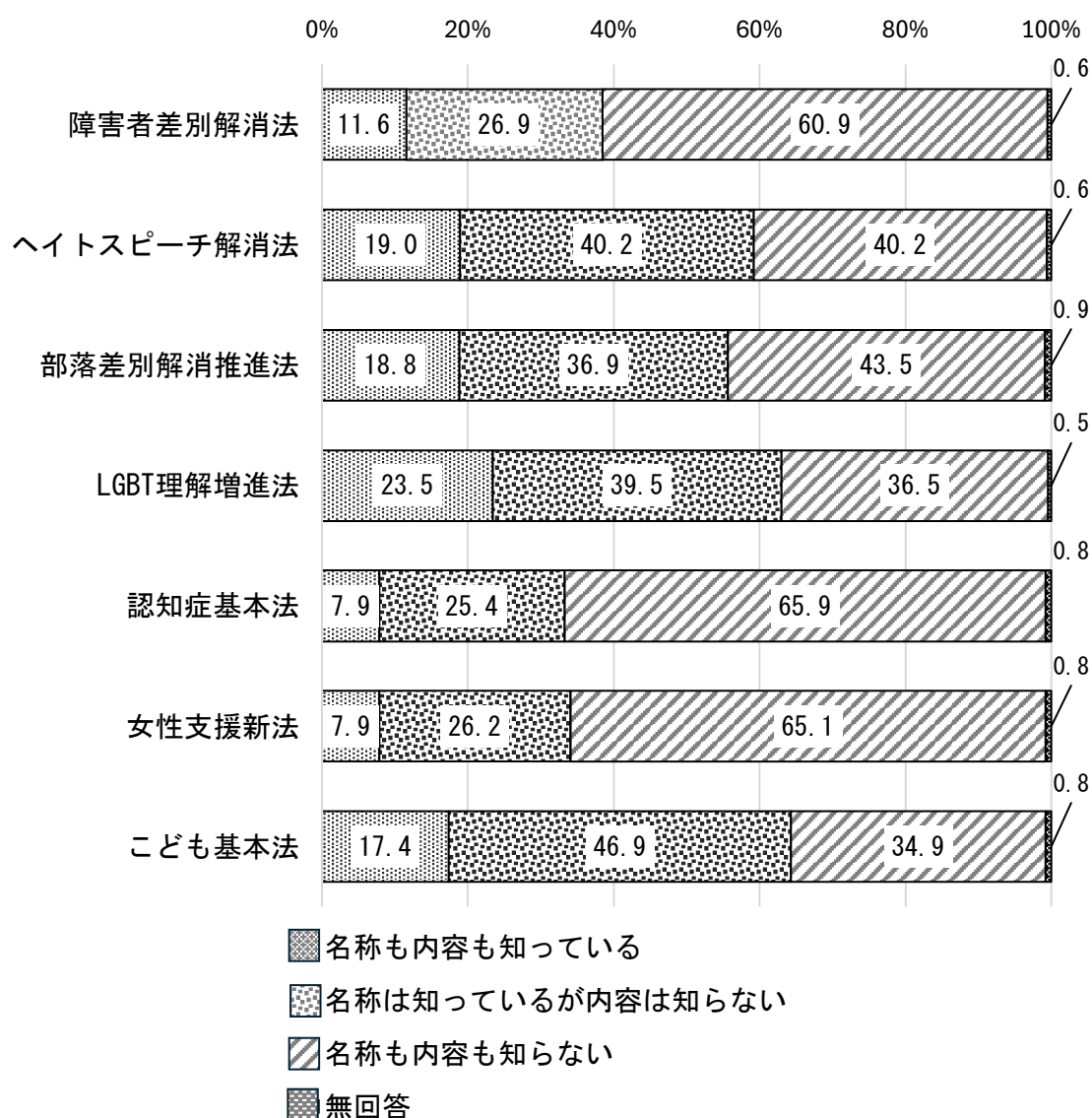


8 法律についての認知度【問8】

人権関係での各法律、「障害者差別解消法」（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）、「ヘイトスピーチ解消法」（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）、「部落差別解消推進法」（部落差別の解消の推進に関する法律）、「LGBT理解増進法」（性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）、「認知症基本法」（共生社会の実現を推進するための認知症基本法）、「女性支援新法」（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）、「子ども基本法」の認知度を尋ねたところ、「名称も内容を知っている」は、「LGBT理解増進法」が、23.5%で最も高く、次いで「ヘイトスピーチ解消法」（19.0%）、「部落差別解消推進法」（18.8%）の順に多い。また「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度は、「子ども基本法」が最も高い。

一方、「名称も内容も知らない」は、「認知症基本法」が65.9%で最も多く、次いで「女性支援新法」（65.1%）、「障害者差別解消法」（60.9%）が続いている。

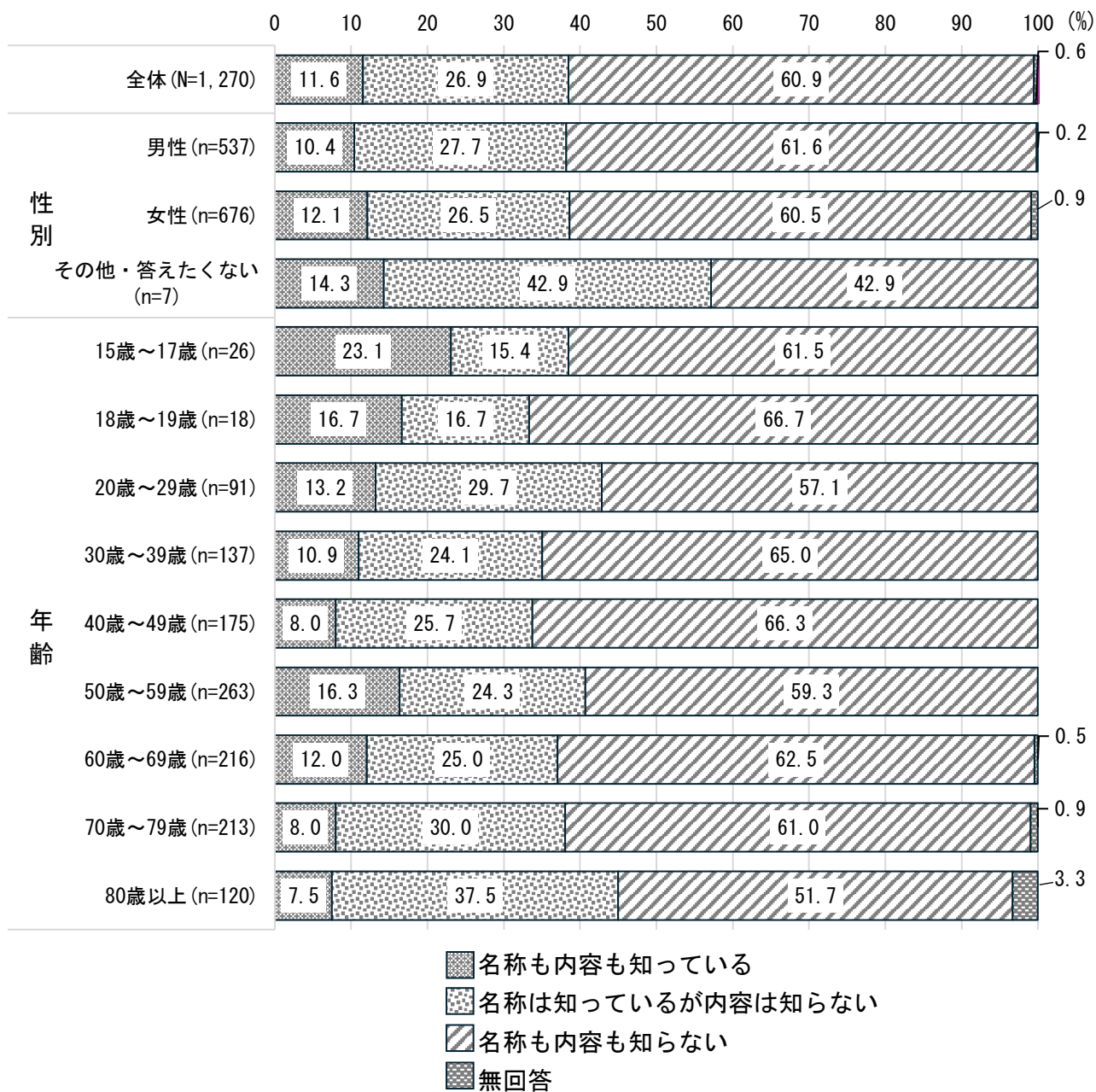
図Ⅱ—8—1 人権関係の法律の認知度 [SA]



障害者差別解消法の認知度について、性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、15歳～17歳で、最も多い。「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度では、80歳以上が最も高い。「名称も内容も知らない」は、18歳～19歳で最も高い。

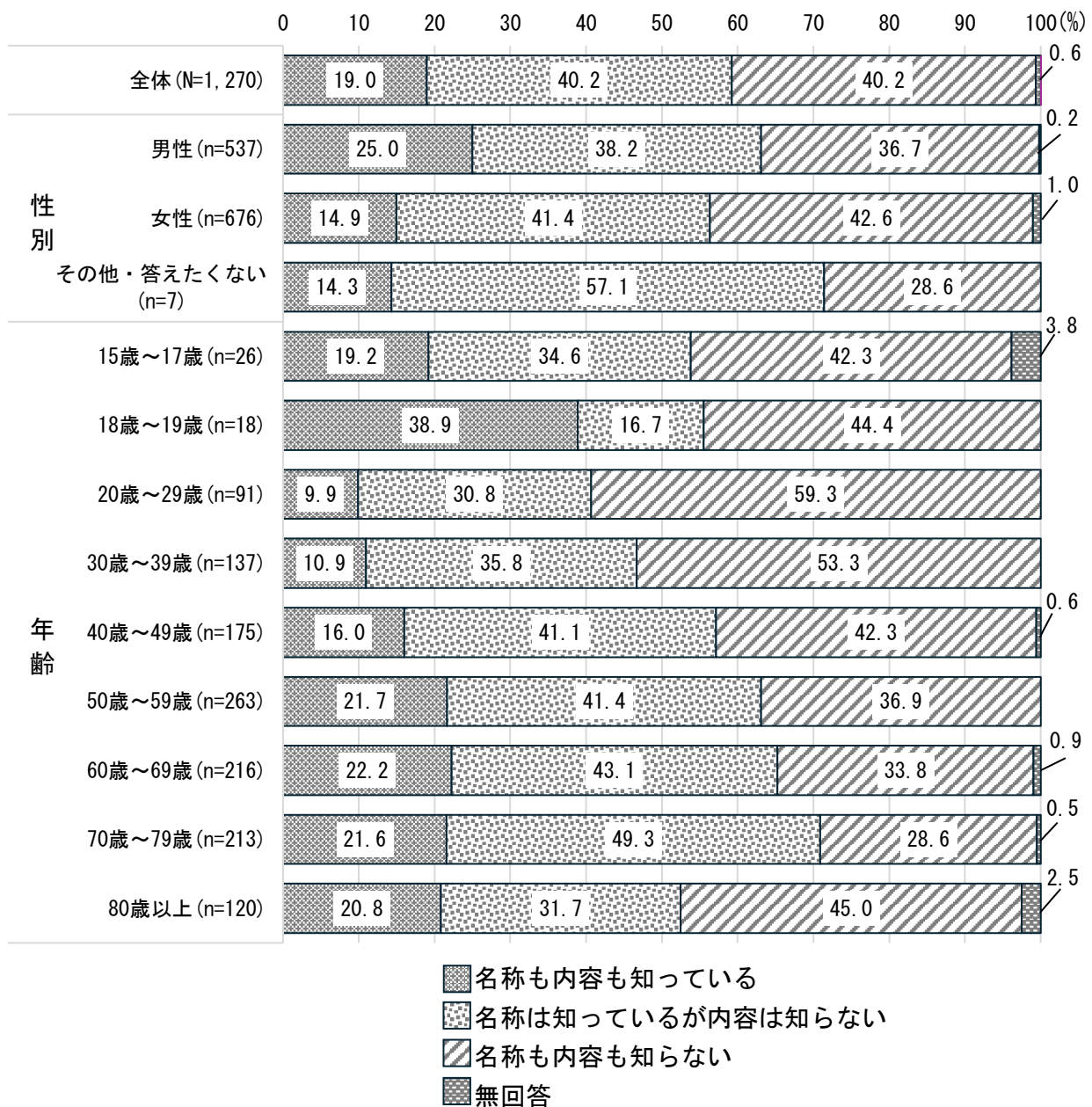
図Ⅱ—8—2 障害者差別解消法の認知度 (性別・年齢別) [SA]



ヘイトスピーチ解消法の認知度について、性別で見ると、「名称も内容も知っている」は、女性より男性が、およそ10ポイント高い。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、18歳～19歳で最も高い。「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度では、70歳代が最も高く、年齢が高い方が高い傾向にある。「名称も内容も知らない」は、20歳代で最も高い。

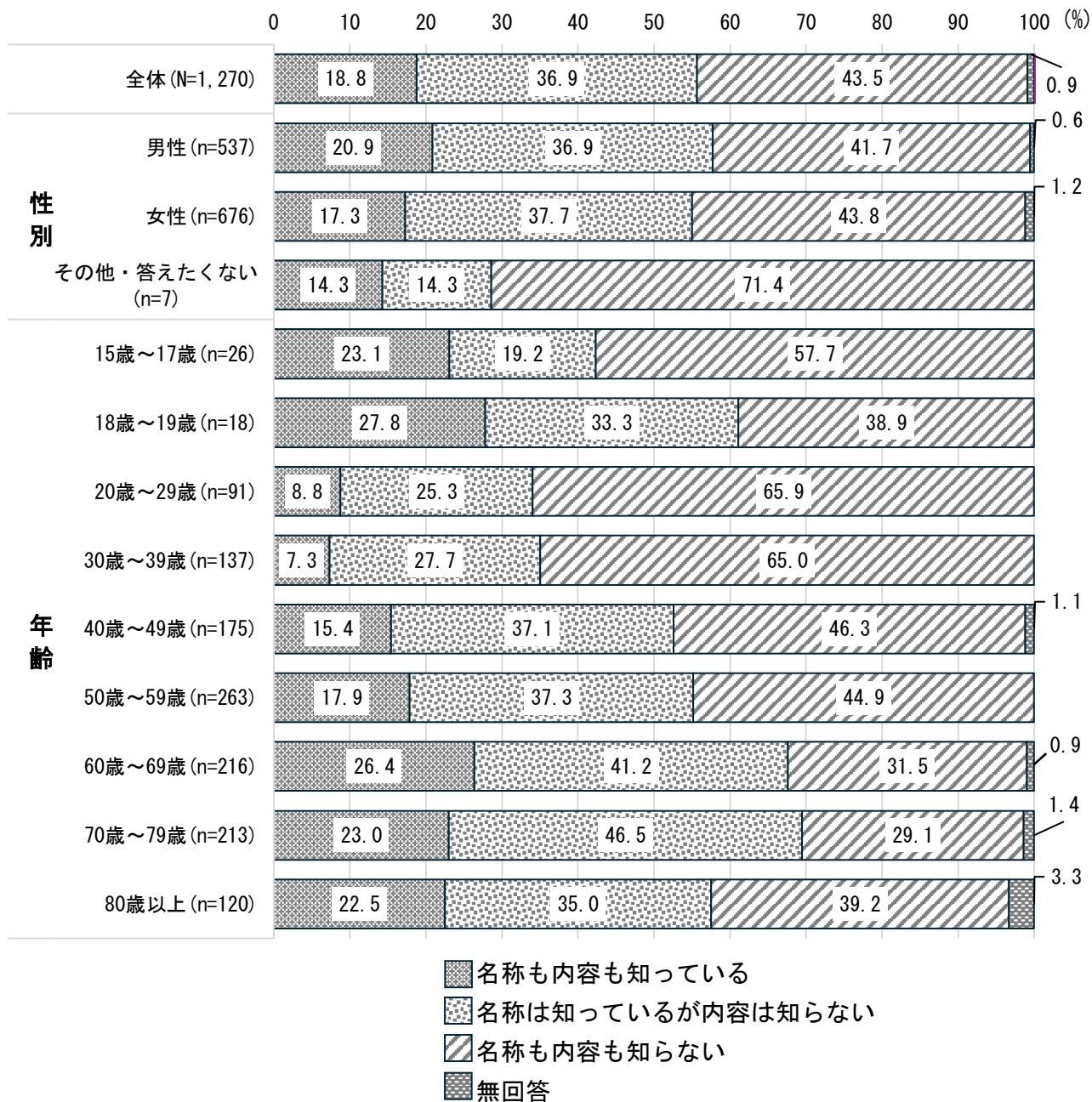
図Ⅱ—8—3 ヘイトスピーチ解消法の認知度 (性別・年齢別) {SA}



部落差別解消推進法の認知度について、性別では大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、18歳～19歳で最も多い。「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度では、70歳代が最も多く、年齢が高いほうが高い傾向にある。「名称も内容も知らない」は、20歳代で最も多い。

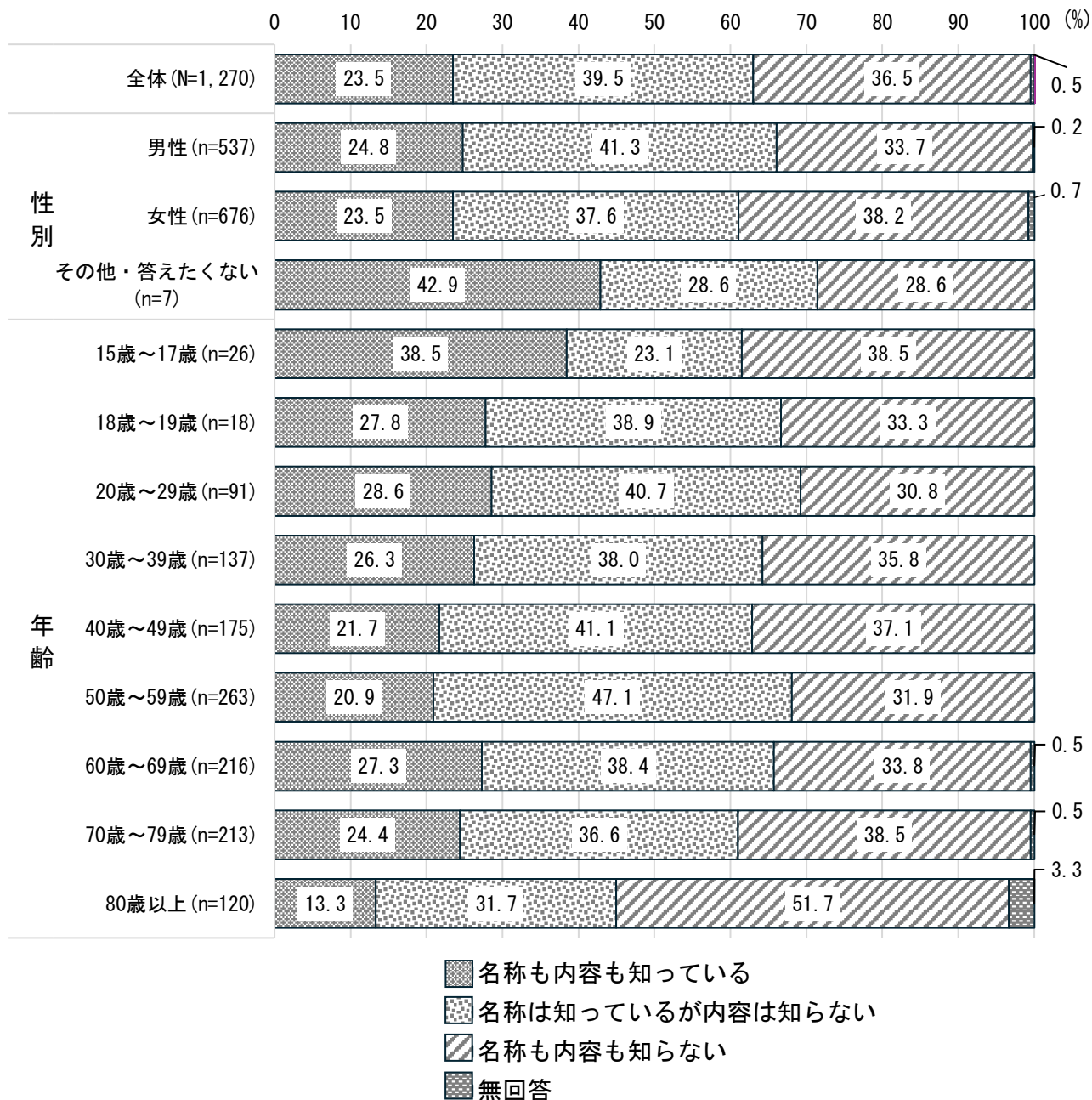
図Ⅱ—8—4 部落差別解消推進法の認知度（性別・年齢別）{SA}



LGBT 理解増進法の認知度について、性別では大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、15歳～17歳で最も多い。「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度では、20歳代が最も多く、80歳以上を除く世代で6割を超えている。

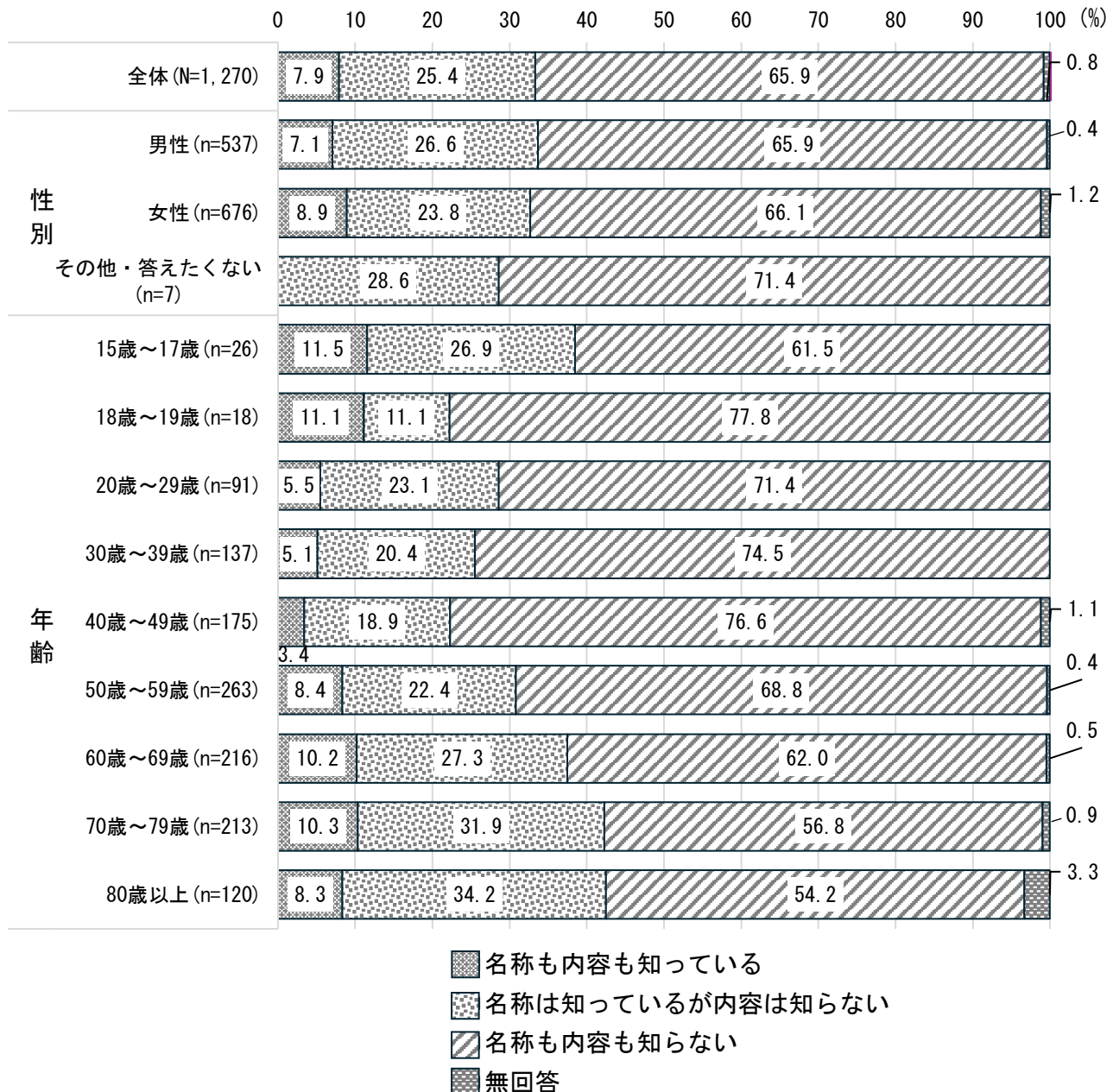
図Ⅱ—8—5 LGBT 理解増進法の認知度 (性別・年齢別) {SA}



認知症基本法の認知度について、性別では大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、全年齢層で1割前後と低い傾向にあり、15歳～69歳では6割から7割以上が「名称も内容も知らない」と回答している。

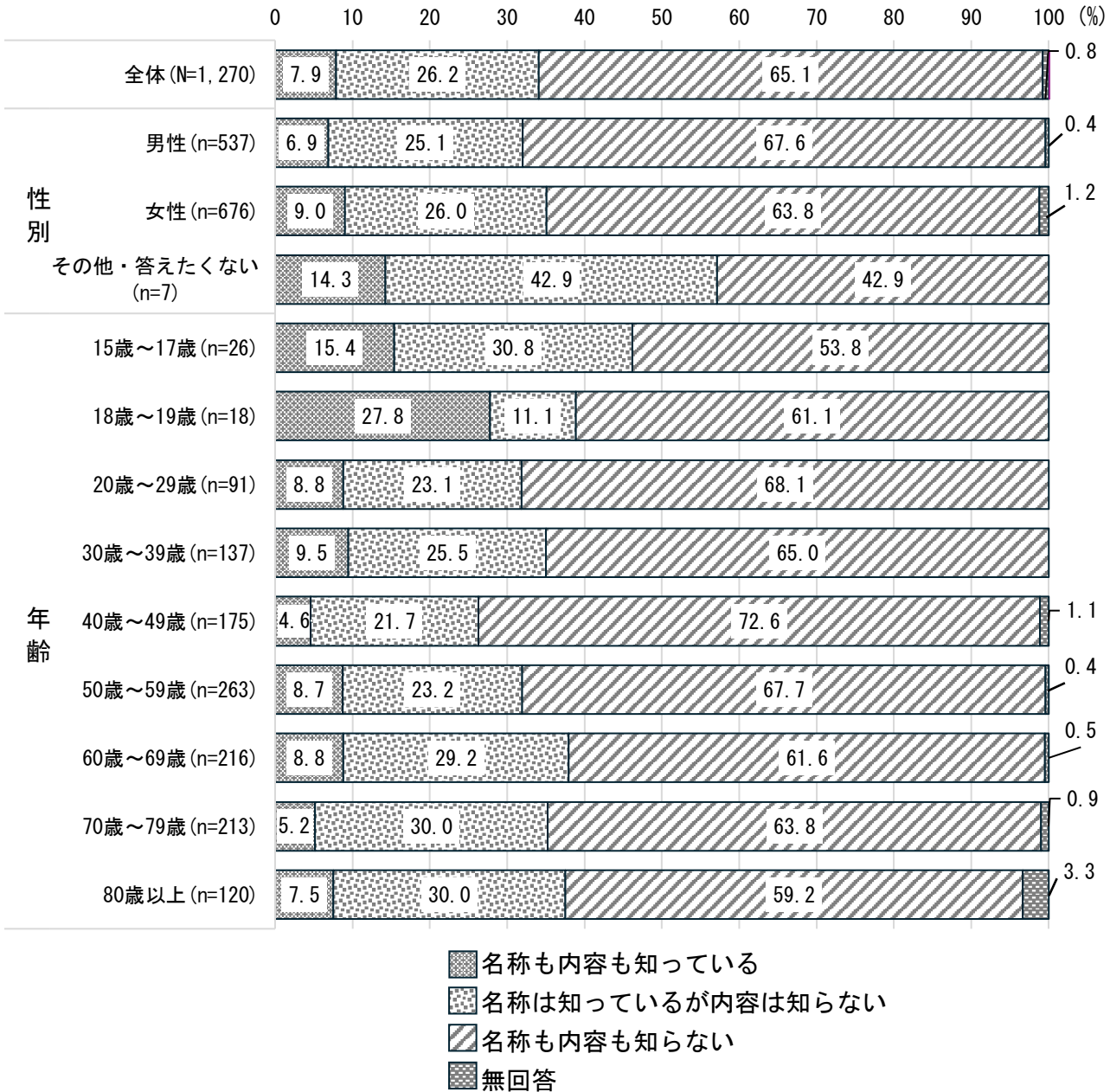
図Ⅱ—8—6 認知症基本法の認知度 (性別・年齢別) [SA]



女性支援新法の認知度について、性別では大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、18歳～19歳で最も多い。「名称も内容も知っている」に「名称は知っているが内容は知らない」を加えた認知度では、15歳～17歳が最も多く、その他の年齢層では3割程度である。「名称も内容も知らない」は、40歳代で最も多い。

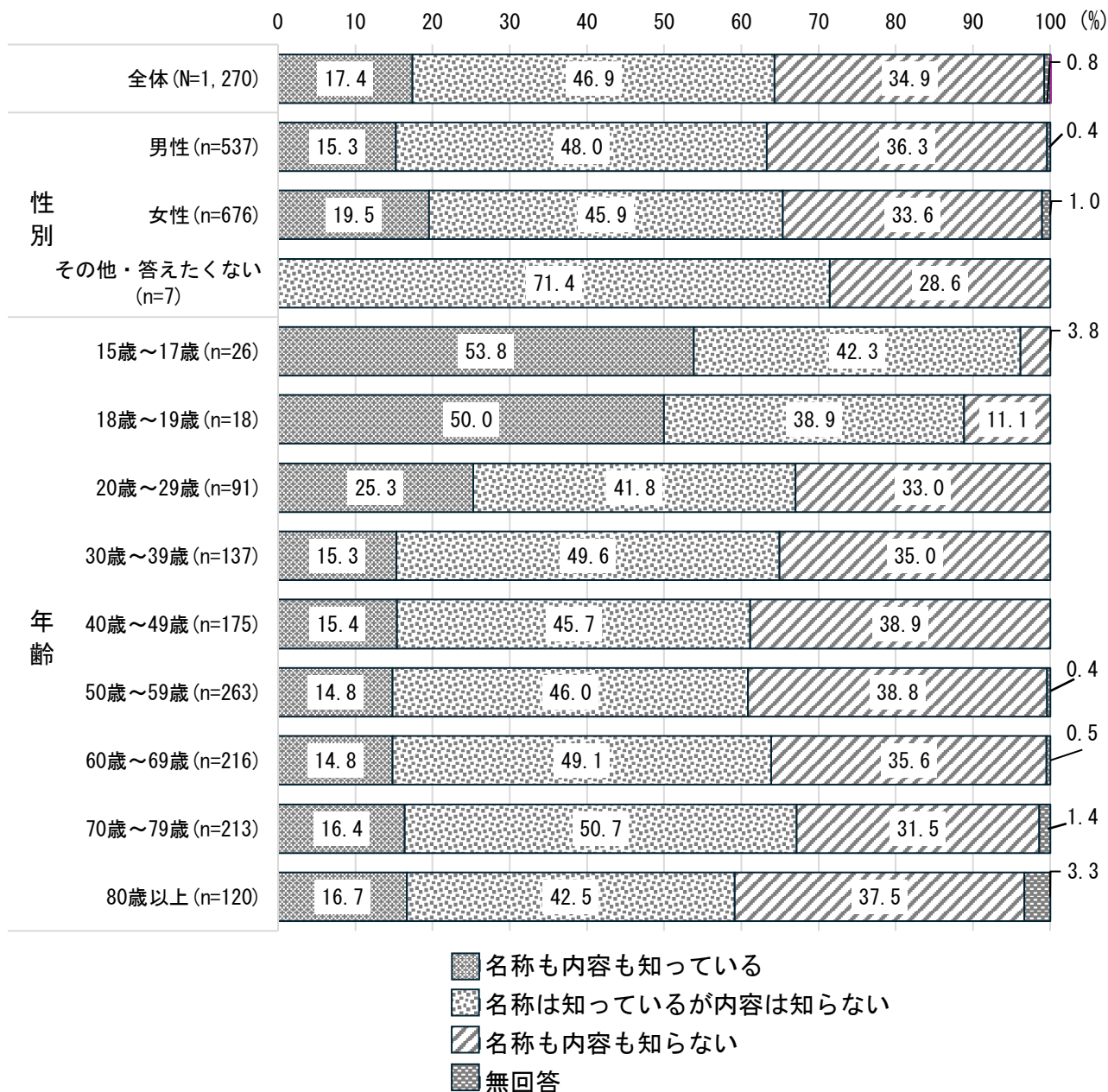
図Ⅱ—8—7 女性支援新法の認知度 (性別・年齢別) [SA]



こども基本法の認知度について、性別では大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は、15歳～19歳で5割以上であった。また、「名称も内容も知っている」に、「名称は知っているが内容は知らない」を加えると、15歳～17歳では9割と若年層の認知度は高いことが伺える。

図Ⅱ—8—8 こども基本法の認知度 (性別・年齢別) [SA]

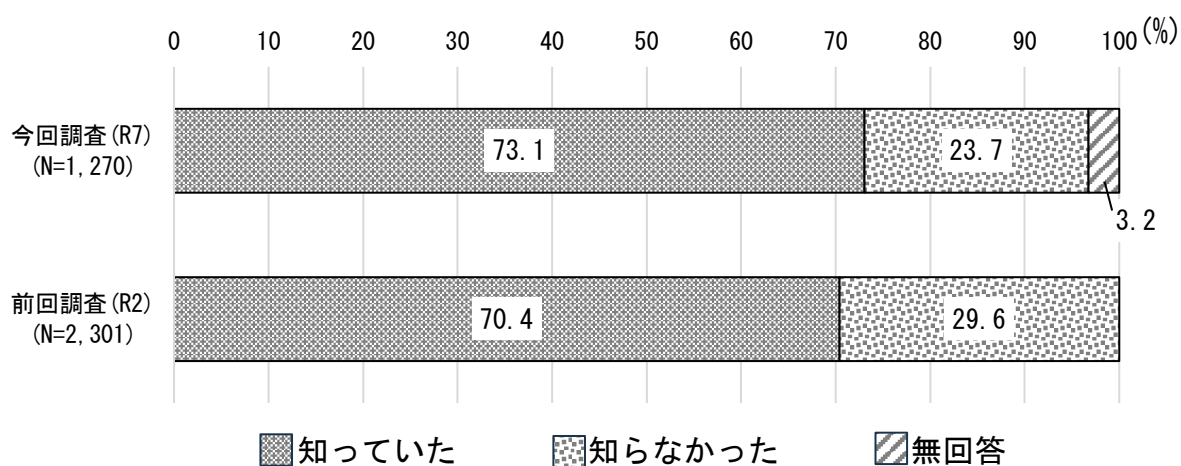


9 同和地区や同和問題についての認知【問9】

日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っているかを尋ねたところ、「知っていた」が73.1%、「知らなかった」が23.7%となっている。

前回調査と比較すると、回答選択肢が前回の「知っている」から「知っていた」に変更しているが、およそ3ポイント増加している。前回の「知らない」の選択肢は、今回は「知らなかった」としているが、およそ6ポイント減少している。

図Ⅱ—9—1 同和地区や同和問題についての認知 [SA]

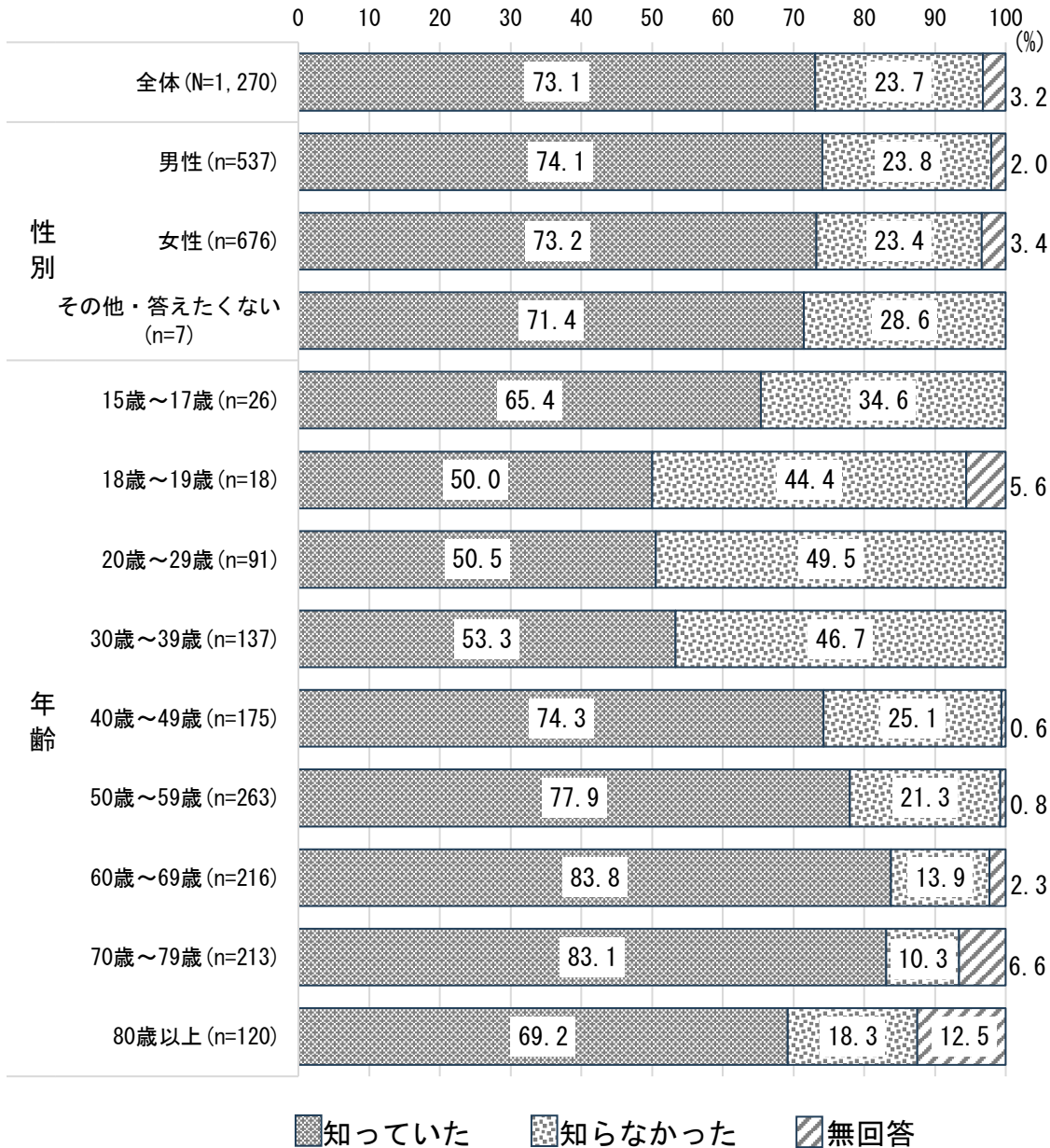


※前回調査では「知っている」及び「知らない」

性別で見ると、大きな傾向の差は見られない。

年代別で見ると、30歳代までと40歳代以上では、「知っていた」の割合がおよそ20ポイント違う。

図Ⅱ—9—2 同和地区や同和問題についての認知（性別・年齢別）[SA]

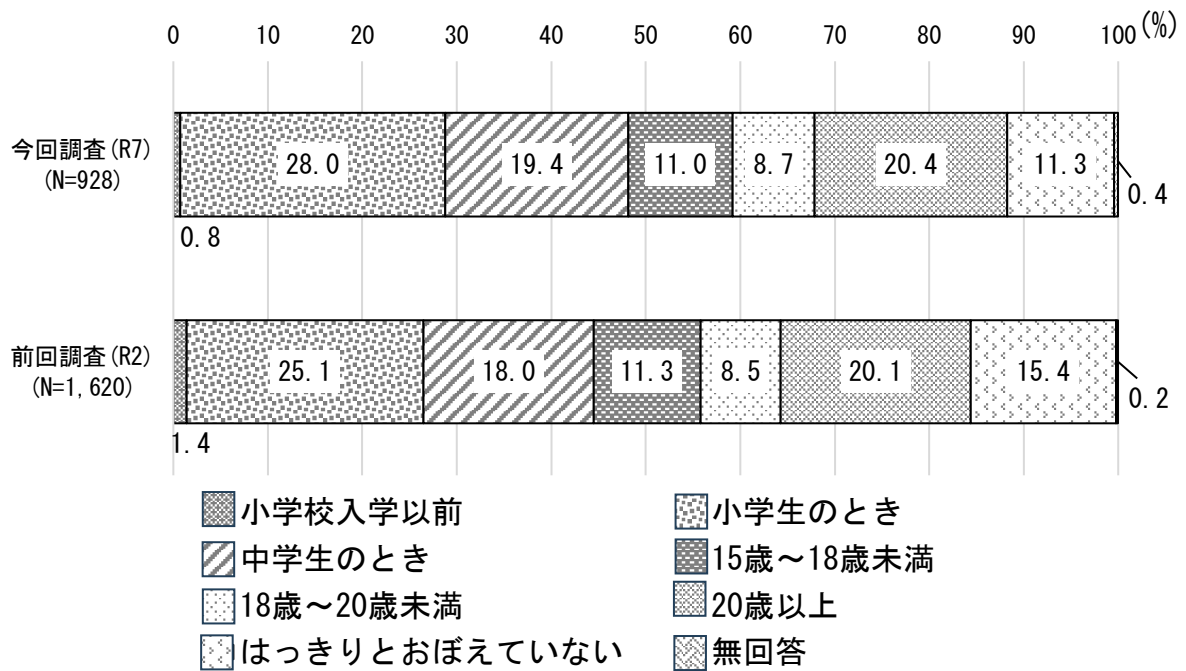


10 同和地区や同和問題についての認知時期【問 10】

同和地区や同和問題について「知っていた」と回答した人に対し、初めて知ったのはいつ頃かを尋ねたところ、「小学生のとき」が28.0%で最も多く、次いで「20歳以上」が20.4%、「中学生のとき」が19.4%と続いている。

前回調査と大きな傾向の差は見られない。

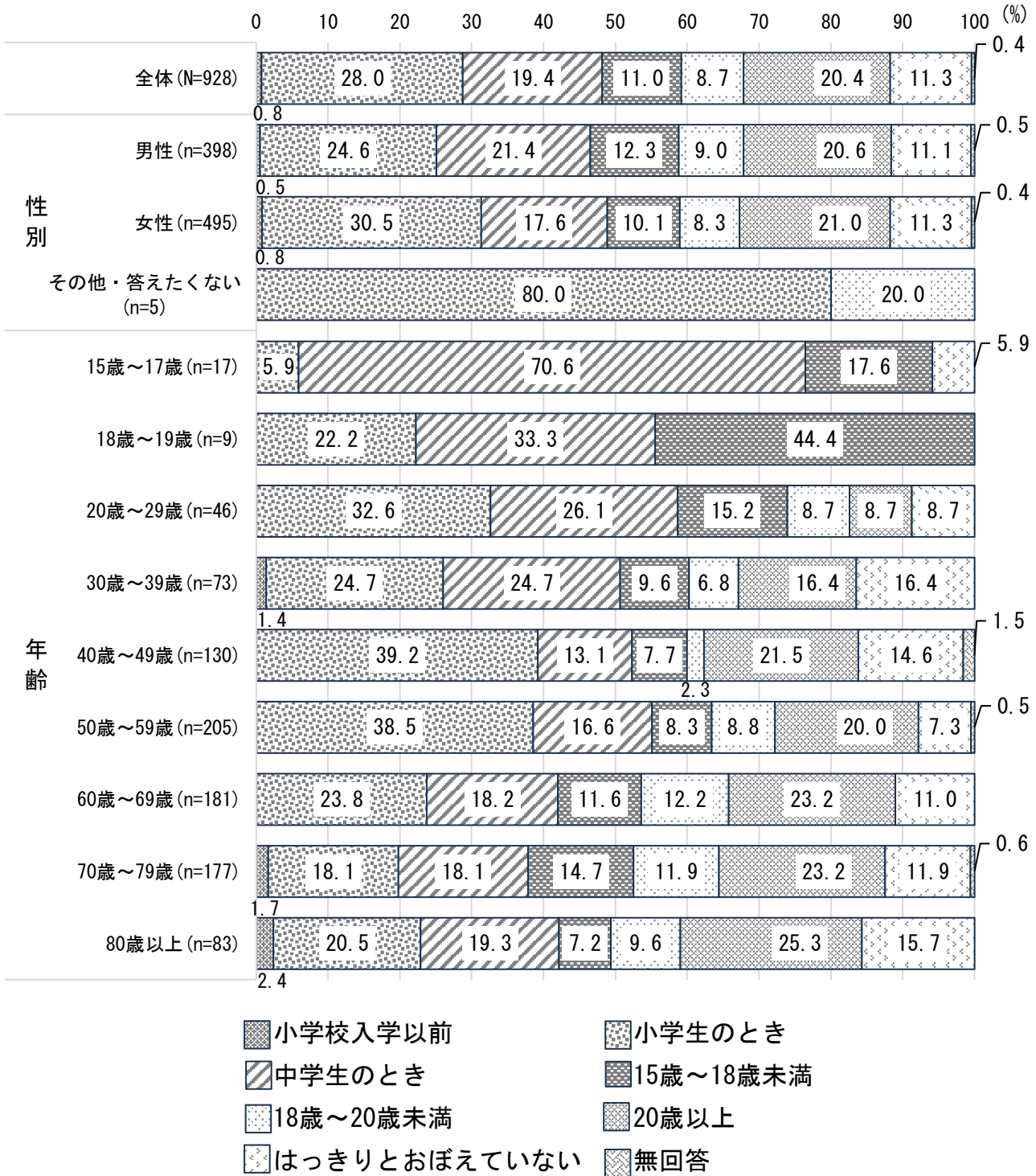
図Ⅱ—10—1 同和地区や同和問題についての認知時期 [SA]



性別で見ると、女性は、最も多い「小学生のとき」が男性に比べ、およそ6ポイント多い。

年齢別で見ると、15歳～17歳では、「中学生のとき」が最も多い。18歳～59歳までの回答者の約半数は中学生のときまでに認知をしているが、60歳以上の回答者の認知時期は分散している。

図Ⅱ—10—2 同和地区や同和问题についての認知時期（性別・年齢別）[SA]

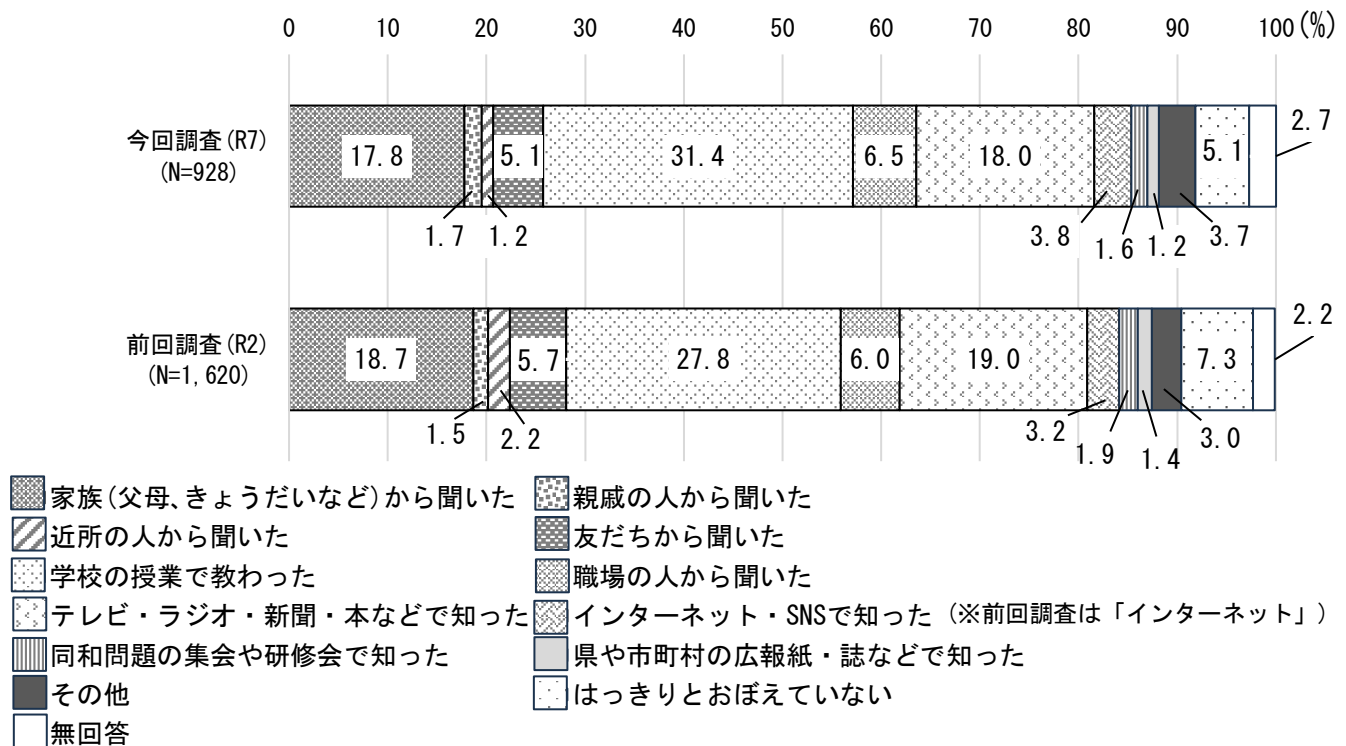


11 同和地区や同和問題について知ったきっかけ【問 11】

同和地区や同和問題について「知っていた」と回答した人に対し、初めて知ったきっかけを尋ねたところ、「学校の授業で教わった」が31.4%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が18.0%、「家族（父母、きょうだいなど）から聞いた」が17.8%と続いている。

前回調査に比べ、「学校の授業で教わった」は、およそ4ポイント増加している。

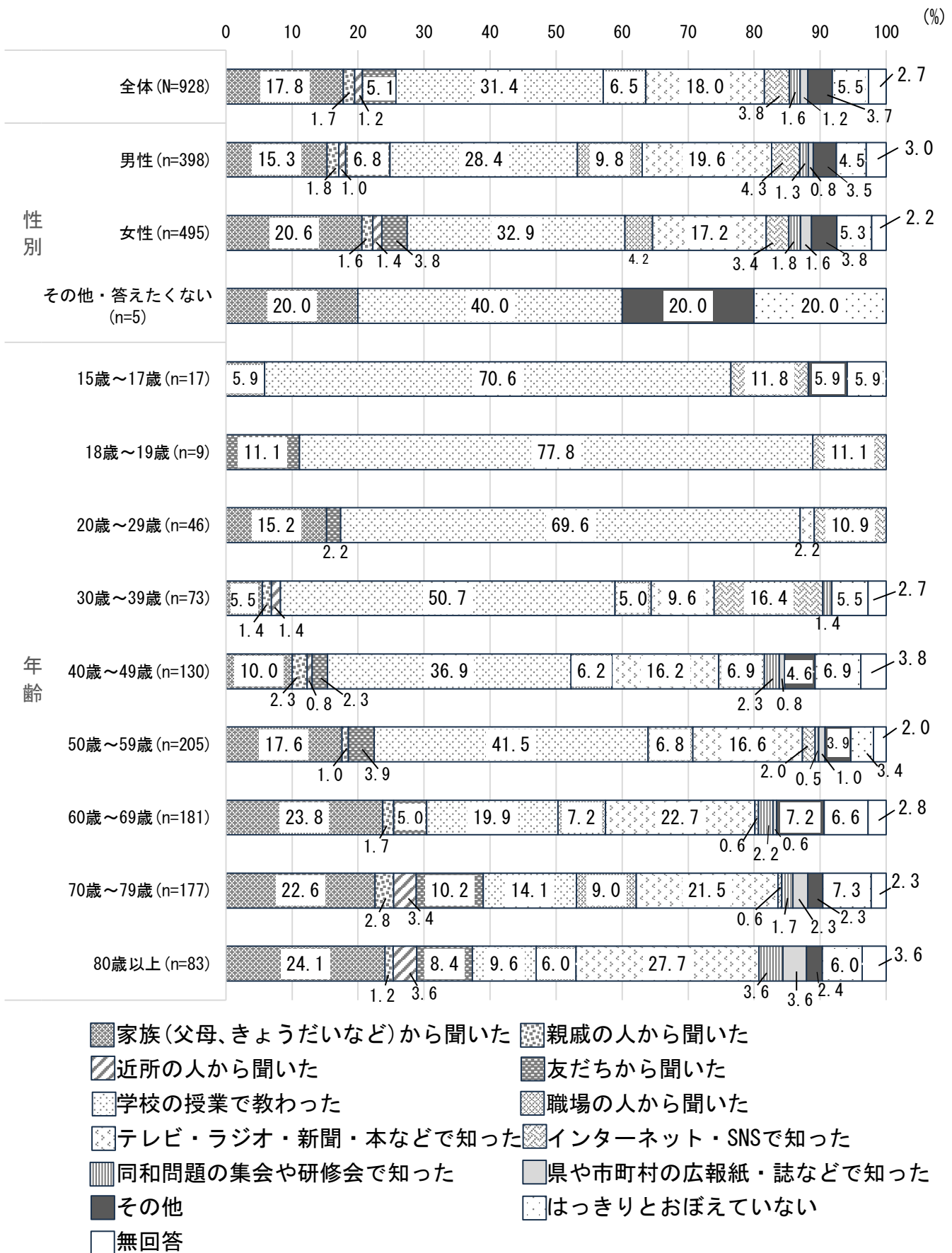
図Ⅱ—11—1 同和地区や同和問題について知ったきっかけ [SA]



性別で見ると、「家族（父母、きょうだいなど）から聞いた」は男性より女性がおおよそ5ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「学校の授業で教わった」が20歳代以下では圧倒的に多く、年齢が高くなると少なくなる傾向にある。反対に、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合は、年齢が上がるにつれ多くなる傾向にある。

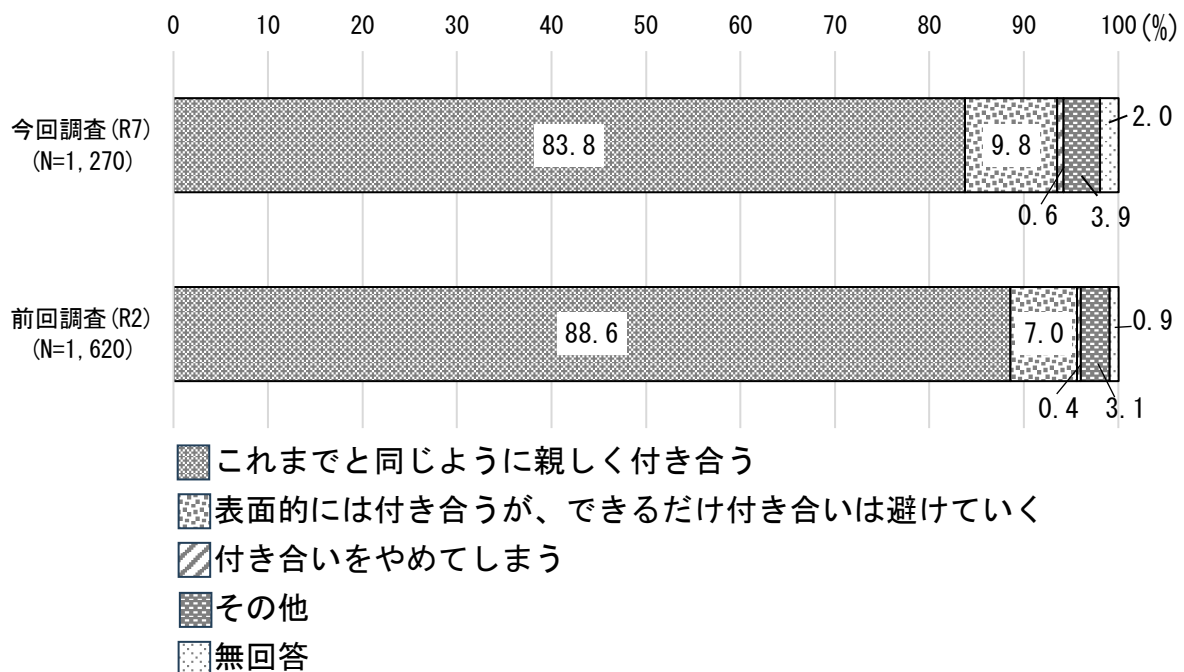
図Ⅱ—11—2 同和地区や同和問題について知ったきっかけ（性別・年齢別）[SA]



12 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応【問 12】

日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることが分かった場合、どうするかを尋ねたところ、「これまでと同じように親しく付き合う」が83.8%と最も多くなっている。次いで「表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく」が9.8%となっている。

図Ⅱ—12—1 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応 [SA]

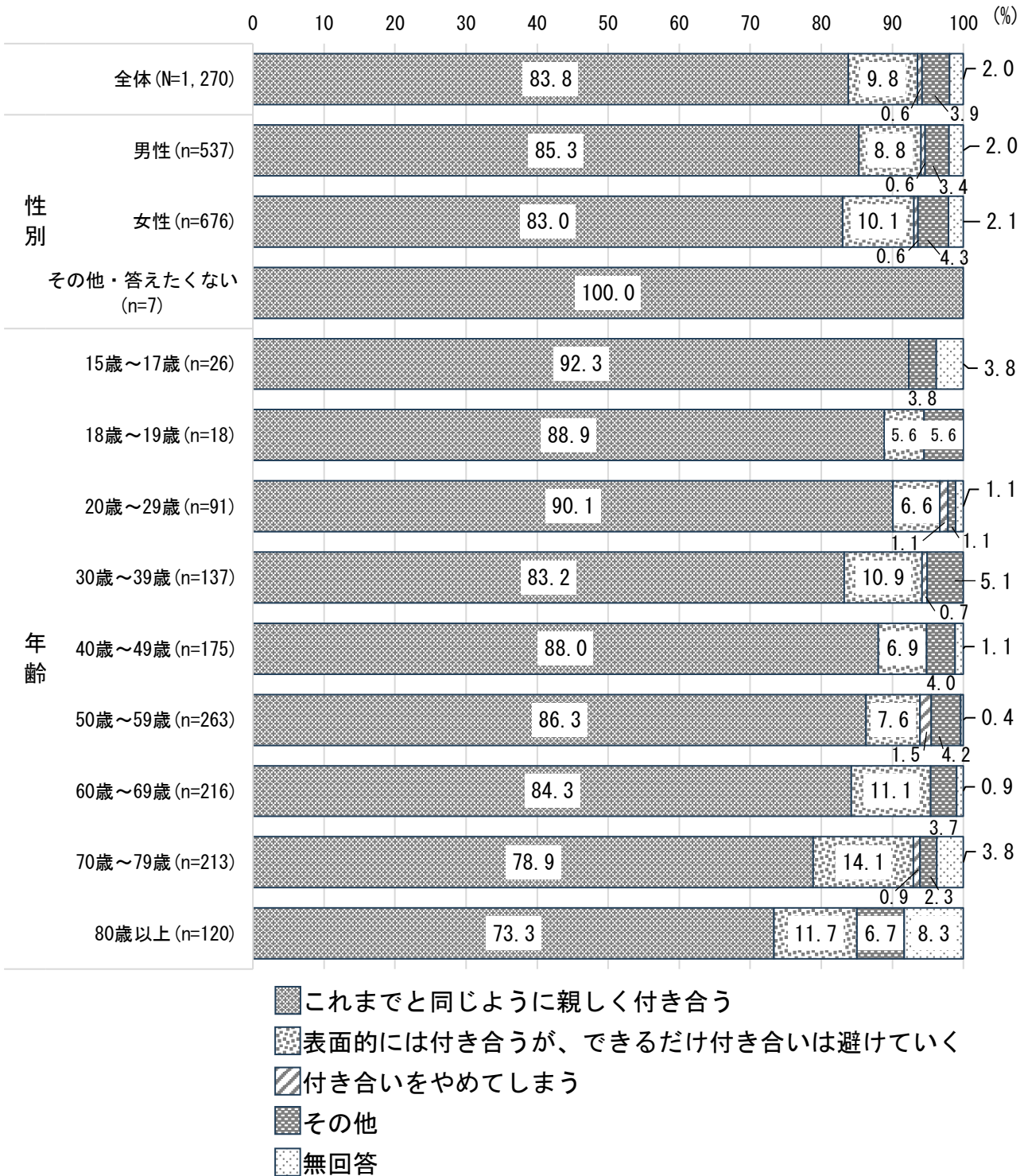


※ 前回は「同和問題について知っている」と回答した人のみ回答

性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、年齢層が高いほど、「これまでとおなじように親しく付き合う」の回答が少なくなる傾向にある。

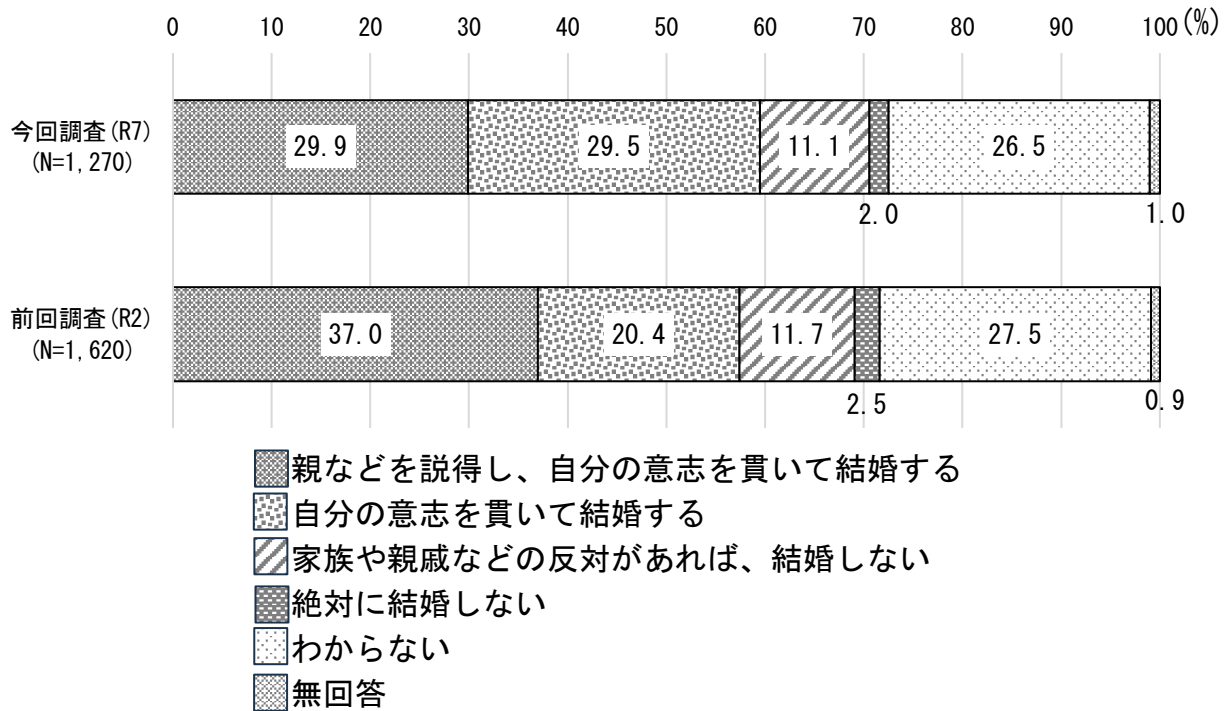
図Ⅱ—12—2 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応（性別・年齢別）[SA]



13 同和地区出身の人との結婚についての対応【問13】

自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたらどうするかを尋ねたところ、「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する」が29.9%と最も多く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」が29.5%と続く。「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」は11.1%であった。また、「わからない」は26.5%であった。

図Ⅱ—13—1 同和地区出身の人との結婚についての対応【自分】[SA]

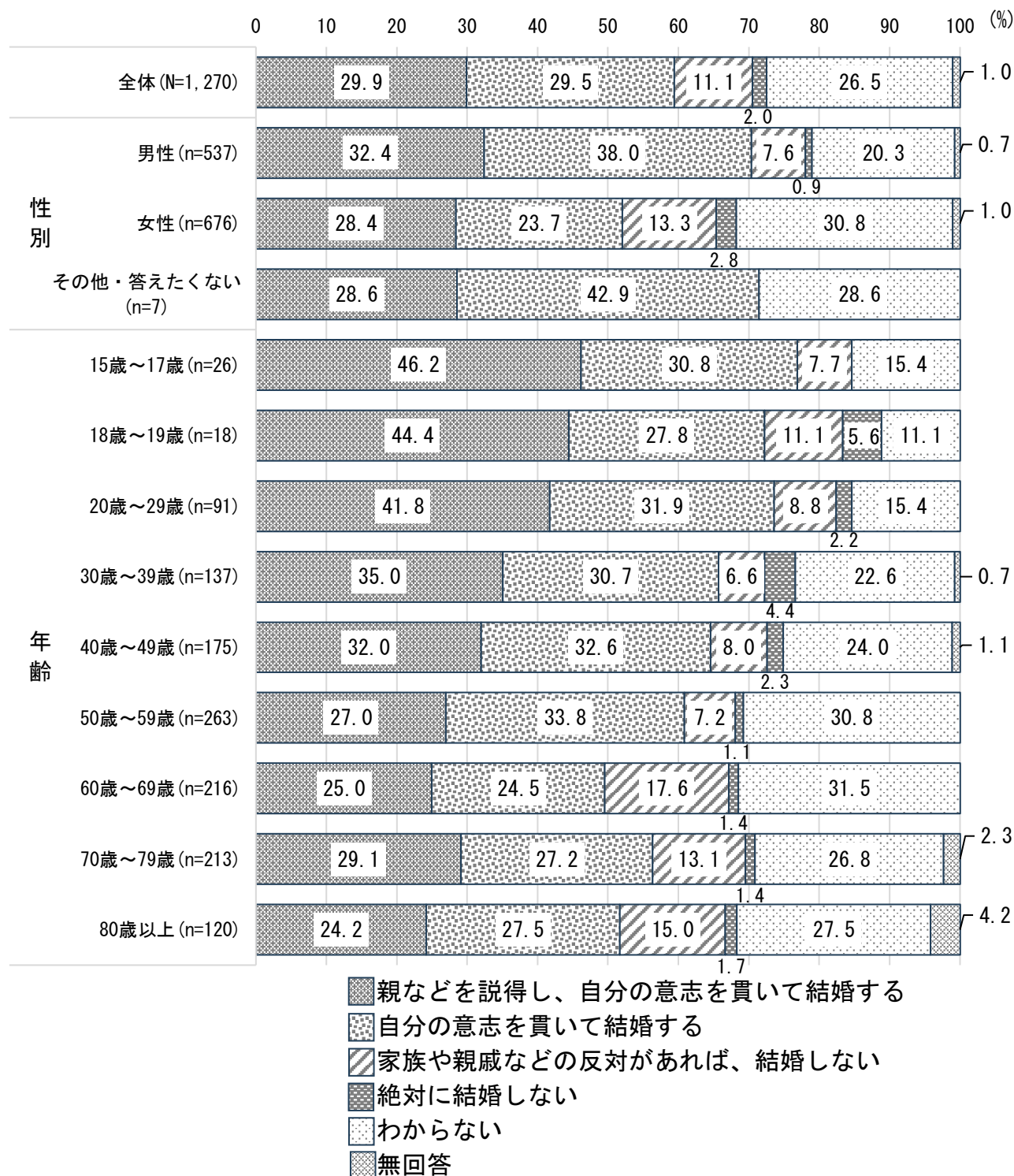


※ 前は「同和問題について知っている」と回答した人のみ回答

性別で見ると、「自分の意志を貫いて結婚する」は女性より男性がおおよそ14ポイント高くなっている。また、「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」は男性より女性がおおよそ6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「結婚する（「自分の意志を貫いて結婚する」及び「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する）」の回答が全体ではおおよそ6割に対して、29歳以下では7割を超え、若年層ほど多い傾向にある。

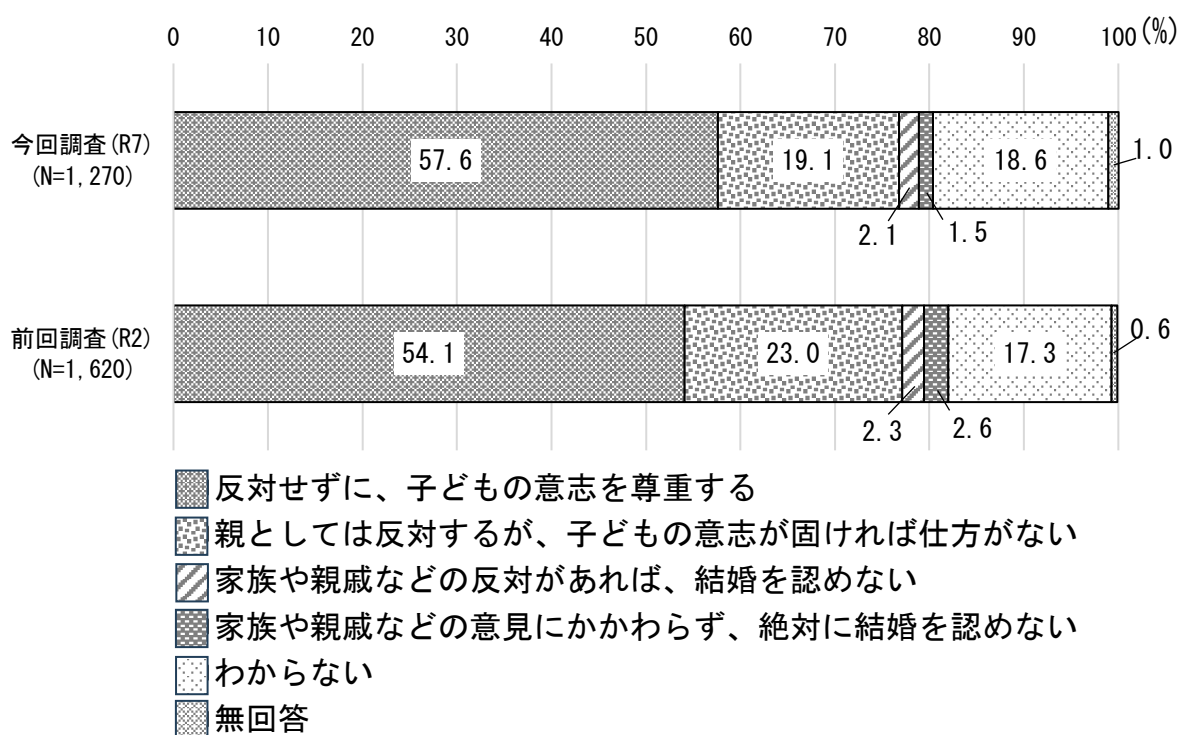
図Ⅱ—13—2 同和地区出身の人との結婚についての対応【自分】（性別・年齢別）[SA]



次に、自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、どうするかを尋ねたところ、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」が57.6%と最も多く、次いで「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない」が19.1%と続いている。また、「わからない」は18.6%だった。

なお、【問13-1】で自分の結婚について「結婚する（「自分の意志を貫いて結婚する」及び「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する）」が59.4%だったことに対し、子どもの結婚については「子どもの結婚を認める（「反対せずに、子どもの意志を尊重する」及び「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない）」が76.7%となっており、およそ17ポイント高くなっている。

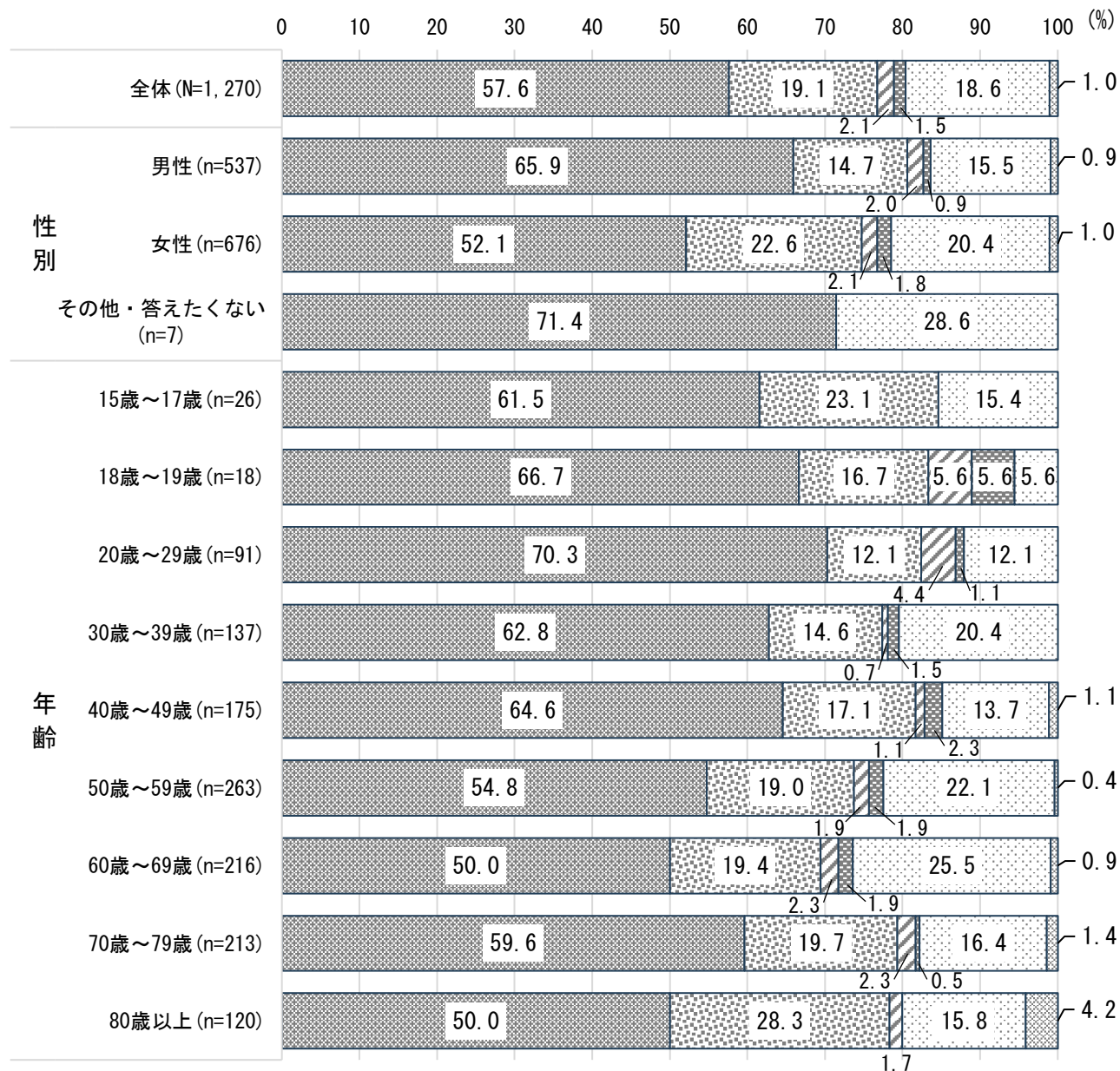
図Ⅱ—13—3 同和地区出身の人との結婚についての対応【子ども】[SA]



性別で見ると、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」は女性より男性がおおよそ14ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～49歳では「反対せずに、子どもの意志を尊重する」の回答が6割を超えている。

図Ⅱ—13—4 同和地区出身の人との結婚についての対応【子ども】（性別・年齢別） [SA]



- 反対せずに、子どもの意志を尊重する
- 親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない
- 家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない
- 家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない
- わからない
- 無回答

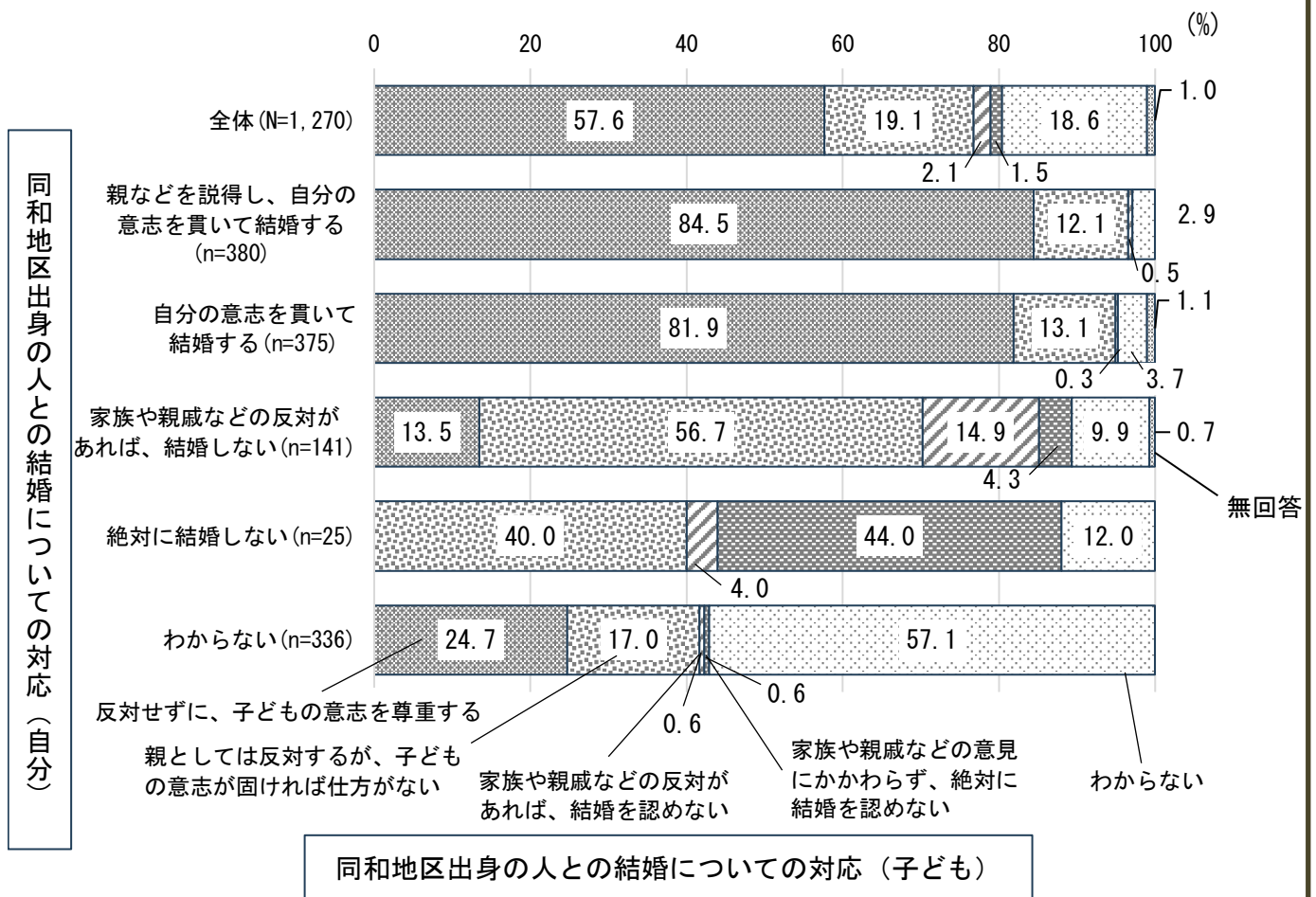
設問間クロス集計 5

同和地区出身の人との結婚について、自分の場合と子どもの場合との対応に違いがあるかを見るため、「自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応」の設問【問 13-2】の回答について、「自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたときの対応」の設問【問 13-1】の回答別に集計した。

自分の結婚について「親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する」、「自分の意志を貫いて結婚する」と回答した人の中で、子どもの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人はそれぞれ 84.5%、81.9%で、全体（57.6%）より、20ポイント以上高くなっている。一方で自分は「絶対に結婚しない」と回答した人の中で、子どもについて「絶対に結婚を認めない」と回答した人は 44.0%で、全体（1.5%）より、およそ 43ポイント高い。

また、自分の結婚について「家族や親戚などの反対があれば、結婚しない」と回答した人の中で、子どもの結婚については、「反対せずに、子どもの意志を尊重する」または「親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない」と回答した人の合計は、70.2%（13.5%+56.7%）であり、自分は結婚しないとする人でも子どもの結婚は認める人の割合がおおよそ 7割となっている。

図クロス 5 同和地区出身の人との結婚についての対応（自分）【問 13-1】 × 同和地区出身の人との結婚についての対応（子ども）【問 13-2】



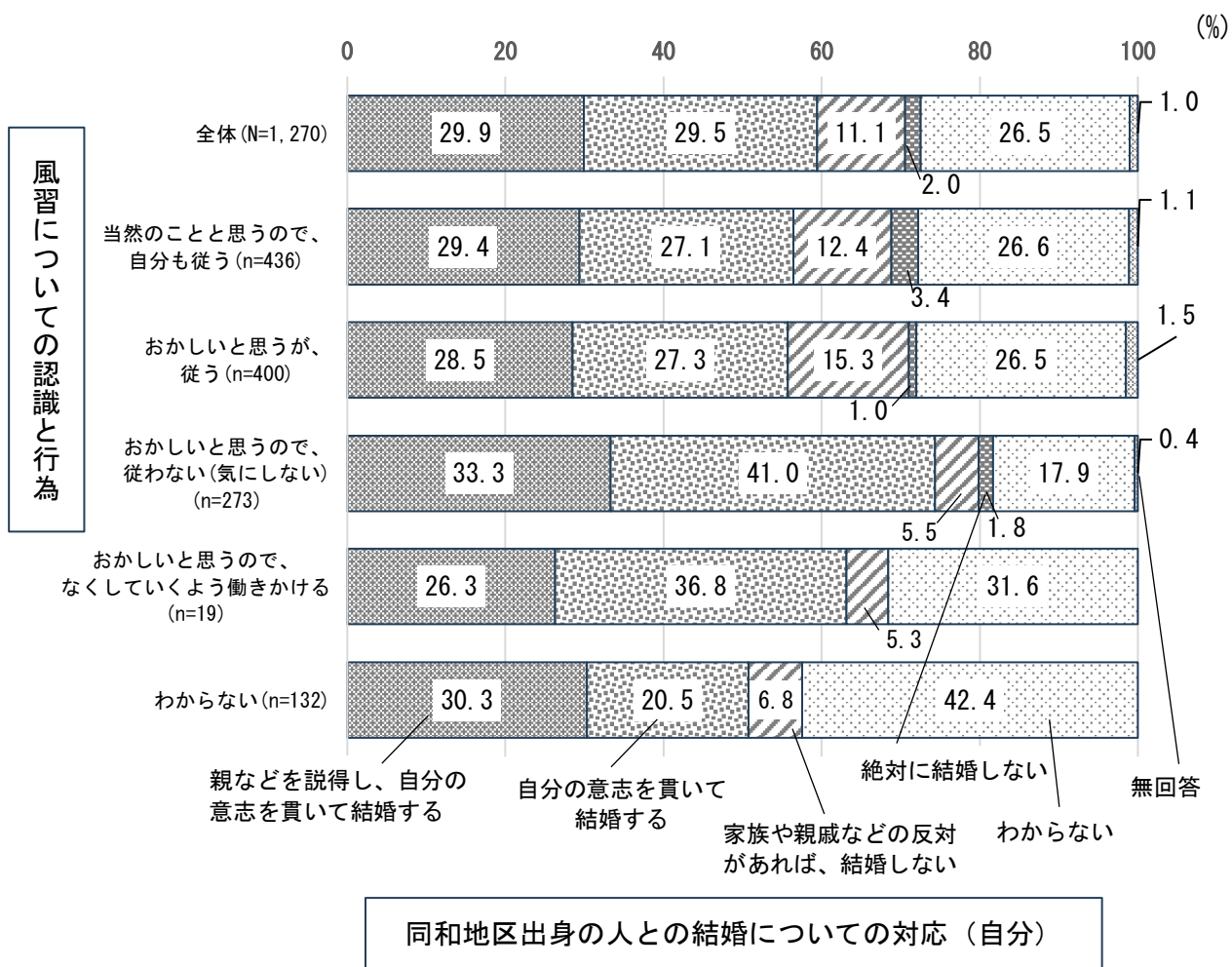
設問間クロス集計 6

風習についての認識・行為と、同和地区出身の人との結婚についての対応との関係を見るため、「自分が同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたときの対応」の設問【問13-1】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問6】の回答別に集計した。

風習について「おかしいと思うので、従わない(気にしない)」と回答した人の中で、同和地区出身の人との結婚について「自分の意志を貫いて結婚する」と回答した人は41.0%で、全体(29.5%)よりおよそ11ポイント高くなっている。

一方で、風習について「おかしいと思うので、なくしていくように働きかける」と回答した人の中で、「親などを説得し、自分の意思を貫いて結婚する」と回答した人は26.3%で全体(29.9%)よりもわずかに低かった。

図クロス6 風習についての認識と行為【問6】×
同和地区出身の人との結婚についての対応(自分)【問13-1】



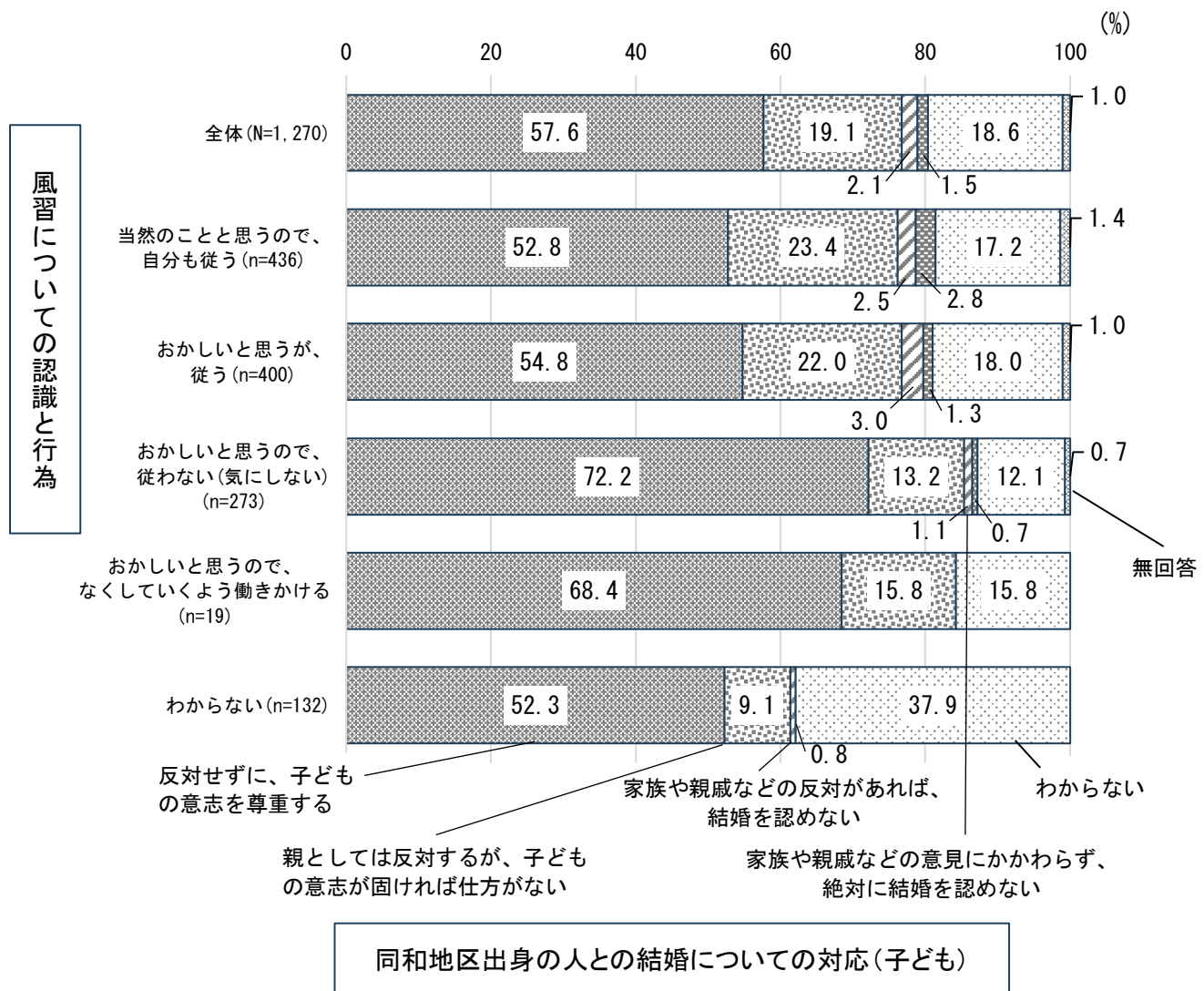
設問間クロス集計 7

設問間クロス集計6と同様に、風習についての認識・行為と、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚についての対応との関係を見るため、「自分の子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応」の設問【問13-2】の回答について、「風習についての認識と行為」についての設問【問6】の回答別に集計した。

風習について「おかしいと思うので、従わない(気にしない)」と回答した人の中で、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人は72.2%で、全体(57.6%)よりおよそ15ポイント高くなっている。

また、風習について「おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける」と回答した人の中で、同和地区出身の人と自分の子どもとの結婚について「反対せずに、子どもの意志を尊重する」と回答した人は68.4%で、全体(57.6%)よりおよそ11ポイント高くなっている。

図クロス7 風習についての認識と行為【問6】 ×
同和地区出身の人との結婚についての対応(子ども)【問13-2】

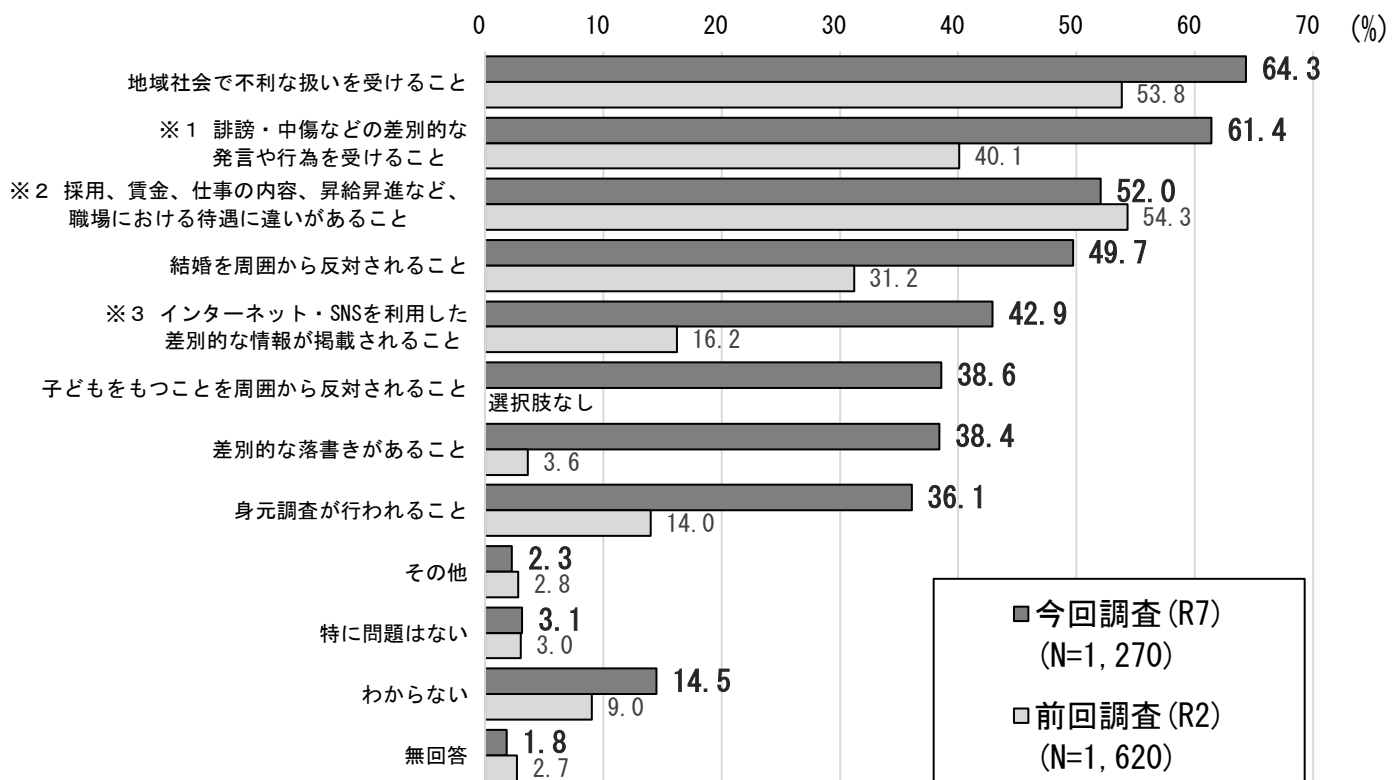


14 同和問題で人権上問題があると思うこと【問 14】

同和問題で、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「地域社会で不利な扱いを受けること」が64.3%と最も多く、次いで「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が61.4%、「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」が52.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネット・SNSを利用した差別的な情報が掲載されること」は、およそ27ポイント、「差別的な落書きがあること」は、およそ35ポイント増加している。

図Ⅱ—14—1 同和問題で人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「就職・職場において不利な扱いを受けること」

※3 前回調査では「インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること」

性別で見ると、「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」は男性より女性がおよそ4ポイント高くなっている。

年齢別では、15歳～29歳、40歳代～50歳代、70歳代では「地域社会で不利な扱いを受けること」、30歳代、60歳代では「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が最も多い。80歳以上では、「地域社会で不利な扱いを受けること」と「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が同率で多かった。

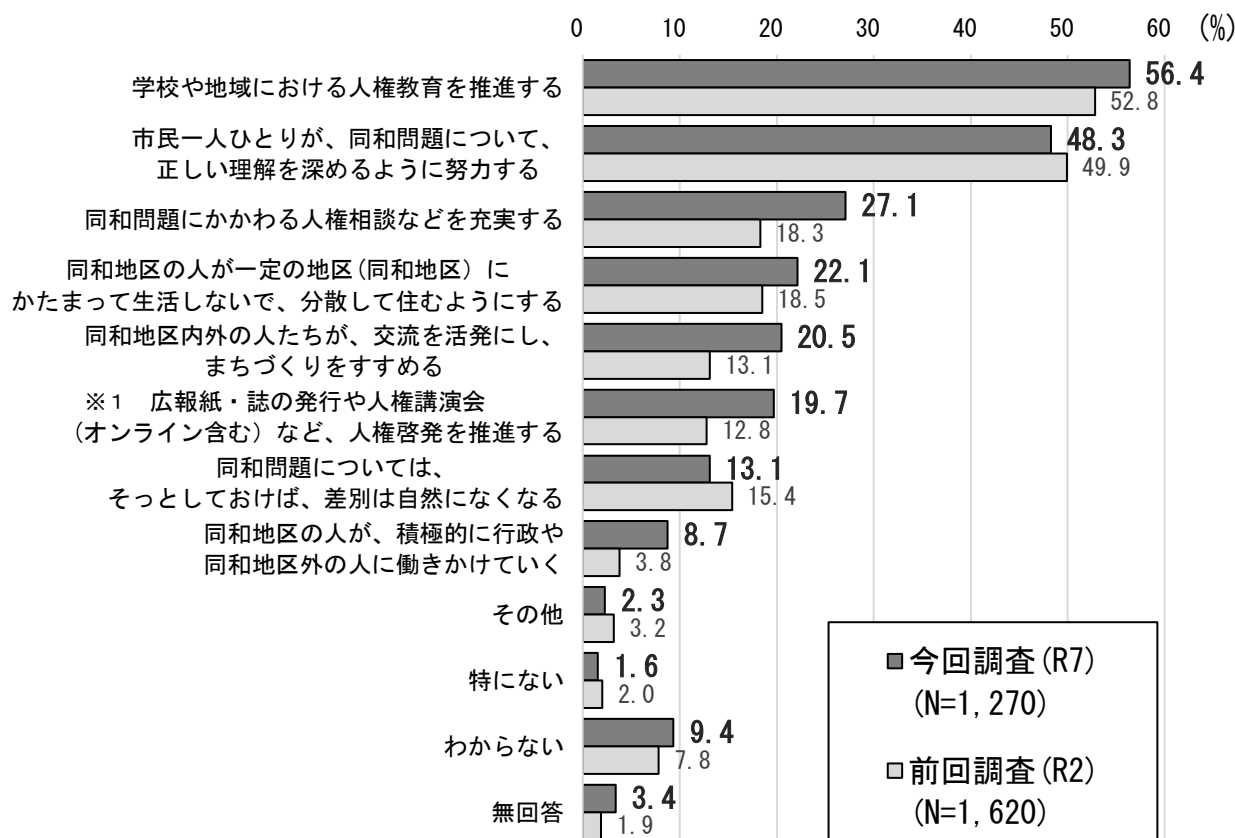
表Ⅱ—14—1 同和問題で人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

		結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	地域社会で不利な扱いを受けること	身元調査が行われること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	差別的な落書きがあること	インターネット・SNSを利用した差別的な情報が掲載されること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 (N=1,270)		49.7%	38.6%	52.0%	64.3%	36.1%	61.4%	38.4%	42.9%	2.3%	3.1%	14.5%	1.8%
性別	男性 (n=537)	49.3%	38.5%	50.3%	62.9%	36.7%	60.5%	38.4%	41.5%	2.4%	5.2%	14.0%	1.3%
	女性 (n=676)	50.9%	39.2%	54.4%	66.0%	36.1%	62.6%	38.6%	44.2%	2.1%	1.8%	14.3%	1.8%
	その他 (n=7)	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	57.1%	71.4%	71.4%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	46.2%	38.5%	61.5%	69.2%	30.8%	53.8%	46.2%	61.5%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	33.3%	55.6%	61.1%	22.2%	44.4%	38.9%	38.9%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	59.3%	53.8%	65.9%	76.9%	37.4%	69.2%	49.5%	58.2%	1.1%	0.0%	8.8%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	54.0%	44.5%	55.5%	58.4%	29.2%	60.6%	42.3%	43.1%	3.6%	5.1%	13.9%	0.0%
	40歳～49歳 (n=175)	52.6%	43.4%	58.9%	72.6%	40.6%	66.3%	50.9%	50.3%	2.9%	4.0%	12.6%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	51.7%	39.9%	50.6%	65.4%	36.9%	59.7%	36.5%	41.1%	3.0%	1.9%	16.0%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	44.0%	39.4%	51.9%	64.4%	36.6%	65.7%	36.1%	42.1%	0.9%	2.3%	17.1%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	51.2%	33.3%	47.9%	65.3%	40.8%	63.8%	32.9%	40.4%	2.3%	3.3%	7.5%	3.3%
80歳以上 (n=120)	41.7%	20.8%	39.2%	45.0%	28.3%	45.0%	25.0%	29.2%	1.7%	5.0%	26.7%	5.8%	

15 同和問題を解決するために必要なこと【問15】

同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「学校や地域における人権教育を推進する」が56.4%と最も多く、次いで「市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」が48.3%、「同和問題にかかわる人権相談などを充実する」が27.1%と続いている。

図Ⅱ—15—1 同和問題を解決するために必要なこと [MA]



※ 前回調査では「同和問題について知っている」と回答した人のみ回答

※1 前回調査では「広報紙・誌の発行や人権講演会など、人権啓発を推進する」

性別で見ると、「学校や地域における人権教育を推進する」は、男性より女性が5ポイント高くなっている。また、「同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる」は、女性より男性がおよそ5ポイント高くなっている。

年齢別では、大きな傾向の差はみられない。20歳代以上で「学校や地域における人権教育を推進する」が各年代で最も多く、15歳～19歳では、「学校や地域における人権教育を推進する」と「市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」が同率で多くなっている。

表Ⅱ—15—1 同和問題を解決するために必要なこと（性別・年齢別）[MA]

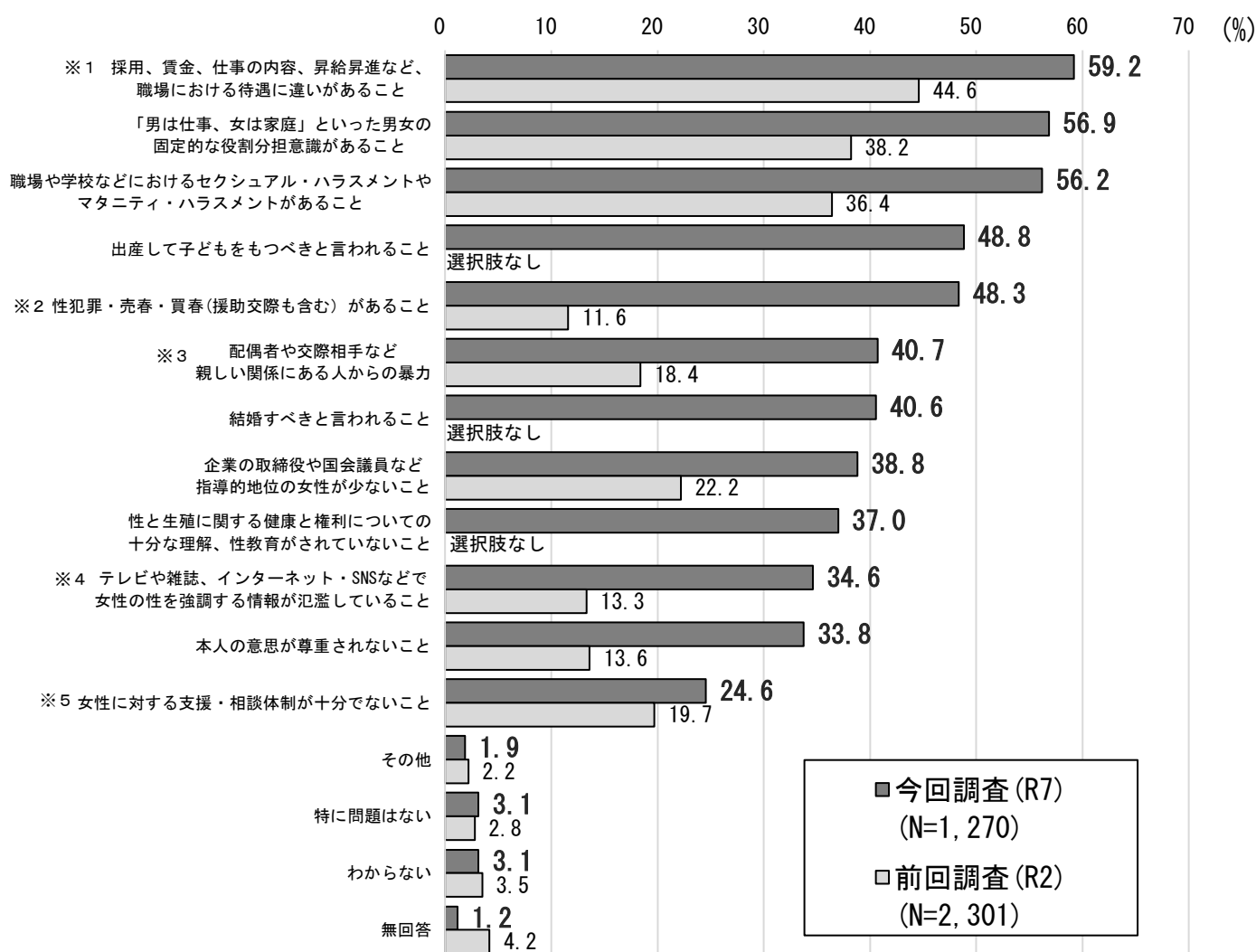
		同和問題にかかわる人権相談などを充実する	学校や地域における人権教育を推進する	広報紙・誌の発行や人権講演会(オンラインを含む)など、人権啓発を推進する	市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	同和地区の人が一定の地区(同和地区)にたまって生活しないで、分散して住むようにする	同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる	その他	特にない	わからない	無回答
全体	(N=1,270)	27.1%	56.4%	19.7%	48.3%	8.7%	20.5%	22.1%	13.1%	2.3%	1.6%	9.4%	3.4%
性別	男性 (n=537)	28.5%	54.0%	19.6%	46.4%	10.1%	21.2%	19.9%	16.0%	3.4%	2.6%	8.9%	2.2%
	女性 (n=676)	25.6%	59.0%	20.1%	50.6%	7.7%	20.3%	24.3%	11.1%	1.6%	0.9%	9.6%	3.6%
	その他 (n=7)	28.6%	57.1%	0.0%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	23.1%	61.5%	19.2%	61.5%	11.5%	19.2%	7.7%	11.5%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	44.4%	11.1%	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%
	20歳～29歳 (n=91)	22.0%	58.2%	17.6%	47.3%	11.0%	25.3%	23.1%	11.0%	1.1%	2.2%	13.2%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	24.8%	56.9%	15.3%	43.8%	8.0%	18.2%	22.6%	15.3%	5.8%	2.2%	10.9%	1.5%
	40歳～49歳 (n=175)	22.3%	54.9%	13.7%	42.9%	8.0%	19.4%	21.1%	16.0%	4.0%	2.9%	10.3%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	24.0%	54.8%	17.9%	50.6%	8.7%	20.5%	21.7%	9.9%	1.5%	1.5%	8.7%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	29.6%	62.0%	25.0%	49.5%	6.5%	18.5%	19.4%	11.6%	0.5%	0.5%	9.3%	3.7%
	70歳～79歳 (n=213)	35.7%	59.2%	24.9%	55.4%	9.4%	23.0%	25.8%	11.7%	1.9%	1.4%	6.1%	4.2%
80歳以上 (n=120)	30.0%	45.0%	20.0%	43.3%	10.0%	20.0%	25.0%	16.7%	1.7%	0.8%	10.8%	8.3%	

16 女性について人権上問題があると思うこと【問16】

女性に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」が59.2%と最も多く、次いで「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」が56.9%、「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントがあること」が56.2%と続いている。

今回調査で新たに設けた選択肢の1つである「出産して子どもをもつべきと言われること」は48.8%で、4番目に多い。

図Ⅱ—16—1 女性について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「採用条件、仕事の内容、昇給昇進など、職場における男女の待遇に違いがあること」

※2 前回調査では「売春・買春(援助交際も含む)があること」

※3 前回調査では「配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力(殴る、暴言、行動を監視するなど)を受けること」

※4 前回調査では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどにおいて女性の性を強調する情報が氾濫していること」

※5 前回調査では「女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分でないこと」

性別で見ると、「性犯罪・売春・買春(援助交際も含む)があること」、「性と生殖に関する健康と権利についての十分な理解、性教育がされていないこと」が男性より女性がおおよそ13ポイント高い。また、「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどにおいて女性の性を強調する情報が氾濫していること」、「出産して子どもをもつべきと言われること」はおおよそ12ポイント、「結婚すべきだと言われること」はおおよそ11ポイント、「採用、資金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」、「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること」はおおよそ10ポイント、「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」、「企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと」はおおよそ9ポイント、男性よりも女性の方が高く、男女間で関心の度合いに差があることがわかる。

年齢別で見ると、15歳～17歳と50歳代では「『男は仕事、女は家庭』といった男女の固定的な役割分担意識があること」の回答が最も多く、40歳代は「出産して子どもをもつべきと言われること」が最も多い。また、18歳～19歳と60歳以上では「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」、20歳代～30歳代では「職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること」の回答が、最も多くなっている。

表Ⅱ—16—1 女性について人権上問題があると思うこと[性別・年齢別] [MA]

		「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること	結婚すべきと言われること	出産して子どもをもつべきと言われること	本人の意思が尊重されないこと	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと	職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること	配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力
全体	(N=1,270)	56.9%	40.6%	48.8%	33.8%	59.2%	38.8%	56.2%	40.7%
性別	男性 (n=537)	51.8%	34.5%	42.5%	33.3%	53.8%	33.9%	50.3%	38.4%
	女性 (n=676)	60.8%	45.0%	54.0%	34.6%	63.6%	42.8%	60.7%	43.3%
	その他 (n=7)	71.4%	57.1%	57.1%	28.6%	57.1%	71.4%	71.4%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	80.8%	61.5%	61.5%	53.8%	76.9%	57.7%	69.2%	53.8%
	18歳～19歳 (n=18)	44.4%	33.3%	55.6%	44.4%	66.7%	50.0%	61.1%	55.6%
	20歳～29歳 (n=91)	57.1%	50.5%	61.5%	39.6%	63.7%	37.4%	70.3%	35.2%
	30歳～39歳 (n=137)	52.6%	45.3%	52.6%	38.0%	58.4%	31.4%	62.0%	42.3%
	40歳～49歳 (n=175)	60.6%	51.4%	61.7%	36.0%	58.9%	41.1%	58.9%	45.7%
	50歳～59歳 (n=263)	59.7%	45.2%	55.5%	31.6%	54.4%	35.0%	57.0%	41.4%
	60歳～69歳 (n=216)	58.8%	39.8%	46.3%	29.6%	63.9%	38.9%	58.3%	42.6%
	70歳～79歳 (n=213)	56.8%	32.9%	40.4%	32.4%	62.4%	46.0%	53.1%	38.0%
80歳以上 (n=120)	44.2%	14.2%	19.2%	31.7%	50.8%	34.2%	32.5%	31.7%	

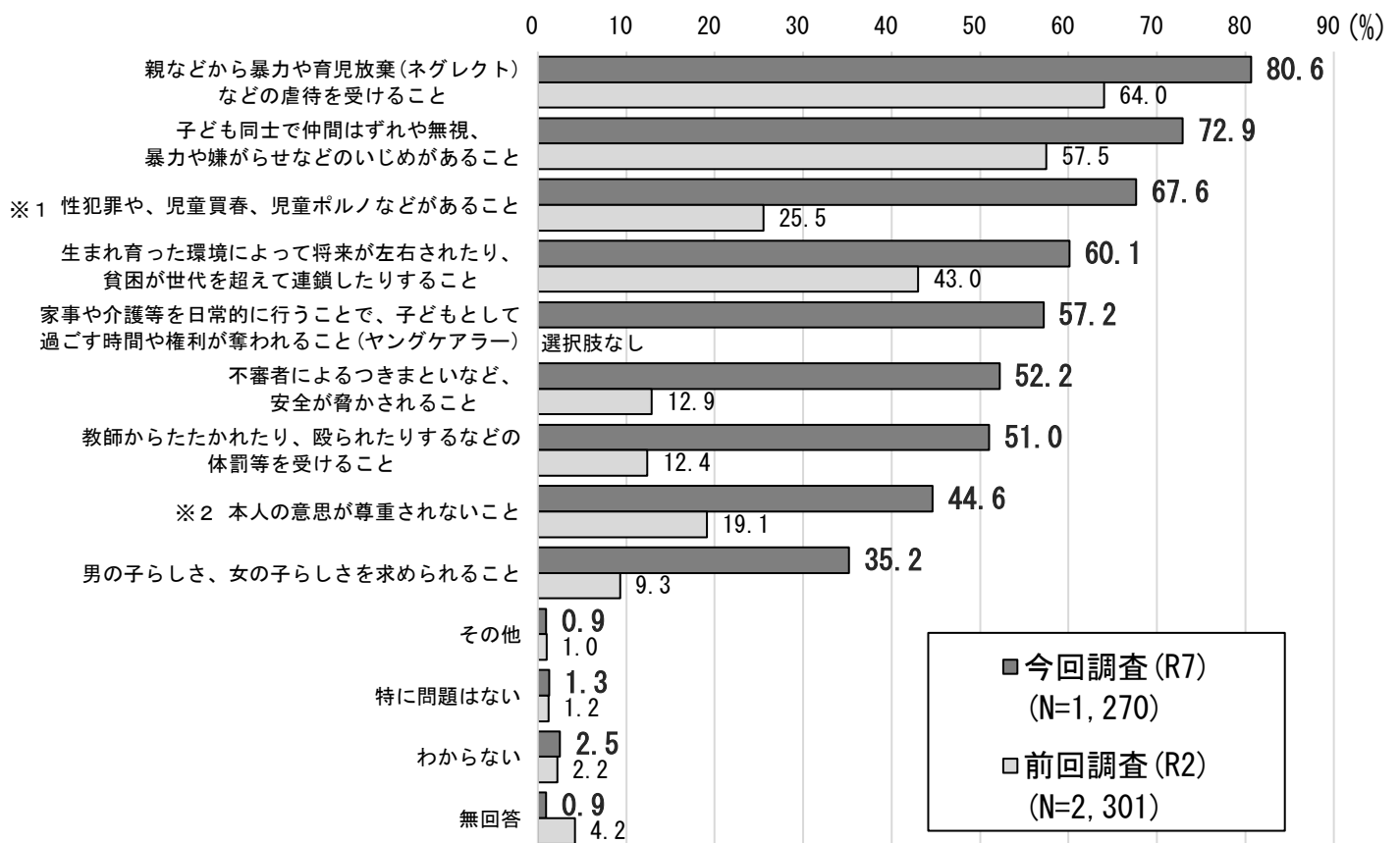
		性犯罪・売春・買春(援助交際も含む)があること	テレビや雑誌、インターネット・SNSなどで女性の性を強調する情報が氾濫していること	女性に対する支援・相談体制が十分でないこと	性と生殖に関する健康と権利についての十分な理解、性教育がされていないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体	N=(1,270)	48.3%	34.6%	24.6%	37.0%	1.9%	3.1%	3.1%	1.2%
性別	男性 (n=537)	41.3%	27.9%	22.3%	30.4%	2.0%	6.1%	3.5%	0.7%
	女性 (n=676)	54.3%	40.1%	26.5%	42.9%	1.9%	1.0%	2.5%	1.0%
	その他 (n=7)	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	61.5%	50.0%	34.6%	42.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	66.7%	44.4%	16.7%	55.6%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	56.0%	33.0%	26.4%	47.3%	1.1%	1.1%	2.2%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	54.7%	29.9%	21.2%	39.4%	6.6%	5.8%	2.2%	0.0%
	40歳～49歳 (n=175)	53.1%	31.4%	22.3%	37.1%	1.1%	4.0%	3.4%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	50.2%	31.9%	22.8%	32.7%	2.3%	3.8%	1.5%	0.4%
	60歳～69歳 (n=216)	45.8%	38.0%	25.9%	36.1%	0.5%	1.4%	2.8%	0.9%
	70歳～79歳 (n=213)	41.8%	38.5%	27.7%	39.0%	0.9%	2.3%	1.9%	0.5%
80歳以上 (n=120)	33.3%	33.3%	25.0%	30.0%	0.8%	3.3%	11.7%	5.8%	

17 子どもについて人権上問題があると思うこと【問17】

子どもに関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「親などから暴力や育児放棄（ネグレクト）などの虐待を受けること」が80.6%と最も多く、次いで「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」が72.9%、「性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること」が67.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること」はおよそ42ポイント、「不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること」はおよそ40ポイント、「教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること」は、およそ39ポイント伸びており、増加が目立つ。

図Ⅱ—17—1 子どもについて人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「児童買春や児童ポルノなどがあること」

※2 前回調査では「大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押し付けられたりすること」

性別で見ると、「家事や介護等を日常的に行うことで、子どもとして過ごす時間や権利が奪われること(ヤングケアラー)」は男性より女性が、およそ20ポイント高くなっている。また、「性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること」、「男の子らしさ、女の子らしさを求められること」は男性より女性がおおよそ14ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～69歳で「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」が最も多い。70歳代以上では、「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」の回答が最も多くなっている。

表Ⅱ—17—1 子どもについて人権上問題があると思うこと[性別・年齢別][MA]

		子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること	親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	本人の意思が尊重されないこと	性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること	不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること
全体 (N=1,270)		72.9%	51.0%	80.6%	44.6%	67.6%	52.2%	60.1%
性別	男性 (n=537)	72.3%	46.0%	77.1%	40.2%	60.0%	47.3%	54.9%
	女性 (n=676)	74.9%	55.5%	84.0%	49.7%	74.4%	56.8%	65.5%
	その他 (n=7)	71.4%	71.4%	71.4%	28.6%	57.1%	28.6%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	73.1%	53.8%	84.6%	80.8%	76.9%	57.7%	65.4%
	18歳～19歳 (n=18)	61.1%	61.1%	77.8%	66.7%	61.1%	61.1%	66.7%
	20歳～29歳 (n=91)	70.3%	57.1%	85.7%	54.9%	74.7%	61.5%	75.8%
	30歳～39歳 (n=137)	69.3%	52.6%	81.8%	54.0%	71.5%	64.2%	54.0%
	40歳～49歳 (n=175)	72.6%	58.3%	88.0%	46.3%	74.3%	67.4%	64.0%
	50歳～59歳 (n=263)	72.2%	51.0%	84.0%	46.4%	71.5%	55.5%	61.6%
	60歳～69歳 (n=216)	74.5%	48.6%	80.1%	37.5%	64.8%	44.9%	63.9%
	70歳～79歳 (n=213)	82.6%	48.4%	78.9%	39.4%	62.4%	40.4%	56.3%
80歳以上 (n=120)	65.0%	40.8%	60.8%	33.3%	52.5%	32.5%	46.7%	

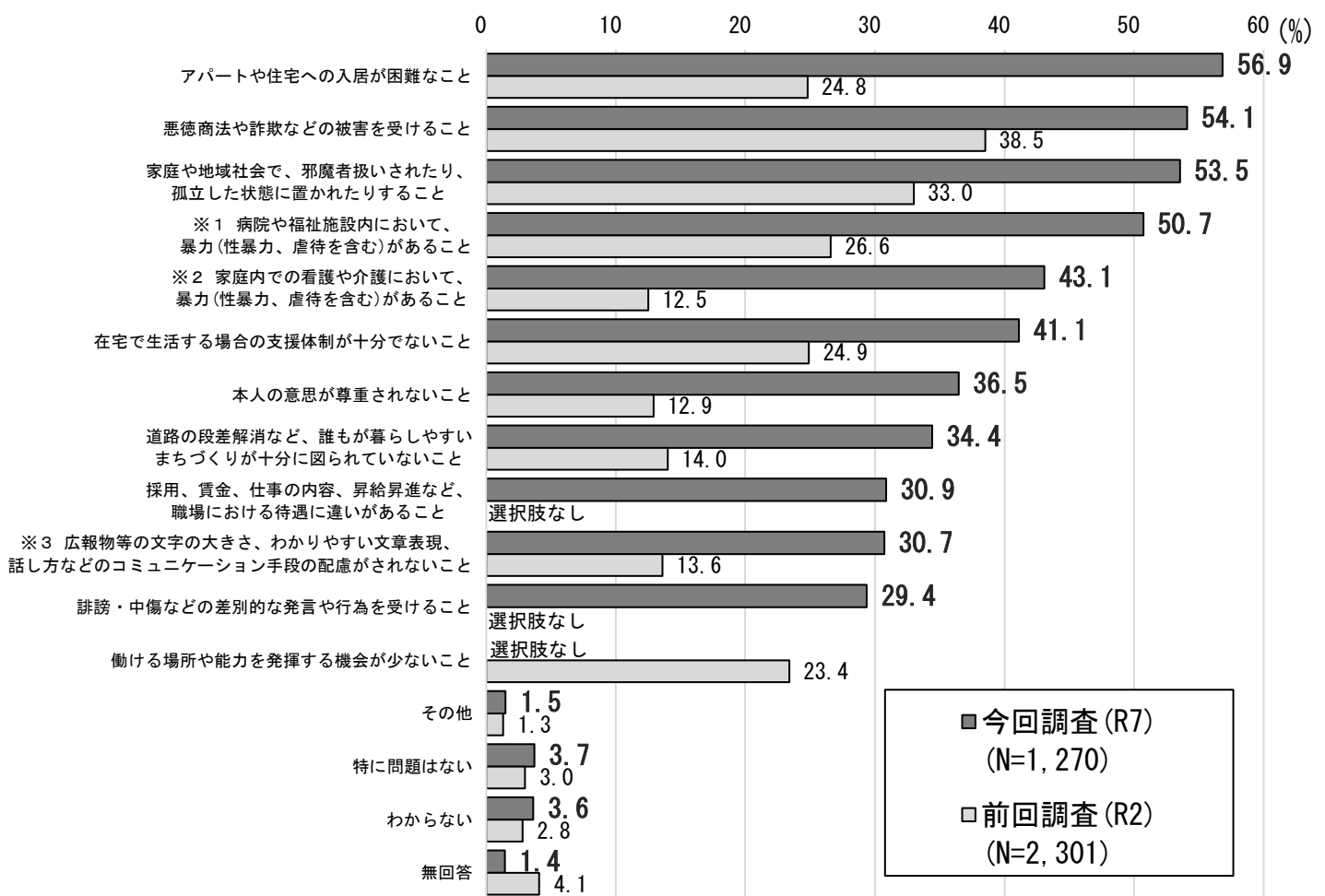
		男の子らしさ、女の子らしさを求められること	家事や介護等を日常的に行うことで、子どもが子どもとして過ごす時間や権利が奪われること(ヤングケアラー)	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		35.2%	57.2%	0.9%	1.3%	2.5%	0.9%
性別	男性 (n=537)	27.6%	46.2%	1.1%	2.2%	3.0%	0.7%
	女性 (n=676)	41.4%	66.3%	0.9%	0.6%	1.9%	0.4%
	その他 (n=7)	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	65.4%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	61.1%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	47.3%	58.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
	30歳～39歳 (n=137)	37.2%	59.1%	2.2%	2.2%	3.6%	0.0%
	40歳～49歳 (n=175)	47.4%	66.3%	0.6%	0.6%	1.7%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	35.7%	58.6%	0.8%	1.1%	1.9%	0.4%
	60歳～69歳 (n=216)	33.3%	54.6%	0.5%	1.4%	1.4%	0.9%
	70歳～79歳 (n=213)	28.6%	55.4%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%
80歳以上 (n=120)	12.5%	44.2%	1.7%	1.7%	10.0%	5.0%	

18 高齢者について人権上問題があると思うこと【問 18】

高齢者に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「アパートや住宅への入居が困難なこと」が56.9%と最も多く、次いで「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」が54.1%、「家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること」が53.5%と続いている。

前回調査では5番目に多かった「アパートや住宅への入居が困難なこと」は、およそ32ポイント増加して、最も多くなっている。

図Ⅱ—18—1 高齢者について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「病院や福祉施設内において、虐待があること」

※2 前回調査では「家庭内での看護や介護において、虐待があること」

※3 前回調査では「文字の大きさやわかりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと」

性別で見ると、「病院や福祉施設内において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」は男性より女性がおよそ13ポイント高くなっている。また、「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」は、およそ12ポイント、「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」、「家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」はおよそ11ポイント、男性より女性が高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳では「家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」、18歳～39歳では「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」、40歳代では「病院や福祉施設内において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」、50歳代～70歳代では「アパートや住宅への入居が困難なこと」、80歳以上では「家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること」が最も多い。

表Ⅱ—18—1 高齢者について人権上問題があると思うこと[性別・年齢別][MA]

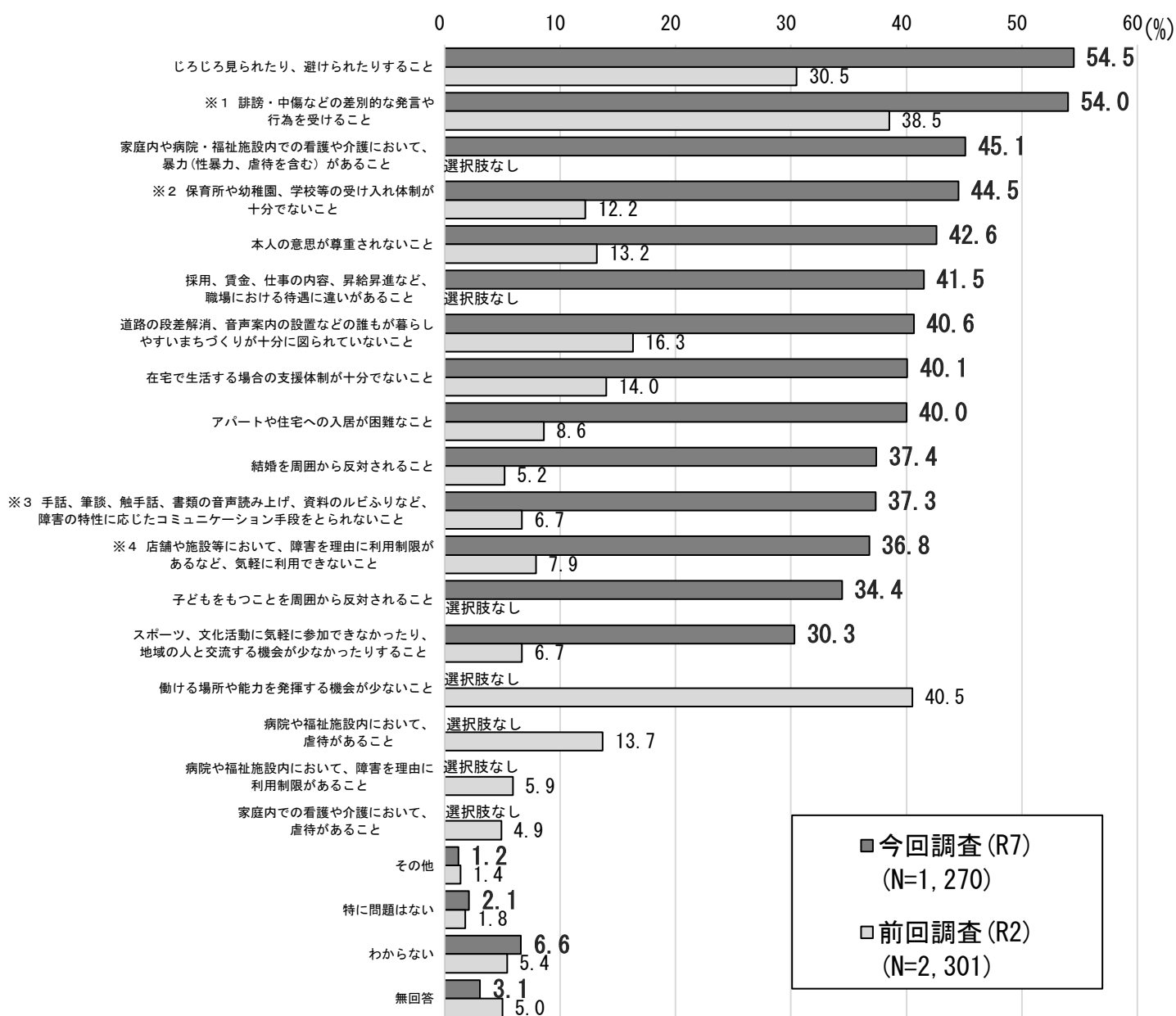
		家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること	本人の意思が尊重されないこと	広報物等の文字の大きさ、わかりやすい文章表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
全体 (N=1,270)		53.5%	36.5%	30.7%	30.9%	29.4%	54.1%	56.9%	43.1%
性別	男性 (n=537)	49.2%	32.8%	26.6%	28.9%	28.1%	47.9%	51.0%	37.4%
	女性 (n=676)	57.7%	39.9%	34.8%	32.2%	31.1%	60.1%	60.7%	48.2%
	その他 (n=7)	85.7%	42.9%	14.3%	57.1%	57.1%	57.1%	71.4%	57.1%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	69.2%	46.2%	30.8%	19.2%	38.5%	34.6%	30.8%	73.1%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	33.3%	11.1%	27.8%	50.0%	55.6%	50.0%	50.0%
	20歳～29歳 (n=91)	50.5%	40.7%	28.6%	30.8%	42.9%	56.0%	51.6%	52.7%
	30歳～39歳 (n=137)	50.4%	32.8%	20.4%	23.4%	21.2%	51.1%	48.9%	40.9%
	40歳～49歳 (n=175)	58.3%	33.1%	35.4%	26.3%	28.6%	60.0%	54.3%	47.4%
	50歳～59歳 (n=263)	60.5%	40.3%	33.5%	38.0%	29.3%	58.6%	61.2%	44.5%
	60歳～69歳 (n=216)	54.2%	38.0%	32.9%	36.6%	28.2%	59.7%	64.4%	40.7%
	70歳～79歳 (n=213)	46.0%	35.2%	32.9%	34.7%	28.6%	50.2%	61.0%	37.6%
	80歳以上 (n=120)	50.0%	31.7%	27.5%	17.5%	29.2%	39.2%	49.2%	35.8%
全体 N=(1,270)		43.1%	50.7%	34.4%	41.1%	1.5%	3.7%	3.6%	1.4%
性別	男性 (n=537)	37.4%	43.9%	29.2%	35.2%	1.9%	6.5%	4.7%	1.3%
	女性 (n=676)	48.2%	57.0%	38.5%	46.6%	1.3%	1.3%	3.0%	0.9%
	その他 (n=7)	57.1%	71.4%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	73.1%	65.4%	19.2%	34.6%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	50.0%	16.7%	22.2%	5.6%	22.2%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	52.7%	54.9%	35.2%	33.0%	0.0%	3.3%	2.2%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	40.9%	47.4%	22.6%	40.1%	1.5%	7.3%	6.6%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	47.4%	61.1%	37.1%	46.3%	1.1%	7.4%	3.4%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	44.5%	51.0%	34.6%	44.5%	1.1%	0.4%	3.4%	0.8%
	60歳～69歳 (n=216)	40.7%	53.2%	35.6%	45.8%	1.4%	1.9%	2.8%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	37.6%	44.6%	39.4%	41.8%	0.9%	3.3%	1.9%	0.5%
	80歳以上 (n=120)	35.8%	40.0%	37.5%	28.3%	4.2%	3.3%	7.5%	5.0%

19 障害のある人について人権上問題があると思うこと【問 19】

身体障害のある人に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が54.5%と最も多く、次いで「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が54.0%、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」が45.1%と続いている。

前回調査は「障害のある人について人権上問題があること」という設問だったが、今回の調査では、身体障害、知的障害、精神障害それぞれについて、人権上問題があることを尋ねている。

図Ⅱ—19—1 身体障害のある人について人権上問題があると思うこと [MA]



※ 前回調査の設問は「障害のある人について人権上問題があること」

※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「学校の受け入れ体制が十分でないこと」

※3 前回調査では「手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと」

※4 前回調査では「店舗や施設等を気軽に利用できないこと」

性別で見ると、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」は、男性より女性がおよそ8ポイント高くなっている。「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」、「保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと」、「道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと」は、男性より女性がおよそ7ポイント高くなっている。

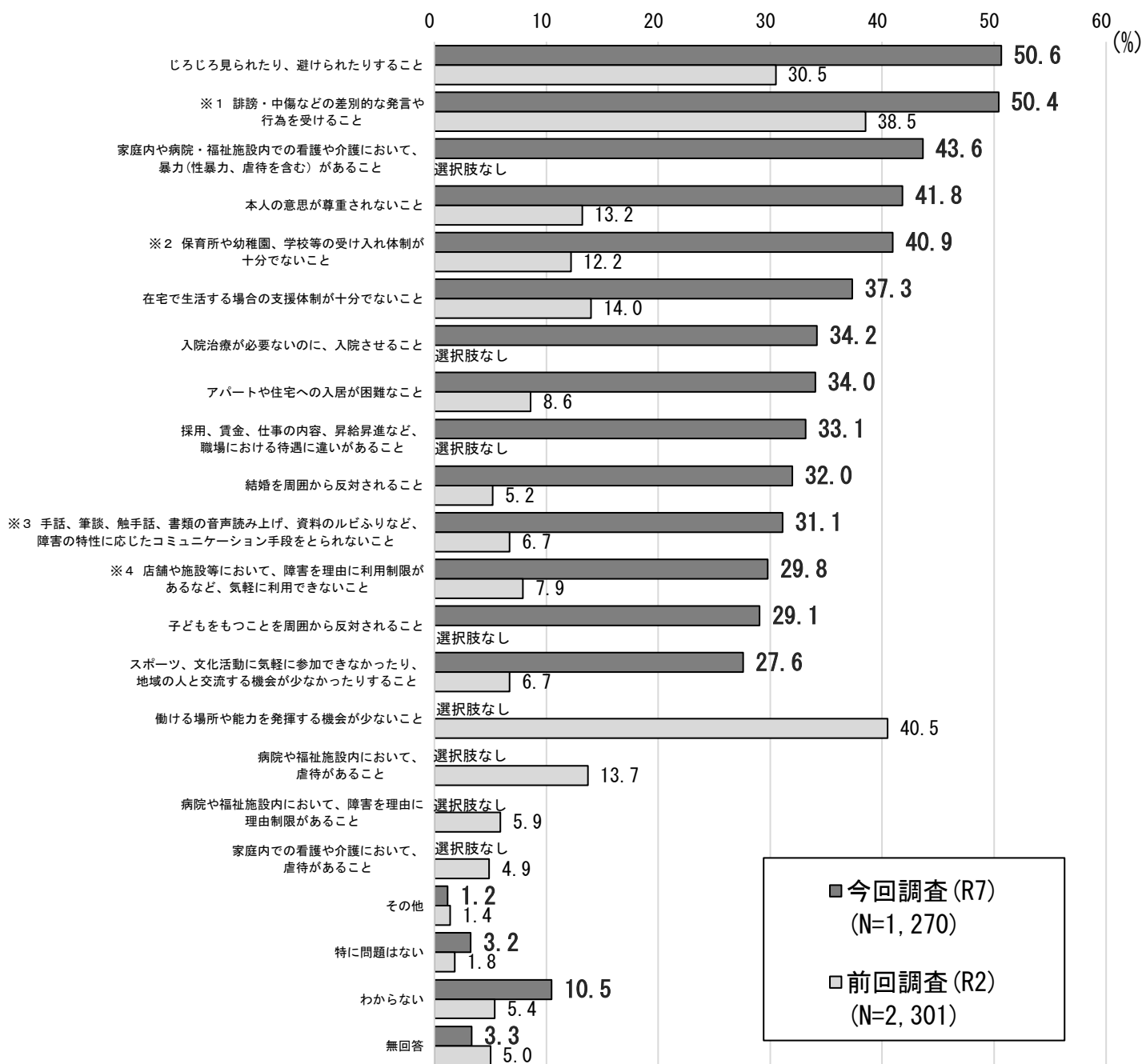
年齢別で見ると、15歳～39歳、60歳代、80歳以上では、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が最も多い。40歳代～50歳代、70歳代では、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が最も多い。

表Ⅱ—19—1 身体障害のある人について人権上問題があると思うこと〔性別・年齢別〕〔MA〕

		じろじろ見られたり、避けられたりすること	本人の意思が尊重されないこと	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
全体 (N=1,270)		54.5%	42.6%	37.4%	34.4%	41.5%	54.0%	40.0%	30.3%	45.1%
性別	男性 (n=537)	51.0%	41.5%	37.6%	34.6%	41.0%	51.6%	38.0%	30.0%	41.2%
	女性 (n=676)	58.0%	44.5%	38.3%	35.2%	42.5%	56.5%	41.3%	31.4%	49.6%
	その他 (n=7)	71.4%	42.9%	71.4%	57.1%	57.1%	85.7%	71.4%	42.9%	57.1%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	46.2%	53.8%	46.2%	50.0%	65.4%	26.9%	30.8%	61.5%
	18歳～19歳 (n=18)	61.1%	50.0%	33.3%	22.2%	61.1%	66.7%	55.6%	44.4%	50.0%
	20歳～29歳 (n=91)	56.0%	49.5%	48.4%	41.8%	44.0%	59.3%	36.3%	30.8%	51.6%
	30歳～39歳 (n=137)	48.2%	46.7%	38.0%	33.6%	35.8%	56.2%	32.1%	29.2%	40.1%
	40歳～49歳 (n=175)	60.6%	41.1%	40.6%	36.0%	40.6%	55.4%	38.9%	26.9%	52.6%
	50歳～59歳 (n=263)	59.3%	44.9%	38.8%	38.8%	45.6%	54.0%	44.5%	35.4%	44.9%
	60歳～69歳 (n=216)	54.2%	44.0%	32.4%	34.3%	41.7%	55.6%	40.3%	31.5%	46.8%
	70歳～79歳 (n=213)	53.1%	37.1%	35.7%	30.5%	40.8%	51.2%	46.0%	27.7%	39.9%
80歳以上 (n=120)	44.2%	36.7%	32.5%	26.7%	36.7%	45.8%	33.3%	28.3%	38.3%	
全体 N=(1,270)		44.5%	40.1%	36.8%	40.6%	37.3%	1.2%	2.1%	6.6%	3.1%
性別	男性 (n=537)	40.8%	36.5%	34.1%	36.5%	34.5%	1.5%	3.9%	7.3%	2.6%
	女性 (n=676)	47.9%	43.9%	39.8%	43.8%	39.9%	1.0%	0.7%	6.1%	2.5%
	その他 (n=7)	71.4%	42.9%	42.9%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	50.0%	46.2%	50.0%	30.8%	38.5%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	27.8%	61.1%	27.8%	38.9%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	46.2%	30.8%	38.5%	36.3%	40.7%	0.0%	4.4%	6.6%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	45.3%	33.6%	33.6%	30.7%	29.9%	2.2%	6.6%	7.3%	2.2%
	40歳～49歳 (n=175)	45.1%	41.7%	36.0%	36.6%	42.3%	0.0%	4.6%	7.4%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	47.9%	44.9%	40.7%	43.7%	42.2%	0.8%	0.4%	5.7%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	44.4%	41.2%	39.8%	45.4%	38.9%	1.4%	0.5%	5.1%	3.2%
	70歳～79歳 (n=213)	45.1%	45.5%	31.9%	46.5%	34.3%	1.4%	0.9%	5.2%	3.3%
80歳以上 (n=120)	35.8%	32.5%	29.2%	40.0%	26.7%	3.3%	0.8%	12.5%	10.0%	

知的障害のある人に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が50.6%と最も多く、次いで「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が50.4%、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること」が43.6%と続いている。

図Ⅱ—19—2 知的障害のある人について人権上問題があると思うこと [MA]



※ 前回調査の設問は「障害のある人について人権上問題があること」

※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「学校の受け入れ体制が十分でないこと」

※3 前回調査では「手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと」

※4 前回調査では「店舗や施設等を気軽に利用できないこと」

性別で見ると、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力（性暴力、虐待を含む）があること」が、およそ8ポイント男性よりも女性が高くなっている。

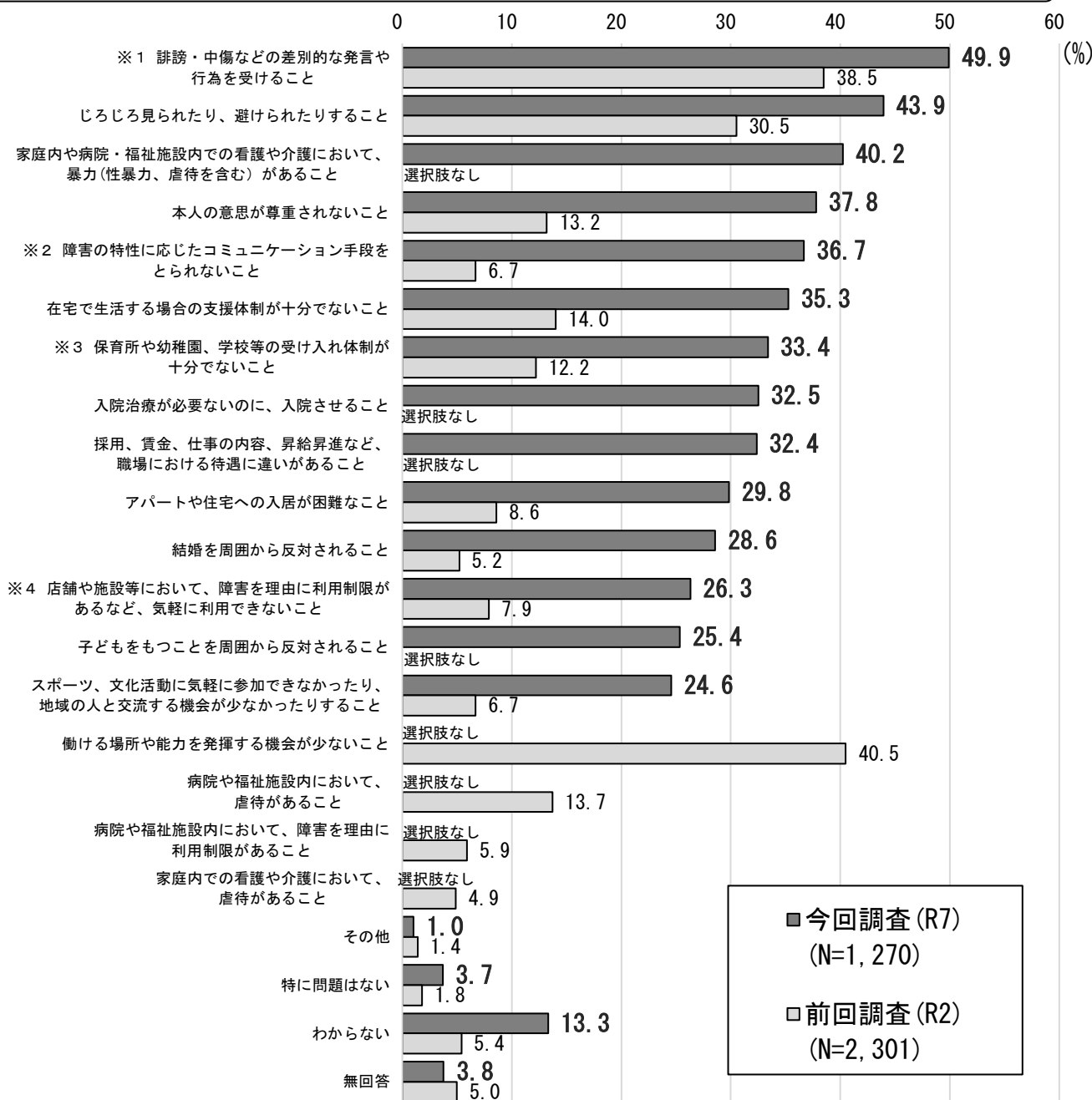
年齢別で見ると、15歳～17歳では、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力（性暴力、虐待を含む）があること」が最も多い。18歳～19歳では「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」、「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」が同率で多く、20歳代～40歳代では、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が最も多い。50歳以上では、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が最も多い。

表Ⅱ—19—2 知的障害のある人について人権上問題があると思うこと〔性別・年齢別〕〔MA〕

		じろじろ見られたり、避けられたりすること	本人の意思が尊重されないこと	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	入院治療が必要なのに、入院させること	スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること
全体 (N=1,270)		50.6%	41.8%	32.0%	29.1%	33.1%	50.4%	34.0%	34.2%	27.6%
性別	男性 (n=537)	48.8%	41.0%	33.3%	30.0%	32.0%	49.3%	32.8%	33.3%	26.6%
	女性 (n=676)	52.5%	43.5%	31.7%	29.0%	34.5%	51.9%	34.9%	35.7%	28.8%
	その他 (n=7)	71.4%	57.1%	57.1%	57.1%	71.4%	57.1%	71.4%	42.9%	42.9%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	46.2%	38.5%	34.6%	42.3%	53.8%	23.1%	34.6%	34.6%
	18歳～19歳 (n=18)	44.4%	50.0%	22.2%	27.8%	55.6%	55.6%	22.2%	33.3%	27.8%
	20歳～29歳 (n=91)	41.8%	49.5%	36.3%	36.3%	35.2%	57.1%	26.4%	36.3%	27.5%
	30歳～39歳 (n=137)	43.1%	40.1%	30.7%	24.1%	26.3%	48.2%	32.1%	29.9%	24.1%
	40歳～49歳 (n=175)	50.9%	38.3%	35.4%	30.9%	33.1%	53.1%	34.3%	34.3%	22.9%
	50歳～59歳 (n=263)	57.4%	46.4%	36.1%	33.5%	35.4%	54.8%	39.2%	36.5%	29.3%
	60歳～69歳 (n=216)	55.1%	42.1%	30.1%	30.1%	35.6%	50.9%	32.4%	32.9%	26.9%
	70歳～79歳 (n=213)	51.2%	40.4%	29.6%	25.8%	33.8%	46.5%	39.4%	36.6%	31.9%
80歳以上 (n=120)	45.0%	34.2%	25.0%	20.8%	25.0%	39.2%	26.7%	30.8%	28.3%	
		家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		43.6%	40.9%	37.3%	29.8%	31.1%	1.2%	3.2%	10.5%	3.3%
性別	男性 (n=537)	40.2%	38.4%	34.8%	28.3%	28.7%	1.5%	5.4%	10.6%	2.4%
	女性 (n=676)	47.8%	43.5%	40.4%	31.7%	33.4%	1.0%	1.5%	10.4%	3.4%
	その他 (n=7)	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	61.5%	42.3%	26.9%	30.8%	42.3%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	33.3%	22.2%	33.3%	33.3%	5.6%	16.7%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	47.3%	41.8%	29.7%	31.9%	37.4%	0.0%	7.7%	8.8%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	39.4%	39.4%	29.9%	26.3%	23.4%	1.5%	7.3%	10.9%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	48.6%	40.6%	41.7%	28.6%	31.4%	0.0%	5.7%	11.4%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	46.4%	42.2%	41.4%	35.7%	34.2%	1.1%	1.1%	9.9%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	44.4%	40.3%	41.2%	31.0%	31.5%	1.9%	0.5%	11.6%	3.7%
	70歳～79歳 (n=213)	39.9%	43.2%	40.8%	27.2%	32.4%	1.4%	1.9%	8.9%	3.8%
80歳以上 (n=120)	35.0%	36.7%	28.3%	24.2%	21.7%	1.7%	2.5%	12.5%	11.7%	

精神障害のある人に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が49.9%と最も多く、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が43.9%、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力（性暴力、虐待を含む）があること」が40.2%と続いている。

図Ⅱ—19—3 精神障害のある人について人権上問題があると思うこと [MA]



※ 前回調査の設問は「障害のある人について人権上問題があること」

※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと」

※3 前回調査では「学校の受け入れ体制が十分でないこと」

※4 前回調査では「店舗や施設等を気軽に利用できないこと」

性別で見ると、「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」が、男性より女性がおおよそ8ポイント高くなっている。また、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力（性暴力、虐待を含む）があること」が男性よりも女性がおおよそ7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳では、「家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力（性暴力、虐待を含む）があること」が最も多い。18歳～79歳では、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が最も多い。80歳以上では、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が最も多い。

表Ⅱ—19—3 精神障害のある人について人権上問題があると思うこと[性別・年齢別] [MA]

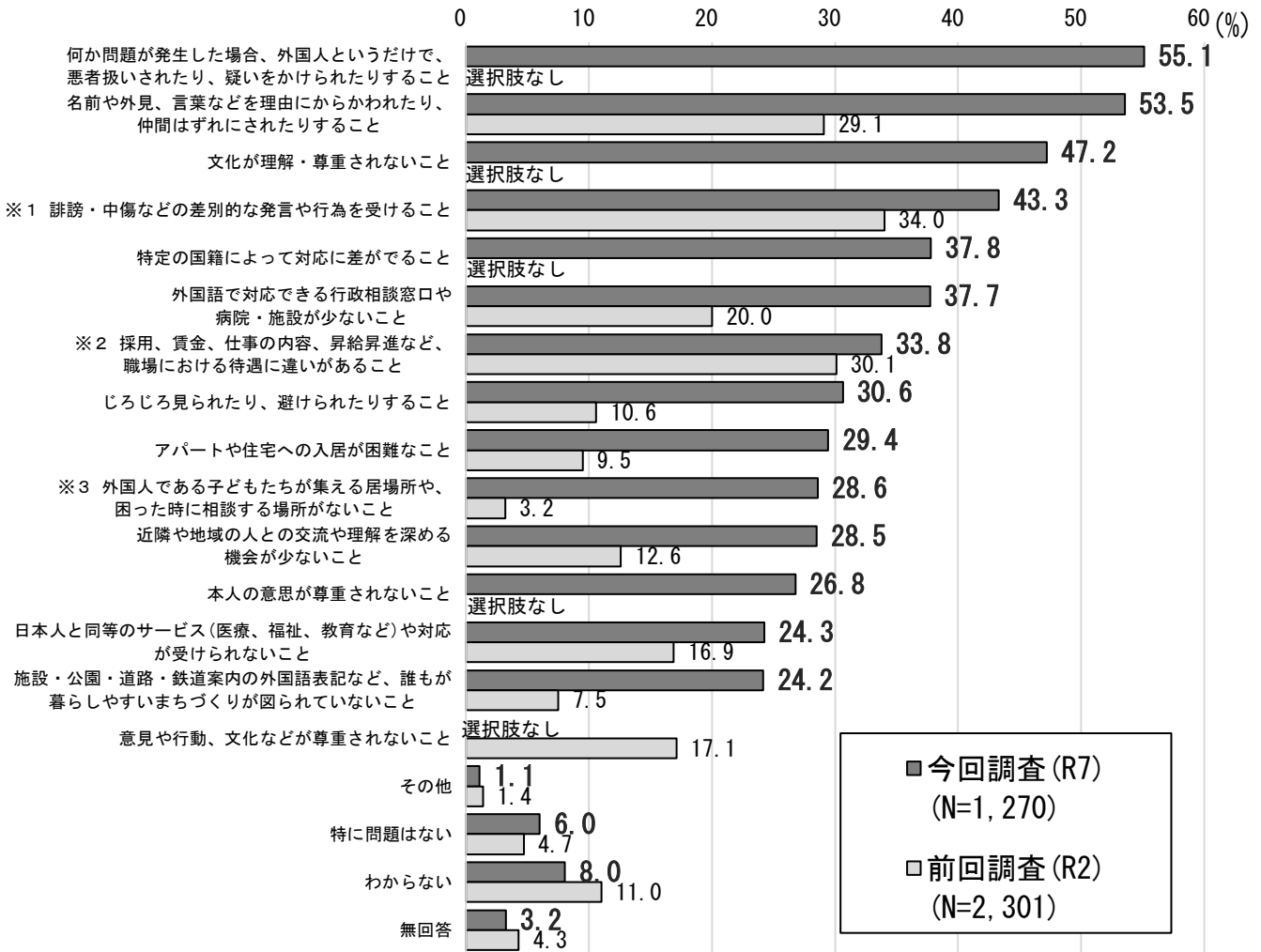
		じろじろ見られたり、避けられたりすること	本人の意思が尊重されないこと	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	入院治療が必要なのに、入院させること	スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること
全体 (N=1,270)		43.9%	37.8%	28.6%	25.4%	32.4%	49.9%	29.8%	32.5%	24.6%
性別	男性 (n=537)	43.6%	37.2%	28.9%	26.6%	33.1%	47.7%	29.8%	31.3%	24.2%
	女性 (n=676)	43.9%	39.1%	28.7%	24.3%	32.7%	52.7%	29.7%	33.7%	25.4%
	その他 (n=7)	71.4%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	42.9%	42.9%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	30.8%	50.0%	46.2%	30.8%	34.6%	57.7%	26.9%	30.8%	19.2%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	44.4%	27.8%	27.8%	50.0%	55.6%	22.2%	27.8%	27.8%
	20歳～29歳 (n=91)	39.6%	46.2%	34.1%	28.6%	37.4%	58.2%	31.9%	37.4%	28.6%
	30歳～39歳 (n=137)	32.1%	37.2%	27.0%	20.4%	28.5%	46.0%	26.3%	31.4%	22.6%
	40歳～49歳 (n=175)	48.0%	37.7%	29.7%	29.1%	30.9%	50.9%	33.7%	32.6%	21.7%
	50歳～59歳 (n=263)	47.9%	39.5%	30.8%	28.1%	35.4%	51.7%	29.7%	35.0%	23.2%
	60歳～69歳 (n=216)	46.3%	36.1%	26.4%	25.9%	32.4%	50.0%	26.9%	33.3%	26.4%
	70歳～79歳 (n=213)	46.5%	36.6%	27.2%	22.5%	32.4%	51.2%	34.7%	30.5%	28.2%
80歳以上 (n=120)	40.8%	30.8%	23.3%	18.3%	26.7%	39.2%	24.2%	27.5%	22.5%	

		家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		40.2%	33.4%	35.3%	26.3%	36.7%	1.0%	3.7%	13.3%	3.8%
性別	男性 (n=537)	36.9%	31.8%	31.1%	25.1%	34.6%	0.9%	5.6%	12.7%	3.9%
	女性 (n=676)	44.2%	34.8%	39.5%	27.7%	38.9%	1.2%	2.2%	13.6%	3.1%
	その他 (n=7)	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	69.2%	38.5%	19.2%	26.9%	30.8%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	44.4%	27.8%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	46.2%	33.0%	30.8%	30.8%	42.9%	1.1%	6.6%	11.0%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	38.0%	34.3%	29.9%	21.9%	31.4%	1.5%	8.8%	13.1%	2.2%
	40歳～49歳 (n=175)	45.7%	35.4%	39.4%	26.3%	34.9%	1.1%	8.0%	13.1%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	39.9%	35.7%	37.3%	29.3%	43.7%	0.8%	1.9%	15.6%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	42.6%	32.4%	36.6%	27.3%	37.5%	0.9%	1.4%	14.8%	3.2%
	70歳～79歳 (n=213)	36.2%	32.9%	40.8%	24.4%	38.0%	0.5%	1.4%	10.8%	4.7%
80歳以上 (n=120)	28.3%	23.3%	27.5%	21.7%	23.3%	2.5%	1.7%	13.3%	16.7%	

20 外国人について人権上問題があると思うこと【問 20】

外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関する事で、人権上問題があると思うのはどのようなことを尋ねたところ、「何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること」が55.1%と最も多い。次いで「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」が53.5%、「文化が理解・尊重されないこと」が47.2%と続いている。

図Ⅱ—20—1 外国人について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「就職・職場などにおいて、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」

※3 前回調査では「外国人である子どもたちが集える居場所がないこと」

性別で見ると、「何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること」はおよそ9ポイント、「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」は8ポイント、男性よりも女性が高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～39歳と50歳代では、「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」が最も多い。40歳代と60歳以上では、「何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること」が最も多い。

表Ⅱ—20—1 外国人について人権上問題があると思うこと(性別・年齢別) [MA]

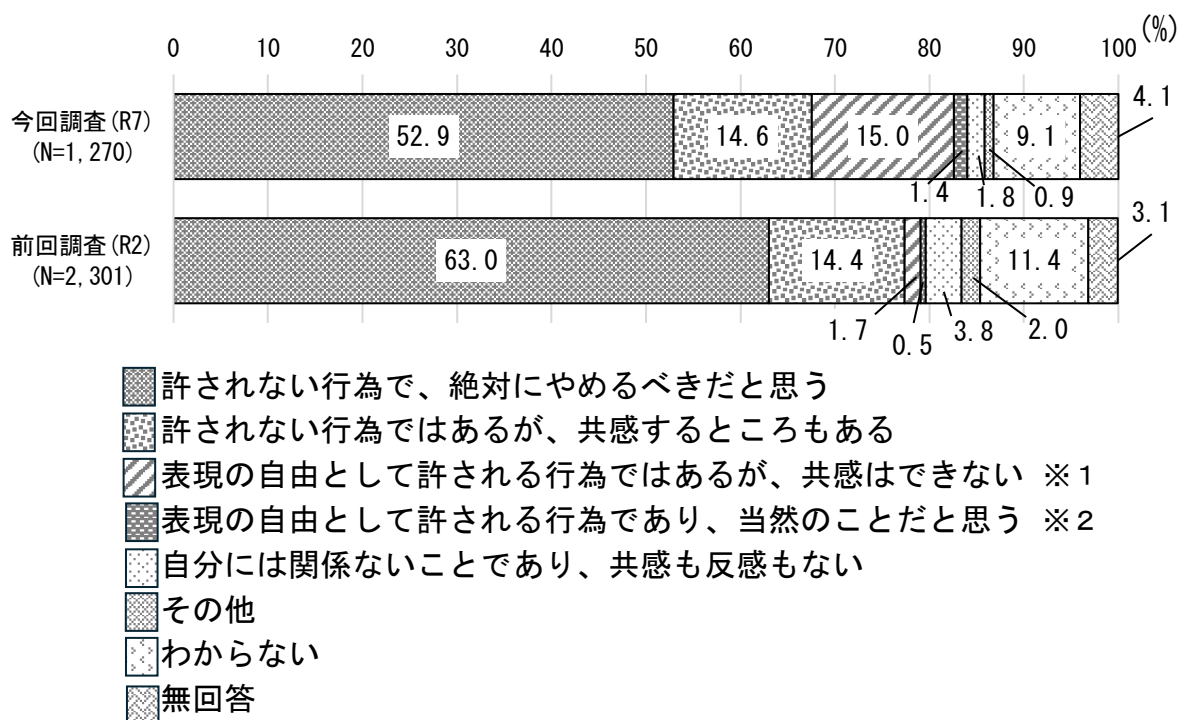
		じろじろ見られたり、避けられたりすること	本人の意思が尊重されないこと	文化が理解・尊重されないこと	名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	施設・公園・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと
全体 (N=1,270)		30.6%	26.8%	47.2%	53.5%	55.1%	33.8%	43.3%	29.4%	24.2%
性別	男性 (n=537)	28.3%	26.8%	46.2%	49.5%	51.0%	32.6%	42.8%	27.9%	20.9%
	女性 (n=676)	33.0%	27.2%	49.3%	57.5%	60.4%	34.8%	44.8%	31.2%	27.7%
	その他 (n=7)	42.9%	42.9%	42.9%	71.4%	57.1%	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	30.8%	42.3%	57.7%	84.6%	69.2%	38.5%	57.7%	42.3%	30.8%
	18歳～19歳 (n=18)	27.8%	22.2%	33.3%	61.1%	44.4%	33.3%	44.4%	33.3%	16.7%
	20歳～29歳 (n=91)	37.4%	39.6%	51.6%	67.0%	56.0%	37.4%	54.9%	34.1%	20.9%
	30歳～39歳 (n=137)	27.7%	26.3%	40.1%	59.1%	56.9%	28.5%	43.1%	24.1%	18.2%
	40歳～49歳 (n=175)	32.6%	25.7%	46.3%	57.1%	62.3%	35.4%	47.4%	30.9%	23.4%
	50歳～59歳 (n=263)	32.7%	28.9%	50.6%	60.1%	56.3%	36.1%	44.1%	28.1%	25.5%
	60歳～69歳 (n=216)	29.2%	23.6%	47.2%	45.4%	54.6%	31.5%	41.2%	29.2%	23.6%
	70歳～79歳 (n=213)	28.6%	23.5%	49.3%	47.9%	54.0%	39.0%	40.8%	33.8%	28.6%
80歳以上 (n=120)	30.0%	24.2%	40.8%	36.7%	45.0%	24.2%	34.2%	24.2%	24.2%	
全体 N=(1,270)		37.7%	28.5%	24.3%	28.6%	37.8%	1.1%	6.0%	8.0%	3.2%
性別	男性 (n=537)	35.6%	27.6%	24.0%	26.8%	34.3%	1.7%	8.8%	8.4%	2.8%
	女性 (n=676)	40.7%	29.9%	24.6%	30.8%	40.7%	0.7%	4.0%	7.7%	2.4%
	その他 (n=7)	42.9%	28.6%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	15.4%	38.5%	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%	38.9%	0.0%	22.2%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	31.9%	27.5%	26.4%	29.7%	41.8%	1.1%	9.9%	2.2%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	30.7%	24.1%	19.0%	29.2%	32.1%	2.2%	12.4%	7.3%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	32.6%	22.3%	22.9%	23.4%	36.0%	1.7%	8.0%	7.4%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	36.9%	28.9%	25.9%	30.8%	42.6%	0.8%	5.7%	7.2%	0.8%
	60歳～69歳 (n=216)	40.3%	29.2%	25.9%	29.6%	35.2%	0.5%	2.8%	10.6%	3.2%
	70歳～79歳 (n=213)	46.9%	37.1%	23.9%	30.5%	39.9%	0.5%	2.8%	7.5%	5.2%
80歳以上 (n=120)	39.2%	30.8%	22.5%	22.5%	30.8%	2.5%	3.3%	15.0%	10.0%	

次に、ヘイトスピーチについてどのように思うかを尋ねたところ、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」が52.9%と最も多く、次いで「表現の自由として許される行為ではあるが、共感できない」が15.0%、「許されない行為ではあるが、共感するところもある」が14.6%と続いている。

ヘイトスピーチについて、全体のおよそ7割弱が「許されない行為（「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」及び「許されない行為ではあるが、共感するところもある）」と回答している。

前回調査と比較すると、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」は、およそ10ポイント減少し、「表現の自由として許される行為ではあるが、共感できない」がおよそ13ポイント増加している。

図Ⅱ—20—2 ヘイトスピーチについての認識 [SA]



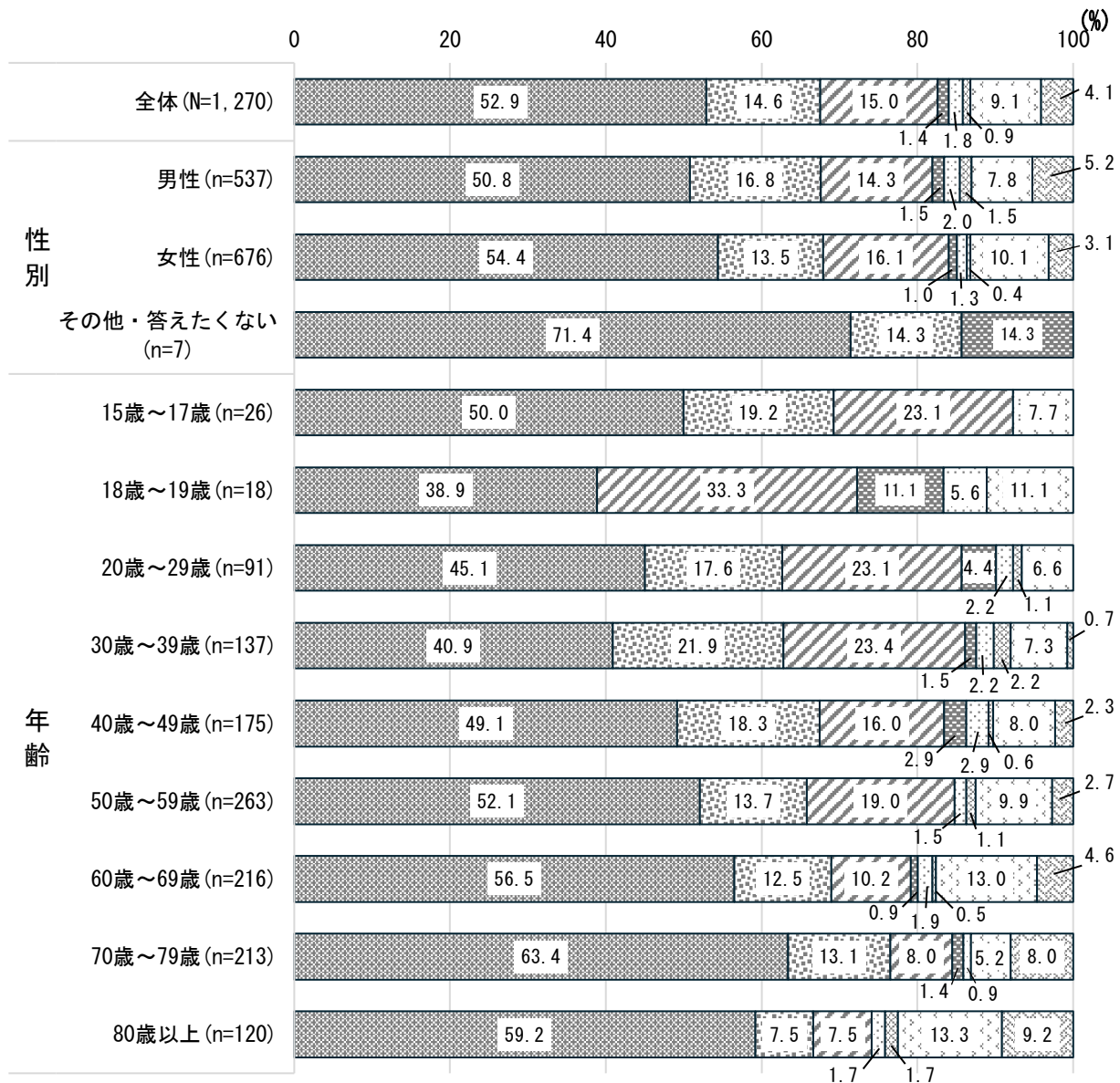
※1 前回調査では「許される行為ではあるが、共感できない」

※2 前回調査では「許される行為であり、当然のことだと思う」

性別で見ると、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」は男性より女性がおおよそ5ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う」は、最も多く選んだ70歳代と、最も少ない18歳～19歳では、おおよそ25ポイントの差があり、年齢によってばらつきがある。

図Ⅱ—20—3 ヘイトスピーチについての認識（性別・年齢別）[SA]



- 許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う
- ▨許されない行為ではあるが、共感するところもある
- ▧表現の自由として許される行為ではあるが、共感はできない
- ▩表現の自由として許される行為であり、当然のことだと思う
- ░自分には関係ないことであり、共感も反感もない
- その他
- ░わからない
- ░無回答

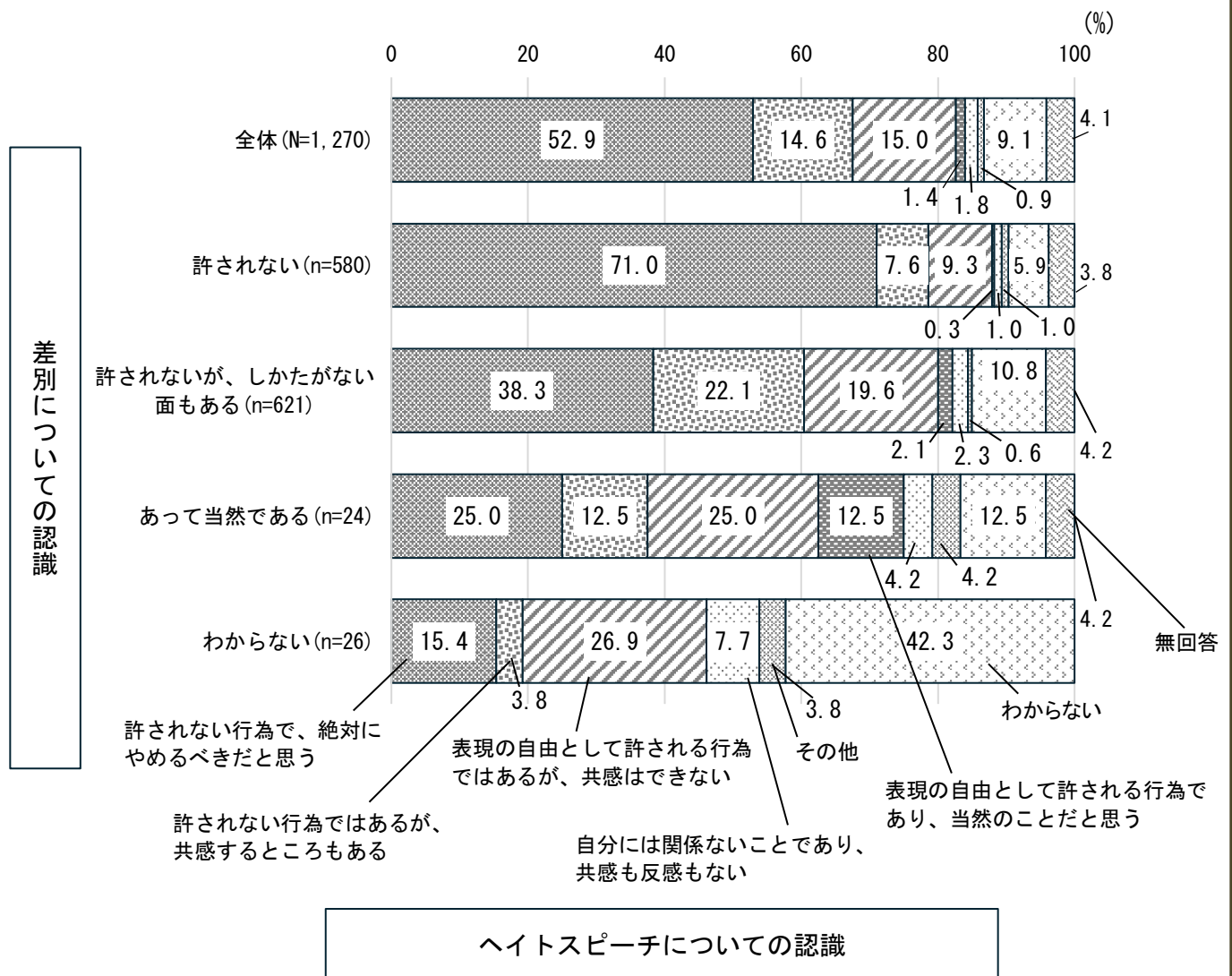
設問間クロス集計 8

差別についての認識と、ヘイトスピーチについての認識との関係を見るため、「ヘイトスピーチについての認識」の設問【問20-2】の回答について、「差別についての認識」の設問【問2-1】の回答別に集計した。

差別は「許されない」と回答した人の中で、ヘイトスピーチについて「許されない行為で、絶対にやめるべき」と回答した人は71.0%で、全体(52.9%)よりおよそ18ポイント高くなっている。

一方、差別は「許されないが、しかたがない面もある」と回答した人の中で、ヘイトスピーチについて「許されない行為ではあるが、共感するところもある」と回答した人の割合は、22.1%で、全体(14.6%)よりもおよそ8ポイント高くなっている。

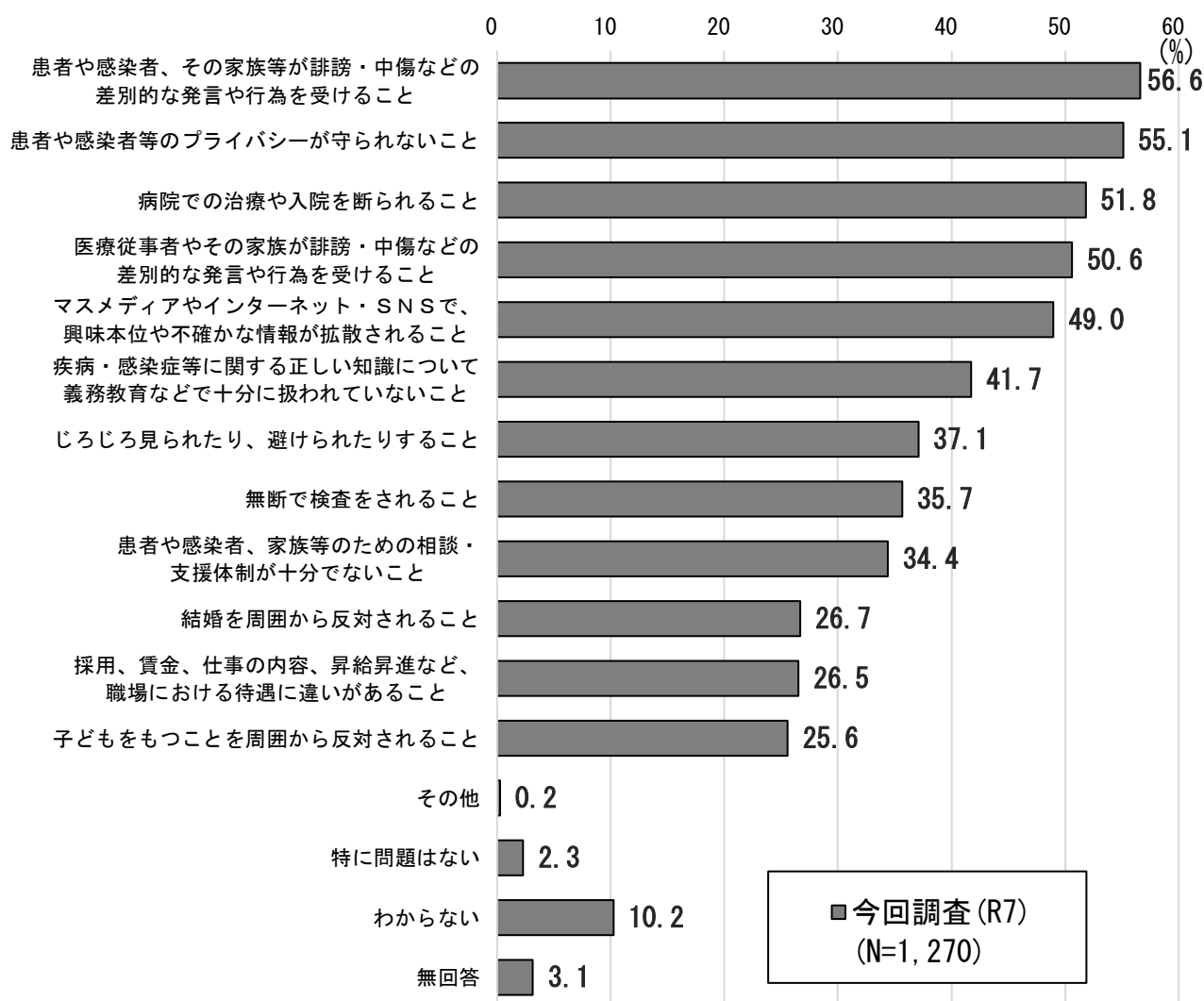
図クロス8 差別についての認識【問2-1】 × ヘイトスピーチについての認識【問20-2】



21 感染症・疾病の患者等について人権上問題があると思うこと【問 21】

疾病・感染症・病歴等に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が56.6%と最も多く、次いで「患者や感染者等のプライバシーが守られないこと」が55.1%、「病院での治療や入院を断られること」が51.8%、「医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が50.6%と続いている。

図Ⅱ—21—1 疾病・感染症・病歴等について人権上問題があると思うこと [MA]



性別で見ると、「病院での治療や入院を断られること」が、男性より女性がおおよそ10ポイント高く、「患者や感染者等のプライバシーが守られないこと」が、男性より女性がおおよそ9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、どの項目も、年齢層が若い方が回答割合が高く、年齢層が高い方が回答割合が低い傾向にある。

表Ⅱ—21—1 疾病・感染症・病歴等について人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

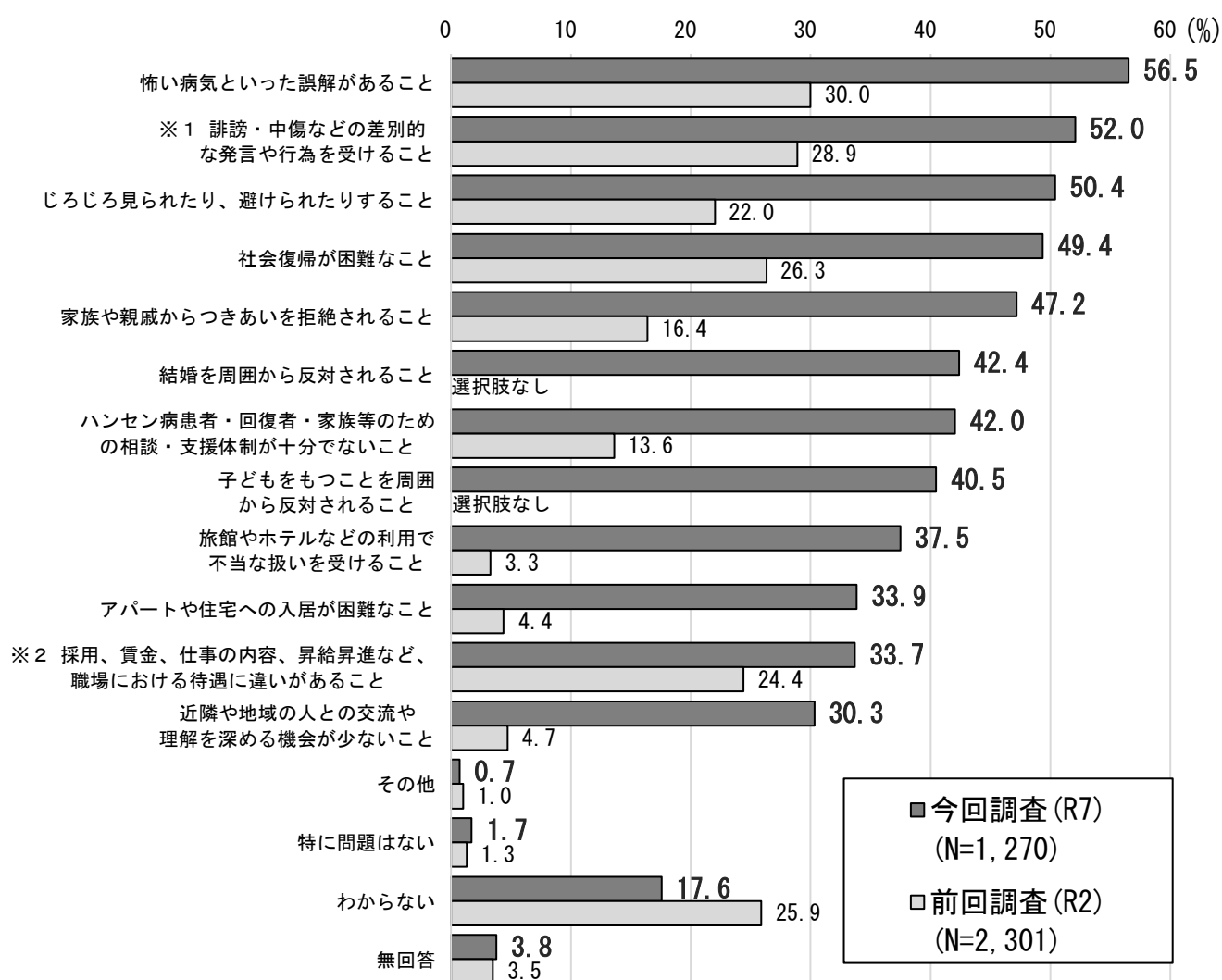
		じろじろ見られたり、避けられたりすること	患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	病院での治療や入院を断られること	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	無断で検査をされること	患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
全体 (N=1,270)		37.1%	55.1%	51.8%	26.7%	25.6%	26.5%	35.7%	56.6%
性別	男性 (n=537)	34.3%	51.0%	46.9%	27.0%	25.1%	24.6%	32.2%	53.1%
	女性 (n=676)	39.9%	59.8%	56.8%	27.2%	26.6%	29.0%	38.8%	60.8%
	その他 (n=7)	42.9%	42.9%	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%	42.9%	57.1%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	53.8%	69.2%	69.2%	42.3%	34.6%	30.8%	30.8%	61.5%
	18歳～19歳 (n=18)	44.4%	77.8%	44.4%	33.3%	33.3%	50.0%	33.3%	72.2%
	20歳～29歳 (n=91)	40.7%	60.4%	50.5%	40.7%	37.4%	35.2%	38.5%	70.3%
	30歳～39歳 (n=137)	32.8%	59.1%	43.8%	25.5%	25.5%	23.4%	28.5%	49.6%
	40歳～49歳 (n=175)	42.3%	57.1%	50.3%	29.7%	29.1%	25.1%	31.4%	59.4%
	50歳～59歳 (n=263)	40.3%	57.0%	57.0%	28.5%	25.9%	27.4%	43.7%	62.4%
	60歳～69歳 (n=216)	33.8%	53.2%	52.3%	24.1%	25.5%	26.4%	34.3%	56.0%
	70歳～79歳 (n=213)	33.8%	54.5%	53.5%	19.7%	19.2%	26.3%	39.0%	50.2%
80歳以上 (n=120)	31.7%	39.2%	47.5%	24.2%	20.8%	22.5%	29.2%	47.5%	

		医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	疾病・感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		50.6%	34.4%	41.7%	49.0%	0.2%	2.3%	10.2%	3.1%
性別	男性 (n=537)	47.5%	32.2%	37.4%	43.9%	0.4%	4.3%	11.9%	3.4%
	女性 (n=676)	54.4%	37.0%	45.6%	53.3%	0.1%	0.6%	8.4%	2.5%
	その他 (n=7)	57.1%	28.6%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	38.5%	42.3%	61.5%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	66.7%	33.3%	61.1%	61.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	64.8%	39.6%	49.5%	59.3%	0.0%	3.3%	7.7%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	47.4%	39.4%	43.1%	41.6%	0.7%	5.1%	13.9%	3.6%
	40歳～49歳 (n=175)	54.9%	36.6%	43.4%	56.0%	0.0%	2.9%	9.1%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	52.5%	35.7%	43.0%	52.1%	0.0%	1.1%	9.9%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	50.9%	32.9%	43.5%	46.8%	0.5%	2.3%	11.1%	2.8%
	70歳～79歳 (n=213)	45.5%	31.0%	36.2%	47.9%	0.0%	0.9%	8.9%	3.8%
80歳以上 (n=120)	40.8%	27.5%	33.3%	35.0%	0.8%	2.5%	13.3%	12.5%	

ハンセン病患者・回復者・家族等に関する事で、人権上問題があると思うのはどのようなことかを【問 21-2】で尋ねたところ、「怖い病気といった誤解があること」が56.5%と最も多く、次いで「誹謗・中傷など差別的な発言や行為を受けること」が52.0%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が50.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「怖い病気といった誤解があること」がおよそ27ポイント増加している。また、「誹謗・中傷など差別的な発言や行為を受けること」がおよそ23ポイント、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」がおよそ28ポイント増加している。

図Ⅱ—21—2 ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「就職・職場において不利な扱いを受けること」

性別で見ると、「怖い病気といった誤解があること」が、男性より女性がおよそ13ポイント高く、「家族や親戚からつきあいを拒絶されること」が、男性より女性がおよそ11ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～29歳では「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」、30歳代～70歳代では「怖い病気といった誤解があること」が最も多い。80歳以上では「家族や親戚からつきあいを拒絶されること」と「怖い病気といった誤解があること」が同率で多かった。

表Ⅱ—21—2 ハンセン病患者・回復者・家族等について人権上問題があると思うこと

(性別・年齢別) [MA]

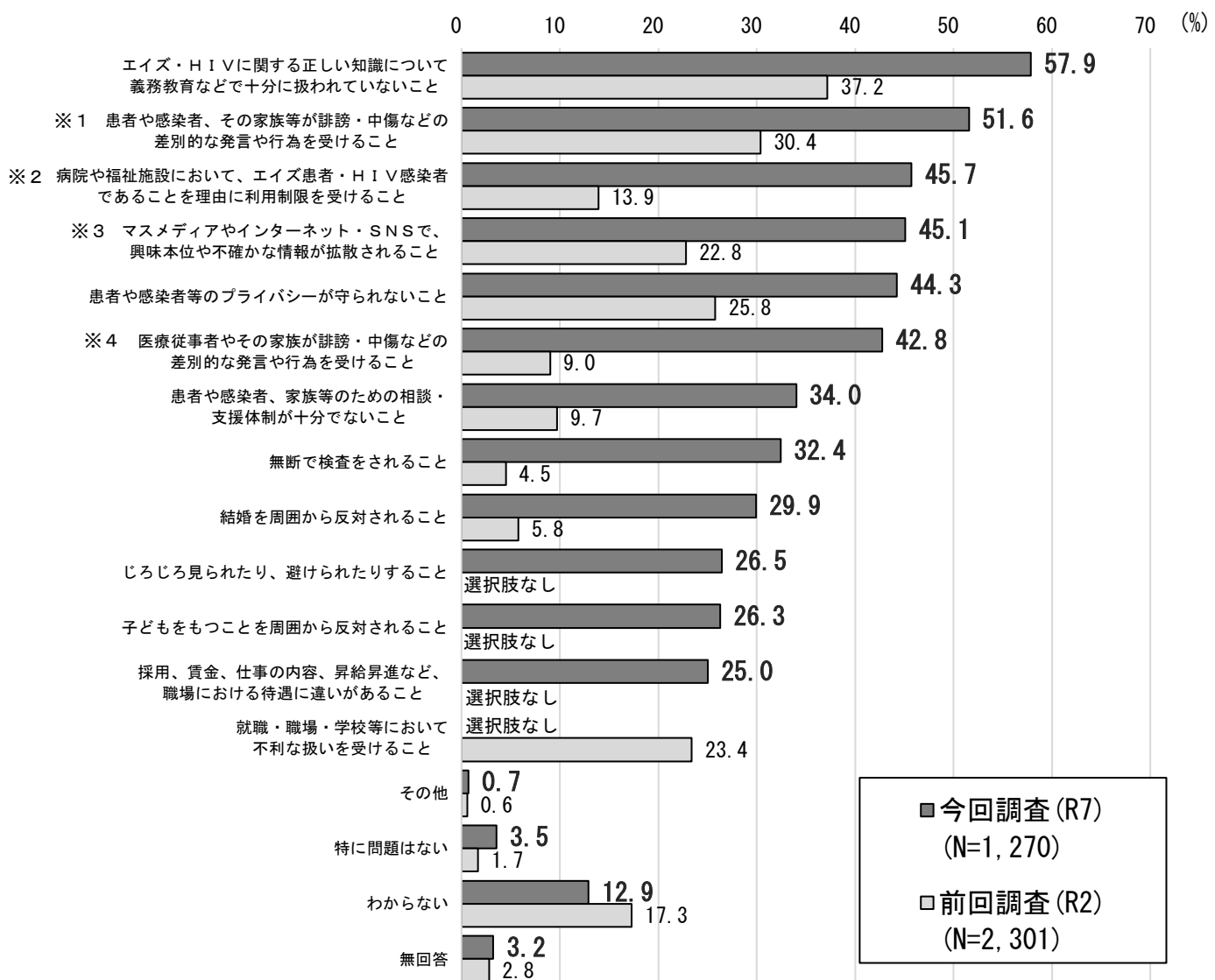
		じろじろ見られたり、避けられたりすること	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	家族や親戚からつきあいを拒絶されること	採用、賞金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	社会復帰が困難なこと	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと
全体 (N=1,270)		50.4%	42.4%	40.5%	47.2%	33.7%	49.4%	52.0%	33.9%
性別	男性 (n=537)	45.6%	39.1%	38.7%	41.5%	30.5%	45.3%	48.4%	32.6%
	女性 (n=676)	54.3%	45.4%	42.5%	52.4%	37.1%	52.8%	55.6%	35.7%
	その他 (n=7)	71.4%	71.4%	42.9%	71.4%	42.9%	71.4%	71.4%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	42.3%	34.6%	53.8%	30.8%	46.2%	69.2%	30.8%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	33.3%	38.9%	61.1%	38.9%	61.1%	66.7%	33.3%
	20歳～29歳 (n=91)	52.7%	41.8%	38.5%	47.3%	36.3%	52.7%	53.8%	33.0%
	30歳～39歳 (n=137)	39.4%	29.2%	34.3%	38.7%	26.3%	36.5%	42.3%	26.3%
	40歳～49歳 (n=175)	52.0%	43.4%	42.9%	49.7%	41.1%	48.0%	55.4%	39.4%
	50歳～59歳 (n=263)	53.6%	44.9%	42.2%	46.4%	35.0%	54.8%	54.8%	36.9%
	60歳～69歳 (n=216)	56.0%	46.3%	45.4%	48.6%	35.6%	55.1%	53.7%	34.7%
	70歳～79歳 (n=213)	50.2%	44.6%	39.0%	48.8%	31.9%	51.6%	53.1%	35.2%
80歳以上 (n=120)	44.2%	40.8%	35.8%	45.8%	28.3%	35.8%	40.8%	26.7%	

		旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	怖い病気といった誤解があること	ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	近隣や地域のひととの交流や理解を深める機会が少ないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		37.5%	56.5%	42.0%	30.3%	0.7%	1.7%	17.6%	3.8%
性別	男性 (n=537)	34.5%	49.7%	39.1%	26.3%	1.1%	3.0%	20.1%	3.9%
	女性 (n=676)	40.7%	62.6%	44.8%	34.6%	0.4%	0.4%	15.1%	3.6%
	その他 (n=7)	42.9%	71.4%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	34.6%	38.5%	42.3%	19.2%	0.0%	0.0%	15.4%	3.8%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	50.0%	38.9%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	42.9%	50.5%	40.7%	29.7%	0.0%	2.2%	24.2%	1.1%
	30歳～39歳 (n=137)	29.2%	43.1%	37.2%	24.8%	0.7%	4.4%	27.7%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	41.7%	62.9%	46.9%	29.7%	0.0%	3.4%	15.4%	2.3%
	50歳～59歳 (n=263)	43.3%	61.6%	48.3%	31.6%	0.8%	0.8%	16.7%	1.5%
	60歳～69歳 (n=216)	36.6%	57.9%	44.0%	31.9%	1.4%	0.9%	14.6%	2.8%
	70歳～79歳 (n=213)	36.6%	63.4%	37.1%	35.2%	0.9%	0.9%	11.7%	6.6%
80歳以上 (n=120)	28.3%	45.8%	33.3%	27.5%	0.8%	0.0%	23.3%	11.7%	

エイズ患者やH I V (ヒト免疫不全ウイルス)感染者に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを【問 21-3】で尋ねたところ、「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」が57.9%と最も多く、次いで「患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が51.6%、「病院や福祉施設において、エイズ患者・H I V感染者であることを理由に利用制限を受けること」が45.7%となっている。

今回調査でも、前回調査同様「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」が最も多いが、回答割合はおよそ21ポイント増加している。

図Ⅱ—21—3 エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」

※2 前回調査では「病院での治療や入院を断られること」

※3 前回調査では「マスメディアやSNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること」

※4 前回調査では「医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること」

性別で見ると、「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」がおよそ10ポイント、「患者や感染者等のプライバシーが守られないこと」がおよそ9ポイント、男性より女性が高くなっている。

年齢別でも、ほとんどの年代で「エイズ・H I Vに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと」という回答が多い。

図Ⅱ—21—4 エイズ患者やH I V感染者について人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

	じろじろ見られたり、避けられたりすること	患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	病院や福祉施設において、エイズ患者・HIV感染者であることを理由に利用制限を受けること	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	無断で検査をされること	患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	
全体 (N=1,270)	26.5%	44.3%	45.7%	29.9%	26.3%	25.0%	32.4%	51.6%	
性別	男性 (n=537)	25.3%	40.2%	41.9%	28.7%	27.4%	23.1%	28.9%	49.5%
	女性 (n=676)	28.0%	48.8%	49.6%	31.7%	26.5%	27.1%	35.8%	54.1%
	その他 (n=7)	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	14.3%	28.6%	42.9%	57.1%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	26.9%	57.7%	53.8%	30.8%	26.9%	38.5%	30.8%	53.8%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	55.6%	44.4%	44.4%	33.3%	33.3%	33.3%	55.6%
	20歳～29歳 (n=91)	29.7%	52.7%	47.3%	38.5%	35.2%	29.7%	37.4%	60.4%
	30歳～39歳 (n=137)	21.9%	43.1%	36.5%	29.9%	27.7%	25.5%	24.8%	42.3%
	40歳～49歳 (n=175)	30.9%	49.7%	45.7%	31.4%	30.9%	25.7%	32.0%	56.0%
	50歳～59歳 (n=263)	33.1%	48.7%	49.0%	30.8%	26.6%	25.9%	35.4%	56.7%
	60歳～69歳 (n=216)	24.1%	37.5%	42.6%	25.9%	21.3%	25.0%	32.9%	52.3%
	70歳～79歳 (n=213)	21.6%	43.2%	51.6%	27.7%	23.9%	22.1%	35.7%	52.1%
80歳以上 (n=120)	24.2%	32.5%	41.7%	28.3%	23.3%	20.8%	26.7%	35.0%	

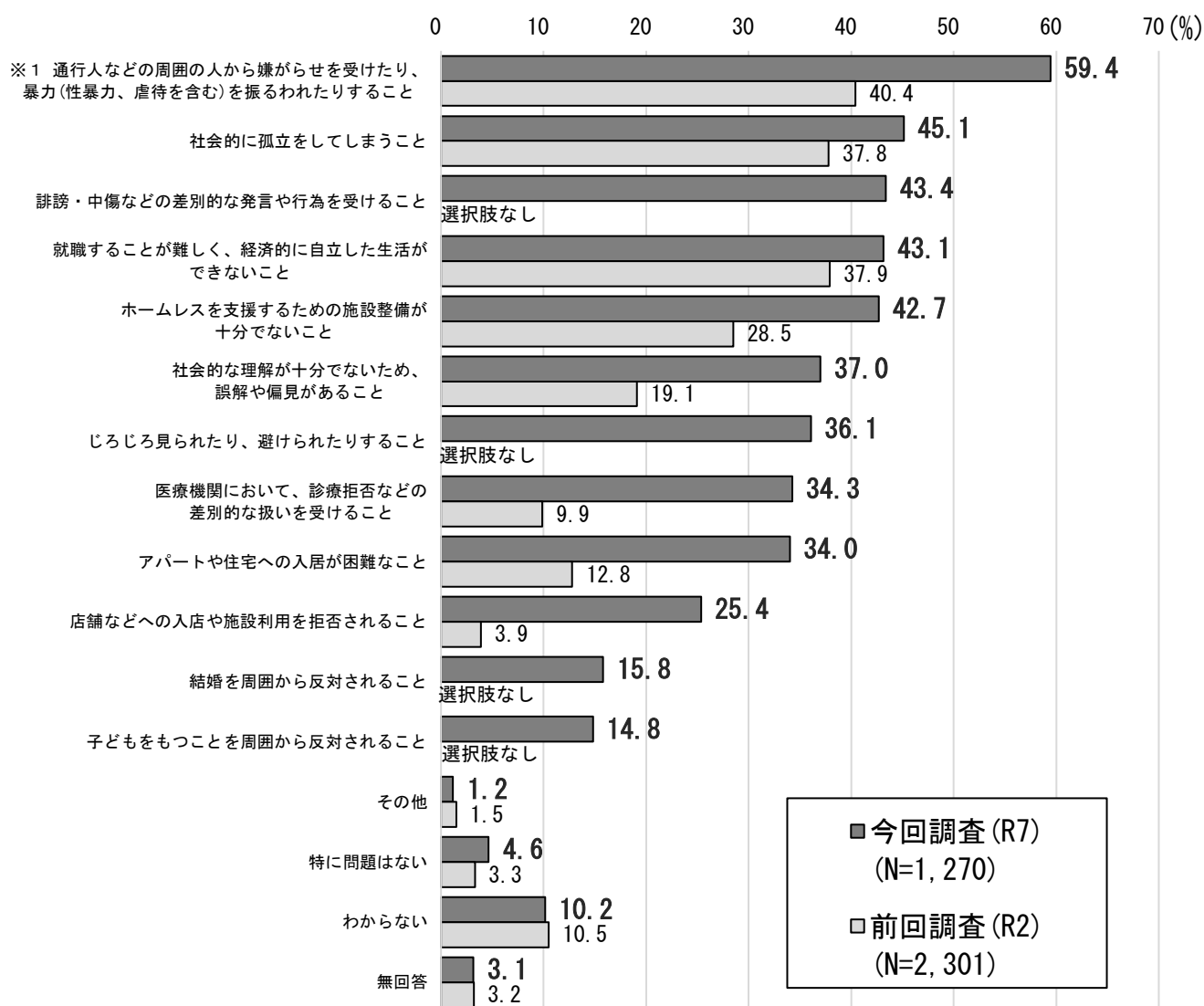
	医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	その他	特に問題はない	わからない	無回答	
全体 N=(1,270)	42.8%	34.0%	57.9%	45.1%	0.7%	3.5%	12.9%	3.2%	
性別	男性 (n=537)	38.9%	32.2%	52.9%	40.8%	1.3%	6.1%	15.3%	2.2%
	女性 (n=676)	46.6%	35.7%	63.0%	48.8%	0.3%	1.3%	10.9%	3.3%
	その他 (n=7)	57.1%	28.6%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	50.0%	38.5%	57.7%	53.8%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	38.9%	72.2%	50.0%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	52.7%	39.6%	56.0%	54.9%	0.0%	6.6%	15.4%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	41.6%	32.8%	54.7%	41.6%	1.5%	6.6%	16.8%	2.2%
	40歳～49歳 (n=175)	50.3%	37.7%	64.6%	53.7%	0.0%	6.3%	10.9%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	43.3%	39.2%	59.3%	48.7%	0.8%	1.9%	10.3%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	44.0%	31.0%	59.3%	40.7%	0.5%	2.3%	12.5%	3.2%
	70歳～79歳 (n=213)	36.6%	30.0%	59.2%	42.3%	0.5%	2.3%	12.7%	5.2%
80歳以上 (n=120)	31.7%	24.2%	44.2%	30.8%	2.5%	2.5%	19.2%	10.0%	

22 ホームレスについて人権上問題があると思うこと【問 22】

ホームレスに関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」が59.4%と最も多く、次に「社会的に孤立をしてしまうこと」が45.1%、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が43.4%、「就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと」が43.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること」や「アパートや住宅への入居が困難なこと」、「店舗などへの入店や施設利用を拒否されること」などの選択肢が20ポイント以上増加している。

図Ⅱ—22—1 ホームレスについて人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」

性別で見ると、「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」が、男性より女性がおおよそ12ポイント高い。

年齢別で見ると、全世代で、「通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力をふるわれたりすること」が最も多く、大きな傾向の差は見られなかった。

表Ⅱ—22—1 ホームレスについて人権上問題があると思うこと〔性別・年齢別〕〔MA〕

		じろじろ見られたり、避けられたりすること	社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力(性暴力、虐待を含む)を振るわれたりすること	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと
全体 (N=1,270)		36.1%	37.0%	59.4%	15.8%	14.8%	43.4%	34.3%	43.1%
性別	男性 (n=537)	33.0%	35.2%	53.6%	16.2%	16.6%	40.6%	31.7%	39.5%
	女性 (n=676)	38.8%	38.6%	65.2%	16.0%	13.8%	45.9%	37.3%	46.3%
	その他 (n=7)	57.1%	57.1%	71.4%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	34.6%	50.0%	65.4%	19.2%	19.2%	53.8%	53.8%	26.9%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	55.6%	61.1%	22.2%	11.1%	50.0%	50.0%	33.3%
	20歳～29歳 (n=91)	41.8%	41.8%	65.9%	24.2%	20.9%	54.9%	40.7%	38.5%
	30歳～39歳 (n=137)	33.6%	29.2%	59.1%	12.4%	12.4%	36.5%	31.4%	32.1%
	40歳～49歳 (n=175)	33.7%	32.0%	63.4%	16.6%	15.4%	44.0%	33.7%	30.9%
	50歳～59歳 (n=263)	36.9%	35.4%	62.0%	15.6%	14.8%	38.0%	31.2%	33.5%
	60歳～69歳 (n=216)	38.9%	33.8%	60.6%	14.8%	14.4%	41.7%	35.6%	31.5%
	70歳～79歳 (n=213)	35.2%	43.7%	57.7%	14.6%	14.1%	50.2%	35.2%	39.9%
80歳以上 (n=120)	31.7%	41.7%	45.0%	16.7%	15.0%	41.7%	30.0%	33.3%	

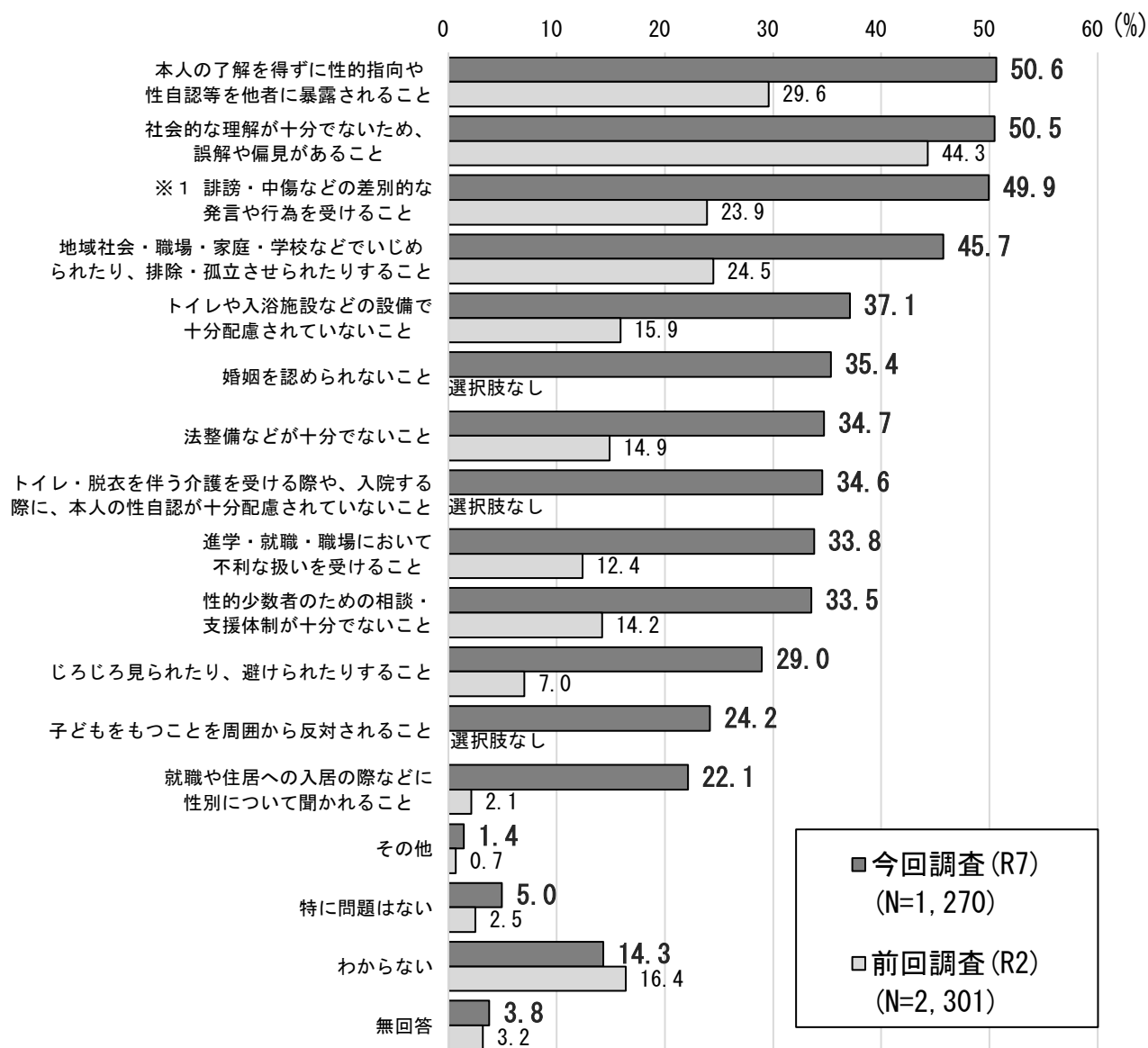
		アパートや住宅への入居が困難なこと	店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	社会的に孤立してしまうこと	ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		34.0%	25.4%	45.1%	42.7%	1.2%	4.6%	10.2%	3.1%
性別	男性 (n=537)	32.8%	22.9%	42.8%	40.4%	1.9%	7.8%	10.6%	3.0%
	女性 (n=676)	35.1%	28.0%	47.6%	45.6%	0.7%	2.1%	9.6%	2.8%
	その他 (n=7)	28.6%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	26.9%	30.8%	50.0%	50.0%	0.0%	3.8%	11.5%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	38.9%	55.6%	55.6%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	38.5%	34.1%	47.3%	41.8%	1.1%	11.0%	3.3%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	32.1%	23.4%	40.1%	37.2%	1.5%	8.0%	10.2%	3.6%
	40歳～49歳 (n=175)	30.9%	25.1%	47.4%	41.7%	0.6%	6.3%	8.0%	2.3%
	50歳～59歳 (n=263)	33.5%	25.1%	46.0%	40.3%	1.1%	4.2%	11.0%	1.9%
	60歳～69歳 (n=216)	31.5%	25.9%	44.9%	46.3%	1.4%	1.9%	10.6%	2.8%
	70歳～79歳 (n=213)	39.9%	23.0%	48.4%	46.0%	0.9%	1.9%	8.9%	3.3%
80歳以上 (n=120)	33.3%	22.5%	36.7%	38.3%	2.5%	2.5%	17.5%	9.2%	

23 性的少数者について人権上問題があると思うこと【問 23】

性的少数者に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」が50.6%と最も多く、次いで「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が50.5%、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が49.9%と続いている。

また、前回調査と比較すると、「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」が21ポイント、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が26ポイント増加している。

図Ⅱ—23—1 性的少数者について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ぶなど差別的な言動を受けること」

性別で見ると、「婚姻を認められないこと」ではおよそ16ポイント、「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」ではおよそ12ポイント、「トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと」ではおよそ11ポイント、男性より女性が高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳と30歳代～40歳代では、「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」の回答が最も多い。18歳～29歳では、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が最も多く、50歳代は「本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること」と「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」、60歳以上では「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。

表Ⅱ—23—1 性的少数者について人権上問題があると思うこと[性別・年齢別] [MA]

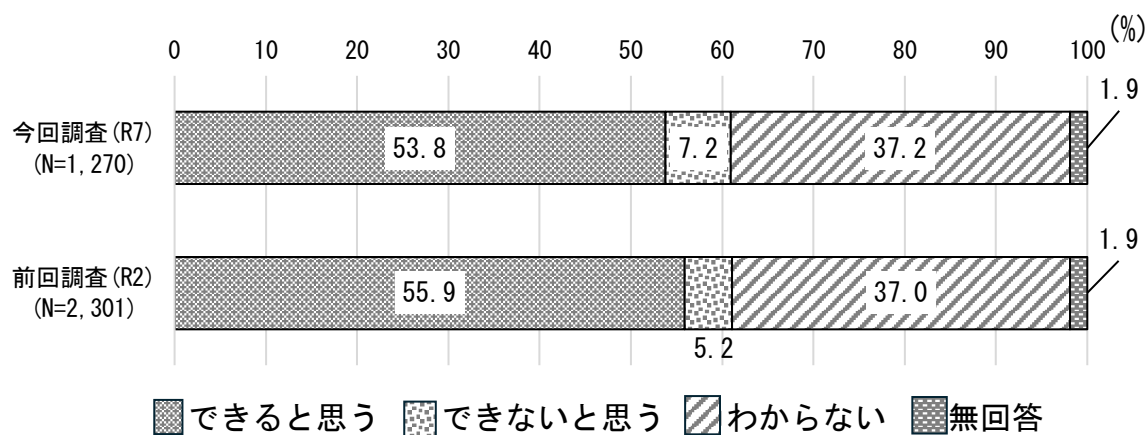
		じろじろ見られたり、避けられたりすること	社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	婚姻を認められないこと	子どもをもつことを周囲から反対されること	進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられたりすること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること	法整備などが十分でないこと
全体 (N=1,270)		29.0%	50.5%	35.4%	24.2%	33.8%	45.7%	49.9%	50.6%	34.7%
性別	男性 (n=537)	26.4%	45.3%	26.6%	21.4%	31.5%	41.5%	45.6%	44.5%	31.8%
	女性 (n=676)	31.7%	55.6%	43.0%	27.4%	36.7%	50.1%	53.7%	56.2%	37.4%
	その他 (n=7)	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	14.3%	57.1%	57.1%	57.1%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	34.6%	65.4%	50.0%	42.3%	53.8%	65.4%	61.5%	80.8%	42.3%
	18歳～19歳 (n=18)	27.8%	61.1%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%	66.7%	50.0%	50.0%
	20歳～29歳 (n=91)	35.2%	54.9%	49.5%	36.3%	44.0%	54.9%	60.4%	58.2%	41.8%
	30歳～39歳 (n=137)	21.9%	48.9%	35.0%	19.7%	27.0%	39.4%	43.8%	53.3%	32.8%
	40歳～49歳 (n=175)	34.9%	50.9%	40.6%	28.0%	38.9%	51.4%	56.0%	60.0%	41.7%
	50歳～59歳 (n=263)	32.3%	51.7%	36.5%	25.9%	35.0%	49.0%	49.4%	51.7%	34.6%
	60歳～69歳 (n=216)	31.5%	53.2%	40.7%	25.5%	37.0%	45.8%	52.3%	49.5%	36.6%
	70歳～79歳 (n=213)	24.4%	47.4%	23.9%	18.3%	29.1%	43.7%	46.5%	46.0%	34.3%
80歳以上 (n=120)	21.7%	40.0%	22.5%	15.8%	21.7%	32.5%	37.5%	31.7%	17.5%	

		トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと	トイレ・脱衣を伴う介護を受ける際や、病院に入院する際に、本人の性自認が十分配慮されていないこと	就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること	性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		37.1%	34.6%	22.1%	33.5%	1.4%	5.0%	14.3%	3.8%
性別	男性 (n=537)	31.1%	29.6%	18.8%	30.4%	1.9%	8.8%	16.0%	3.7%
	女性 (n=676)	42.2%	39.2%	25.4%	36.8%	0.9%	2.1%	13.0%	3.3%
	その他 (n=7)	57.1%	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	57.7%	30.8%	42.3%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	27.8%	38.9%	33.3%	27.8%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	30.8%	30.8%	31.9%	40.7%	2.2%	7.7%	8.8%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	36.5%	29.9%	17.5%	32.1%	2.9%	8.0%	11.7%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	38.9%	40.6%	26.3%	36.6%	1.1%	8.6%	9.7%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	36.9%	33.8%	22.4%	31.2%	1.5%	3.0%	16.0%	1.1%
	60歳～69歳 (n=216)	43.1%	38.9%	24.1%	37.0%	0.0%	2.8%	13.0%	4.2%
	70歳～79歳 (n=213)	40.4%	34.3%	17.8%	31.5%	1.4%	3.8%	17.4%	5.6%
80歳以上 (n=120)	25.8%	22.5%	14.2%	27.5%	2.5%	3.3%	23.3%	11.7%	

次に、もし家族（親・子・配偶者など）が性的少数者であることをあなたに告白した場合、その人の理解者になることができるかを尋ねたところ、「できると思う」が53.8%、「できないと思う」が7.2%となった。「わからない」は37.2%となった。

前回調査と比較すると「できると思う」がおよそ2ポイント減少し、「できないと思う」がおよそ2ポイント増加している。

図Ⅱ—23—2 家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること [SA]

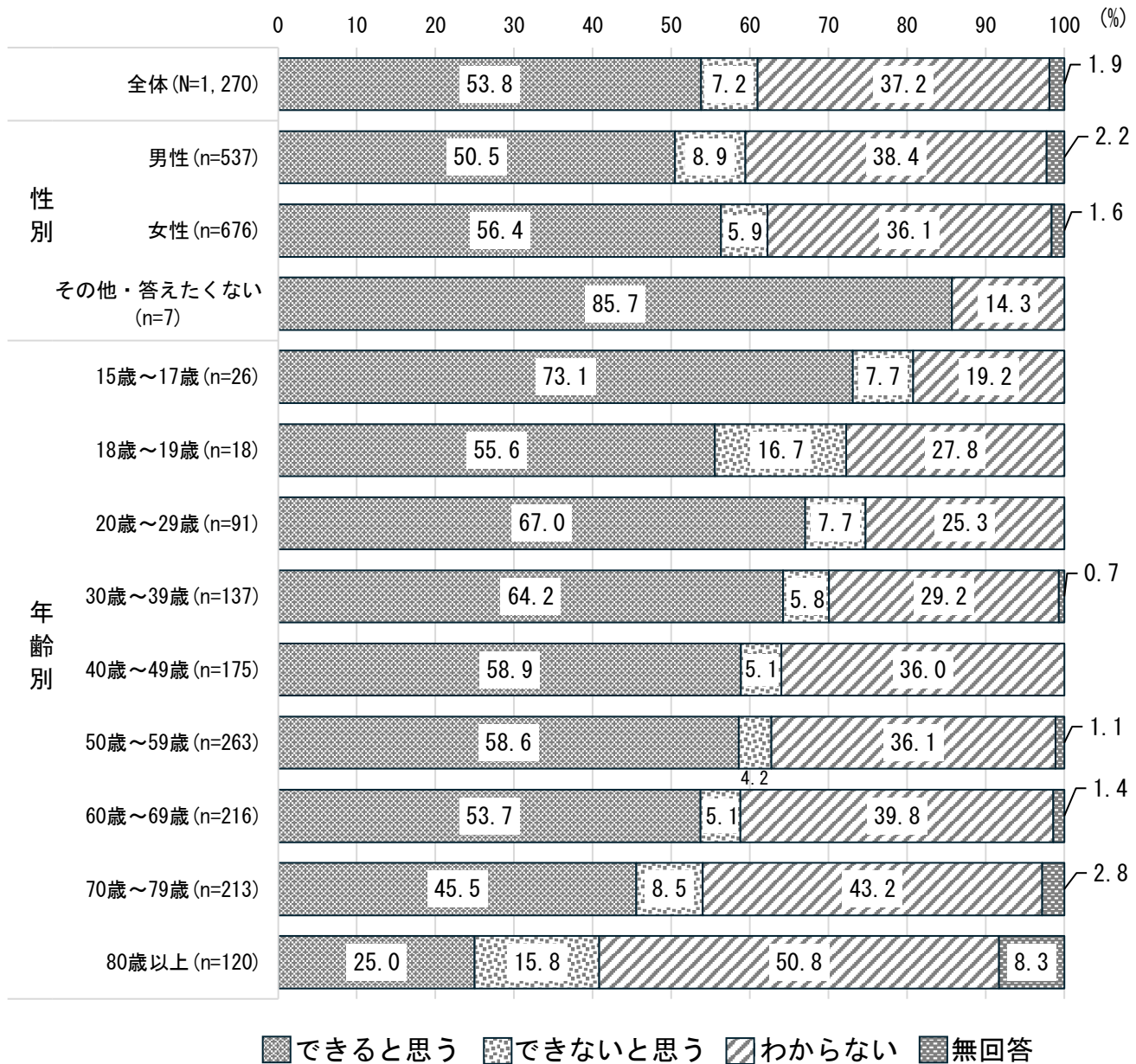


性別で見ると、「できると思う」は、男性より女性がおよそ6ポイント高い。

年齢別で見ると、年齢層が若いほど「できると思う」が多い傾向にある一方で、年齢層が高いほど「わからない」が多い傾向にある。

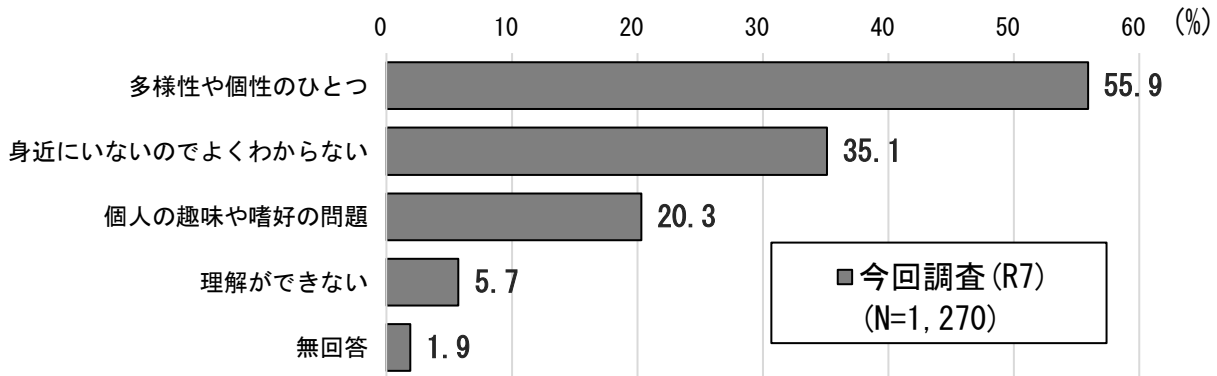
図Ⅱ—23—3 家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になること

(性別・年齢別) [SA]



次に、性的少数者について、どのようなイメージを持っているかを尋ねたところ、「多様性や個性のひとつ」が55.9%と最も多く、次いで「身近にいないのでよくわからない」が35.1%、「個人の趣味や嗜好の問題」が20.3%と続く結果となった。また、「理解ができない」の回答も5.7%あった。

図Ⅱ—23—4 性的少数者についてもつイメージ [MA]



表Ⅱ—23—2 性的少数者についてもつイメージ [MA]

性別で見ると、「多様性や個性のひとつ」は、男性より女性がおよそ14ポイント高い。年齢別で見ると、79歳以下の全世代で「多様性や個性のひとつ」が最も多いが、80歳以上では、「身近にいないのでよくわからない」が最も多くなっている。

		多様性や個性のひとつ	身近にいないのでよくわからない	個人の趣味や嗜好の問題	理解ができない	無回答
全体 (N=1,270)		55.9%	35.1%	20.3%	5.7%	1.9%
性別	男性 (n=537)	48.2%	36.1%	22.3%	7.6%	2.2%
	女性 (n=676)	62.4%	33.7%	18.2%	4.4%	1.5%
	その他 (n=7)	85.7%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	年齢別					
	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	55.6%	27.8%	44.4%	16.7%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	69.2%	14.3%	33.0%	7.7%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	63.5%	25.5%	31.4%	5.1%	0.0%
	40歳～49歳 (n=175)	68.0%	23.4%	20.6%	4.6%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	59.3%	35.7%	18.3%	3.0%	0.4%
	60歳～69歳 (n=216)	56.0%	34.7%	18.1%	2.3%	1.9%
	70歳～79歳 (n=213)	48.4%	45.1%	15.0%	8.5%	3.8%
	80歳以上 (n=120)	25.8%	62.5%	10.0%	14.2%	7.5%

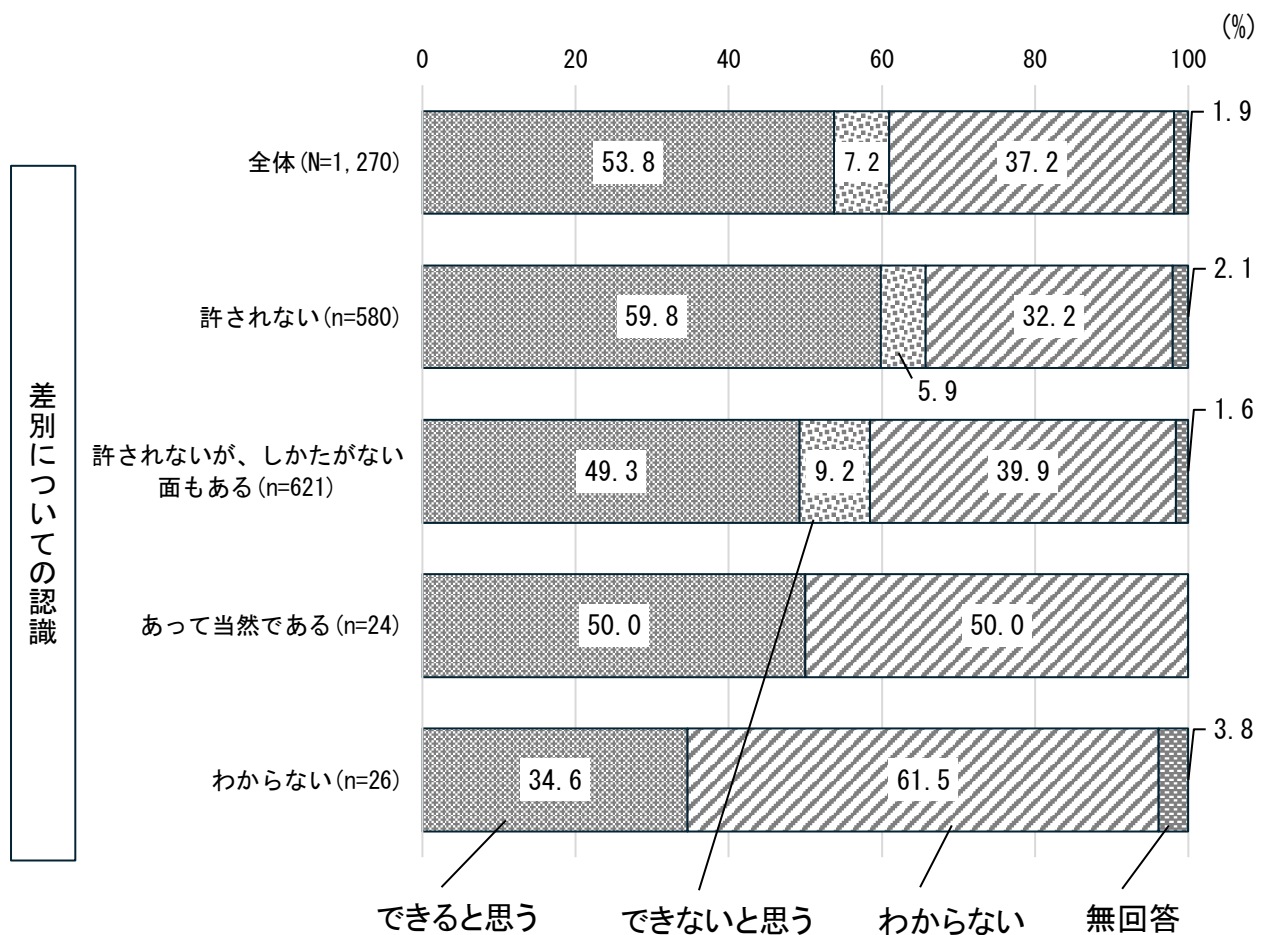
設問間クロス集計 9

差別についての認識と、家族から性的少数者であることを告白された場合の対応との関係を見るため、「家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることができるか」【問23-2】の回答について、「差別についての認識」【問2-1】の回答別に集計した。

差別は「許されない」と回答した人と「許されないが、しかたがない面もある」と回答した人を比べると、家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることが「できると思う」と回答した人は、およそ11ポイントの差がある。

また、差別は「あって当然である」と回答した人の中で、家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることが「できると思う」と回答した人と「わからない」と回答した人は半数ずつであった。

図クロス9 差別についての認識【問2-1】×
家族から性的少数者であることを告白された場合、理解者になることができるか【問23-2】

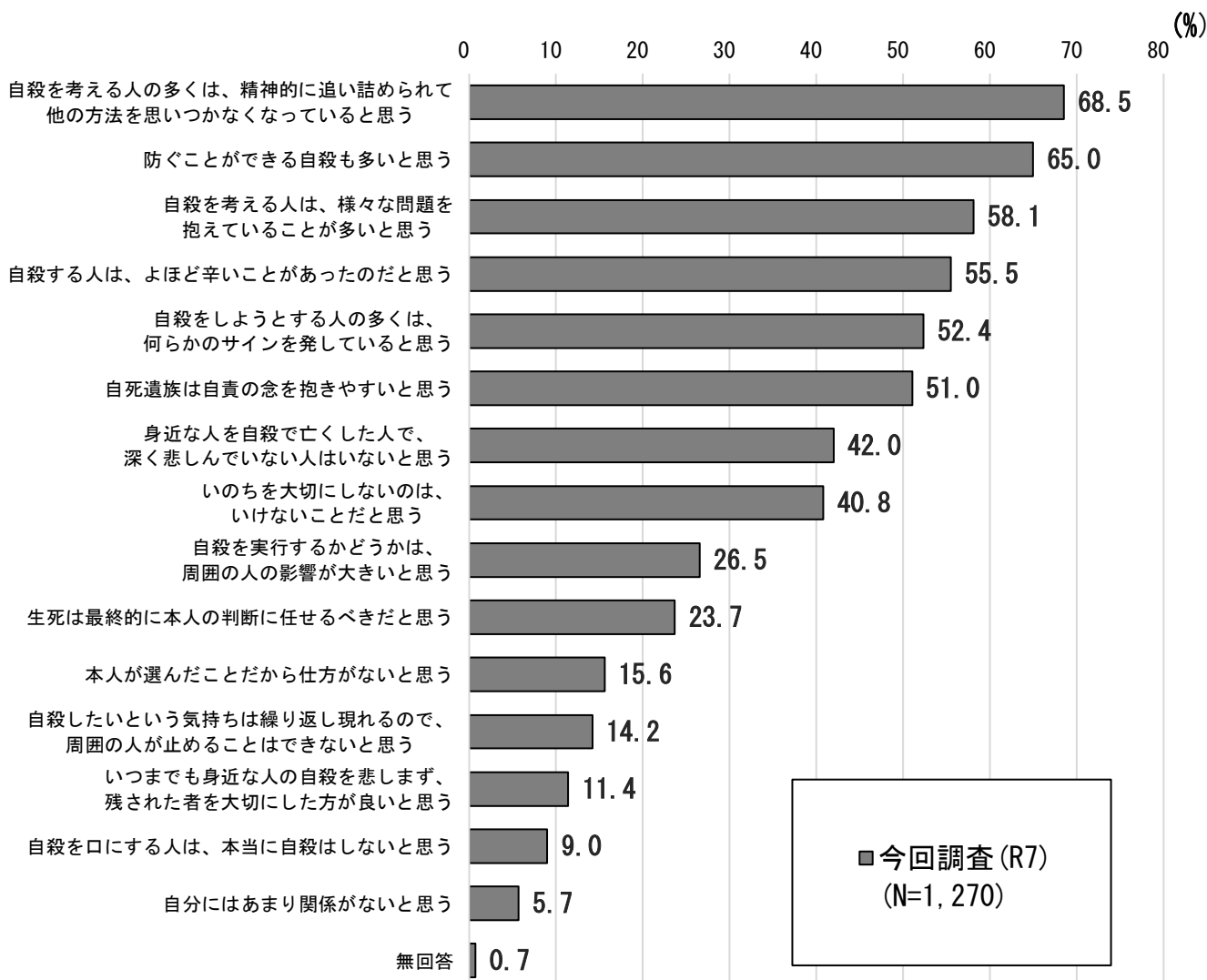


家族が性的少数者の場合、理解者になれるか

24 自殺（自死）について、どのように思うか【問 24】

自殺（自死）について、どのように思うかを尋ねたところ、「自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う」が68.5%と最も多く、次に「防ぐことができる自殺も多いと思う」が65.0%、「自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う」が58.1%、「自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う」が55.5%と続いている。

図Ⅱ—24—1 自殺（自死）について、どのように思うか [MA]



性別で見ると、「自死遺族は自責の念を抱きやすいと思う」では、およそ19ポイント、「身近な人を自殺で亡くした人で、深く悲しんでいない人はいないと思う」では、およそ16ポイント、男性より女性が高くなっている。一方、「いのちを大切にしないのは、いけないことだと思う」は、男性が女性よりおよそ11ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳では「自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う」の回答が最も多い。18歳～29歳と70歳代では「防ぐことができる自殺も多いと思う」が、30歳代～60歳代と80歳以上では「自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う」が最も多くなっている。

表Ⅱ—24—1 自殺（自死）について、どのように思うか（性別年齢別）[MA]

		いのちを大切にしないのは、いけないことだと思う	生死は最終的に本人の判断に任せべきだと思う	自殺したいという気持ちは繰り返し現れるので、周囲の人が止めることはできないと思う	自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う	自分にはあまり関係がないと思う	本人が選んだことだから仕方がないと思う	自殺を口にする人は、本当に自殺はしないと思う	防ぐことができる自殺も多いと思う
全体 (N=1,270)		40.8%	23.7%	14.2%	55.5%	5.7%	15.6%	9.0%	65.0%
性別	男性 (n=537)	46.9%	27.6%	14.2%	55.5%	7.6%	17.1%	8.0%	65.2%
	女性 (n=676)	36.4%	20.9%	13.9%	55.8%	4.0%	14.2%	9.9%	65.4%
	その他 (n=7)	28.6%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	71.4%
	年齢別	15歳～17歳 (n=26)	11.5%	46.2%	23.1%	65.4%	7.7%	19.2%	19.2%
	18歳～19歳 (n=18)	33.3%	38.9%	16.7%	50.0%	22.2%	38.9%	27.8%	72.2%
	20歳～29歳 (n=91)	19.8%	39.6%	31.9%	63.7%	6.6%	33.0%	17.6%	64.8%
	30歳～39歳 (n=137)	35.0%	36.5%	21.2%	63.5%	5.1%	21.9%	10.2%	62.8%
	40歳～49歳 (n=175)	37.7%	29.1%	16.6%	58.3%	4.0%	14.9%	7.4%	64.0%
	50歳～59歳 (n=263)	40.3%	20.9%	8.4%	57.8%	3.8%	13.3%	8.0%	70.3%
	60歳～69歳 (n=216)	38.4%	21.8%	11.6%	52.3%	4.2%	13.4%	6.9%	66.7%
	70歳～79歳 (n=213)	53.5%	12.7%	10.3%	46.0%	3.3%	11.7%	5.6%	64.8%
	80歳以上 (n=120)	56.7%	12.5%	11.7%	53.3%	15.8%	8.3%	9.2%	52.5%

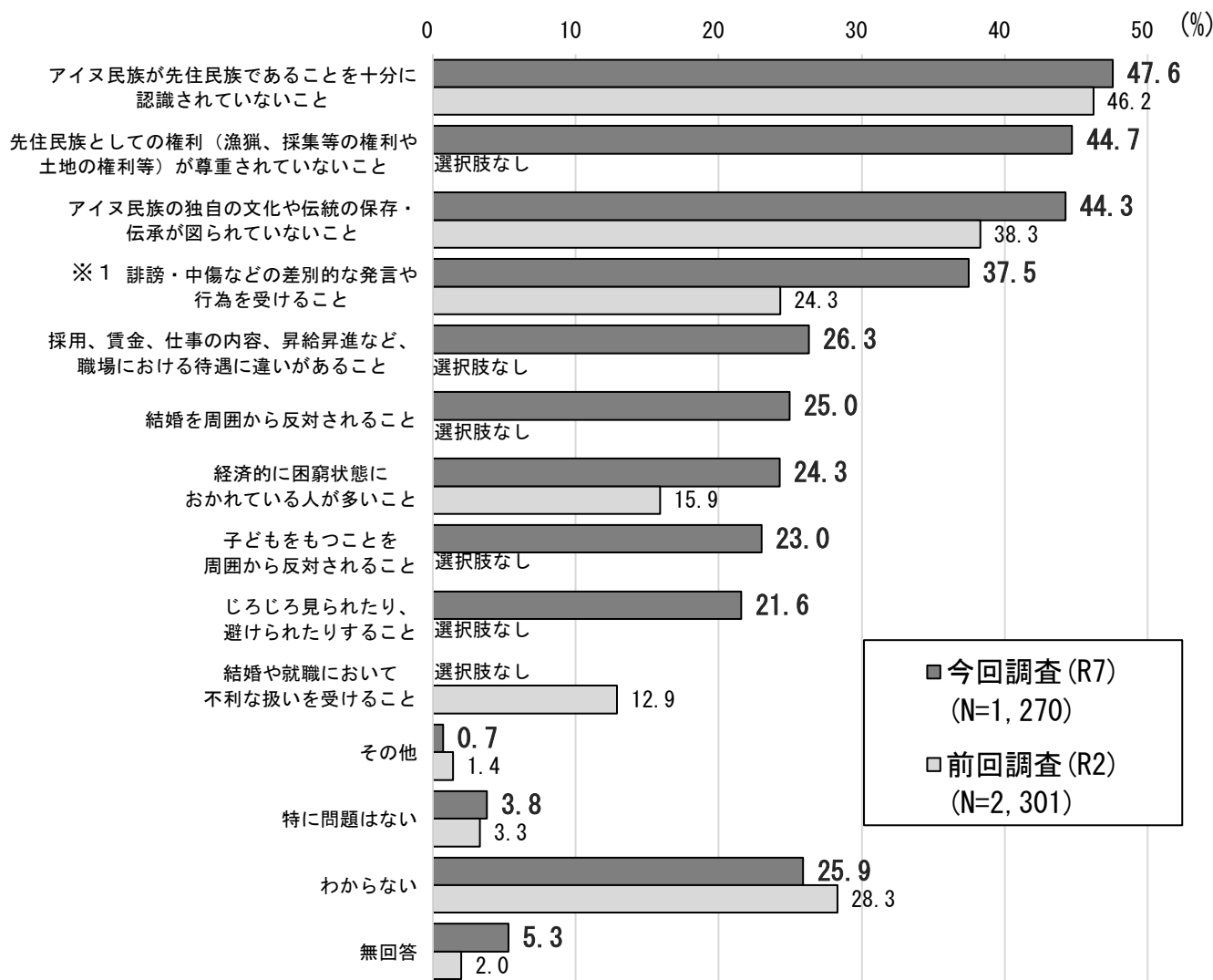
		自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを発していると思う	自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う	自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う	自死遺族は自責の念を抱きやすいと思う	身近な人を自殺で亡くした人で、深く悲しんでいない人はいないと思う	いつまでも身近な人の自殺を悲しまず、残された者を大切にされた方が良いと思う	自殺を実行するかどうかは、周囲の人の影響が大きいと思う	無回答
全体 (N=1,270)		52.4%	58.1%	68.5%	51.0%	42.0%	11.4%	26.5%	0.7%
性別	男性 (n=537)	53.4%	57.5%	63.7%	40.2%	32.8%	11.0%	28.5%	0.9%
	女性 (n=676)	52.5%	58.7%	72.3%	59.0%	49.1%	11.7%	25.7%	0.4%
	その他 (n=7)	42.9%	57.1%	71.4%	85.7%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
	年齢別	15歳～17歳 (n=26)	50.0%	73.1%	61.5%	53.8%	42.3%	7.7%	61.5%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	66.7%	61.1%	55.6%	38.9%	16.7%	55.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	54.9%	63.7%	63.7%	50.5%	30.8%	7.7%	42.9%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	47.4%	64.2%	68.6%	50.4%	29.9%	8.0%	29.9%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	52.6%	67.4%	72.0%	59.4%	50.9%	14.3%	25.7%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	55.9%	62.7%	77.9%	62.4%	45.2%	10.6%	24.0%	0.0%
	60歳～69歳 (n=216)	50.9%	52.3%	69.9%	51.9%	45.8%	10.2%	19.4%	0.9%
	70歳～79歳 (n=213)	55.4%	46.5%	61.5%	38.0%	40.4%	10.8%	22.1%	0.9%
	80歳以上 (n=120)	46.7%	51.7%	58.3%	35.0%	40.0%	18.3%	25.8%	3.3%

25 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと【問 25】

アイヌ民族に関すること、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと」が47.6%と最も多く、次いで「先住民族としての権利（漁猟、採集等の権利や土地の権利等）が尊重されていないこと」が44.7%、「アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと」が44.3%と続いている。また、他の設問と比べると「わからない」の回答が多くなっている。

前回調査と比べ、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」は、およそ13ポイントと大きく増加している。

図Ⅱ—25-1 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「差別的な発言や行為を受けること」

性別で見ると、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、15歳～17歳は「先住民族としての権利（漁猟、採集等の権利や土地の権利等）が尊重されていないこと」と「誹謗、中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が同率で最も多く、18歳～19歳は「先住民族としての権利（漁猟、採集等の権利や土地の権利等）が尊重されていないこと」、20歳代～40歳代は「アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと」、50歳以上は「アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと」が最も多くなっている。

表Ⅱ—25-1 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

	じろじろ見られたり、避けられたりする	アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと	先住民族としての権利（漁猟、採集等の権利や土地の権利等）が尊重されていないこと	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	経済的に困窮状態におかれている人が多いこと
全体 (N=1,270)	21.6%	47.6%	44.7%	25.0%	23.0%	26.3%	24.3%
性別	男性 (n=537)	20.7%	46.7%	43.6%	25.3%	23.5%	25.1%
	女性 (n=676)	23.2%	49.0%	46.2%	25.6%	23.7%	27.8%
	その他 (n=7)	28.6%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	19.2%	38.5%	53.8%	26.9%	19.2%	38.5%
	18歳～19歳 (n=18)	22.2%	44.4%	55.6%	33.3%	27.8%	33.3%
	20歳～29歳 (n=91)	31.9%	49.5%	50.5%	38.5%	39.6%	41.8%
	30歳～39歳 (n=137)	15.3%	33.6%	32.8%	21.2%	20.4%	19.7%
	40歳～49歳 (n=175)	24.6%	41.7%	40.6%	26.3%	27.4%	29.1%
	50歳～59歳 (n=263)	22.8%	51.0%	47.5%	28.1%	24.3%	28.1%
	60歳～69歳 (n=216)	25.5%	53.2%	47.7%	25.9%	23.6%	25.0%
	70歳～79歳 (n=213)	16.9%	54.5%	48.8%	18.8%	16.0%	23.5%
80歳以上 (n=120)	17.5%	42.5%	37.5%	19.2%	17.5%	20.0%	

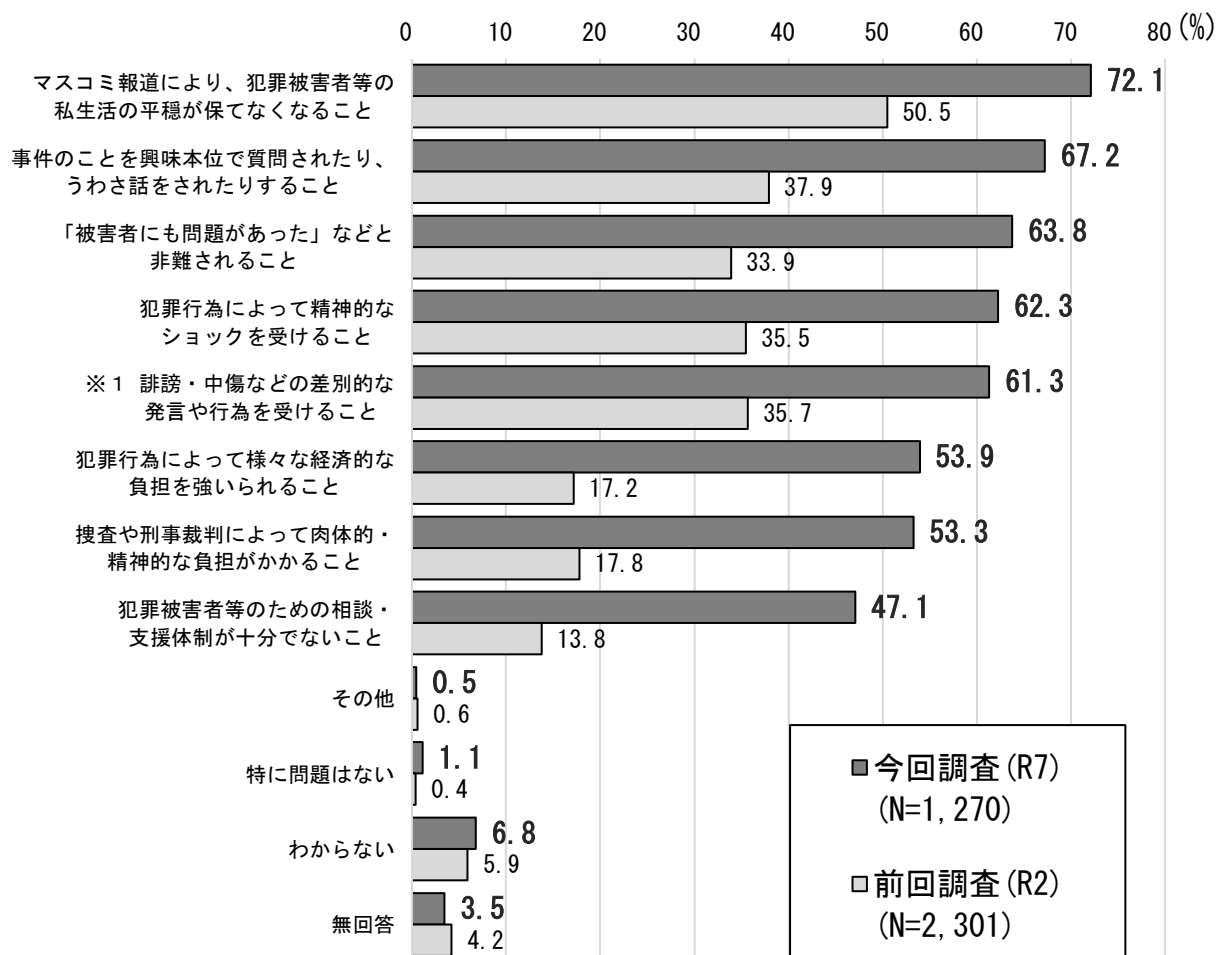
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)	37.5%	44.3%	0.7%	3.8%	25.9%	5.3%
性別	男性 (n=537)	35.2%	43.2%	1.1%	5.8%	3.5%
	女性 (n=676)	39.9%	45.4%	0.4%	1.9%	5.6%
	その他 (n=7)	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	53.8%	53.8%	0.0%	0.0%	19.2%
	18歳～19歳 (n=18)	50.0%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%
	20歳～29歳 (n=91)	48.4%	52.7%	0.0%	2.2%	26.4%
	30歳～39歳 (n=137)	31.4%	38.0%	0.0%	7.3%	31.4%
	40歳～49歳 (n=175)	36.0%	44.0%	0.6%	4.6%	29.7%
	50歳～59歳 (n=263)	38.4%	47.9%	1.1%	1.9%	27.4%
	60歳～69歳 (n=216)	40.7%	45.8%	0.0%	4.2%	26.9%
	70歳～79歳 (n=213)	33.8%	45.1%	1.4%	4.7%	17.4%
80歳以上 (n=120)	33.3%	30.8%	0.8%	0.8%	29.2%	

26 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと【問 26】

犯罪被害者等に関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」が72.1%と最も多く、次いで「事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること」が67.2%、「『被害者にも問題があった』などと非難されること」が63.8%、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が62.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「『被害者にも問題があった』などと非難されること」が、およそ30ポイント、「事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること」が、およそ29ポイント、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が、およそ27ポイント、「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」は、およそ22ポイントそれぞれ増加している。

図Ⅱ—26-1 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「インターネット・電話・手紙などによって誹謗中傷を受けること」

性別で見ると、「『被害者にも問題があった』などと非難されること」は男性より女性がおよそ13ポイント高くなっている。また、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」は男性より女性が10ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳は「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、「『被害者にも問題があった』などと非難されること」、「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」、18歳～19歳は「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」がそれぞれ同率で多かったほか、20歳代～60歳代は「マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること」、70歳代は「事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること」80歳以上は「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が最も多かった。

表Ⅱ—26-1 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと [MA]

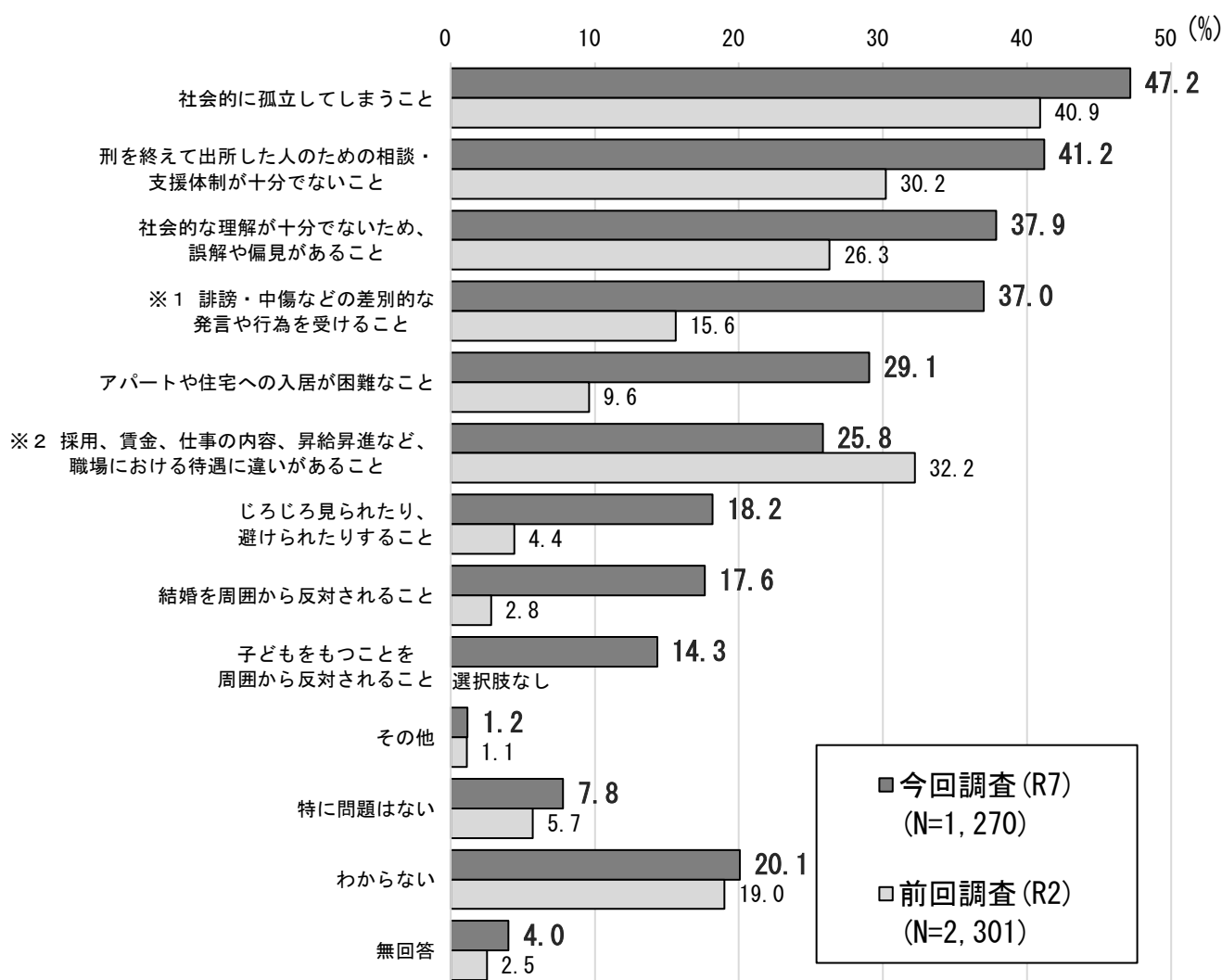
		犯罪行為によって精神的なショックを受けること	犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること	事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること	「被害者にも問題があった」などと非難されること	捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること	マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること
全体 (N=1,270)		62.3%	53.9%	67.2%	63.8%	53.3%	72.1%
性別	男性 (n=537)	57.9%	57.4%	62.0%	56.8%	50.3%	68.3%
	女性 (n=676)	66.6%	50.9%	71.6%	69.7%	56.2%	75.9%
	その他 (n=7)	57.1%	71.4%	85.7%	85.7%	71.4%	71.4%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	76.9%	53.8%	73.1%	76.9%	65.4%	76.9%
	18歳～19歳 (n=18)	77.8%	72.2%	61.1%	66.7%	66.7%	77.8%
	20歳～29歳 (n=91)	73.6%	59.3%	69.2%	70.3%	53.8%	82.4%
	30歳～39歳 (n=137)	70.1%	68.6%	66.4%	68.6%	59.9%	77.4%
	40歳～49歳 (n=175)	66.3%	68.0%	74.9%	77.7%	65.1%	79.4%
	50歳～59歳 (n=263)	65.0%	58.2%	74.9%	70.7%	56.3%	78.7%
	60歳～69歳 (n=216)	57.4%	48.6%	64.8%	62.0%	51.9%	73.6%
	70歳～79歳 (n=213)	56.8%	42.7%	66.2%	50.2%	46.0%	62.9%
80歳以上 (n=120)	47.5%	31.7%	45.0%	41.7%	35.8%	45.8%	
		誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		61.3%	47.1%	0.5%	1.1%	6.8%	3.5%
性別	男性 (n=537)	56.1%	44.9%	0.7%	2.2%	8.0%	3.2%
	女性 (n=676)	66.1%	49.7%	0.3%	0.3%	5.8%	3.0%
	その他 (n=7)	85.7%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	30.8%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	66.7%	50.0%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	72.5%	45.1%	0.0%	0.0%	5.5%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	67.2%	44.5%	0.0%	2.9%	8.0%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	72.0%	57.1%	1.1%	1.1%	4.6%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	65.4%	48.7%	0.0%	1.1%	6.5%	2.3%
	60歳～69歳 (n=216)	60.6%	49.1%	0.9%	0.9%	4.6%	2.8%
	70歳～79歳 (n=213)	53.5%	47.4%	0.5%	0.5%	6.6%	3.8%
80歳以上 (n=120)	39.2%	34.2%	0.8%	0.0%	15.0%	15.0%	

27 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと【問27】

刑を終えて出所した人に関するところで、人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、「社会的に孤立してしまうこと」が47.2%と最も多く、次いで「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと」が41.2%、「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が37.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が、およそ21ポイント、「アパートや住宅への入居が困難なこと」がおよそ20ポイント、それぞれ増加している一方、「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」はおよそ6ポイント減少している。

図Ⅱ—27—1 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」

※2 前回調査では「就職・職場において不利な扱いを受けること」

性別で見ると、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、15歳～17歳、30歳代～70歳代では、「社会的に孤立してしまうこと」の回答が最も多くなっている。18歳～29歳では「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」が、80歳以上では「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。また、年齢層が高いほど「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと」、「社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること」の割合が高い傾向にある。

表Ⅱ—27—1 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと（性別年齢別）[MA]数

		社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	社会的に孤立してしまうこと	結婚を周囲から反対されること	子どもをもつことを周囲から反対されること	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
全体 (N=1,270)		37.9%	18.2%	47.2%	17.6%	14.3%	25.8%	37.0%
性別	男性 (n=537)	36.3%	18.1%	44.9%	17.9%	15.5%	25.1%	38.9%
	女性 (n=676)	39.8%	18.8%	50.1%	18.0%	13.9%	27.4%	37.0%
	その他 (n=7)	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	34.6%	34.6%	65.4%	26.9%	15.4%	42.3%	38.5%
	18歳～19歳 (n=18)	38.9%	27.8%	44.4%	16.7%	11.1%	22.2%	55.6%
	20歳～29歳 (n=91)	34.1%	23.1%	39.6%	26.4%	22.0%	28.6%	44.0%
	30歳～39歳 (n=137)	29.2%	11.7%	33.6%	16.8%	12.4%	16.8%	23.4%
	40歳～49歳 (n=175)	31.4%	18.3%	45.7%	17.1%	14.9%	22.9%	32.6%
	50歳～59歳 (n=263)	33.5%	19.8%	50.6%	16.7%	13.7%	23.6%	34.2%
	60歳～69歳 (n=216)	37.0%	16.2%	48.1%	15.3%	13.4%	28.7%	42.6%
	70歳～79歳 (n=213)	49.8%	18.3%	56.8%	16.9%	14.1%	30.5%	41.3%
80歳以上 (n=120)	50.0%	17.5%	43.3%	19.2%	15.0%	27.5%	40.0%	

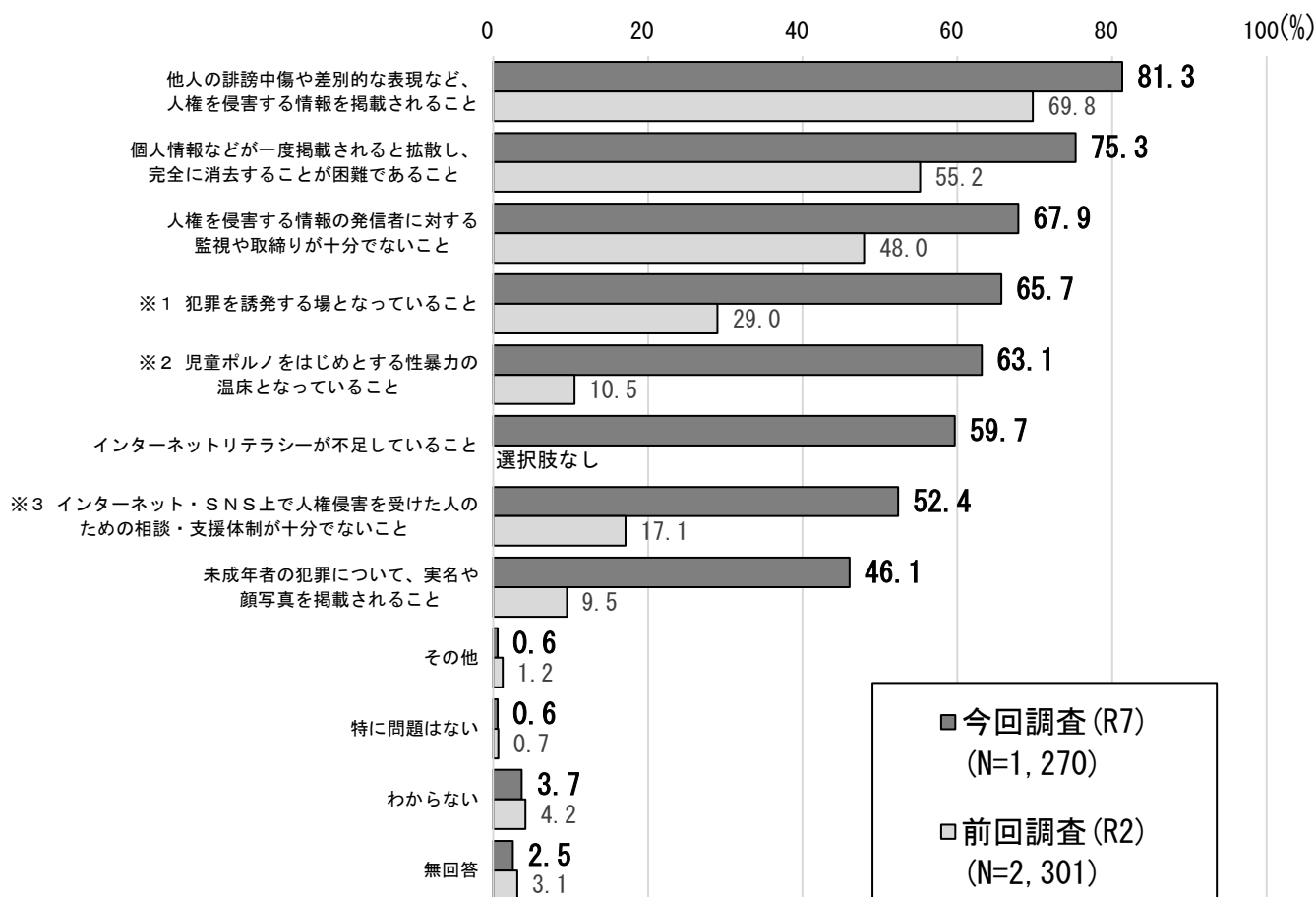
		アパートや住宅への入居が困難なこと	刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		29.1%	41.2%	1.2%	7.8%	20.1%	4.0%
性別	男性 (n=537)	29.8%	40.8%	1.5%	10.4%	18.2%	4.1%
	女性 (n=676)	29.3%	42.3%	1.0%	6.1%	20.1%	3.4%
	その他 (n=7)	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	30.8%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	22.2%	38.9%	0.0%	22.2%	11.1%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	26.4%	35.2%	0.0%	19.8%	17.6%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	21.9%	29.2%	1.5%	17.5%	19.0%	5.1%
	40歳～49歳 (n=175)	26.9%	37.7%	1.7%	13.1%	20.6%	2.3%
	50歳～59歳 (n=263)	26.6%	39.2%	1.5%	5.3%	23.2%	3.4%
	60歳～69歳 (n=216)	29.6%	46.3%	1.9%	1.9%	23.1%	1.9%
	70歳～79歳 (n=213)	37.1%	53.5%	0.5%	3.8%	14.1%	4.2%
80歳以上 (n=120)	30.8%	40.0%	0.8%	1.7%	23.3%	10.0%	

28 インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと【問28】

インターネット・SNSに関することで、人権上問題があると思うのはどのようなことかを尋ねたところ、「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること」が、81.3%と最も多く、次いで「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」が75.3%、「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」が67.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「児童ポルノをはじめとする性暴力の温床となっていること」が、およそ53ポイント、「犯罪を誘発する場となっていること」がおよそ37ポイント、「未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること」がおよそ37ポイントそれぞれ増加している。

図Ⅱ—28—1 インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「出会い系サイト、裏サイトなど犯罪を誘発する場になっていること」

※2 前回調査では「児童ポルノの温床となっていること」

※3 前回調査では「インターネット上で人権侵害を受けた人へのための相談・支援体制が十分でないこと」

性別で見ると、「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」は、男性より女性がおよそ9ポイント高く、「児童ポルノをはじめとする性暴力の温床となっていること」は、男性より女性が8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、18歳以上の全年齢層で「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること」の回答が最も多くなっている。一方、15歳～17歳では、「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」が最も多い。

表Ⅱ—28—1 インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

		他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること	犯罪を誘発する場となっていること	未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること	児童ポルノをはじめとする性暴力の温床となっていること	個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	インターネット・SNS上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと
全体 (N=1,270)		81.3%	65.7%	46.1%	63.1%	75.3%	52.4%
性別	男性 (n=537)	79.5%	66.1%	43.6%	59.2%	70.4%	49.9%
	女性 (n=676)	83.6%	65.7%	48.8%	67.2%	79.1%	55.5%
	その他 (n=7)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	76.9%	61.5%	61.5%	61.5%	88.5%	38.5%
	18歳～19歳 (n=18)	88.9%	66.7%	44.4%	66.7%	77.8%	50.0%
	20歳～29歳 (n=91)	83.5%	64.8%	47.3%	64.8%	73.6%	46.2%
	30歳～39歳 (n=137)	76.6%	65.0%	44.5%	65.0%	77.4%	48.2%
	40歳～49歳 (n=175)	86.3%	78.9%	51.4%	77.1%	83.4%	61.1%
	50歳～59歳 (n=263)	81.7%	71.9%	51.7%	65.4%	81.4%	57.8%
	60歳～69歳 (n=216)	87.0%	67.1%	49.1%	62.5%	76.4%	58.3%
	70歳～79歳 (n=213)	84.0%	58.2%	40.8%	57.7%	68.1%	48.8%
80歳以上 (n=120)	64.2%	46.7%	28.3%	45.8%	59.2%	39.2%	

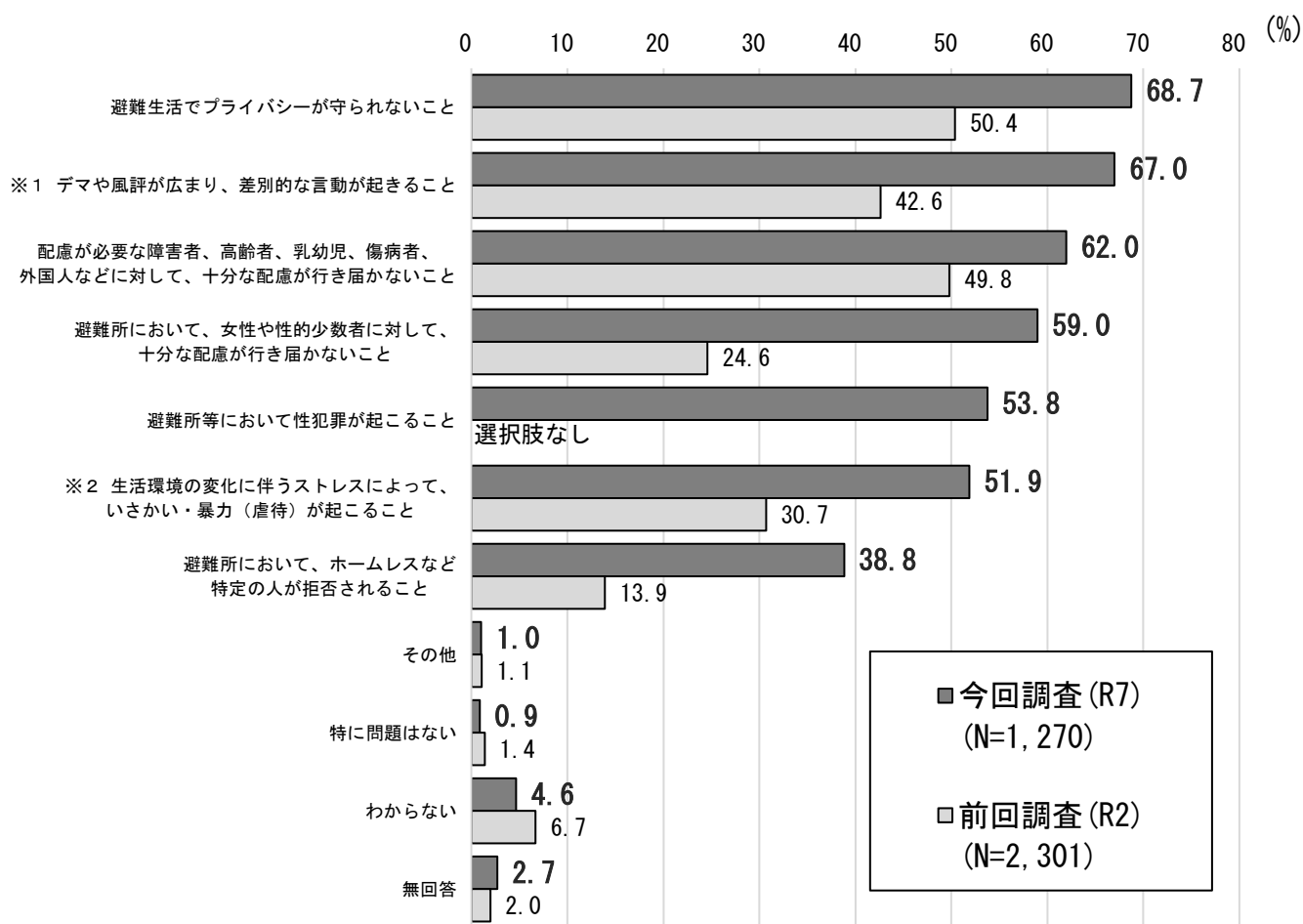
		人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	インターネットリテラシーが不足していること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		67.9%	59.7%	0.6%	0.6%	3.7%	2.5%
性別	男性 (n=537)	65.2%	55.5%	1.1%	0.9%	3.9%	2.4%
	女性 (n=676)	70.4%	63.2%	0.0%	0.1%	3.3%	2.5%
	その他 (n=7)	85.7%	100.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	76.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	66.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	64.8%	68.1%	1.1%	0.0%	2.2%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	54.7%	72.3%	0.0%	2.9%	2.9%	1.5%
	40歳～49歳 (n=175)	70.9%	69.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%
	50歳～59歳 (n=263)	72.6%	64.6%	1.5%	1.1%	2.7%	0.8%
	60歳～69歳 (n=216)	72.2%	57.4%	0.5%	0.0%	1.4%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	73.2%	49.8%	0.0%	0.0%	7.0%	2.8%
80歳以上 (n=120)	55.8%	31.7%	0.8%	0.0%	10.8%	12.5%	

29 大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと【問 29】

大規模災害が起きた場合に、人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、「避難生活でプライバシーが守られないこと」が68.7%と最も多く、次いで「デマや風評が広まり、差別的な言動が起きること」が、67.0%、「配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」が62.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」がおよそ34ポイント、「避難所において、ホームレスなど特定の人拒否されること」がおよそ25ポイント、「デマや風評が広まり、差別的な言動が起きること」がおよそ24ポイント、それぞれ増加している。

図Ⅱ—29-1 大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと [MA]



※1 前回調査では「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」

※2 前回調査では「生活の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起きること」

性別で見ると、「避難生活でプライバシーが守られないこと」は、男性より女性がおおよそ10ポイント高くなっている。また、「避難所等において性犯罪が起ること」は、男性より女性がおおよそ12ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、18歳～19歳は「デマや風評が広まり、差別的な言動が起ること」と「生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・暴力（虐待）が起ること」が同率で多かった。15歳～17歳と20歳代～50歳代では「デマや風評などによる差別的な言動が起ること」、60歳代～70歳代では「避難生活でプライバシーが守られないこと」、80歳以上では「配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」が最も多くなっている。

表Ⅱ—29-1 大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと [MA]

		避難生活でプライバシーが守られないこと	デマや風評が広まり、差別的な言動が起ること	配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	避難所において、ホームレスなど特定の人が拒否されること	生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・暴力（虐待）が起ること
全体 (N=1,270)		68.7%	67.0%	62.0%	59.0%	38.8%	51.9%
性別	男性 (n=537)	63.1%	66.1%	58.5%	54.4%	38.5%	50.1%
	女性 (n=676)	73.5%	68.2%	65.7%	62.9%	39.3%	52.8%
	その他 (n=7)	71.4%	71.4%	71.4%	85.7%	57.1%	71.4%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	65.4%	73.1%	57.7%	57.7%	57.7%	57.7%
	18歳～19歳 (n=18)	66.7%	72.2%	66.7%	66.7%	50.0%	72.2%
	20歳～29歳 (n=91)	59.3%	75.8%	51.6%	57.1%	37.4%	62.6%
	30歳～39歳 (n=137)	64.2%	69.3%	56.9%	65.7%	35.0%	64.2%
	40歳～49歳 (n=175)	70.3%	74.9%	62.3%	61.7%	34.9%	57.7%
	50歳～59歳 (n=263)	70.7%	71.5%	58.6%	61.2%	42.6%	54.8%
	60歳～69歳 (n=216)	73.1%	69.0%	64.4%	61.1%	39.4%	50.5%
	70歳～79歳 (n=213)	74.2%	58.7%	71.8%	56.8%	37.6%	40.8%
80歳以上 (n=120)	58.3%	47.5%	62.5%	44.2%	36.7%	34.2%	

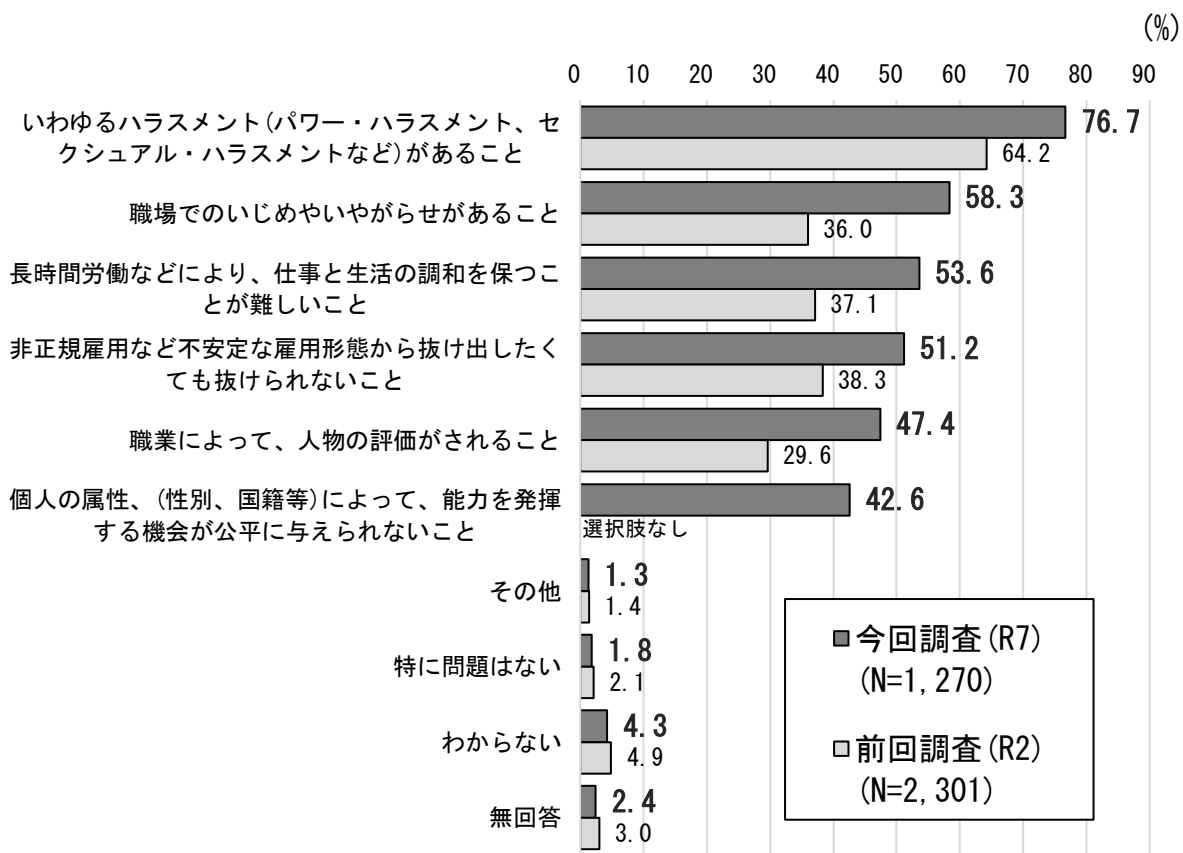
		避難所等において性犯罪が起ること	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		53.8%	1.0%	0.9%	4.6%	2.7%
性別	男性 (n=537)	47.1%	0.9%	1.3%	6.5%	2.2%
	女性 (n=676)	59.3%	1.0%	0.6%	3.0%	2.5%
	その他 (n=7)	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	57.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	61.1%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	73.6%	2.2%	0.0%	1.1%	1.1%
	30歳～39歳 (n=137)	65.7%	0.7%	2.9%	5.1%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	67.4%	0.0%	1.7%	1.1%	2.3%
	50歳～59歳 (n=263)	56.7%	1.1%	0.0%	5.7%	0.8%
	60歳～69歳 (n=216)	48.6%	1.4%	0.5%	5.1%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	38.5%	0.9%	1.4%	2.8%	4.2%
80歳以上 (n=120)	35.8%	0.8%	0.0%	12.5%	10.0%	

30 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと【問 30】

職業や職場環境について、人権上問題があると思うことはどのようなことかを尋ねたところ、「いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること」が76.7%と最も多く、次いで「職場でのいじめやいやがらせがあること」が58.3%、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと」が53.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「職場でのいじめやいやがらせがあること」がおよそ22ポイント、「職業によって、人物の評価がされること」がおよそ18ポイント、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと」がおよそ17ポイント、それぞれ増加している。

図Ⅱ—30—1 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと [MA]



性別で見ると、「職場でのいじめやいやがらせがあること」は男性より女性がおよそ8ポイント多くなっている。

年齢別で見ると、18歳～19歳が「いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること」と「長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つこと」が同率で多くなっているが、それ以外の年齢層は「いわゆるハラスメント（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど）があること」が最も多くなっている。

表Ⅱ—30—1 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと（性別・年齢別）[MA]

		いわゆるハラスメント (パワー・ハラスメント、 セクシュアル・ハラスメントなど)があること	職業によって、人物の 評価がされること	個人の属性、(性別、国 籍等)によって、能力を 発揮する機会が公平に 与えられないこと	非正規雇用など不安定 な雇用形態から抜け出 したくても抜けられない こと	職場でのいじめやいや がらせがあること
全体 (N=1,270)		76.7%	47.4%	42.6%	51.2%	58.3%
性別	男性 (n=537)	75.2%	45.4%	41.3%	49.2%	54.0%
	女性 (n=676)	78.6%	50.1%	43.8%	52.4%	61.7%
	その他 (n=7)	85.7%	28.6%	28.6%	57.1%	85.7%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	80.8%	57.7%	53.8%	57.7%	65.4%
	18歳～19歳 (n=18)	83.3%	72.2%	66.7%	77.8%	72.2%
	20歳～29歳 (n=91)	80.2%	56.0%	42.9%	49.5%	64.8%
	30歳～39歳 (n=137)	72.3%	50.4%	46.7%	42.3%	64.2%
	40歳～49歳 (n=175)	82.9%	48.0%	46.3%	47.4%	62.9%
	50歳～59歳 (n=263)	77.6%	47.9%	41.8%	51.7%	55.5%
	60歳～69歳 (n=216)	82.9%	44.0%	40.3%	52.3%	63.0%
	70歳～79歳 (n=213)	74.6%	46.0%	40.8%	61.0%	54.0%
80歳以上 (n=120)	58.3%	40.8%	36.7%	40.0%	42.5%	

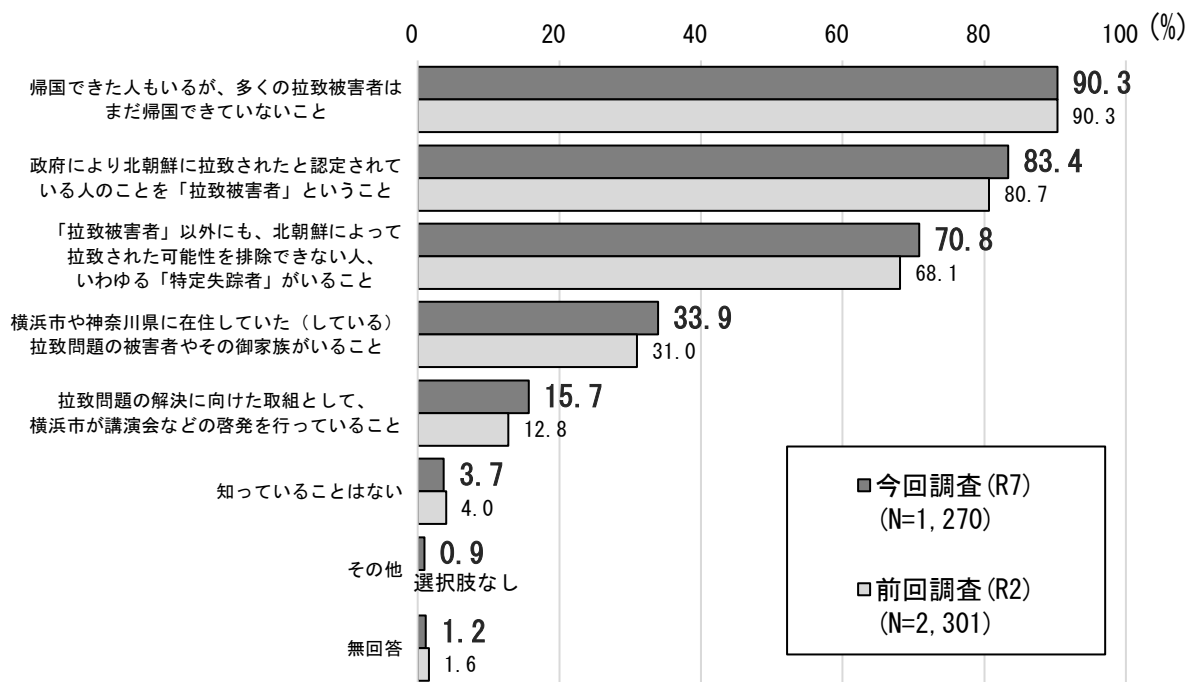
		長時間労働などによ り、仕事と生活の調和 を保つことが難しいこと	その他	特に問題はない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		53.6%	1.3%	1.8%	4.3%	2.4%
性別	男性 (n=537)	52.5%	1.3%	2.8%	4.7%	2.8%
	女性 (n=676)	54.9%	1.2%	1.2%	3.8%	1.9%
	その他 (n=7)	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	73.1%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	83.3%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	74.7%	3.3%	1.1%	2.2%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	65.7%	1.5%	2.9%	2.2%	2.9%
	40歳～49歳 (n=175)	60.6%	1.1%	1.7%	2.9%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	51.7%	1.1%	3.4%	3.8%	1.5%
	60歳～69歳 (n=216)	48.1%	0.9%	0.9%	1.9%	1.4%
	70歳～79歳 (n=213)	45.1%	0.5%	1.4%	5.6%	2.3%
80歳以上 (n=120)	35.0%	1.7%	0.8%	13.3%	10.8%	

31 北朝鮮による拉致問題について知っていること【問 31】

北朝鮮による拉致について、知っていることはどのようなことかを尋ねたところ、「帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと」が90.3%、「政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを『拉致被害者』ということ」が83.4%、「『拉致被害者』以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる『特定失踪者』がいること」が70.8%となっている。前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること」の回答割合が前回調査と同様に低く推移している。

図Ⅱ—31—1 北朝鮮による拉致問題について知っていること [MA]



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、全世代において「帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと」が最も多い。全体的に、年齢層が高い方が知っているとの回答が多い傾向にある。

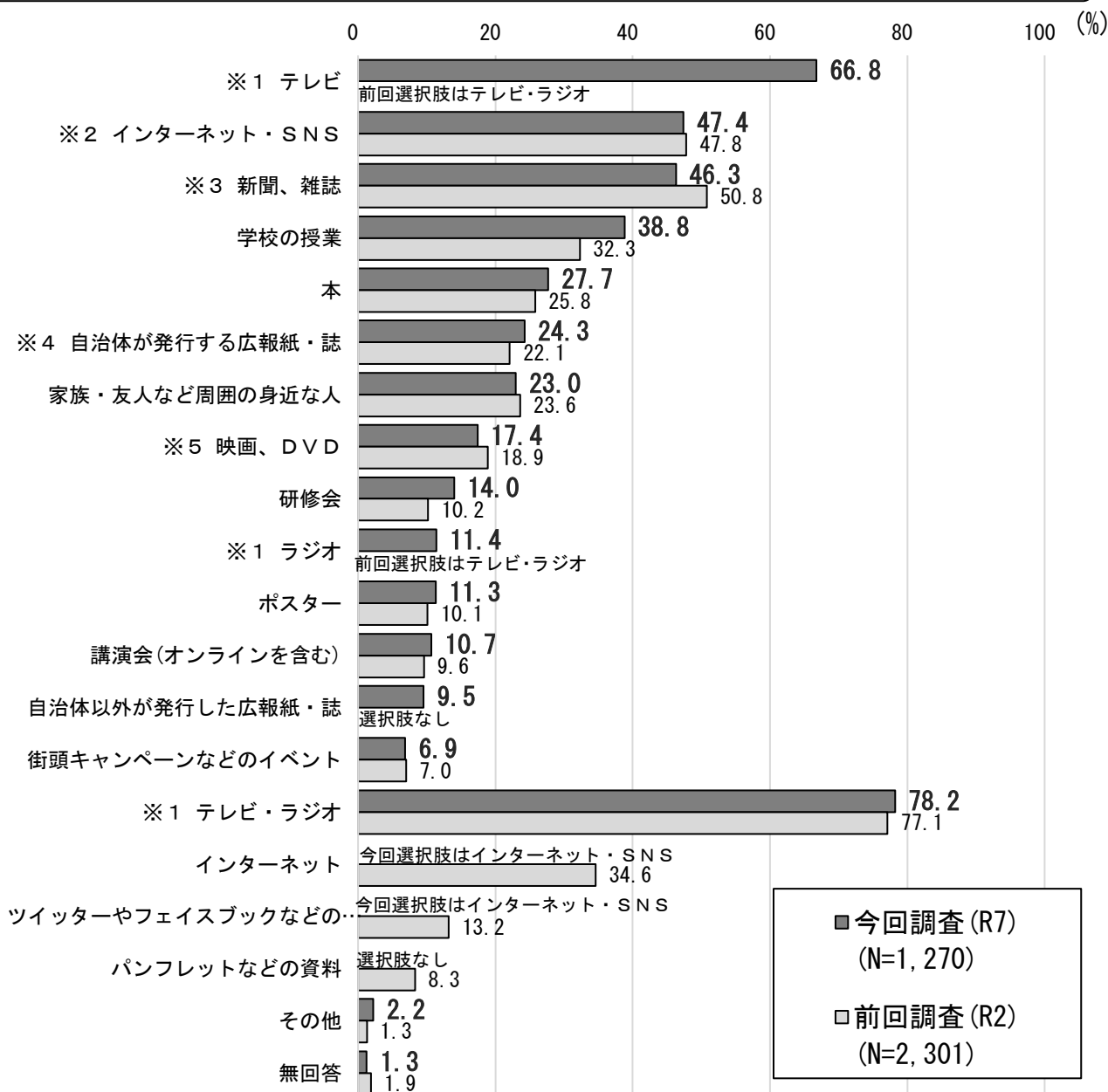
表Ⅱ—31—1 北朝鮮による拉致問題について知っていること (性別年齢別) [MA]

		政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ	帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと	「拉致被害者」以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる「特定失踪者」がいること	横浜市や神奈川県に在住していた(している)拉致問題の被害者やその家族がいること	拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること	知っていること はない	その他	無回答
全体 (N=1,270)		83.4%	90.3%	70.8%	33.9%	15.7%	3.7%	0.9%	1.2%
性別	男性 (n=537)	81.9%	88.5%	72.6%	35.2%	16.4%	4.8%	1.3%	0.9%
	女性 (n=676)	84.5%	91.6%	68.8%	32.7%	15.5%	3.0%	0.7%	1.3%
	その他 (n=7)	85.7%	85.7%	85.7%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	76.9%	84.6%	38.5%	19.2%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	77.8%	83.3%	55.6%	27.8%	33.3%	16.7%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	73.6%	83.5%	46.2%	25.3%	17.6%	9.9%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	78.8%	84.7%	57.7%	20.4%	10.9%	8.0%	0.0%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	85.1%	92.0%	73.1%	25.7%	14.9%	1.7%	1.1%	0.0%
	50歳～59歳 (n=263)	86.7%	93.2%	76.8%	33.5%	14.4%	3.0%	1.1%	0.0%
	60歳～69歳 (n=216)	88.9%	95.4%	78.7%	44.9%	13.4%	1.4%	0.5%	0.5%
	70歳～79歳 (n=213)	82.6%	90.6%	77.9%	44.1%	19.7%	3.3%	1.4%	1.9%
80歳以上 (n=120)	80.8%	86.7%	70.0%	35.0%	20.0%	0.8%	1.7%	6.7%	

32 人権問題に関する知識や情報の収集源【問 32】

これまでに人権問題に関する知識や情報を何から得たかを尋ねたところ、「テレビ」が66.8%と最も多く、次いで「インターネット・SNS」が47.4%、「新聞、雑誌」が46.3%と続いている。前回調査では、「テレビ・ラジオ」の選択肢であったが、今回は「テレビ」、「ラジオ」の別々の選択肢としている。

図Ⅱ—32—1 人権問題に関する知識や情報の収集源 [MA]



※1 前回調査では「テレビ・ラジオ」であったが、今回は別々の選択肢になっている

※2 前回調査では「インターネット・SNS」は別の選択肢であったが、今回は一つの選択肢になっている

※3 前回調査では「新聞」のみ

※4 前回調査では「市町村が発行する広報紙・誌」

※5 前回調査では「映画、ビデオ」

※6 前回調査では「講演会」

性別で見ると、「インターネット・SNS」は、女性より男性がおおよそ9ポイント高くなっている。また、「家族・友人など周囲の身近な人」は、男性より女性がおおよそ10ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～19歳では「学校の授業」が、20歳代～40歳代では「インターネット・SNS」が、50歳代以上では「テレビ」が最も多くなっている。また、年齢層が高い方が「自治体が発行する広報紙・誌」や「新聞・雑誌」の回答が多い傾向にある。

表Ⅱ—32—1 人権問題に関する知識や情報の収集源 (性別年齢別) [MA]

		講演会(オンラインを含む)	研修会	インターネット・SNS	街頭キャンペーンなどのイベント	自治体が発行する広報紙・誌	自治体以外が発行した広報紙・誌	ポスター	テレビ
全体 (N=1,270)		10.7%	14.0%	47.4%	6.9%	24.3%	9.5%	11.3%	66.8%
性別	男性 (n=537)	13.6%	17.3%	52.7%	8.0%	23.6%	10.6%	12.3%	64.6%
	女性 (n=676)	8.3%	11.2%	43.5%	6.1%	24.4%	8.3%	10.8%	68.3%
	その他 (n=7)	28.6%	14.3%	85.7%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	71.4%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	7.7%	0.0%	76.9%	3.8%	15.4%	3.8%	11.5%	69.2%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	5.6%	66.7%	16.7%	11.1%	11.1%	27.8%	77.8%
	20歳～29歳 (n=91)	11.0%	12.1%	73.6%	6.6%	9.9%	5.5%	11.0%	57.1%
	30歳～39歳 (n=137)	5.8%	10.9%	73.7%	8.0%	11.7%	5.1%	14.6%	59.1%
	40歳～49歳 (n=175)	9.7%	16.0%	67.4%	8.6%	20.6%	6.9%	10.3%	65.1%
	50歳～59歳 (n=263)	11.4%	17.1%	47.9%	4.9%	20.9%	6.8%	12.2%	68.4%
	60歳～69歳 (n=216)	10.6%	18.5%	38.4%	7.9%	25.9%	10.6%	13.4%	71.8%
	70歳～79歳 (n=213)	12.7%	12.7%	24.9%	5.6%	39.9%	14.6%	6.6%	67.6%
80歳以上 (n=120)	12.5%	8.3%	15.8%	7.5%	36.7%	16.7%	10.8%	70.0%	

		ラジオ	映画、DVD	新聞、雑誌	本	学校の授業	家族・友人など周囲の身近な人	その他	無回答
全体 N=(1,270)		11.4%	17.4%	46.3%	27.7%	38.8%	23.0%	2.2%	1.3%
性別	男性 (n=537)	14.7%	16.0%	47.1%	28.1%	33.9%	17.9%	1.9%	1.1%
	女性 (n=676)	8.9%	18.2%	45.3%	27.1%	42.5%	27.4%	2.5%	1.5%
	その他 (n=7)	28.6%	42.9%	71.4%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	3.8%	19.2%	11.5%	30.8%	100.0%	15.4%	0.0%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	5.6%	38.9%	16.7%	11.1%	94.4%	38.9%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	5.5%	23.1%	19.8%	20.9%	69.2%	18.7%	2.2%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	6.6%	17.5%	23.4%	23.4%	59.1%	29.2%	1.5%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	5.7%	17.7%	37.7%	30.9%	51.4%	20.0%	2.9%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	10.3%	20.2%	40.7%	26.2%	44.1%	25.9%	3.0%	0.8%
	60歳～69歳 (n=216)	19.0%	19.0%	59.7%	31.0%	25.5%	23.1%	3.2%	0.9%
	70歳～79歳 (n=213)	13.6%	13.1%	65.3%	27.7%	12.2%	21.1%	0.5%	2.8%
80歳以上 (n=120)	17.5%	6.7%	69.2%	30.8%	14.2%	20.0%	2.5%	3.3%	

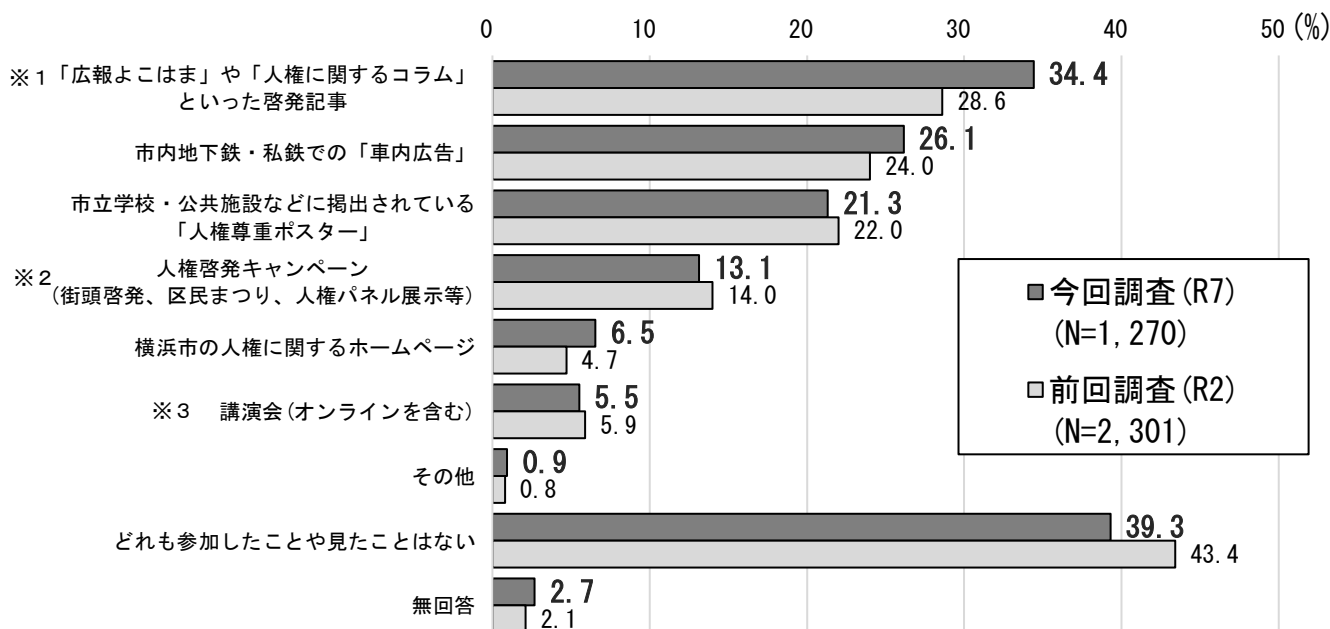
33 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組【問 33】

人権についての理解を深めてもらうために横浜市が実施している取組の中で、参加したことや、見たことがあるものを尋ねたところ、「どれにも参加したことや見たことはない」は、39.3%となっており、前回調査に比べおよそ4ポイント減少している。

参加したことや、見たことがある場合は、「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」が34.4%と最も多く、次いで「市内地下鉄・私鉄での『車内広告』」が26.1%、「市立学校・公共施設などに掲出されている『人権尊重ポスター』」が21.3%、と続いている。

前回調査と比較すると、「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」はおよそ6ポイント増加している。

図Ⅱ—33-1 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組 [MA]



※1 前回調査では「『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」

※2 前回調査では「人権啓発キャンペーン(該当啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)」

※3 前回調査では「講演会」

性別で見ると、「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」はおよそ9ポイント、「市立学校・公共施設などに掲出されている『人権尊重ポスター』」はおよそ7ポイント、男性より女性が高くなっている。一方、「どれにも参加したことや見たことはない」は、女性より男性がおよそ8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳では、「市立学校・公共施設などに掲出されている『人権尊重ポスター』」が最も多い。「どれにも参加したことや見たことはない」を除くと、18歳～49歳では「市営地下鉄・私鉄での「車内広告」」が最も多く、50歳代以上では、「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」が最も多い。

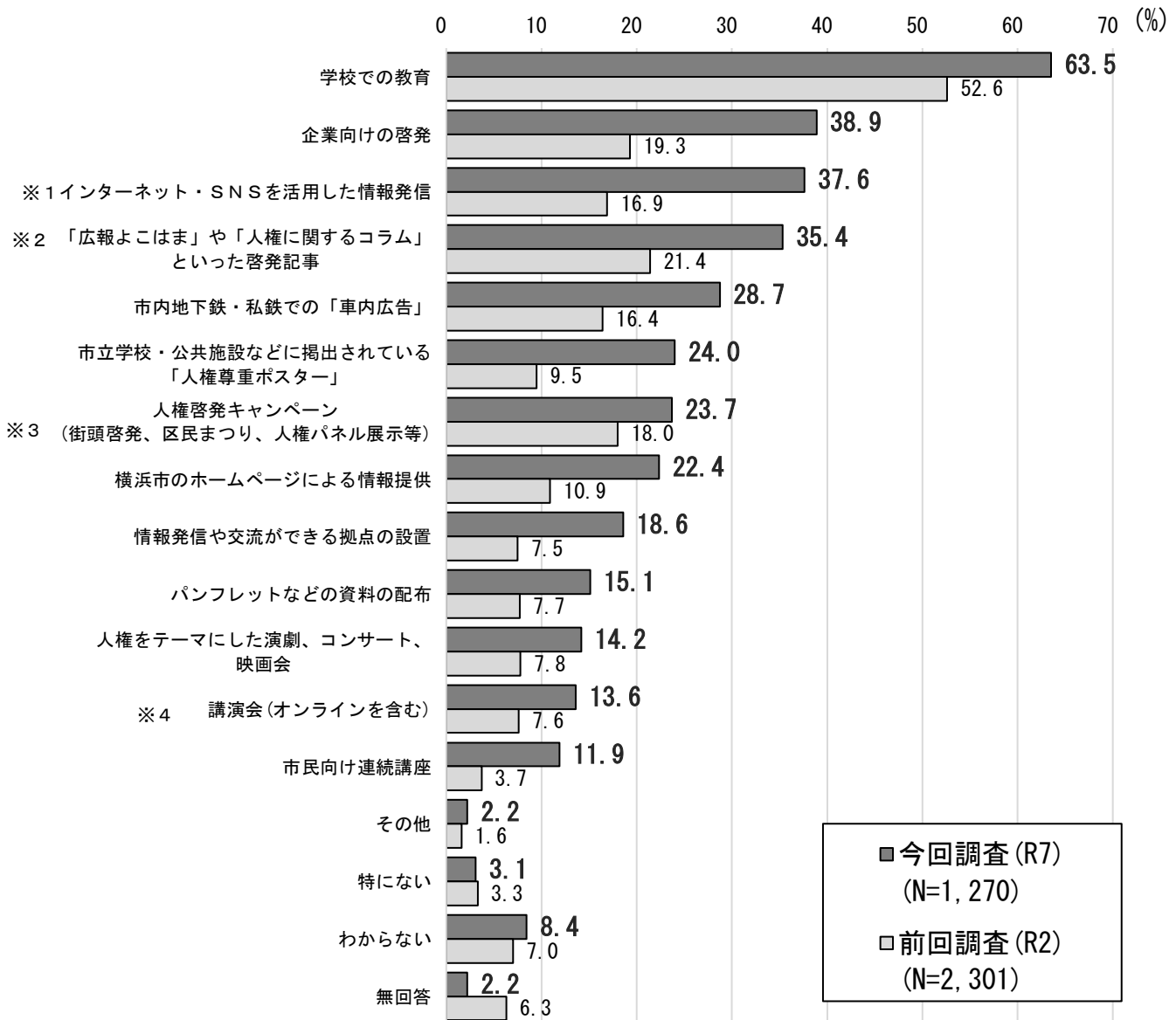
表Ⅱ—33-1 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組（性別・年齢別）[MA]

		講演会(オンラインを含む)	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	横浜市の人権に関するホームページ	その他	どれも参加したことや見たことはない	無回答
全体 (N=1,270)		5.5%	13.1%	34.4%	21.3%	26.1%	6.5%	0.9%	39.3%	2.7%
性別	男性 (n=537)	7.1%	12.1%	29.4%	17.7%	26.1%	8.8%	0.7%	43.8%	2.2%
	女性 (n=676)	4.3%	13.6%	38.2%	24.9%	26.2%	4.9%	1.2%	36.2%	2.8%
	その他 (n=7)	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	11.5%	11.5%	23.1%	46.2%	38.5%	7.7%	3.8%	23.1%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	22.2%	22.2%	27.8%	44.4%	5.6%	0.0%	44.4%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	4.4%	8.8%	11.0%	28.6%	35.2%	4.4%	2.2%	41.8%	2.2%
	30歳～39歳 (n=137)	2.9%	7.3%	15.3%	22.6%	31.4%	4.4%	0.7%	47.4%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	2.9%	12.0%	28.0%	25.7%	30.9%	5.1%	0.6%	43.4%	0.6%
	50歳～59歳 (n=263)	4.2%	15.6%	36.1%	20.5%	25.5%	4.2%	0.4%	42.2%	1.5%
	60歳～69歳 (n=216)	7.4%	15.3%	40.3%	23.6%	21.3%	8.3%	1.4%	38.0%	1.9%
	70歳～79歳 (n=213)	7.0%	16.0%	50.2%	16.0%	20.2%	8.9%	0.5%	32.4%	5.2%
80歳以上 (n=120)	7.5%	9.2%	44.2%	8.3%	22.5%	10.8%	1.7%	35.0%	6.7%	

人権についての理解を深めてもらうために、横浜市は今後どのような取組を充実させていくべきだ
 と思うかを尋ねたところ、「学校での教育」が63.5%と最も多い。次いで「企業向けの啓発」が
 38.9%、「インターネット・SNSを活用した情報発信」が37.6%、「『広報よこはま』や『人権に
 関するコラム』といった啓発記事」が35.4%となっている。

前回調査と比較すると、「インターネット・SNSを活用した情報発信」がおよそ21ポイント、
 「企業向けの啓発」がおよそ20ポイントそれぞれ増加している。

図Ⅱ—33—2 人権についての理解を深めるために充実すべき取組 [MA]



※1 前回調査では「ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信」

※2 前回調査では「『広報よこはま人権特集』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」

※3 前回調査では「人権啓発キャンペーン (街頭啓発、区民まつり、Jリーグと連携した啓発事業、人権パネル展示)」

※4 前回調査では「講演会」

性別で見ると、「学校での教育」は、男性より女性がおよそ9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～79歳は「学校で教育」が、80歳以上は「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」が最も多かった。また、次に多かったものとしては、15歳～49歳までが「インターネット・SNSを活用した情報発信」、50歳代～60歳代が「企業向けの啓発」、70歳代が「『広報よこはま』や『人権に関するコラム』といった啓発記事」、80歳以上が「学校での教育」となっている。

表Ⅱ—33—2 人権についての理解を深めるために充実すべき取組（性別・年齢別） [MA]

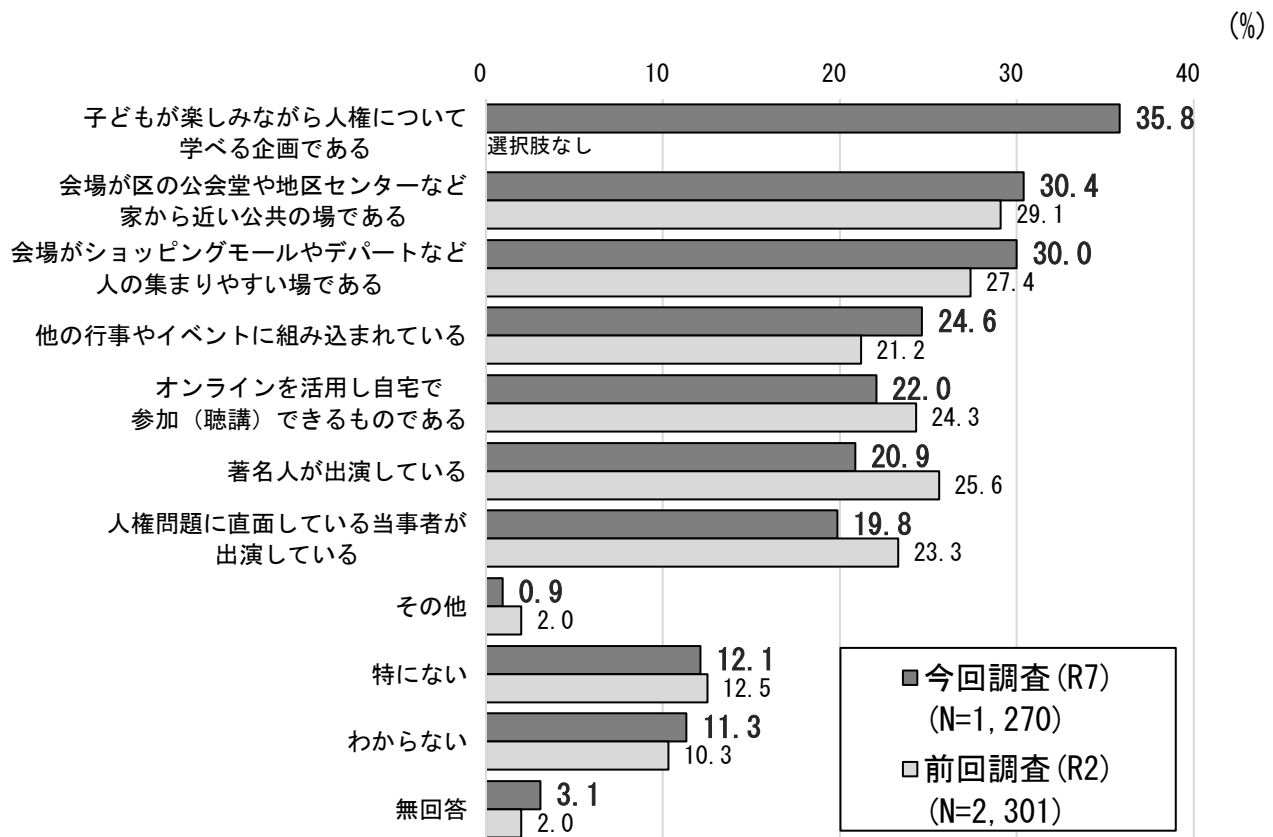
		講演会(オンラインを含む)	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	横浜市のホームページによる情報提供	市民向け連続講座	学校での教育	企業向けの啓発
全体 (N=1,270)		13.6%	23.7%	35.4%	24.0%	28.7%	22.4%	11.9%	63.5%	38.9%
性別	男性 (n=537)	16.0%	24.2%	34.8%	22.7%	27.2%	25.5%	11.2%	58.7%	38.9%
	女性 (n=676)	12.3%	23.5%	36.5%	25.4%	30.8%	20.0%	12.7%	67.6%	39.5%
	その他 (n=7)	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	42.9%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	3.8%	19.2%	19.2%	30.8%	34.6%	19.2%	11.5%	80.8%	34.6%
	18歳～19歳 (n=18)	16.7%	22.2%	16.7%	33.3%	38.9%	22.2%	11.1%	83.3%	55.6%
	20歳～29歳 (n=91)	16.5%	16.5%	16.5%	25.3%	38.5%	23.1%	13.2%	75.8%	42.9%
	30歳～39歳 (n=137)	6.6%	15.3%	19.0%	27.7%	35.8%	12.4%	4.4%	65.0%	39.4%
	40歳～49歳 (n=175)	12.0%	20.0%	24.6%	22.9%	26.3%	14.3%	9.1%	69.1%	42.3%
	50歳～59歳 (n=263)	12.9%	27.0%	33.5%	25.1%	31.9%	21.3%	14.4%	66.2%	44.5%
	60歳～69歳 (n=216)	17.6%	26.4%	42.1%	23.6%	25.0%	23.1%	16.2%	64.4%	43.1%
	70歳～79歳 (n=213)	16.0%	31.0%	54.0%	22.1%	23.0%	32.9%	12.2%	58.7%	31.9%
80歳以上 (n=120)	14.2%	20.8%	49.2%	20.8%	26.7%	28.3%	10.0%	39.2%	21.7%	

		インターネット・SNSを活用した情報発信	人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会	パンフレットなどの資料の配布	情報発信や交流ができる拠点の設置	その他	特になし	わからない	無回答
全体 (N=1,270)		37.6%	14.2%	15.1%	18.6%	2.2%	3.1%	8.4%	2.2%
性別	男性 (n=537)	37.4%	11.0%	16.0%	18.6%	2.4%	5.6%	6.3%	1.9%
	女性 (n=676)	37.7%	17.0%	15.1%	19.2%	2.1%	1.0%	9.9%	2.2%
	その他 (n=7)	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	42.3%	15.4%	19.2%	15.4%	3.8%	3.8%	11.5%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	55.6%	27.8%	11.1%	16.7%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	54.9%	16.5%	15.4%	20.9%	2.2%	3.3%	2.2%	3.3%
	30歳～39歳 (n=137)	47.4%	10.2%	8.8%	14.6%	2.2%	3.6%	8.8%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	45.1%	13.1%	12.6%	17.7%	2.3%	4.0%	8.6%	2.3%
	50歳～59歳 (n=263)	39.9%	12.2%	12.5%	19.0%	2.7%	1.9%	7.6%	1.5%
	60歳～69歳 (n=216)	35.2%	19.4%	15.3%	24.1%	1.4%	2.3%	7.9%	1.9%
	70歳～79歳 (n=213)	28.2%	14.1%	19.2%	16.4%	1.4%	3.3%	8.9%	1.9%
80歳以上 (n=120)	16.7%	10.8%	24.2%	16.7%	2.5%	4.2%	15.0%	6.7%	

34 参加したいと思えるイベント等【問 34】

横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば参加したいか尋ねたところ、今回調査で新たに設けた「子どもが楽しみながら人権について学べる企画である」が35.8%と最も多く、次いで「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」が30.4%、「会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である」が30.0%と続いている。

図Ⅱ—34—1 参加したいと思えるイベント等 [MA]



性別で見ると、「子どもが楽しみながら人権について学べる企画である」が15ポイント、「会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である」および「他の行事やイベントに組み込まれている」はおよそ9ポイント、男性より女性が高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～49歳では「子どもが親しみながら人権について学べる企画である」、50歳代では「会場がショッピングモールやデパートなどの人が集まりやすい場である」、70歳以上では「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」が最も多かった。60歳代のみ、「会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である」と「子どもが楽しみながら人権について学べる企画である」が同率で最も多くなっていた。

表Ⅱ—34—1 講演会などにより多くの人が参加するための工夫（性別・年齢別）[MA]

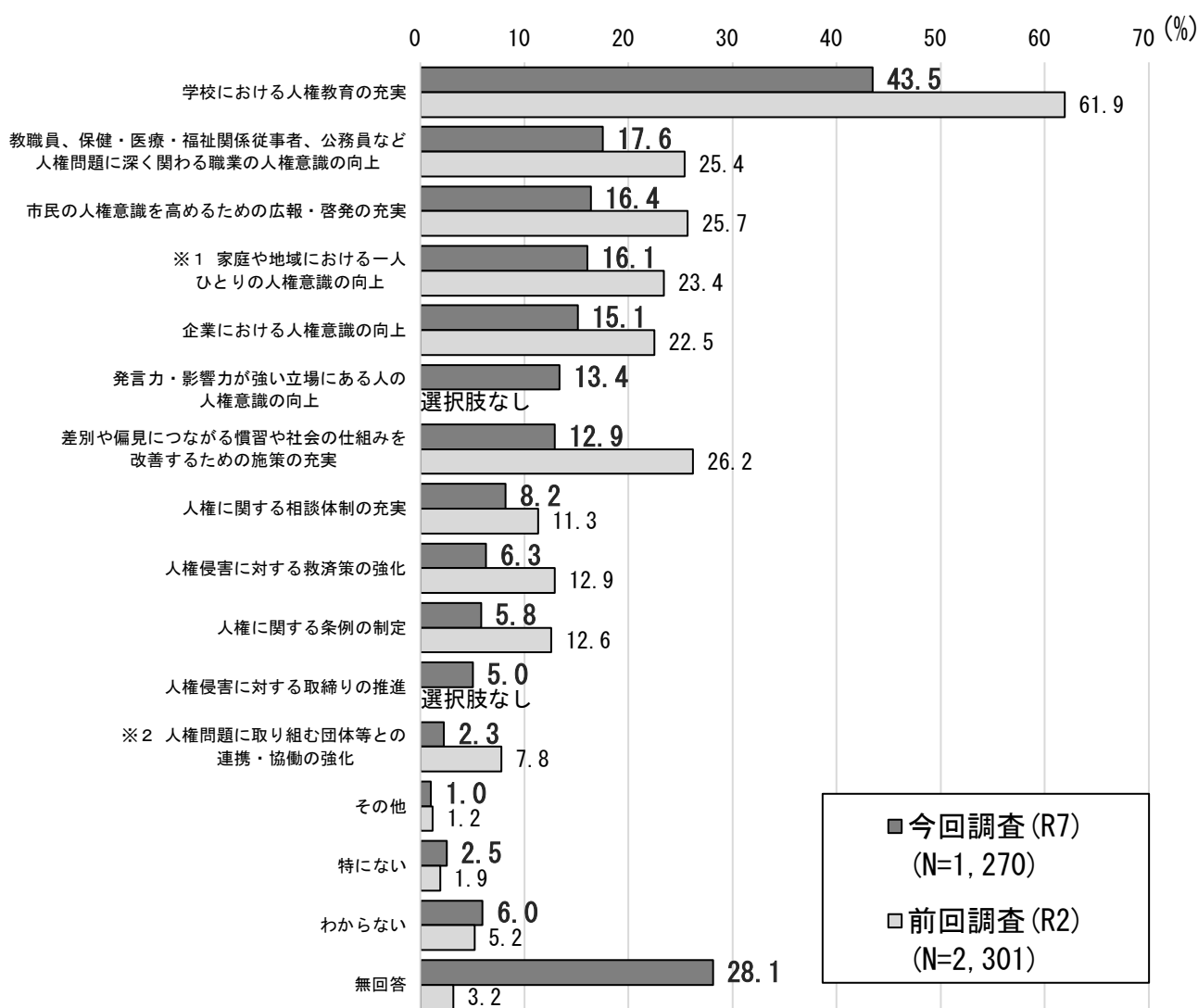
		会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である	会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である	オンラインを活用し自宅で参加(聴講)できるものである	著名人が出演している	人権問題に直面している当事者が出演している	他の行事やイベントに組み込まれている	子どもが楽しみながら人権について学べる企画である	その他	特にな	わから	無回答
全体 (N=1,270)		30.4%	30.0%	22.0%	20.9%	19.8%	24.6%	35.8%	0.9%	12.1%	11.3%	3.1%
性別	男性 (n=537)	27.0%	24.8%	22.7%	18.6%	18.2%	19.9%	27.6%	1.3%	16.2%	13.8%	3.7%
	女性 (n=676)	33.1%	34.0%	21.9%	22.9%	21.7%	28.7%	42.6%	0.6%	8.7%	9.3%	2.2%
	その他 (n=7)	14.3%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	7.7%	42.3%	26.9%	42.3%	7.7%	50.0%	53.8%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%
	18歳～19歳 (n=18)	11.1%	27.8%	33.3%	33.3%	38.9%	27.8%	44.4%	0.0%	16.7%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳 (n=91)	24.2%	35.2%	29.7%	24.2%	23.1%	30.8%	44.0%	0.0%	13.2%	9.9%	0.0%
	30歳～39歳 (n=137)	13.9%	38.0%	23.4%	31.4%	19.7%	28.5%	48.2%	1.5%	19.0%	5.8%	0.7%
	40歳～49歳 (n=175)	19.4%	30.3%	22.3%	25.1%	22.3%	29.1%	46.3%	0.6%	10.9%	10.3%	1.7%
	50歳～59歳 (n=263)	27.8%	35.0%	25.9%	24.0%	18.6%	27.0%	31.2%	1.5%	12.9%	10.6%	0.4%
	60歳～69歳 (n=216)	33.3%	29.2%	25.0%	19.0%	19.9%	21.8%	33.3%	0.5%	6.9%	14.4%	3.2%
	70歳～79歳 (n=213)	49.3%	25.4%	16.4%	9.9%	18.8%	20.2%	29.6%	0.9%	10.8%	11.7%	5.2%
80歳以上 (n=120)	44.2%	14.2%	10.0%	10.0%	18.3%	12.5%	23.3%	0.0%	15.8%	17.5%	11.7%	

35 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組【問 35】

横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するために、今後どのような取組が特に必要だと思うかを尋ねたところ、前回調査からは下がったが「学校における人権教育の充実」が43.5%と最も多い。次いで「教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業の人権意識の向上」が17.6%、「市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実」が16.4%となっている。

前回調査と比較すると、多くの選択肢が前回よりも減少している一方で、無回答の割合がおよそ25ポイント増加した。

図Ⅱ—35—1 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組 [LA, 3]



※1 前回調査では「家庭や地域における人権意識の向上」

※2 前回調査では「人権問題に取り組む団体やNPO等との連携・協働の強化」

性別で見ると、「学校における人権教育の充実」は男性より女性がおよそ8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、全世代に渡り、「学校における人権教育の充実」が最も多い。年齢層が高いほど「市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実」の回答が多い傾向がある。また、「企業における人権意識の向上」の回答が30～40代の中間層に多い。

表Ⅱ—35—1 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組

(性別年齢別) [LA, 3]

		市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実	学校における人権教育の充実	家庭や地域における一人ひとりの人権意識の向上	企業における人権意識の向上	教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上	発言力・影響力が強い立場にある人の人権意識の向上	差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実	人権に関する条例の制定
全体 (N=1,270)		16.4%	43.5%	16.1%	15.1%	17.6%	13.4%	12.9%	5.8%
性別	男性 (n=537)	18.8%	39.1%	15.1%	16.0%	14.9%	10.4%	11.0%	6.0%
	女性 (n=676)	14.9%	46.9%	17.3%	14.3%	19.8%	15.8%	14.1%	5.9%
	その他 (n=7)	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	0.0%	50.0%	19.2%	15.4%	7.7%	34.6%	15.4%	11.5%
	18歳～19歳 (n=18)	0.0%	38.9%	11.1%	11.1%	16.7%	16.7%	22.2%	5.6%
	20歳～29歳 (n=91)	9.9%	53.8%	17.6%	16.5%	13.2%	22.0%	12.1%	8.8%
	30歳～39歳 (n=137)	8.8%	43.1%	16.1%	21.2%	14.6%	15.3%	8.8%	5.1%
	40歳～49歳 (n=175)	12.6%	48.6%	17.1%	21.1%	16.0%	16.0%	13.1%	9.7%
	50歳～59歳 (n=263)	14.1%	46.0%	19.8%	16.7%	16.3%	16.0%	14.1%	4.9%
	60歳～69歳 (n=216)	19.4%	44.0%	15.7%	15.3%	19.0%	8.3%	13.4%	5.6%
	70歳～79歳 (n=213)	21.6%	35.2%	13.1%	7.5%	22.5%	7.5%	16.0%	5.2%
80歳以上 (n=120)	30.0%	35.8%	12.5%	9.2%	18.3%	10.0%	7.5%	1.7%	

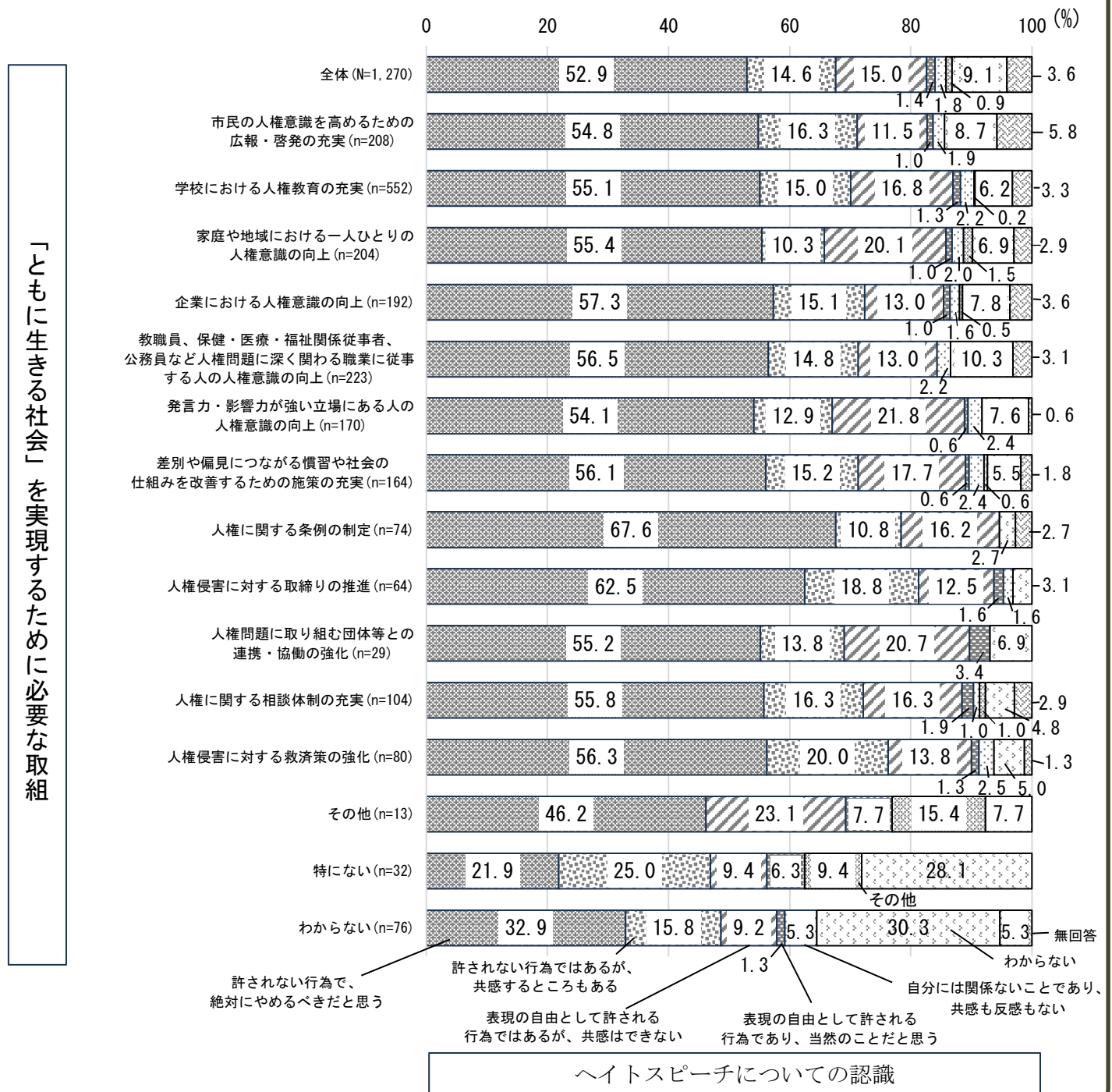
		人権侵害に対する取締りの推進	人権問題に取り組む団体等との連携・協働の強化	人権に関する相談体制の充実	人権侵害に対する救済策の強化	その他	特にない	わからない	無回答
全体 N=(1,270)		5.0%	2.3%	8.2%	6.3%	1.0%	2.5%	6.0%	28.1%
性別	男性 (n=537)	6.7%	2.4%	7.6%	3.7%	1.5%	4.7%	5.2%	28.9%
	女性 (n=676)	3.8%	2.2%	8.3%	7.5%	0.7%	0.6%	6.8%	27.4%
	その他 (n=7)	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	26.9%
	18歳～19歳 (n=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%
	20歳～29歳 (n=91)	14.3%	3.3%	9.9%	8.8%	0.0%	1.1%	4.4%	20.9%
	30歳～39歳 (n=137)	4.4%	2.2%	5.8%	2.2%	1.5%	5.1%	6.6%	31.4%
	40歳～49歳 (n=175)	5.1%	1.7%	5.1%	4.0%	0.6%	2.9%	5.7%	28.0%
	50歳～59歳 (n=263)	3.0%	3.0%	9.9%	8.0%	0.4%	1.9%	5.3%	25.9%
	60歳～69歳 (n=216)	4.6%	3.2%	8.8%	6.9%	1.4%	0.5%	4.6%	29.2%
	70歳～79歳 (n=213)	6.1%	1.4%	8.5%	8.0%	1.9%	2.8%	6.6%	31.5%
80歳以上 (n=120)	3.3%	0.8%	10.8%	5.8%	0.8%	4.2%	10.0%	27.5%	

設問間クロス集計 10

ヘイトスピーチについての認識と、「ともに生きる社会」を実現するために必要な取組との関係を見るため「ヘイトスピーチについての認識」の設問【問20-2】の回答について「ともに生きる社会」を実現するために必要な取組の設問【問35】の回答別に集計した。

「ともに生きる社会」を実現するために必要な取組について、「人権に関する条例の制定」及び「人権侵害に対する取締りの推進」と回答した人の中で、ヘイトスピーチについて「許されない行為で、絶対やめるべきだと思う」と回答した人の割合は6割を超えており、他の選択肢と比較して高い。

図クロス10 ヘイトスピーチについての認識【問20-2】×
「ともに生きる社会」を実現するために必要な取組【問35】

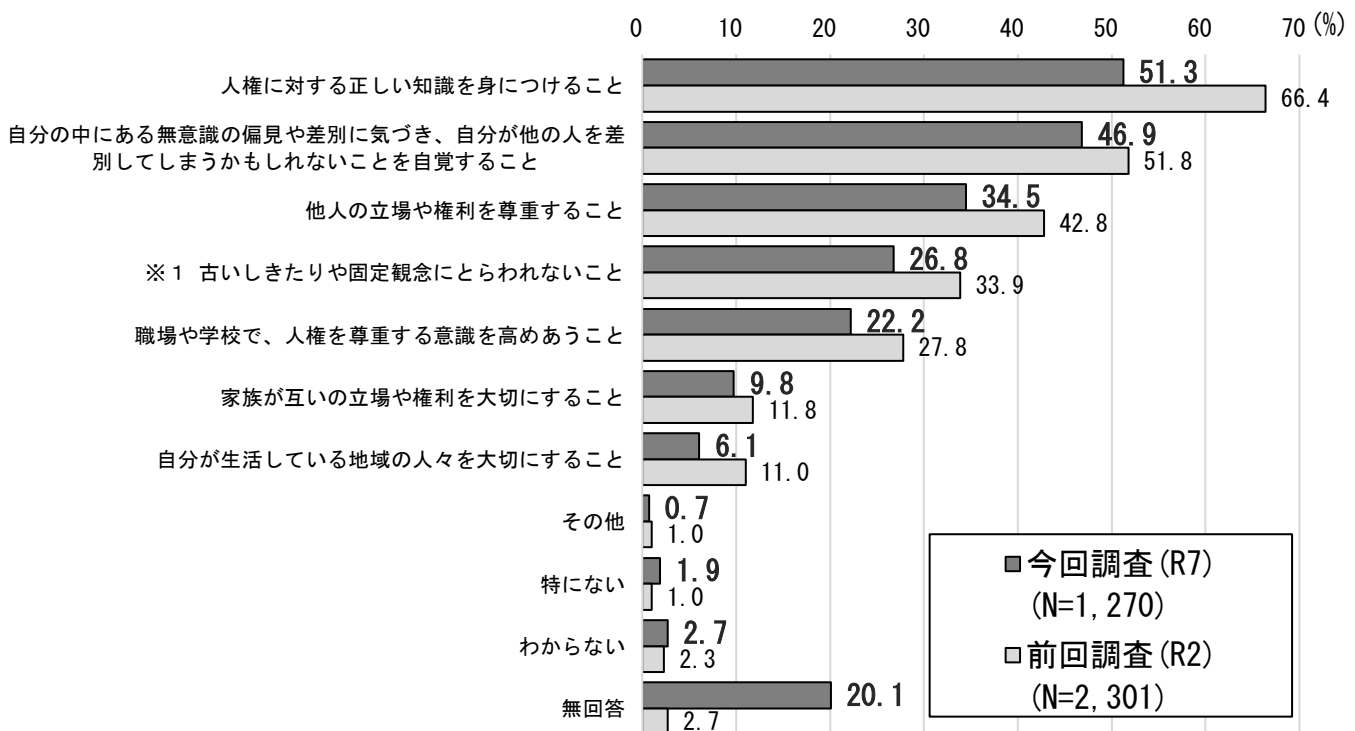


36 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動【問 36】

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、特にどのようなことが求められると思うかを尋ねたところ、「人権に対する正しい知識を身につけること」が51.3%と最も多く、次いで「自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること」が46.9%、「他人の立場や権利を尊重すること」が34.5%だった。

前回調査と比較すると、「人権に対する正しい知識を身につけること」をはじめ、多くの選択肢が前回よりも減少している一方で、無回答の割合がおよそ17ポイント増加している。

図Ⅱ—36—1 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動 [LA, 3]



※1 前回調査では「因習や固定観念にとらわれないこと」

性別で見ると、「自分の中にある無意識の偏見や差別に気づき、自分が他の人を差別してしまうかもしれないことを自覚すること」は、男性より女性がおよそ13ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、15歳～17歳は「人権に関する正しい知識を身に着けること」と「古いしきたりや固定観念にとらわれないこと」が同率で最も多く、18歳～19歳は「自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること」、20歳代以上は「人権に対する正しい知識を身につけること」が最も多くなっている。

表Ⅱ—36—1 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動 [LA, 3]

	人権に対する正しい知識を身につけること	自分の中にある無意識の偏見や差別に気づき、自分が他の人を差別してしまうかもしれないことを自覚すること	古いしきたりや固定観念にとらわれないこと	他人の立場や権利を尊重すること	自分が生活している地域の人々を大切にすること	家族が互いの立場や権利を大切にすること	職場や学校で、人権を尊重する意識を高めようこと	その他	特になし	わからない	無回答
全体 (N=1,270)	51.3%	46.9%	26.8%	34.5%	6.1%	9.8%	22.2%	0.7%	1.9%	2.7%	20.1%
性別	男性 (n=537)	48.2%	40.0%	24.4%	35.8%	5.6%	8.4%	23.3%	0.6%	3.5%	21.6%
	女性 (n=676)	53.8%	52.5%	28.8%	33.6%	6.2%	11.1%	21.6%	0.9%	0.6%	18.6%
	その他 (n=7)	71.4%	57.1%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
年齢別	15歳～17歳 (n=26)	53.8%	42.3%	53.8%	34.6%	3.8%	11.5%	15.4%	3.8%	0.0%	19.2%
	18歳～19歳 (n=18)	22.2%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	11.1%	16.7%	0.0%	11.1%	38.9%
	20歳～29歳 (n=91)	51.6%	49.5%	31.9%	36.3%	6.6%	16.5%	22.0%	1.1%	1.1%	17.6%
	30歳～39歳 (n=137)	43.8%	37.2%	31.4%	26.3%	0.7%	8.8%	19.7%	0.7%	2.9%	28.5%
	40歳～49歳 (n=175)	45.7%	44.0%	21.1%	33.7%	4.0%	9.1%	26.3%	0.6%	2.9%	20.6%
	50歳～59歳 (n=263)	54.8%	52.1%	30.0%	30.8%	6.1%	8.4%	25.9%	0.8%	1.5%	17.9%
	60歳～69歳 (n=216)	52.8%	50.9%	23.6%	37.0%	3.2%	7.9%	23.1%	0.5%	0.0%	19.9%
	70歳～79歳 (n=213)	55.9%	48.8%	24.9%	41.8%	10.8%	6.1%	21.1%	0.5%	2.8%	17.4%
80歳以上 (n=120)	56.7%	42.5%	25.8%	40.0%	13.3%	20.0%	14.2%	0.0%	1.7%	2.5%	

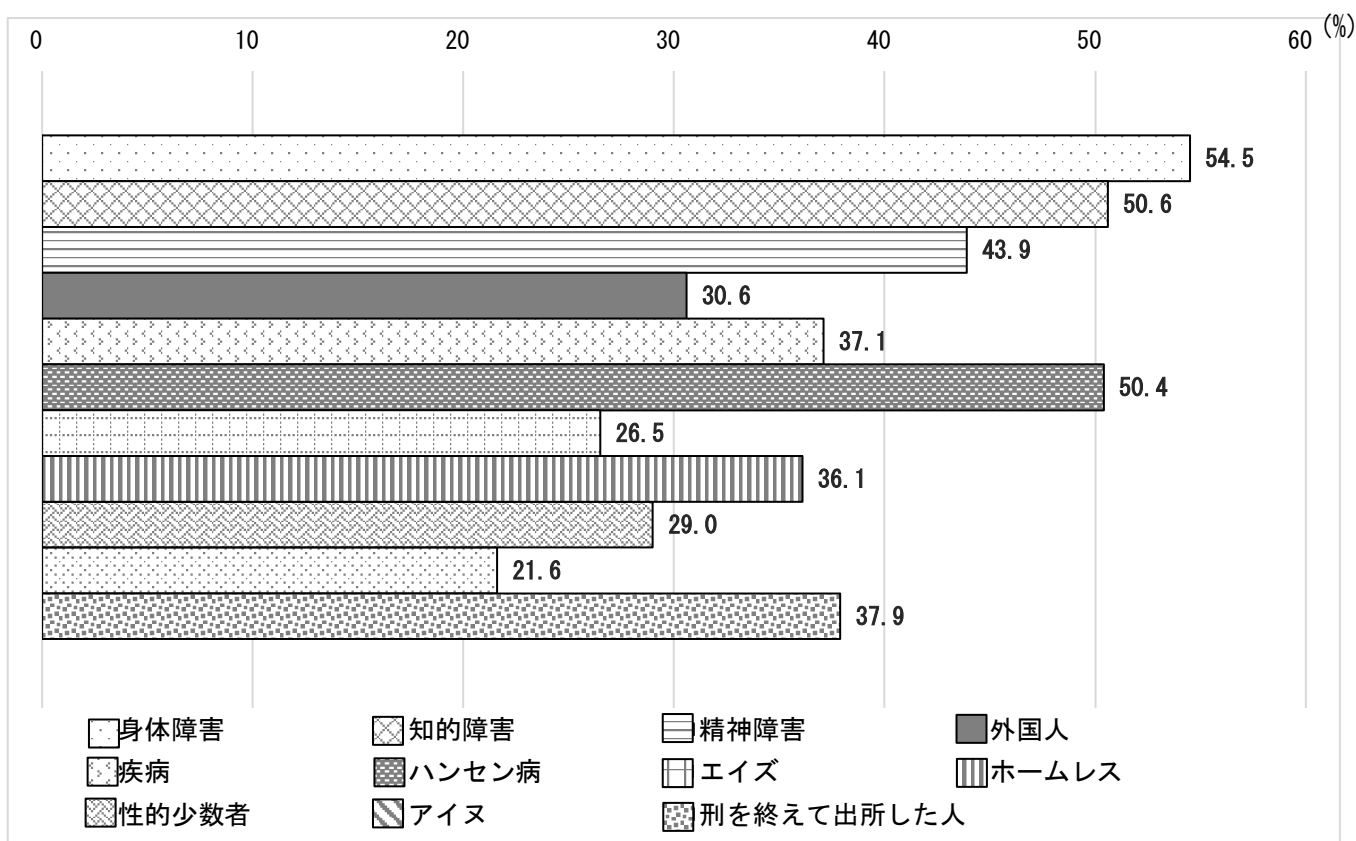
設問間クロス集計 11 (人権課題×課題意識の関連性)

問 16 から問 27 で、各人権課題において人権上問題があるものについて尋ねた中で、他の問いと同一の選択肢があったものについて、回答比率を比較した。各人権課題は以下のとおり。

問 16 : 女性に関すること、問 17 : 子どもに関すること、問 18 : 高齢者に関すること、問 19(1)身体障害のある人に関すること、(2)知的障害のある人に関すること、(3)精神障害のある人に関すること、問 20 : 外国人に関すること、問 21(1)疾病・感染症・病歴等に関すること、(2)ハンセン病患者・回復者・家族等に関すること、(3)エイズ患者やH I V (ヒト免疫不全ウイルス) 感染者に関すること、問 22 : ホームレスに関すること、問 23 : 性的少数者に関すること、問 25 : アイヌ民族に関すること、問 26 : 犯罪被害者等に関すること、問 27 : 刑を終えて出所した人に関すること

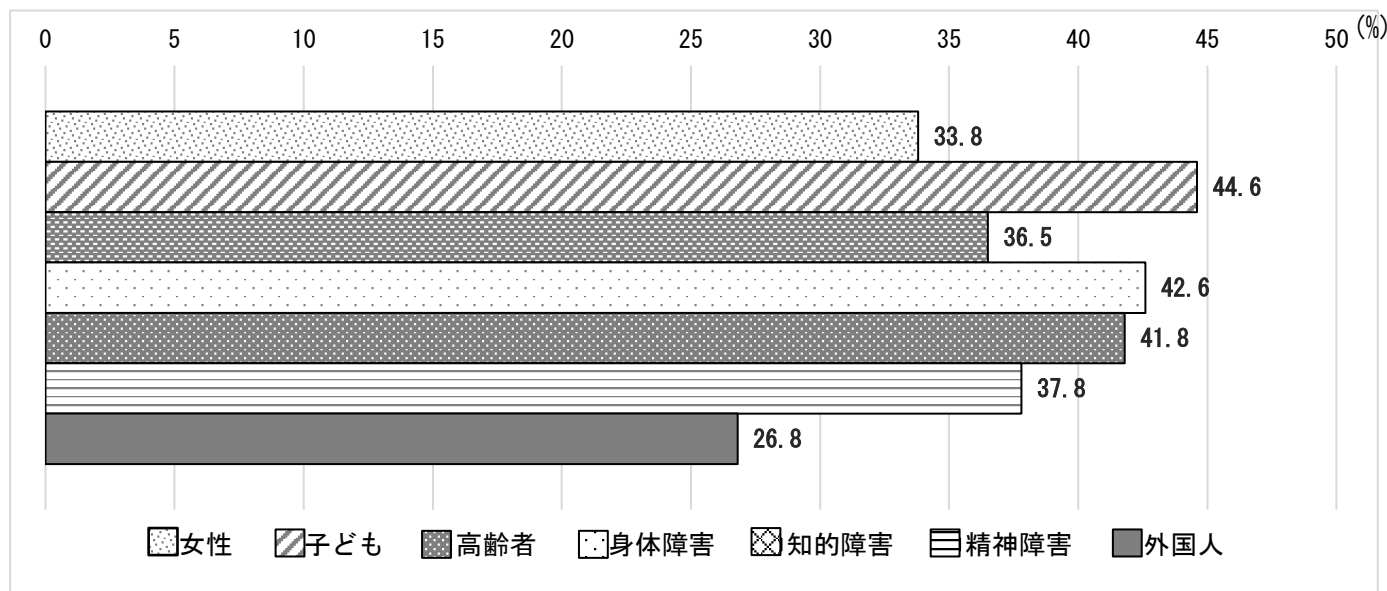
じろじろ見られたり、避けられたりすること

「じろじろ見られたり、避けられたりすること」を人権上問題だと選択した人権課題については、身体障害のある人、知的障害のある人、ハンセン病患者・回復者・家族等が、それぞれ5割を超えていた。一方、エイズ患者やH I V (ヒト免疫不全ウイルス) 感染者、ホームレス、アイヌ民族に関しては3割を切っていた。



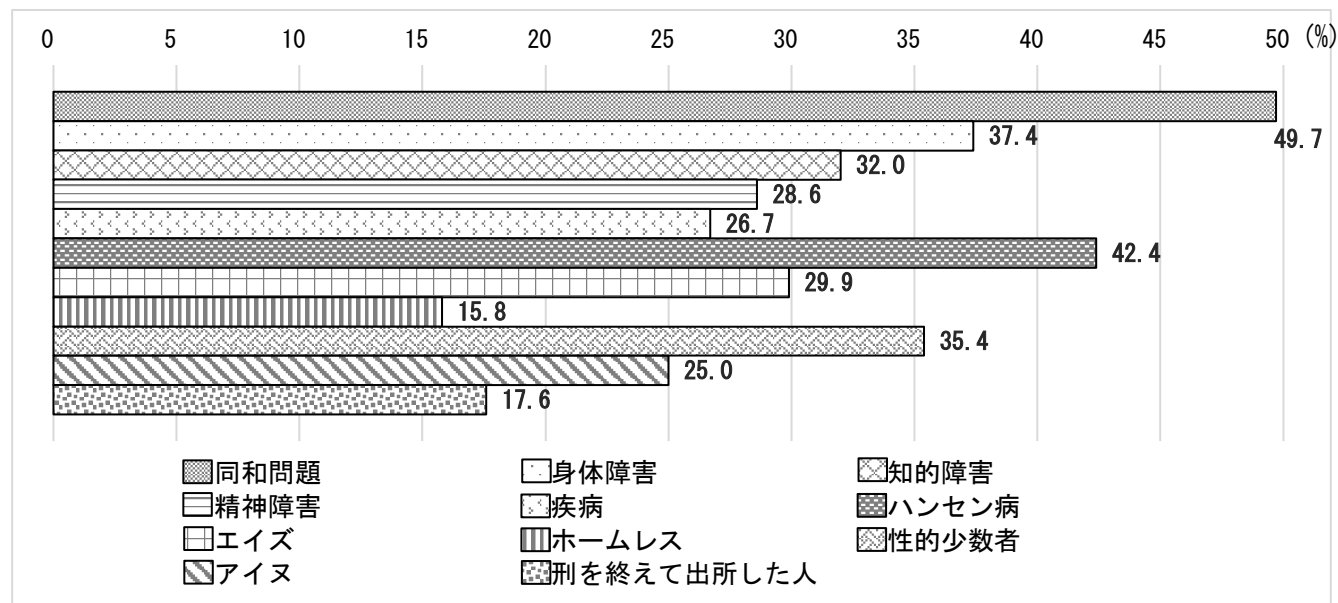
本人の意思が尊重されないこと

「本人の意思が尊重されないこと」を人権上問題だと回答した人権課題については、こどもの回答が44.6%と最も多かった。一方、「外国人」が最も低く26.8%だった。



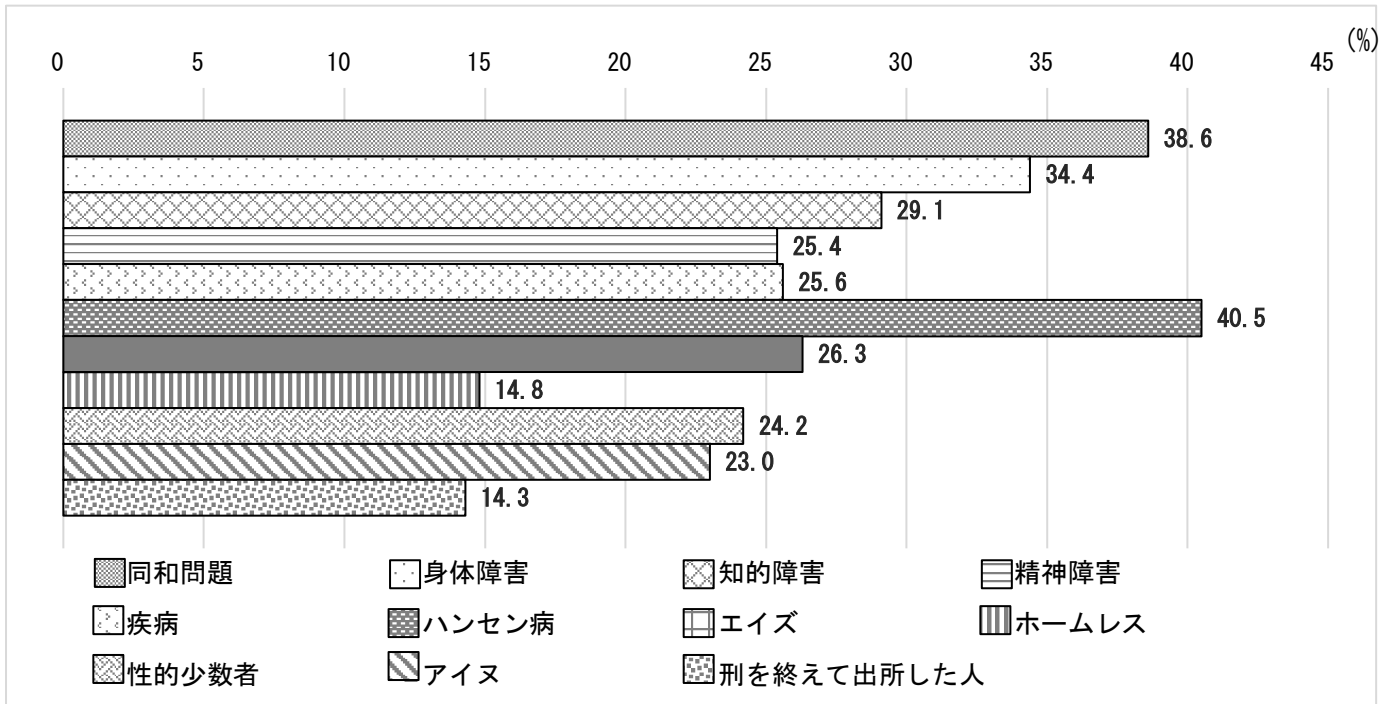
結婚を周囲から反対されること

結婚を周囲から反対されることを人権上問題があることとした回答は、同和問題が49.7%で最も多く、続いてハンセン病患者・が42.4%だった。一方、「ホームレス」「刑を終えて出所した人」については、どちらも2割を切る形となり、そのほかの人権問題と比べ回答率の低さが顕著だった。



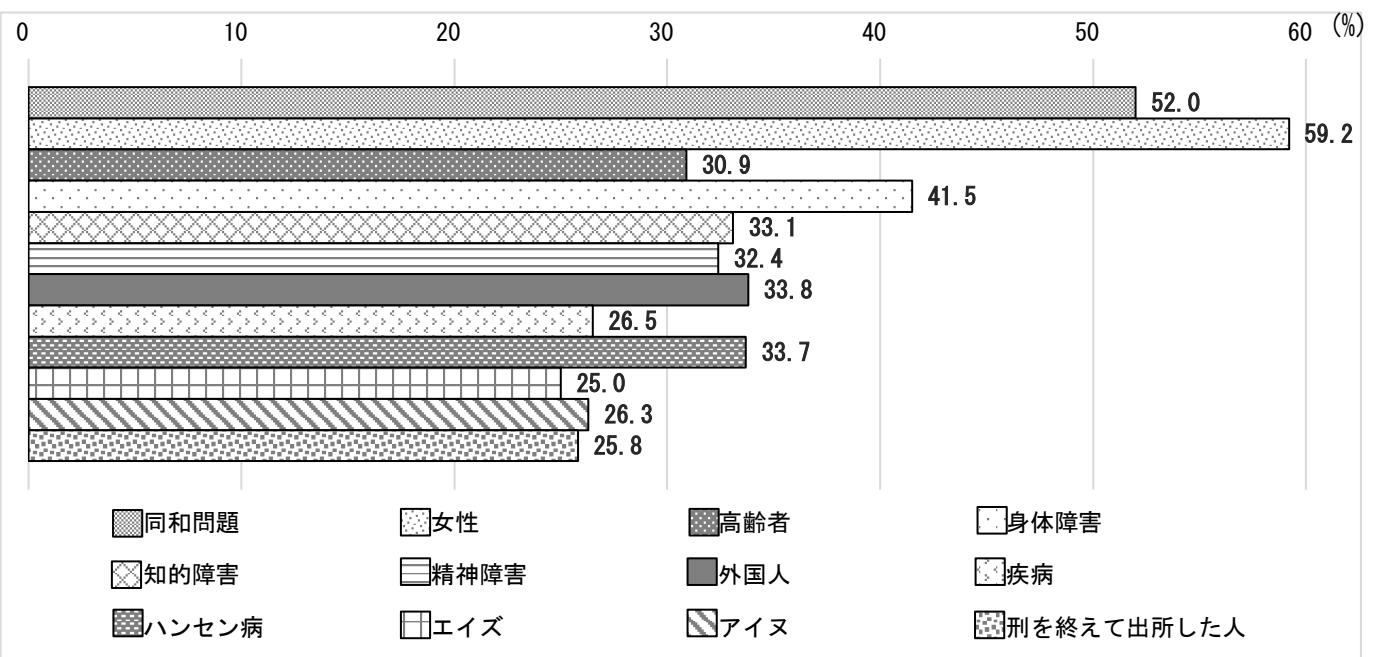
子どもをもつことを周囲から反対されること

子どもをもつことを周囲から反対されることを人権上問題だと回答した人権課題については、ハンセン病患者・回復者・家族等の項目で回答した割合が40.5%で最も多く、同和問題が38.6%と続いた。一方、ホームレスと刑を終えて出所した人はそれぞれ15%を切る結果となった。全体的には「結婚を周囲から反対されること」と似たような結果となった。



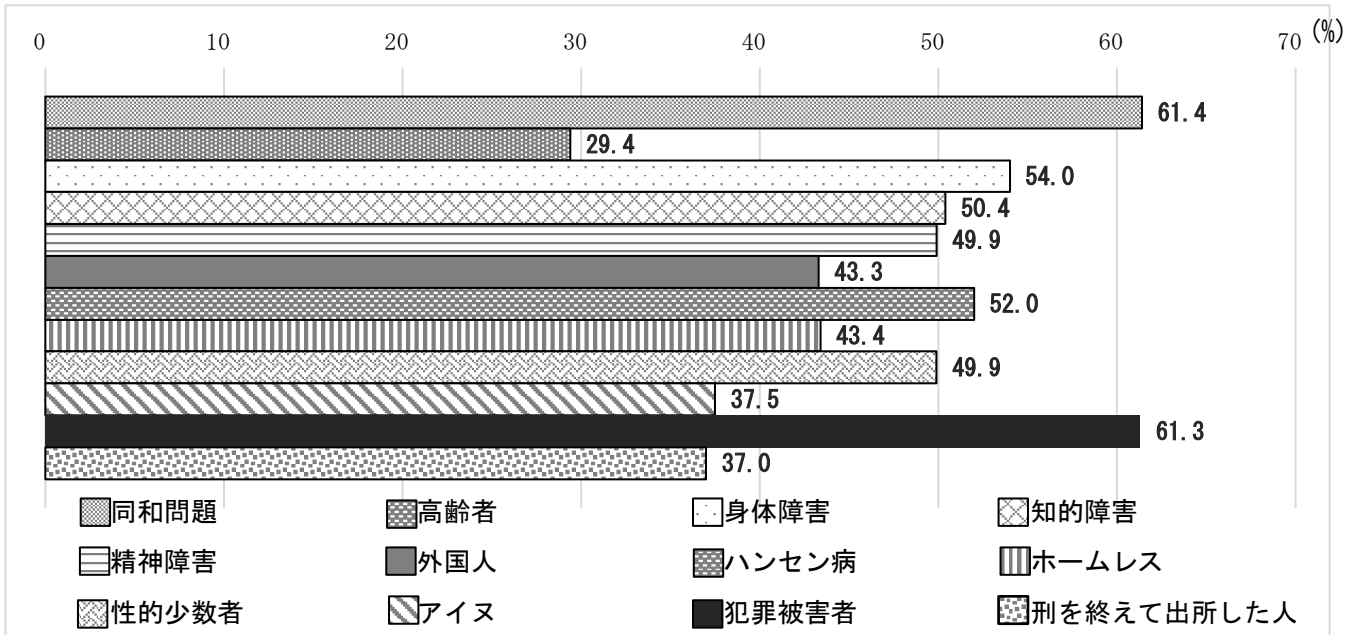
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること

「採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること」を人権上問題だと選択した人権課題では、女性が59.2%と最も多く、雇用の面で男女格差についての認識が強くあることが伺える。



誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること

「誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること」を人権上問題があると選択した人権課題では、高齢者が3割を切り最も低かった。一方で、同和問題と犯罪被害者が6割を超えた。



III 自由意見

各調査設問に対し、その他として自由意見を記入してある回答について主な意見（抜粋・要約）は次のとおり。

問1 日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。

- ・琉球の人の人権
- ・SNSによる誹謗中傷や人権侵害
- ・障害者施設などで働いている人の人権

問2（1） 「差別」について、あなたの考えに近いものはどれですか。

【「許されない」を選択】

- ・人権は憲法にも定められていて、誰にも侵すことのできない権利だから。
- ・人はそれぞれが違い、一人の人間としてお互いに精一杯生きる権利と希望を持つ権利があると信じている。
- ・人は生まれながらにして育った環境をはじめ、国、性別、人種等違いがある。全ての人との共生社会を目指す上でその違いを他者が受け入れず、差別、誹謗中傷することは決してあってはならない。
- ・「差別」は人権侵害であると考えするため。

【「許されないが、しかたがない面もある」を選択】

- ・差別をしている人が差別をしているとわかってない事もあると思う。
- ・意識では分かっているけど、差別感情を持ってしまうことがある。
- ・正しい知識がないと、元々持っている固定観念や、周囲の間違った情報などに流されてしまいがちだから。
- ・差別は許されないが、人はそれぞれ価値観が違う。そして、人は自分の価値観を曲げたり、違う価値観に触れるのが苦手な傾向にある。その中で、価値観の差異が生まれ、次第に差別になる。また、その時代での風潮も差別の要因の一部に感じる。
- ・差別と区別の違いが難しい。

【「あって当然である」を選択】

- ・育った環境によったり、認識の差が何事にもある。また、同じ知識を得ても、判断するのは個人。
- ・歴史上、世界的に見ても差別がなかった事がない。
- ・人はみな平等だが、差別は存在する。ゼロにはできない。
- ・現代において差別と区別を同一視していることが多いため。
- ・人には必ず差異があるため差別があるのは当たり前であると考えるが、その差異によって他人が人権を侵害してはならない。差異によって生活におけるディスアドバンテージがある場合はそれを補完するような仕組みが必要である。

【「わからない」を選択】

- ・人は皆平等であることが一番の願いであり、差別がないことが好ましいが、気づかずにしてしまうこともあるかもしれないから。
- ・あまり深く考えたことが今までにない。
- ・許されないとは思いますが誰がどう判断するのか。人それぞれ信念、信じるものが違うので難しい。
- ・人権と差別の定義が曖昧である。普段の生活で意識することはない。
- ・差別と区別の差がわからない。

問2（3） 何について差別したことがありますか。

- ・ホームレスの方への差別
- ・貧乏と言われていた子をその頃は見た目も汚れた服を着たりして仲間はずれにしたりしてしまっていた。
- ・犯罪歴

- ・血液型

問4 あなたはこれまでに、「差別」をされたと思ったことがありますか。

- ・出身地
- ・コロナワクチン接種の有無
- ・家族について(家族に障害者がいる)
- ・氷河期世代なので世代間差別
- ・いじめ

問5 もし、あなたが「差別」をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。

- ・まずは自分が差別と感じたことが一般的な認識と相違ないか確認、調べる。その結果、差別だと判断した場合は第三者(機関)に相談する。
- ・差別の内容によって相談先が違おうと思うので、まずはケースをインターネット等で調べると思う。
- ・差別された理由を聞いたり考えたりしてその点を改善する。
- ・差別の頻度、程度によって見過ごすこともあると思う。
- ・抗議ではなく、知識や経験を使用して相手を諭す。

問11 あなたが、同和地区や同和问题について、初めて知ったきっかけは何ですか。

- ・職場の人権研修
- ・小説(島崎藤村「破戒」など)
- ・映画(「橋のない川」、「砂の器」など)
- ・そこで暮らす友人がいたから。
- ・京都に旅行した時、町中に「差別はやめよう」という看板があり、新興住宅地で育った人間として部落差別というものを恥ずかしながら知らなかったので、「差別はやめようなんて当たり前なのになぜ?」と思って調べてみたことがきっかけ。

問12 日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。

- ・わからない。
- ・これまでと同じようにとは思いますが、実際にはどうなるか自信がない。
- ・いつも通りを心がける。
- ・経験がなく想像もできない。
- ・今までと同じように付き合うつもりだが、相手が同和の事など会話や態度に出した場合は距離を取ると思う。

問14 同和问题で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・同和地区の名簿が出回ること。
- ・同和地区出身者自身が、自分は被差別者であると思って後ろ向きになってしまうこと、ならざるを得ないこと。
- ・同和を利用している者が問題である。

問15 同和问题を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

- ・根本的な同和问题の原因を考え、なくす。
- ・行政が差別しないことが重要。
- ・同和利権等をなくす。
- ・部落差別等に基づく人権侵害の刑事罰化や重罰化をすると、被差別者が法定手段に訴えやすくなる他、これを重く見る企業が社員教育として差別防止を自主的に周知するようになると思います。
- ・同和地区の概念そのものを無くしたいが方法を見出せない。

問16 女性に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・女性であることを理由に教育の機会を奪われること。
- ・年齢差別（ある年齢以上だと期限切れ、性的に価値がない、行き遅れなどと言われること）。
- ・ストーカーなど生活の安全が脅かされることが多いこと。
- ・女性の社会進出が急激に進められ、家事や子育てが置いてきぼりになっていること。
- ・女性の問題や課題の本質を理解してる方が組織や政治の中核にいない。
- ・「女のくせに」と無意識に女性を下に見ている男性優位な差別。女性は弱いものという思い込み、わざわざ守ってやっているのに、という恩着せがましき。性別関係なく助け合いが必要な場において、女性も周りの為にも動いているにも関わらず自分のしていることにしか意識が向かず馬鹿にしてくる男性が一定数いること。

問17 子どもに関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・いわゆる毒親家庭や虐待されて育つ子に対して、行政がしっかり監視せず、虐待死などが防げないこと。
- ・教師によるセクハラ（教師の信頼回復をどうするか）
- ・SNSの発展によって多くの情報を知る事ができる反面それによるいじめが増える（さらし行為や容姿の悪口など）。
- ・親の収入による教育格差

問18 高齢者に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・尊厳死させてもらえないところ。
- ・孤独死の問題
- ・低い所得の方は施設に入るお金はない。病院にも簡単には行けないのでは。
- ・加齢と共に思考力、体力共に低下するのが当たり前なのに、そのことを踏まえた上で高齢者の暮らしというものが確立されていない。急激に移り変わる社会に適応できない人もいる。
- ・支援施設、支援が十分でない。家族が付き添うか高額を払って施設を使うしかない。1人の介護で誰かの人生が損なわれる。

問19（1） 身体障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・家族へのサポートが不十分。
- ・正しいコミュニケーションの取り方を誰にも教えられない事。助け合う姿勢を子どもの時に学びたい。
- ・今は随分良くなったが、もう少し早く国の方が受入体制をとって欲しかった。
- ・障害者手帳が出ない障害を持っている人への配慮等が足りないこと。

問19（2） 知的障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・救急でさえ、病院への受け入れが断られることがあること
- ・住まいの保障が手薄なこと
- ・その人の障害に合った適切なサービス・社会資源につながれる機会が少ないこと。
- ・家族へのサポートが不十分。

問19（3） 精神障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・目に見えない障害に理解が進まないところ。
- ・その人の障害に合った適切なサービス・社会資源につながれる機会が少ないこと。
- ・障害者家族へのサポートの少なさ。

問20(1) 外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・退去強制、強制送還の事件は痛ましい。
- ・当たり前のサービス等が日本人と同じに扱われない。
- ・文化が理解・尊重されないのはお互い様なので、他国籍の人々も日本で暮らすことを選ぶのならば、日本の文化・風習を学び理解、尊重すべきだと思う。互いに自己主張ばかりでは何も好転しない。それを正しく知る場がないのならば、それは日本行政の怠慢である。

問20(2) あなたはヘイトスピーチについてどのように思いますか。

- ・ヘイトスピーチの定義があいまいで、気に入らない意見をヘイトスピーチとレッテル貼りする人がいるのが問題。まともに議論ができなくなる。
- ・容姿や言語など変えることが難しい事に対するヘイトスピーチは許されないと思うが、受ける側に文化のおしつけや迷惑行為、犯罪行為等の問題がある場合はある程度は仕方がない。
- ・何もしていない人に悪意ある言葉を投げかけるのは絶対にすべきではないが、日本に対して悪意ある言動をした人に対して言い返すことは許されると思う。

問21(2) ハンセン病患者・回復者・家族等に関する事であなたが、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・堕胎や不妊を強制されたこと。
- ・治療法が分かった時点で皆に知らせるべきだった。
- ・病気についての知識を得る機会が全くないこと。
- ・認知度が低い。

問21(3) エイズ患者やHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・一般的には普通に暮らしている方が感染症を患っている方かわからないので差別される事は少ないと思います。
- ・HIVに対する医療費が高すぎる。
- ・健康診断等で必須の検査項目にすべきと思う。

問22 ホームレスに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・貧困ビジネスの対象にされること。
- ・行政が行うホームレスに対する住宅施策と収入を確保する施策が連動していないこと。
- ・なぜホームレスになったか、続けているかにより色々な困難が差別なのか判断が分かれると思う。

問23(1) 性的少数者に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・婚姻関係にある男女に認められる税などの控除や相続権がないこと。また相手が事故や病気で医療行為を受ける際、家族として認められず会うことさえできない可能性がある。家族として社会にあるのに社会からは家族と認められず、祝福されない。
- ・現状を把握していないので、判断できない。
- ・行政が行う施策で性的指向と性自認の問題を同一カテゴリーで進めていること。

問25 アイヌ民族に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・日本人は単一民族ではないことを理解してこの問題を考えた方がよい。
- ・最大の問題は理解不足。歴史、文化、暮らし方、侵略、支配する側が何をしてきたのか、そして今どうなっているのか。

- ・文化や伝統の保存は難しいので、なんとも言えない。

問26 犯罪被害者等に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・被害に対して量刑が軽すぎて被害者の人権が軽く見られている。
- ・加害者よりも被害者に対するケアが低い。
- ・加害者が守られすぎている。

問27 刑を終えて出所した人に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・刑に服したからと言ってすべての出所者がすぐに社会活動を問題無く行えるとは限らない。人権上問題があるのは、そのような状態にある人を受け入れるしくみが無い事。
- ・犯罪に関係することについては制限されても仕方ないかもしれない。例えば金銭のことであれば銀行などには就職できない。
- ・犯した罪の内容と事情により異なると思います。

問28 インターネット・SNSに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・言葉で人を殺せるのが許されているところ。
- ・逆に悪質な書込みをした人をすぐに特定できるようにしないと法的手段・対処までお金や時間を要してしまう。
- ・国の規制が甘い。SNS運営側やティーンエイジャーの使用について制限があって良い。

問29 大規模災害が起きた場合に、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・社会的、地域的地位によって待遇に差が出ること。
- ・避難所そのものが人権を考えた作りになっていないこと。
- ・災害に乗じた住居侵入や窃盗。
- ・ペットの保護についての体制が不十分。
- ・男性による女性の生理の理解の低さ（ナプキンの使用量等）。

問30 職業や職場環境について、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

- ・職場の管理職層の人達の人権認識の欠如。
- ・役職者（社長含む）に権力を振りかざす方が多く見受けられる。
- ・同等の業務内容でも正規雇用と非正規雇用者で賃金・休日数など待遇の差が大きいこと。また正規雇用認められるトレーニングなど人を育てるような機会を公平に与えられないこと。評価対象にならないこと。
- ・最低賃金が低すぎる。

問31 北朝鮮による拉致について、あなたが知っていることはどのようなことですか。

- ・拉致問題が解決しないこと。
- ・横田めぐみさんと蓮池薫さん、曾我ひとみさん。テレビのニュースで名前を聞いたことがある。
- ・政府に解決する意志が全く無い
- ・家族が日本に居るのに帰ることが出来ない。自分だったら気が狂いそうです。早くなんとかして欲しいです。
- ・日本国政府は自国の民を取り戻す努力を怠っていること。

問32 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。

- ・職場（研修、サステナビリティ推進や人権を取り扱う部署）
- ・海外生活
- ・人権問題に関わる人たちとの交流
- ・参考書、テキスト

問33(1) あなたが参加したことがあるものや、見たことがあるものはありますか。

- ・人権作文
- ・YouTube やインターネット記事

問33(2) 横浜市は、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。

- ・人権とは関係ないと思われるイベントなどであっても人権への対応を工夫し(トイレ、スタッフの配置など)人権問題を発信する。
- ・人権や差別について、定義を明確にしてから対策を考えていることをしてほしい。
- ・小中高生への性教育。特に、性的同意、避妊について。コンドームのつけ方など具体的な方法、男性側が何をすべきなのかという事例を年齢に合わせて教えるべき。
- ・公務員の方々に向けた人権教育
- ・発信する情報のブラッシュアップ。同時により自分事として受けとってもらえるような工夫。抽象的な表現ではなく現実にはどのような困り事や弊害があり、どのような解決の道があるのか、どのように進むか考えさせるような、工夫が必要と思う。
- ・行政の人権施策に偏重があるので、過剰に予算が使われている施策をカットして市民全体に効用のあるサービスに予算を使うか減税をすること。
- ・駅など人が多いところでの演説など。

問34 横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。

- ・地位のある人だけではなく、LGBTに該当するYouTuber(当事者)などの講演会。
- ・休日の開催。見逃し配信等。
- ・優れたデザイナーが参加して優れたビジュアルで訴求が行われるイベント
- ・人権イベントに参加する人数に対してかけられている予算が過剰である。費用対効果を考えると講演会などに予算を使うべきではない。

問35 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するためには、あなたはどのような取組が特に必要だと思いますか。

- ・すべての市民の現在の生活の支援。人権について考えることのできる余裕を保障。
- ・支援学級の廃止。障害者も健常者も同じ教室で学ぶ。
- ・人権について明確な定義づけがないので、いつまでたっても解決しない。人権の明確な定義づけが必要。
- ・横浜市議員の人権意識の向上

問36 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたは特にどのようなことが求められると思いますか。

- ・人権について常に興味を持ちいかなる意見に対しても批判的検証をおこなうこと
- ・自分を大切にすること。
- ・経済的余裕がなければ難しい側面はあると思う。
- ・正しく得た知識を家庭内でも正しく子供に伝えて行くこと。
- ・まずは政治を正す!

資料 1—アンケート調査票

『人権に関する市民意識調査』 調査票

ご回答にあたって

■この調査は、個人を対象としていますので、あて名の方ご自身がご回答ください。ご本人によるご回答が困難な場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながら、ご回答をお願いします。

■インターネットまたは郵送により回答を受け付けています。

集計をスムーズに行うため、可能な場合はインターネットによるご回答にご協力をお願いします。

★インターネットによる回答

以下のURLからパソコン・スマートフォンにより回答することができます。

(その場合、以下の整理番号(5桁)の入力が必要です。)

ご回答は、当てはまる項目の番号を選択してください。


タイムアウト等によりエラーが発生してしまう場合がございます。

回答ページにアクセスする前に、本調査票をご一読いただき、

質問項目及び回答内容をご確認いただくことをおすすめします。

整理番号

※この整理番号は、インターネットと郵送で同一人による二重回答を防ぐために調査票につけた番号です。どのかにどの整理番号の調査票を送ったかは一切記録していませんので、この番号から回答者個人を特定することはできません。

インターネット 回答ページ	https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/95f88c3c-17e7-4c4f-814d-b4fa26ebbbad/start	
------------------	---	---

★郵送による回答

調査票にご記入いただいた後、同封の返信用封筒にてご返送ください。(切手は不要です。)

ご回答は、当てはまる項目の番号にチェックをつけてください。

なお、回答の数は設問によって異なりますので、ご注意ください。

■質問によっては、「その他」の選択肢があります。その場合はお手数ですが、「その他」の()内にできるだけ具体的にご回答をお願いします。

回答期限：令和7年8月22日(金)

郵送による回答の場合は期限までにご投函ください。

問1 日本の社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 女性の人権
- 2. 子どもの人権
- 3. 高齢者の人権
- 4. 障害児・障害者の人権
(精神、身体、知的)
- 5. 同和問題(部落差別)※1
- 6. 外国人の人権
- 7. 感染症・疾病の患者等の人権※2
- 8. 職業差別
- 9. ホームレスの人権
- 10. 性的少数者の人権※3
- 11. 自死(自殺)・自死遺族の人権
- 12. アイヌ民族の人権
- 13. 犯罪被害者等の人権
- 14. 刑を終えて出所した人の人権
- 15. インターネットによる人権侵害
- 16. 大規模災害時の避難生活などにおける人権侵害
- 17. 北朝鮮による拉致被害者等の人権
- 18. 生活困窮者の人権
- 19. 性的搾取等を目的とした人身取引※4
- 20. ハラスメント問題
- 21. 依存症
- 22. 企業による人権侵害(ビジネスと人権※5)
- 23. その他()
- 24. 特にない

- ※1 同和問題(部落差別): 特定の地域出身(「同和地区」「被差別部落」等)であることや、そこに住んでいることを理由とした差別。
- ※2 感染症・疾病: エイズ・HIV(ヒト免疫不全ウイルス)、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症など。
- ※3 性的少数者: いわゆるLGBT(L: レズビアン(女性同性愛者)、G: ゲイ(男性同性愛者)、B: バイセクシュアル(性的指向が「女性」「男性」のどちらにも向く人)、T: トランスジェンダー(性自認(自分がどのような性別かという自覚のこと)と法律上の性が一致しない人))など様々な性のあり方の中で少数の立場にある人。
- ※4 人身取引: 暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段を使って、性的サービスや労働、臓器提供などを強要すること。
- ※5 ビジネスと人権: 企業の事業活動全体が、企業のあらゆる利害関係者の人権にもたらす影響を考え、人権を守り尊重していくこと。差別やハラスメント、児童労働や強制労働などがあげられる。

問2 「差別」について、あなたの考えに近いものはどれですか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに✓)

(1) 差別について

- 1. 許されない
 - 2. 許されないが、しかたがない面もある
 - 3. あって当然である
 - 4. わからない
- また、それは何故ですか。()

(2) あなたは差別を

- 1. したことがない
- 2. 気づかずにしたことがあるかもしれない
- 3. したことがある
- 4. わからない

(3) (2)で「3. したことがある」と回答した方におたずねします。何について差別したことがありますか。(あてはまるものすべてに✓)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 年齢 | <input type="checkbox"/> 10. 性的指向※1、性自認※2 |
| <input type="checkbox"/> 2. 学歴・出身校・在籍校 | <input type="checkbox"/> 11. 障害(精神、身体、知的) |
| <input type="checkbox"/> 3. 職業の有無や種類・勤め先 | <input type="checkbox"/> 12. 感染症・疾病・病歴 |
| <input type="checkbox"/> 4. 収入・財産 | <input type="checkbox"/> 13. 容姿 |
| <input type="checkbox"/> 5. 家柄・家系・家族の職業や社会的地位 | <input type="checkbox"/> 14. 被差別部落出身・居住 |
| <input type="checkbox"/> 6. ひとり親家庭、両親なし | <input type="checkbox"/> 15. 人種・民族・国籍 |
| <input type="checkbox"/> 7. 婚姻歴・離婚歴の有無 | <input type="checkbox"/> 16. 思想・信条 |
| <input type="checkbox"/> 8. 子どもの有無 | <input type="checkbox"/> 17. 宗教 |
| <input type="checkbox"/> 9. 性別 | <input type="checkbox"/> 18. その他() |

※1 性的指向:自分がどのような性別を好きになるかということ。
 ※2 性自認:自分がどのような性別かという自覚のこと。

問5 もし、あなたが「差別」をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。
(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 黙って我慢する
- 2. 相手に抗議する
- 3. 身近な人に相談する
- 4. インターネット・SNS※に投稿する
- 5. 弁護士に相談する
- 6. 市役所・区役所に相談する
- 7. 学校・職場に相談する
- 8. 自治会・町内会、民生委員等に相談する
- 9. 法務局または人権擁護委員に相談する
- 10. 民間相談機関に相談する
- 11. 警察に相談する
- 12. その他()
- 13. わからない

※ SNS:ソーシャルネットワーキングサービスの略で、インターネット上のコミュニティサイト
(X(旧ツイッター)、LINE など)

問6 たとえば、お祝い事は「仏滅」の日は、「友引」の日はお葬式を避ける、といった昔からの風習について、あなたの考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 当然のことと思うので、自分も従う
- 2. おかしいと思うが、従う
- 3. おかしいと思うので、従わない(気にしない)
- 4. おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける
- 5. わからない

問7 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたの考えに近いものはどれですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 許されない
- 2. 許されないが、しかたがない面もある
- 3. あって当然である
- 4. わからない

問8 つぎ ほうりつ し
次の法律を知っていますか。(あてはまるもの1つに✓)

(1) 障害者差別解消法

(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(2) ヘイトスピーチ解消法

(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(3) 部落差別解消推進法

(部落差別の解消の推進に関する法律)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(4) LGBT理解増進法

(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(5) 認知症基本法

(共生社会の実現を推進するための認知症基本法)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(6) 女性支援新法

(困難な問題を抱える女性への支援に関する法律)

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

(7) こども基本法

- 1. 名称も内容も知っている
- 2. 名称は知っているが内容は知らない
- 3. 名称も内容も知らない

問9 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っていましたか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 知っていた → 問10へ進んでください
- 2. 知らなかった → 問12へ進んでください

問10 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 小学校入学以前
- 2. 小学生のとき
- 3. 中学生のとき
- 4. 15歳～18歳未満
- 5. 18歳～20歳未満
- 6. 20歳以上
- 7. はっきりとおぼえていない

問11 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 家族(父母、きょうだいなど)から聞いた
- 2. 親戚の人から聞いた

- 3. 近所の人から聞いた
- 4. 友だちから聞いた
- 5. 学校の授業で教わった
- 6. 職場の人から聞いた
- 7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
- 8. インターネット・SNS で知った
- 9. 同和問題の集会や研修会で知った
- 10. 県や市町村の広報紙・誌などで知った
- 11. その他()
- 12. はっきりとおぼえていない

問12 日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. これまでと同じように親しく付き合う
- 2. 表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく
- 3. 付き合いをやめてしまう
- 4. その他()

問13 同和地区出身の人との結婚について、おたずねします。

(1) あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する
- 2. 自分の意志を貫いて結婚する
- 3. 家族や親戚などの反対があれば、結婚しない
- 4. 絶対に結婚しない
- 5. わからない

(2) あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合あなたはどうしますか。(子どもがいると仮定してお答えください。)
(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 反対せずに、子どもの意志を尊重する
- 2. 親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない
- 3. 家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない
- 4. 家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない
- 5. わからない

問14 同和問題で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 結婚を周囲から反対されること
- 2. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 3. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 4. 地域社会で不利な扱いを受けること
- 5. 身元調査が行われること
- 6. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 7. 差別的な落書きがあること
- 8. インターネット・SNS を利用した差別的な情報が掲載されること
- 9. その他()
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

問15 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 同和問題にかかわる人権相談などを充実する
- 2. 学校や地域における人権教育を推進する
- 3. 広報紙・誌の発行や人権講演会(オンラインを含む)など、人権啓発を推進する
- 4. 市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する
- 5. 同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく
- 6. 同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる
- 7. 同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまわって生活しないで、分散して住むようにする

- 8. 同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる
- 9. その他()
- 10. 特にない
- 11. わからない

問16 女性に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること
- 2. 結婚すべきと言われること
- 3. 出産して子どもをもつべきと言われること
- 4. 本人の意思が尊重されないこと
- 5. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 6. 企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと
- 7. 職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること
- 8. 配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力
- 9. 性犯罪・売春・買春(援助交際も含む)があること
- 10. テレビや雑誌、インターネット・SNSなどで女性の性を強調する情報が氾濫していること
- 11. 女性に対する支援・相談体制が十分でないこと
- 12. 性と生殖に関する健康と権利※についての十分な理解、性教育がされていないこと
- 13. その他()
- 14. 特に問題はない
- 15. わからない

※ 性と生殖に関する健康と権利：性や子どもを産むことについて身体的にも精神的にも社会的にも良好な状態であること、また自分の意思が尊重され自分の身体に関する自分を自身で決められる権利

問17 子どもに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること
- 2. 教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること
- 3. 親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること
- 4. 本人の意思が尊重されないこと
- 5. 性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること
- 6. 不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること
- 7. 生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること
- 8. 男の子らしさ、女の子らしさを求められること
- 9. 家事や介護等を日常的に行うことで、子どもが子どもとして過ごす時間や権利が奪われること(ヤングケアラー)
- 10. その他()
- 11. 特に問題はない
- 12. わからない

問18 高齢者に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 広報物等の文字の大きさ、わかりやすい文章表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと
- 4. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 5. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 6. 悪徳商法や詐欺などの被害を受けること
- 7. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 8. 家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
- 9. 病院や福祉施設内において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
- 10. 道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られて

- いないこと
11. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
12. その他()
13. 特に問題はない
14. わからない

問19 3つの障害(身体障害、知的障害、精神障害)のある人に関することについて、それぞれおたずねします。

(1) 身体障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
2. 本人の意思が尊重されないこと
3. 結婚を周囲から反対されること
4. 子どもをもつことを周囲から反対されること
5. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
6. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
7. アパートや住宅への入居が困難なこと
8. スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかつたり、地域の人などと交流する機会が少なかつたりすること
9. 家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
10. 保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと
11. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
12. 店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと
13. 道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと
14. 手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと
15. その他()
16. 特に問題はない
17. わからない

(2) 知的障害のある人に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 結婚を周囲から反対されること
- 4. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 5. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 6. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 7. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 8. 入院治療が必要なのに、入院させること
- 9. スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること
- 10. 家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
- 11. 保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと
- 12. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 13. 店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと
- 14. 手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと
- 15. その他()
- 16. 特に問題はない
- 17. わからない

(3) 精神障害のある人に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 結婚を周囲から反対されること
- 4. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 5. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること

- 6. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 7. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 8. 入院治療が必要ないのに、入院させること
- 9. スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかつたり、地域の人などと交流する機会が少なかつたりすること
- 10. 家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること
- 11. 保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと
- 12. 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 13. 店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと
- 14. 障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと
- 15. その他()
- 16. 特に問題はない
- 17. わからない

問20 外国人に関することについて、おたずねします。

(1) 外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 本人の意思が尊重されないこと
- 3. 文化が理解・尊重されないこと
- 4. 名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること
- 5. 何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること
- 6. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 7. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 8. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 9. 施設・公園・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと
- 10. 外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと

- 11. 近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 12. 日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)や対応が受けられないこと
- 13. 外国人である子どもたちが集える居場所や、困った時に相談する場所がないこと
- 14. 特定の国籍によって対応に差がでること
- 15. その他()
- 16. 特に問題はない
- 17. わからない

(2) あなたはヘイトスピーチ※についてどのように思いますか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. 許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う
- 2. 許されない行為ではあるが、共感するところもある
- 3. 表現の自由として許される行為ではあるが、共感できない
- 4. 表現の自由として許される行為であり、当然のことだと思う
- 5. 自分には関係ないことであり、共感も反感もない
- 6. その他()
- 7. わからない

※ ヘイトスピーチ: 人種や国籍、性別などを理由に攻撃をしたり、差別や暴力行為などをあおるなどする言動のこと

問21 感染症・疾病の患者等に関することで、おたずねします。

(1) 疾病・感染症・病歴等に関することであなたが、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 患者や感染者等のプライバシーが守られないこと
- 3. 病院での治療や入院を断られること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 6. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 7. 無断で検査をされること

- 8. 患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 9. 医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 10. 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 11. 疾病・感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと
- 12. マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること
- 13. その他()
- 14. 特に問題はない
- 15. わからない

(2) ハンセン病※患者・回復者・家族等に関することでああなたが、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

※ ハンセン病：「らい菌」による感染症のことで、かつては治療法がなく、体の一部が変形するなどの後遺症が残ることがあった。

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 結婚を周囲から反対されること
- 3. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 4. 家族や親戚からつきあいを拒絶されること
- 5. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 6. 社会復帰が困難なこと
- 7. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 8. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 9. 旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること
- 10. 怖い病気といった誤解があること
- 11. ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 12. 近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 13. その他()
- 14. 特に問題はない
- 15. わからない

(3) エイズ患者やHIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 患者や感染者等のプライバシーが守られないこと
- 3. 病院や福祉施設において、エイズ患者・HIV感染者であることを理由に利用制限を受けること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 6. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 7. 無断で検査をされること
- 8. 患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 9. 医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 10. 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 11. エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと
- 12. マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること
- 13. その他()
- 14. 特に問題はない
- 15. わからない

問22 ホームレスに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること
- 3. 通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力(性暴力、虐待を含む)を振るわれたりすること
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 6. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること

- 7. 医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること
- 8. 就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと
- 9. アパートや住宅への入居が困難なこと
- 10. 店舗などへの入店や施設利用を拒否されること
- 11. 社会的に孤立をしてしまうこと
- 12. ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと
- 13. その他()
- 14. 特に問題はない
- 15. わからない

問23 性的少数者に関することについて、おたずねします。

(1) 性的少数者に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. 社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること
- 3. 婚姻を認められないこと
- 4. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 5. 進学・就職・職場において不利な扱いを受けること
- 6. 地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられたりすること
- 7. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 8. 本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること
- 9. 法整備などが十分でないこと
- 10. トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと
- 11. トイレ・脱衣を伴う介護を受ける際や、病院に入院する際に、本人の性自認が十分配慮されていないこと
- 12. 就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること
- 13. 性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと
- 14. その他()
- 15. 特に問題はない
- 16. わからない

(2) もしあなたの家族(親・子・配偶者など)が性的少数者であることをあなたに告白した場合、あなたはその人の理解者になることができますか。(あてはまるもの1つに✓)

- 1. できると思う
- 2. できないと思う
- 3. わからない

(3) 性的少数者について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。

(✓はいくつでも)

- 1. 多様性や個性のひとつ
- 2. 身近にいないのでよくわからない
- 3. 個人の趣味や嗜好の問題
- 4. 理解ができない

問24 自殺(自死)について、どのように思いますか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. いのちを大切にしないのは、いけないことだと思う
- 2. 生死は最終的に本人の判断に任せるべきだと思う
- 3. 自殺したいという気持ちは繰り返し現れるので、周囲の人が止めることはできないと思う
- 4. 自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う
- 5. 自分にはあまり関係がないと思う
- 6. 本人が選んだことだから仕方がないと思う
- 7. 自殺を口にする人は、本当に自殺はしないと
- 8. 防ぐことができる自殺も多いと思う
- 9. 自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを発していると思う
- 10. 自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う
- 11. 自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う
- 12. 自死遺族は自責の念を抱きやすいと思う
- 13. 身近な人を自殺で亡くした人で、深く悲しんでいない人はいないと思う
- 14. いつまでも身近な人の自殺を悲しまず、残された者を大切にされた方がよいと思う

う

□15. 自殺を実行するかどうかは、周囲の人の影響が大きいと思う

問25 アイヌ民族に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2. アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと
- 3. 先住民族としての権利(漁猟、採集等の権利や土地の権利等)が尊重されていないこと
- 4. 結婚を周囲から反対されること
- 5. 子どもをもつことを周囲から反対されること
- 6. 採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること
- 7. 経済的に困窮状態におかれている人が多いこと
- 8. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 9. アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと
- 10. その他()
- 11. 特に問題はない
- 12. わからない

問26 犯罪被害者等に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
- 2. 犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること
- 3. 事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること
- 4. 「被害者にも問題があった」などと非難されること
- 5. 捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること
- 6. マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること
- 7. 誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること
- 8. 犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと
- 9. その他()

10. 特とくに問題もんだいはない

11. わからない

問27 刑けいを終おえて出所しゅつしょした人ひとに関するかんことで、あなたじんけんじょうもんだいが人権上問題おもがあると思うのはどのよう
なことですか。(あてはまるものすべてに✓)

1. 社会的な理解しゃかいてきが十分りかいでないため、誤解じゅうばんや偏見ごかいがあること

2. じろじろ見みられたり、避けさられたりすること

3. 社会的に孤立しゃかいてきしてしまうこと

4. 結婚けっこんを周囲しゅういから反対はんたいされること

5. 子どもをもつことを周囲こから反対しゅういされること

6. 採用さいよう、賃金ちんぎん、仕事しごとの内容ないよう、昇給しょうきゅう昇進しょうしんなど、職場しよくばにおける待遇たいぐうに違いちががあること

7. 誹謗ひぼう・中傷ちゅうしょうなどの差別的な発言さべつてきや行為はつげんを受けこういること

8. アパートや住宅じゅうたくへの入居にゅうきよが困難こんなんなこと

9. 刑けいを終おえて出所しゅつしょした人ひとのための相談そうだん・支援体制しえんたいせいが十分じゅうばんでないこと

10. その他た()

11. 特とくに問題もんだいはない

12. わからない

問28 インターネット・SNSかん に関するかんことで、あなたじんけんじょうもんだいが人権上問題おもがあると思うのはどのよう
なことですか。(あてはまるものすべてに✓)

1. 他人たにんの誹謗中傷ひぼうちゅうしょうや差別的な表現さべつてきなど、人権じんけんを侵害しんがいする情報じょうほうを掲載けいさいされること

2. 犯罪はんざいを誘発ゆうはつする場ばとなっていること

3. 未成年者みせいねんしゃの犯罪はんざいについて、実名じつめいや顔写真かおじゃしんを掲載けいさいされること

4. 児童ポルノじどうをはじめとする性暴力せいぼうりょくの温床おんしょうとなっていること

5. 個人情報こじんじょうほうなどが一度いちど掲載けいさいされると拡散かくさんし、完全かんぜんに消去しょうきよすることが困難こんなんであること

6. インターネット・SNSじょう 上じんけんしんがいで人権侵害うを受けた人ひとのための相談そうだん・支援体制しえんたいせいが十分じゅうばんでないこと

7. 人権じんけんを侵害しんがいする情報じょうほうの発信者はつしんしゃに対する監視たいや取締りかんしが十分とりしまでないこと

- 8. インターネットリテラシー※が不足していること
- 9. その他()
- 10. 特に問題はない
- 11. わからない

※ インターネットリテラシー: インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断・運用できる能力

問29 大規模災害が起きた場合に、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 避難生活でプライバシーが守られないこと
- 2. デマや風評が広まり、差別的な言動が起きること
- 3. 配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 4. 避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 5. 避難所において、ホームレスなど特定の人が拒否されること
- 6. 生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・暴力(虐待)が起こること
- 7. 避難所等において性犯罪が起こること
- 8. その他()
- 9. 特に問題はない
- 10. わからない

問30 職業や職場環境について、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. いわゆるハラスメント(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど)があること
- 2. 職業によって、人物の評価がされること
- 3. 個人の属性(性別、国籍等)によって、能力を発揮する機会が公平に与えられないこと

- 4. 非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したくても抜けられないこと
- 5. 職場でのいじめやいやがらせがあること
- 6. 長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと
- 7. その他()
- 8. 特に問題はない
- 9. わからない

問31 北朝鮮による拉致について、あなたが知っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ
- 2. 帰国できた人もいるが、多くの拉致被害者はまだ帰国できていないこと
- 3. 「拉致被害者」以外にも、北朝鮮によって拉致された可能性を排除できない人、いわゆる「特定失踪者」がいること
- 4. 横浜市や神奈川県に在住していた(している)拉致問題の被害者やその御家族がいること
- 5. 拉致問題の解決に向けた取組として、横浜市が講演会などの啓発を行っていること
- 6. 知っていることはない
- 7. その他()

問32 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。
(あてはまるものすべてに✓)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 講演会(オンラインを含む) | <input type="checkbox"/> 9. ラジオ |
| <input type="checkbox"/> 2. 研修会 | <input type="checkbox"/> 10. 映画、DVD |
| <input type="checkbox"/> 3. インターネット・SNS | <input type="checkbox"/> 11. 新聞、雑誌 |
| <input type="checkbox"/> 4. 街頭キャンペーンなどのイベント | <input type="checkbox"/> 12. 本 |
| <input type="checkbox"/> 5. 自治体が発行する広報紙・誌 | <input type="checkbox"/> 13. 学校の授業 |
| <input type="checkbox"/> 6. 自治体以外が発行した広報紙・誌 | <input type="checkbox"/> 14. 家族・友人など周囲の身近な人 |
| <input type="checkbox"/> 7. ポスター | <input type="checkbox"/> 15. その他() |
| <input type="checkbox"/> 8. テレビ | |

問33 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。

(1) あなたが参加したことがあるものや、見たことがあるものはありますか。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 講演会(オンラインを含む)
- 2. 人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)
- 3. 「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事
- 4. 市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」
- 5. 市内地下鉄・私鉄での「車内広告」
- 6. 横浜市の人権に関するホームページ
- 7. その他()
- 8. どれも参加したことや見たことはない

(2) 横浜市は、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 講演会(オンラインを含む)
- 2. 人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)
- 3. 「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事
- 4. 市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」
- 5. 市内地下鉄・私鉄での「車内広告」
- 6. 横浜市のホームページによる情報提供
- 7. 市民向け連続講座
- 8. 学校での教育
- 9. 企業向けの啓発
- 10. インターネット・SNS を活用した情報発信
- 11. 人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会
- 12. パンフレットなどの資料の配布
- 13. 情報発信や交流ができる拠点の設置
- 14. その他()
- 15. 特にない
- 16. わからない

問34 横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに✓)

- 1. 会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である
- 2. 会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である
- 3. オンラインを活用し自宅で参加(聴講)できるものである
- 4. 著名人が出演している
- 5. 人権問題に直面している当事者が出演している
- 6. 他の行事やイベントに組み込まれている
- 7. 子どもが楽しみながら人権について学べる企画である
- 8. その他()
- 9. 特にない
- 10. わからない

問35 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するためには、あなたはどのような取組が特に必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実
- 2. 学校における人権教育の充実
- 3. 家庭や地域における一人ひとりの人権意識の向上
- 4. 企業における人権意識の向上
- 5. 教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上
- 6. 発言力・影響力が強い立場にある人の人権意識の向上
- 7. 差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実
- 8. 人権に関する条例の制定
- 9. 人権侵害に対する取締りの推進
- 10. 人権問題に取り組む団体等との連携・協働の強化
- 11. 人権に関する相談体制の充実
- 12. 人権侵害に対する救済策の強化
- 13. その他()
- 14. 特にない
- 15. わからない

問36 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたは特にどのようなことが求められると思いますか。(あてはまるもの3つ以内に✓)

- 1. 人権に対する正しい知識を身につけること
- 2. 自分の中にある無意識の偏見や差別に気づき、自分が他の人を差別してしまうかもしれないことを自覚すること
- 3. 古いしきたりや固定観念にとらわれないこと
- 4. 他人の立場や権利を尊重すること
- 5. 自分が生活している地域の人々を大切にすること
- 6. 家族が互いの立場や権利を大切にすること
- 7. 職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと
- 8. その他()
- 9. 特にない
- 10. わからない

【フェイスシート】 あなた自身のことについておたずねします。

Q1 あなたの性別(自認する性別)を教えてください。(あてはまるもの1つに✓)
(回答は任意です。答えたくない場合は答えなくて結構です。)

1. 男性 2. 女性 3. その他

Q2 あなたの年齢を教えてください。(令和7年4月1日現在の年齢)
(あてはまるもの1つに✓)

1. 15歳 ~ 17歳 6. 50歳 ~ 59歳
2. 18歳 ~ 19歳 7. 60歳 ~ 69歳
3. 20歳 ~ 29歳 8. 70歳 ~ 79歳
4. 30歳 ~ 39歳 9. 80歳以上
5. 40歳 ~ 49歳

Q3 あなたの現在のご職業を教えてください。
(いくつかあてはまる場合は、主なもの1つに✓)

1. 会社員・公務員・団体職員などの正規職員
2. 派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト
3. 自営業・個人事業主
4. 家事に従事
5. 学生
6. その他の職業()
7. 仕事はしていない

資料 2 一集計結果

単一回答方式の設問の場合、回答者割合の%値は小数点第2位を四捨五入するため、合計が100.0%にならない場合がある。

1 関心のある人権問題

表1. 問1 日本社会には、基本的人権にかかわるさまざまな問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
女性の人権	54.6	39.7	66.1	85.7	34.6	50.0	56.0	52.6	55.4	54.8	60.2	55.9	48.3	
子どもの人権	52.3	45.8	57.0	57.1	38.5	27.8	53.8	49.6	56.0	50.6	55.1	54.5	50.0	
高齢者の人権	39.4	34.5	42.9	57.1	11.5	0.0	20.9	14.6	25.1	38.0	52.8	57.3	60.0	
障害児・障害者の人権(精神、身体、知的)	49.4	45.4	52.7	85.7	38.5	33.3	41.8	39.4	44.6	50.6	53.7	57.7	54.2	
同和問題(部落差別)	22.5	24.2	21.2	57.1	7.7	5.6	23.1	10.9	19.4	25.1	23.6	27.7	30.0	
外国人の人権	27.8	34.1	22.3	71.4	26.9	27.8	24.2	27.7	29.1	28.1	30.6	28.6	23.3	
感染症・疾病の患者等の人権	25.9	22.9	27.5	71.4	23.1	22.2	23.1	20.4	18.3	28.9	26.9	30.5	30.0	
職業差別	34.5	33.1	35.7	57.1	30.8	38.9	42.9	29.2	28.6	37.6	34.3	37.6	31.7	
ホームレスの人権	16.1	16.0	15.5	57.1	7.7	11.1	12.1	13.9	12.0	17.1	19.0	17.8	19.2	
性的少数者の人権	25.1	22.3	26.6	85.7	15.4	27.8	34.1	19.7	26.9	24.3	27.8	27.2	16.7	
自死(自殺)・自死遺族の人権	19.5	19.2	19.5	42.9	19.2	16.7	18.7	16.8	16.0	21.3	20.4	19.7	22.5	
アイヌ民族の人権	18.0	17.7	17.9	57.1	7.7	0.0	14.3	12.4	14.3	21.7	21.3	18.8	22.5	
犯罪被害者等の人権	31.5	30.9	30.9	71.4	23.1	22.2	23.1	24.1	29.7	38.4	32.4	31.5	34.2	
刑を終えて出所した人の人権	17.5	17.9	16.6	71.4	19.2	11.1	13.2	13.1	14.9	14.8	19.9	22.1	23.3	
インターネットによる人権侵害	56.1	57.4	55.3	71.4	42.3	38.9	48.4	55.5	65.7	57.0	61.1	57.7	41.7	
大規模災害時の避難生活などにおける人権侵害	31.7	29.6	32.8	57.1	15.4	22.2	26.4	27.7	29.7	34.6	35.6	33.3	29.2	
北朝鮮による拉致被害者等の人権	30.1	31.1	28.6	71.4	30.8	27.8	17.6	15.3	21.1	31.6	32.4	39.0	45.0	
生活困窮者の人権	26.8	27.2	25.9	57.1	23.1	11.1	26.4	21.9	23.4	24.3	26.9	31.9	35.8	
性的搾取等を目的とした人身取引	25.0	23.1	25.9	42.9	11.5	16.7	25.3	21.2	21.7	28.1	26.4	25.4	25.8	
ハラスメント問題	43.6	44.9	42.3	85.7	53.8	50.0	48.4	40.9	49.1	43.3	47.7	40.8	30.8	
依存症	16.9	16.8	17.0	28.6	19.2	11.1	18.7	19.7	17.7	16.3	17.6	15.0	14.2	
企業による人権侵害(ビジネスと人権)	31.9	35.4	29.0	57.1	38.5	33.3	36.3	31.4	30.3	30.8	32.4	34.3	26.7	
その他	1.3	1.5	1.2	14.3	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.4	2.8	2.3	1.7	
特になし	3.8	5.6	2.5	0.0	0.0	5.6	1.1	3.6	6.3	4.6	4.2	1.4	5.0	
無回答	2.2	2.0	2.2	0.0	0.0	5.6	1.1	1.5	0.0	1.1	1.4	3.3	8.3	

		職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職 員などの 正規職 員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事はし ていない
該当者(n)		427	263	71	172	58	17	244
%	女性の人権	49.9	61.2	54.9	63.4	43.1	47.1	53.7
	子どもの人権	48.9	56.7	47.9	61.0	37.9	52.9	52.0
	高齢者の人権	24.4	44.1	45.1	51.2	8.6	47.1	56.1
	障害児・障害者の人権(精神、身体、 知的)	43.1	49.4	54.9	58.1	36.2	64.7	55.3
	同和問題(部落差別)	19.4	22.4	26.8	23.8	10.3	23.5	28.7
	外国人の人権	30.4	24.0	38.0	19.2	24.1	35.3	30.7
	感染症・疾病の患者等の人権	23.0	25.1	19.7	26.2	20.7	47.1	32.0
	職業差別	32.1	38.0	25.4	34.9	31.0	58.8	35.7
	ホームレスの人権	14.5	15.2	16.9	16.3	8.6	35.3	18.4
	性的少数者の人権	26.7	24.3	28.2	24.4	22.4	23.5	23.0
	自死(自殺)・自死遺族の人権	18.5	17.9	16.9	18.6	15.5	29.4	23.8
	アイヌ民族の人権	16.2	16.7	18.3	19.2	5.2	23.5	23.4
	犯罪被害者等の人権	32.1	29.3	32.4	28.5	20.7	35.3	35.2
	刑を終えて出所した人の人権	15.2	19.4	18.3	12.8	12.1	23.5	21.7
	インターネットによる人権侵害	60.2	57.0	62.0	55.8	34.5	58.8	52.5
	大規模災害時の避難生活などにおけ る人権侵害	30.0	31.6	23.9	34.9	20.7	52.9	34.8
	北朝鮮による拉致被害者等の人権	25.1	25.9	40.8	34.3	22.4	29.4	38.9
	生活困窮者の人権	24.4	24.0	35.2	25.0	17.2	35.3	32.8
	性的搾取等を目的とした人身取引	23.4	24.0	29.6	27.3	13.8	35.3	26.2
	ハラスメント問題	50.1	41.8	42.3	36.0	48.3	58.8	38.1
依存症	17.6	19.8	11.3	12.2	15.5	23.5	16.0	
企業による人権侵害(ビジネスと人権)	34.4	30.4	28.2	26.2	34.5	35.3	32.4	
その他	1.2	0.8	1.4	1.2	0.0	5.9	1.6	
特になし	4.4	3.0	4.2	3.5	3.4	0.0	4.1	
無回答	0.7	1.5	1.4	1.2	3.4	0.0	5.7	

2 差別についての認識と行為

問2 「差別」について、あなたの考えに近いものはどれですか。

表2. 問2-1 差別についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	許されない	45.7	47.1	44.8	57.1	34.6	38.9	36.3	38.0	47.4	43.7	50.0	51.2	50.0
	許されないが、しかたがない面もある	48.9	48.4	49.9	42.9	57.7	55.6	60.4	54.7	46.9	51.7	46.8	45.1	39.2
	あって当然である	1.9	2.4	1.0	0.0	7.7	5.6	2.2	5.1	1.7	1.5	0.9	0.5	0.8
	わからない	2.0	0.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.4	3.0	1.4	0.5	4.2
	無回答	1.5	1.3	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.6	0.0	0.9	2.8	5.8

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	許されない	44.3	47.9	53.5	42.4	36.2	47.1	48.4
	許されないが、しかたがない面もある	51.5	46.8	43.7	52.9	56.9	41.2	44.7
	あって当然である	2.8	1.5	1.4	0.0	5.2	0.0	0.8
	わからない	0.9	2.7	0.0	2.9	0.0	5.9	3.3
	無回答	0.5	1.1	1.4	1.7	1.7	5.9	2.9

表3. 問2-2 あなたは差別をしたことがありますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	したことがない	12.2	14.2	10.9	0.0	3.8	11.1	9.9	12.4	8.6	7.2	9.7	19.7	24.2
	気づかずにしたことがあるかもしれない	66.4	64.2	68.3	85.7	88.5	88.9	65.9	68.6	74.9	72.6	65.3	61.0	44.2
	したことがある	10.9	11.0	10.7	0.0	7.7	0.0	13.2	15.3	12.0	14.8	12.0	5.2	3.3
	わからない	2.9	2.2	3.0	14.3	0.0	0.0	7.7	1.5	1.7	2.7	3.7	0.9	5.8
	無回答	7.6	8.4	7.1	0.0	0.0	0.0	3.3	2.2	2.9	2.7	9.3	13.1	22.5

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	したことがない	8.7	10.3	12.7	15.7	8.6	17.6	18.0
	気づかずにしたことがあるかもしれない	72.4	65.4	66.2	64.0	81.0	47.1	59.0
	したことがある	13.8	13.3	9.9	9.9	6.9	23.5	3.7
	わからない	2.3	3.4	1.4	3.5	1.7	0.0	3.7
	無回答	2.8	7.6	9.9	7.0	1.7	11.8	15.6

表4. 問2-3 (問2-2で「差別をしたことがある」と回答した方に) 何について差別したことがありますか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	138	59	72	0	2	0	12	21	21	39	26	11	4
年齢	18.1	16.9	18.1	0.0	0.0	0.0	25.0	28.6	14.3	23.1	15.4	0.0	0.0
学歴・出身校・在籍校	31.2	22.0	40.3	0.0	0.0	0.0	50.0	19.0	28.6	35.9	26.9	36.4	50.0
職業の有無や種類・勤め先	26.8	22.0	30.6	0.0	0.0	0.0	41.7	23.8	23.8	28.2	23.1	36.4	25.0
収入・財産	16.7	8.5	22.2	0.0	0.0	0.0	25.0	19.0	14.3	20.5	7.7	18.2	25.0
家柄・家系・家族の職業や社会的地位	21.0	13.6	27.8	0.0	0.0	0.0	33.3	9.5	19.0	28.2	11.5	27.3	25.0
ひとり親家庭・両親なし	6.5	5.1	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	14.3	4.8	5.1	3.8	0.0	0.0
婚姻歴・離婚歴の有無	8.7	5.1	11.1	0.0	0.0	0.0	16.7	4.8	0.0	17.9	3.8	0.0	25.0
子どもの有無	7.2	5.1	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	14.3	0.0	12.8	0.0	0.0	25.0
性別	17.4	13.6	20.8	0.0	100.0	0.0	25.0	23.8	9.5	20.5	11.5	9.1	0.0
性的指向・性自認	10.1	10.2	11.1	0.0	0.0	0.0	16.7	14.3	19.0	7.7	0.0	18.2	0.0
障害(精神、身体、知的)	35.5	39.0	31.9	0.0	0.0	0.0	41.7	42.9	52.4	38.5	19.2	18.2	25.0
感染症・疾病・病歴	6.5	10.2	1.4	0.0	0.0	0.0	8.3	9.5	4.8	5.1	0.0	0.0	50.0
容姿	37.0	40.7	33.3	0.0	50.0	0.0	58.3	33.3	38.1	35.9	26.9	36.4	50.0
被差別部落出身・居住	5.1	5.1	5.6	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	10.3	7.7	0.0	0.0
人種・民族・国籍	42.0	37.3	43.1	0.0	100.0	0.0	41.7	47.6	47.6	38.5	34.6	45.5	25.0
思想・信条	25.4	30.5	22.2	0.0	50.0	0.0	33.3	19.0	33.3	25.6	23.1	27.3	0.0
宗教	37.0	37.3	37.5	0.0	0.0	0.0	33.3	28.6	52.4	51.3	23.1	18.2	50.0
その他	5.1	5.1	5.6	0.0	0.0	0.0	8.3	4.8	4.8	5.1	3.8	9.1	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	59	35	7	17	4	4	9
年齢	22.0	17.1	14.3	17.6	0.0	50.0	0.0
学歴・出身校・在籍校	32.2	25.7	28.6	41.2	25.0	25.0	44.4
職業の有無や種類・勤め先	28.8	22.9	42.9	23.5	25.0	0.0	44.4
収入・財産	18.6	20.0	0.0	17.6	0.0	0.0	22.2
家柄・家系・家族の職業や社会的地位	22.0	20.0	28.6	17.6	0.0	0.0	22.2
ひとり親家庭・両親なし	8.5	8.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
婚姻歴・離婚歴の有無	8.5	8.6	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0
子どもの有無	3.4	5.7	14.3	17.6	0.0	25.0	0.0
性別	13.6	25.7	14.3	11.8	50.0	25.0	11.1
性的指向・性自認	8.5	11.4	28.6	11.8	0.0	0.0	11.1
障害(精神、身体、知的)	39.0	40.0	28.6	29.4	0.0	50.0	11.1
感染症・疾病・病歴	6.8	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
容姿	40.7	31.4	57.1	23.5	75.0	0.0	44.4
被差別部落出身・住居	3.4	8.6	0.0	5.9	0.0	0.0	11.1
人種・民族・国籍	42.4	54.3	14.3	35.3	50.0	25.0	22.2
思想・信条	27.1	28.6	57.1	11.8	25.0	25.0	11.1
宗教	47.5	31.4	57.1	41.2	0.0	0.0	0.0
その他	3.4	2.9	0.0	17.6	0.0	25.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 「人権問題」や「差別の問題」についての考え

問3 「人権問題」や「差別の問題」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

表5. 問3-A 「人権問題に関心がある方だ。」（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	そう思う	17.2	18.2	16.0	57.1	3.8	11.1	25.3	13.1	13.1	16.7	15.7	21.6	22.5
	どちらかと言えばそう思う	51.8	48.6	55.3	14.3	65.4	55.6	50.5	49.6	54.9	49.8	52.3	54.0	45.8
	どちらかと言えばそう思わない	25.3	25.9	24.3	28.6	23.1	27.8	20.9	29.9	27.4	28.9	27.3	21.6	16.7
	そう思わない	4.5	5.4	3.7	0.0	7.7	5.6	3.3	7.3	4.6	4.2	3.2	0.9	9.2
	無回答	1.2	1.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.4	1.9	5.8

	職業							
	会社 員・公 務員・ 団体職 員など の正規 職員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営 業・個 人事業 主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	そう思う	18.7	14.4	21.1	11.6	13.8	17.6	21.3
	どちらかと言えばそう思う	48.9	54.0	46.5	62.2	55.2	47.1	48.4
	どちらかと言えばそう思わない	27.9	28.1	25.4	22.7	24.1	23.5	20.9
	そう思わない	4.2	2.7	7.0	3.5	6.9	5.9	5.3
	無回答	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	5.9	4.1

表6. 問3-B 「今の日本は、一人ひとりの人権が大切にされていると思う。」
 (あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	そう思う	6.8	10.2	4.0	0.0	11.5	16.7	9.9	9.5	6.9	5.7	4.2	4.2	10.0
	どちらかと言えばそう思う	45.6	47.3	45.0	42.9	46.2	38.9	53.8	51.1	49.7	46.8	42.6	41.8	38.3
	どちらかと言えばそう思わない	36.5	31.8	39.9	14.3	30.8	38.9	25.3	28.5	32.6	37.6	45.8	40.8	32.5
	そう思わない	10.3	9.7	10.2	42.9	11.5	5.6	11.0	10.9	10.3	9.9	6.5	12.7	13.3
	無回答	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9	0.5	5.8

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	そう思う	10.1	4.2	0.0	2.3	13.8	11.8	6.6
	どちらかと言えばそう思う	49.9	41.4	54.9	43.0	46.6	41.2	42.6
	どちらかと言えばそう思わない	31.4	43.3	33.8	45.3	29.3	29.4	34.0
	そう思わない	8.2	10.6	11.3	8.7	10.3	17.6	13.9
	無回答	0.5	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	2.9

表7. 問3-C 「みんながやさしさと思いやりさえ持てば人権問題は解決する。」
 (あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	そう思う	15.5	20.7	12.3	0.0	23.1	11.1	8.8	15.3	9.7	13.7	13.0	21.1	27.5
	どちらかと言えばそう思う	36.7	32.2	40.8	14.3	15.4	38.9	24.2	34.3	40.6	40.7	38.9	36.2	35.0
	どちらかと言えばそう思わない	25.9	22.5	28.3	28.6	26.9	27.8	39.6	21.9	23.4	28.9	28.2	23.0	19.2
	そう思わない	21.3	24.2	17.9	57.1	34.6	22.2	27.5	28.5	26.3	16.7	19.4	19.2	13.3
	無回答	0.6	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	5.0

	全体	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職 員などの 正規職 員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営 業・個 人事業 主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	そう思う	16.4	9.9	14.1	13.4	15.5	17.6	21.7
	どちらかと言えばそう思う	32.1	43.0	38.0	40.7	25.9	47.1	36.5
	どちらかと言えばそう思わない	26.7	26.2	21.1	30.2	29.3	17.6	22.5
	そう思わない	24.8	20.9	26.8	15.7	29.3	17.6	16.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3

表8. 問3-D 「差別をしたり人権を侵害したりした人は罰則で取り締まるべきだ」
 (あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
% % % % %	そう思う	20.6	26.1	16.7	0.0	30.8	22.2	24.2	21.9	22.9	16.0	18.1	22.1	22.5
	どちらかと言えばそう思う	49.4	43.6	53.3	71.4	38.5	44.4	51.6	51.1	46.3	55.9	53.2	42.7	42.5
	どちらかと言えばそう思わない	20.8	19.7	22.0	14.3	23.1	22.2	17.6	19.0	22.9	20.5	21.3	23.0	18.3
	そう思わない	8.0	9.9	6.5	14.3	7.7	11.1	6.6	8.0	7.4	7.6	6.5	9.9	10.0
	無回答	1.3	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9	2.3	6.7

	会社員・ 公務員・ 団体職 員などの 正規職 員	職業						
		派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営 業・個 人事業 主	家事に 従事	学生	その 他の職 業	仕事は してい ない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
% % % % %	そう思う	22.7	19.8	14.1	12.8	25.9	35.3	23.4
	どちらかと言えばそう思う	46.4	51.7	57.7	61.0	44.8	23.5	44.3
	どちらかと言えばそう思わない	21.1	21.7	18.3	20.3	20.7	29.4	20.1
	そう思わない	9.8	6.1	9.9	4.7	8.6	11.8	7.8
	無回答	0.0	0.8	0.0	1.2	0.0	0.0	4.5

4 差別された経験

表9. 問4 あなたはこれまでに、「差別」をされたと覚えたことがありますか。ある場合、何について差別をされましたか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
年齢	15.0	10.1	18.0	42.9	11.5	16.7	16.5	16.8	14.9	17.9	19.4	10.3	6.7	
学歴・出身校・在籍校	19.8	19.0	20.4	28.6	7.7	11.1	28.6	22.6	19.4	25.9	17.6	16.0	11.7	
職業の有無や種類・勤め先	12.0	12.7	11.4	28.6	0.0	11.1	9.9	16.8	13.7	12.9	12.5	11.7	5.0	
収入・財産	9.7	9.5	9.8	28.6	0.0	11.1	11.0	8.8	13.1	9.9	8.8	8.9	7.5	
家柄	7.7	5.8	9.3	28.6	0.0	0.0	9.9	6.6	8.0	9.1	5.6	10.8	5.0	
ひとり親家庭、両親なし	4.3	2.8	4.7	14.3	3.8	0.0	3.3	8.8	4.6	4.6	3.7	1.4	5.0	
婚姻歴・離婚歴の有無	5.9	3.7	7.7	14.3	0.0	5.6	5.5	11.7	8.0	9.9	3.2	2.8	0.0	
子どもの有無	7.6	4.1	10.2	28.6	0.0	0.0	6.6	13.9	13.1	10.6	6.0	2.3	0.8	
性別	14.6	3.7	22.2	71.4	15.4	11.1	27.5	19.7	19.4	16.7	14.4	6.1	3.3	
性的指向、性自認	1.2	0.9	1.3	14.3	0.0	5.6	2.2	2.9	1.1	1.1	0.5	0.9	0.0	
障害(精神、身体、知的)	3.7	4.3	3.3	14.3	3.8	11.1	7.7	6.6	5.1	2.7	1.9	3.3	0.0	
感染症・疾病・病歴	2.0	2.4	1.6	14.3	0.0	5.6	6.6	2.2	1.7	1.5	2.3	1.4	0.0	
容姿	18.9	15.8	21.0	42.9	19.2	44.4	35.2	29.9	22.9	19.0	18.1	8.9	5.0	
被差別部落出身・居住	0.6	0.7	0.3	14.3	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	0.4	1.4	0.0	0.8	
人種・民族・国籍	6.9	8.8	5.3	14.3	0.0	11.1	8.8	13.1	9.7	7.2	6.5	3.8	0.8	
思想・信条	2.7	4.1	1.6	14.3	7.7	0.0	3.3	2.9	4.0	2.3	1.4	2.8	2.5	
宗教	2.2	2.8	1.8	14.3	0.0	0.0	3.3	2.2	1.1	1.1	3.2	2.3	4.2	
その他	3.5	3.0	3.8	14.3	0.0	0.0	1.1	2.9	4.6	4.2	5.1	1.9	5.0	
差別をされたことはない	37.8	44.3	32.8	14.3	61.5	38.9	30.8	31.4	32.6	29.7	37.5	49.3	52.5	
無回答	3.5	2.4	4.1	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	1.7	2.3	3.2	4.7	10.8	

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
年齢	14.8	21.3	15.5	15.7	12.1	11.8	9.4
学歴・出身校・在籍校	25.1	20.9	12.7	16.9	12.1	17.6	15.6
職業の有無や種類・勤め先	11.0	16.7	12.7	11.0	5.2	11.8	10.7
収入・財産	10.3	13.3	7.0	6.4	3.4	23.5	7.8
家柄	9.1	9.1	4.2	8.7	0.0	0.0	6.6
ひとり親家庭、両親なし	5.6	4.2	2.8	1.7	1.7	5.9	4.5
婚姻歴・離婚歴の有無	8.9	6.8	7.0	4.1	1.7	5.9	1.6
子どもの有無	11.0	8.7	5.6	8.1	0.0	0.0	2.5
性別	17.1	19.4	8.5	18.6	17.2	0.0	4.9
性的指向、性自認	1.6	1.5	1.4	0.0	1.7	0.0	0.8
障害(精神、身体、知的)	4.0	3.4	4.2	2.9	5.2	11.8	2.9
感染症・疾病・病歴	2.1	3.4	1.4	0.6	3.4	0.0	1.2
容姿	23.9	21.7	12.7	16.9	24.1	0.0	11.5
被差別部落出身・居住	0.5	0.8	0.0	0.0	1.7	5.9	0.4
人種・民族・国籍	10.3	5.7	11.3	2.3	6.9	11.8	4.1
思想・信条	2.8	2.7	2.8	1.2	5.2	0.0	3.3
宗教	1.2	2.7	1.4	2.3	1.7	5.9	3.7
その他	3.7	4.9	1.4	2.3	0.0	11.8	2.9
差別をされたことはない	31.4	34.2	46.5	40.7	53.4	23.5	46.3
無回答	2.1	2.7	1.4	7.0	0.0	17.6	4.5

5 差別をされたり人権を侵害されたりした場合の対応

表 10. 問5 もし、あなたが「差別」をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%														
黙って我慢する	20.6	20.1	21.0	42.9	30.8	38.9	20.9	22.6	25.1	22.4	20.8	15.5	11.7	
相手に抗議する	15.0	19.2	11.5	28.6	7.7	16.7	17.6	15.3	16.0	14.4	18.1	16.0	7.5	
身近な人に相談する	32.9	24.6	40.4	14.3	57.7	16.7	46.2	32.1	34.9	33.1	31.5	26.8	31.7	
インターネット・SNSに投稿する	1.4	1.9	1.2	0.0	0.0	11.1	1.1	5.1	1.1	1.1	0.5	0.9	0.0	
弁護士に相談する	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	1.1	2.9	1.7	2.3	3.2	1.9	5.0	
市役所・区役所に相談する	2.7	2.4	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	3.4	1.4	6.1	4.2	
学校・職場に相談する	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	2.3	0.5	0.0	0.8	
自治会・町内会、民生委員等に相談する	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	1.7	
法務局または人権擁護委員に相談する	1.9	2.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.5	2.3	4.7	3.3	
民間相談機関に相談する	0.8	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.6	0.8	0.9	0.5	1.7	
警察に相談する	0.9	1.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	1.4	1.9	2.5	
その他	3.7	5.0	2.5	14.3	3.8	5.6	3.3	4.4	4.6	4.9	1.4	2.8	4.2	
わからない	10.6	10.4	10.1	0.0	0.0	5.6	5.5	10.2	12.0	9.1	13.9	10.8	13.3	
無回答	5.8	7.3	4.7	0.0	0.0	5.6	4.4	2.9	1.7	4.2	3.7	11.7	12.5	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%								
黙って我慢する	24.1	20.9	11.3	18.6	25.9	35.3	15.6	
相手に抗議する	18.0	14.1	23.9	9.9	10.3	35.3	11.9	
身近な人に相談する	30.2	35.4	29.6	43.6	50.0	0.0	27.5	
インターネット・SNSに投稿する	1.4	1.5	2.8	0.0	5.2	0.0	1.2	
弁護士に相談する	2.6	2.3	4.2	0.6	0.0	5.9	3.7	
市役所・区役所に相談する	1.4	1.9	1.4	3.5	0.0	5.9	5.7	
学校・職場に相談する	2.1	0.8	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	
自治会・町内会、民生委員等に相談する	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	
法務局または人権擁護委員に相談する	0.9	1.5	5.6	2.9	0.0	0.0	2.9	
民間相談機関に相談する	0.5	0.8	1.4	0.6	0.0	0.0	1.6	
警察に相談する	0.5	0.8	1.4	0.6	0.0	0.0	2.5	
その他	4.7	3.8	2.8	1.7	3.4	0.0	3.3	
わからない	9.1	11.4	9.9	12.8	1.7	11.8	13.5	
無回答	4.4	4.6	5.6	4.7	3.4	5.9	9.4	

6 風習についての認識と行為

表 11. 問6 たとえば、お祝い事は「仏滅」の日を、「友引」の日はお葬式を避ける、といった風習について、あなたの考えに近いものはどれですか。（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	当然のことと思うので、自分も従う	34.3	34.6	33.7	57.1	23.1	33.3	36.3	28.5	34.3	39.2	38.0	29.1	33.3
	おかしいと思うが、従う	31.5	30.2	32.7	28.6	19.2	22.2	14.3	28.5	21.1	32.7	34.3	41.3	40.0
	おかしいと思うので、従わない(気にしない)	21.5	23.8	20.6	0.0	15.4	33.3	25.3	24.8	29.7	19.0	20.4	21.1	12.5
	おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける	1.5	1.7	1.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	0.4	2.3	2.8	2.5
	わからない	10.4	8.6	11.4	0.0	42.3	11.1	23.1	16.8	13.1	8.0	5.1	4.7	8.3
	無回答	0.8	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	0.8	0.0	0.9	3.3

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	当然のことと思うので、自分も従う	34.9	33.8	31.0	40.1	29.3	29.4	31.1
	おかしいと思うが、従う	25.1	33.5	28.2	41.9	19.0	23.5	37.3
	おかしいと思うので、従わない(気にしない)	27.2	21.3	23.9	11.0	22.4	23.5	19.7
	おかしいと思うので、なくしていくよう働きかける	1.2	0.4	8.5	1.2	0.0	0.0	2.0
	わからない	11.2	10.3	8.5	5.8	29.3	17.6	7.8
	無回答	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	5.9	2.0

7 結婚相手の身元調査をすることについての認識

表 12. **問 7** 結婚相手を決めるときに相手の身元調査をすることについて、あなたの考えに近いものはどれですか。（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	許されない	9.6	11.4	8.3	14.3	0.0	0.0	5.5	7.3	8.0	11.4	10.6	13.6	8.3
	許されないが、しかたがない面もある	58.0	55.9	59.8	42.9	26.9	38.9	50.5	50.4	57.7	61.2	64.8	64.8	50.8
	あって当然である	15.7	18.1	14.1	14.3	46.2	50.0	22.0	21.2	16.6	10.3	12.5	8.9	20.0
	わからない	16.4	14.5	17.6	28.6	26.9	11.1	22.0	20.4	17.7	17.1	12.0	12.7	18.3
	無回答	0.3	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	許されない	8.7	11.0	12.7	6.4	0.0	11.8	13.1
	許されないが、しかたがない面もある	55.5	63.5	67.6	61.0	36.2	58.8	56.1
	あって当然である	17.6	10.6	14.1	16.9	39.7	5.9	12.3
	わからない	18.0	14.8	5.6	15.7	24.1	23.5	17.2
	無回答	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2

8 法律についての認知度

問8 次の法律を知っていますか。

表 13. 問8-1 障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	11.6	10.4	12.1	14.3	23.1	16.7	13.2	10.9	8.0	16.3	12.0	8.0	7.5
	名称は知っているが内容は知らない	26.9	27.7	26.5	42.9	15.4	16.7	29.7	24.1	25.7	24.3	25.0	30.0	37.5
	名称も内容も知らない	60.9	61.6	60.5	42.9	61.5	66.7	57.1	65.0	66.3	59.3	62.5	61.0	51.7
	無回答	0.6	0.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	3.3

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	13.8	11.0	15.5	9.3	20.7	11.8	6.6
	名称は知っているが内容は知らない	28.8	23.6	28.2	20.9	20.7	29.4	31.6
	名称も内容も知らない	57.4	64.6	56.3	69.8	58.6	58.8	59.8
	無回答	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

表 14. 問8-2 ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	19.0	25.0	14.9	14.3	19.2	38.9	9.9	10.9	16.0	21.7	22.2	21.6	20.8
	名称は知っているが内容は知らない	40.2	38.2	41.4	57.1	34.6	16.7	30.8	35.8	41.1	41.4	43.1	49.3	31.7
	名称も内容も知らない	40.2	36.7	42.6	28.6	42.3	44.4	59.3	53.3	42.3	36.9	33.8	28.6	45.0
	無回答	0.6	0.2	1.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9	0.5	2.5

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	17.8	16.3	25.4	15.7	24.1	23.5	23.4
	名称は知っているが内容は知らない	40.7	42.6	42.3	41.9	27.6	35.3	37.7
	名称も内容も知らない	41.5	39.5	32.4	42.4	46.6	41.2	37.7
	無回答	0.0	1.5	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2

表 15. 問 8-3 部落差別解消推進法（部落差別の解消の推進に関する法律）
（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	18.8	20.9	17.3	14.3	23.1	27.8	8.8	7.3	15.4	17.9	26.4	23.0	22.5
	名称は知っているが内容は知らない	36.9	36.9	37.7	14.3	19.2	33.3	25.3	27.7	37.1	37.3	41.2	46.5	35.0
	名称も内容も知らない	43.5	41.7	43.8	71.4	57.7	38.9	65.9	65.0	46.3	44.9	31.5	29.1	39.2
	無回答	0.9	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.9	1.4	3.3

	職業	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職員 などの正 規職員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営 業・個 人事業 主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	17.3	17.5	21.1	18.0	20.7	23.5	21.7
	名称は知っているが内容は知らない	37.5	32.7	40.8	37.8	29.3	35.3	40.6
	名称も内容も知らない	45.0	48.7	38.0	44.2	50.0	35.3	35.2
	無回答	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0	5.9	2.5

表 16. 問 8-4 LGBT 理解増進法（性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	23.5	24.8	23.5	42.9	38.5	27.8	28.6	26.3	21.7	20.9	27.3	24.4	13.3
	名称は知っているが内容は知らない	39.5	41.3	37.6	28.6	23.1	38.9	40.7	38.0	41.1	47.1	38.4	36.6	31.7
	名称も内容も知らない	36.5	33.7	38.2	28.6	38.5	33.3	30.8	35.8	37.1	31.9	33.8	38.5	51.7
	無回答	0.5	0.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	3.3

	職業	職業						
		会社員・ 公務員・ 団体職員 などの正 規職員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営 業・個 人事業 主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	28.1	21.3	29.6	19.8	36.2	0.0	18.0
	名称は知っているが内容は知らない	43.8	41.4	42.3	32.0	27.6	58.8	35.2
	名称も内容も知らない	28.1	36.9	28.2	48.3	36.2	41.2	44.7
	無回答	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

表 17. 問 8-5 認知症基本法（共生社会の実現を推進するための認知症基本法）
 （あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	7.9	7.1	8.9	0.0	11.5	11.1	5.5	5.1	3.4	8.4	10.2	10.3	8.3
	名称は知っているが内容は知らない	25.4	26.6	23.8	28.6	26.9	11.1	23.1	20.4	18.9	22.4	27.3	31.9	34.2
	名称も内容も知らない	65.9	65.9	66.1	71.4	61.5	77.8	71.4	74.5	76.6	68.8	62.0	56.8	54.2
	無回答	0.8	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.4	0.5	0.9	3.3

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	6.3	11.4	18.3	5.2	8.6	11.8	4.9
	名称は知っているが内容は知らない	22.0	21.7	29.6	22.1	25.9	29.4	35.2
	名称も内容も知らない	71.2	65.8	52.1	72.7	65.5	58.8	57.8
	無回答	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

表 18. 問 8-6 女性支援新法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）
 （あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	7.9	6.9	9.0	14.3	15.4	27.8	8.8	9.5	4.6	8.7	8.8	5.2	7.5
	名称は知っているが内容は知らない	26.2	25.1	26.0	42.9	30.8	11.1	23.1	25.5	21.7	23.2	29.2	30.0	30.0
	名称も内容も知らない	65.1	67.6	63.8	42.9	53.8	61.1	68.1	65.0	72.6	67.7	61.6	63.8	59.2
	無回答	0.8	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.4	0.5	0.9	3.3

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	8.7	8.7	12.7	7.0	15.5	5.9	3.3
	名称は知っているが内容は知らない	25.1	25.1	35.2	23.8	20.7	17.6	28.7
	名称も内容も知らない	66.0	65.4	52.1	68.6	63.8	76.5	65.6
	無回答	0.2	0.8	0.0	0.6	0.0	0.0	2.5

表 19. 問 8-7 こども基本法 (あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	名称も内容も知っている	17.4	15.3	19.5	0.0	53.8	50.0	25.3	15.3	15.4	14.8	14.8	16.4	16.7
	名称は知っているが内容は知らない	46.9	48.0	45.9	71.4	42.3	38.9	41.8	49.6	45.7	46.0	49.1	50.7	42.5
	名称も内容も知らない	34.9	36.3	33.6	28.6	3.8	11.1	33.0	35.0	38.9	38.8	35.6	31.5	37.5
	無回答	0.8	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	1.4	3.3

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	名称も内容も知っている	17.3	17.9	18.3	14.0	43.1	17.6	13.1
	名称は知っているが内容は知らない	47.5	43.0	56.3	43.0	39.7	35.3	51.6
	名称も内容も知らない	34.9	38.8	25.4	43.0	17.2	47.1	32.4
	無回答	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9

9 同和地区や同和問題についての認知

表 20. 問 9 あなたは、日本の社会に「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和問題」「部落問題」「部落差別」などと言われる問題があることを知っていましたか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	知っていた	73.1	74.1	73.2	71.4	65.4	50.0	50.5	53.3	74.3	77.9	83.8	83.1	69.2
	知らなかった	23.7	23.8	23.4	28.6	34.6	44.4	49.5	46.7	25.1	21.3	13.9	10.3	18.3
	無回答	3.2	2.0	3.4	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.6	0.8	2.3	6.6	12.5

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	知っていた	70.7	71.5	77.5	77.9	58.6	76.5	77.9
	知らなかった	28.8	26.2	19.7	16.3	39.7	23.5	15.6
	無回答	0.5	2.3	2.8	5.8	1.7	0.0	6.6

10 同和地区や同和問題についての認知時期

表 21. 問 10 あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったのはいつ頃ですか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	928	398	495	5	17	9	46	73	130	205	181	177	83	
%	小学校入学以前	0.8	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	1.7	2.4
	小学生のとき	28.0	24.6	30.5	80.0	5.9	22.2	32.6	24.7	39.2	38.5	23.8	18.1	20.5
	中学生のとき	19.4	21.4	17.6	0.0	70.6	33.3	26.1	24.7	13.1	16.6	18.2	18.1	19.3
	15歳～18歳未満	11.0	12.3	10.1	0.0	17.6	44.4	15.2	9.6	7.7	8.3	11.6	14.7	7.2
	18歳～20歳未満	8.7	9.0	8.3	20.0	0.0	0.0	8.7	6.8	2.3	8.8	12.2	11.9	9.6
	20歳以上	20.4	20.6	21.0	0.0	0.0	0.0	8.7	16.4	21.5	20.0	23.2	23.2	25.3
	はっきりとおぼえていない	11.3	11.1	11.3	0.0	5.9	0.0	8.7	16.4	14.6	7.3	11.0	11.9	15.7
	無回答	0.4	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.5	0.0	0.6	0.0

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	302	188	55	134	34	13	190	
%	小学校入学以前	0.0	0.0	1.8	1.5	0.0	0.0	1.1
	小学生のとき	32.1	30.9	27.3	33.6	23.5	7.7	17.9
	中学生のとき	18.5	21.8	16.4	12.7	47.1	23.1	17.9
	15歳～18歳未満	11.6	8.5	5.5	11.2	20.6	15.4	12.6
	18歳～20歳未満	6.3	5.9	14.5	8.2	5.9	7.7	15.3
	20歳以上	20.5	20.2	20.0	20.9	0.0	30.8	23.2
	はっきりとおぼえていない	10.9	11.7	14.5	11.9	2.9	7.7	11.6
	無回答	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.5

11 同和地区や同和問題について知ったきっかけ

表 22. **問 11** あなたが、同和地区や同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。
(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	928	398	495	5	17	9	46	73	130	205	181	177	83	
%	家族(父母、きょうだいなど)から聞いた	17.8	15.3	20.6	20.0	5.9	0.0	15.2	5.5	10.0	17.6	23.8	22.6	24.1
	親戚の人から聞いた	1.7	1.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.3	1.0	1.7	2.8	1.2
	近所の人から聞いた	1.2	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.8	0.0	0.0	3.4	3.6
	友だちから聞いた	5.1	6.8	3.8	0.0	0.0	11.1	2.2	0.0	2.3	3.9	5.0	10.2	8.4
	学校の授業で教わった	31.4	28.4	32.9	40.0	70.6	77.8	69.6	50.7	36.9	41.5	19.9	14.1	9.6
	職場の人から聞いた	6.5	9.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	6.2	6.8	7.2	9.0	6.0
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	18.0	19.6	17.2	0.0	0.0	0.0	2.2	9.6	16.2	16.6	22.7	21.5	27.7
	インターネット・SNSで知った	3.8	4.3	3.4	0.0	11.8	11.1	10.9	16.4	6.9	2.0	0.6	0.6	0.0
	同和問題の集会や研修会で知った	1.6	1.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.3	0.5	2.2	1.7	3.6
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	1.2	0.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.6	2.3	3.6
	その他	3.7	3.5	3.8	20.0	5.9	0.0	0.0	0.0	4.6	3.9	7.2	2.3	2.4
	はっきりとおぼえていない	5.5	4.5	5.3	20.0	5.9	0.0	0.0	5.5	6.9	3.4	6.6	7.3	6.0
	無回答	2.7	3.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	3.8	2.0	2.8	2.3	3.6

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	302	188	55	134	34	13	190	
%	家族(父母、きょうだいなど)から聞いた	12.9	15.4	20.0	30.6	5.9	23.1	20.0
	親戚の人から聞いた	1.7	1.1	0.0	2.2	0.0	7.7	2.1
	近所の人から聞いた	0.3	0.5	1.8	3.0	0.0	0.0	2.1
	友だちから聞いた	3.3	6.9	1.8	3.0	2.9	15.4	7.9
	学校の授業で教わった	41.7	36.7	18.2	20.9	76.5	7.7	15.3
	職場の人から聞いた	7.9	3.7	10.9	4.5	0.0	7.7	8.4
	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	12.6	18.6	23.6	20.1	0.0	15.4	25.8
	インターネット・SNSで知った	6.0	3.2	5.5	0.7	8.8	15.4	0.5
	同和問題の集会や研修会で知った	1.3	1.6	0.0	2.2	0.0	0.0	2.6
	県や市町村の広報紙・誌などで知った	0.7	0.5	0.0	3.0	0.0	0.0	2.1
	その他	4.0	5.3	7.3	1.5	2.9	7.7	2.1
	はっきりとおぼえていない	4.6	4.8	9.1	6.0	2.9	0.0	7.4
	無回答	3.0	1.6	1.8	2.2	0.0	0.0	3.7

12 親しい人が同和地区出身であることがわかった場合の対応

表 23. 問 12 日頃親しく付き合っている隣近所の人や友人が、何かのきっかけで、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	これまでと同じように親しく付き合う	83.8	85.3	83.0	100.0	92.3	88.9	90.1	83.2	88.0	86.3	84.3	78.9	73.3
	表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく	9.8	8.8	10.1	0.0	0.0	5.6	6.6	10.9	6.9	7.6	11.1	14.1	11.7
	付き合いをやめてしまう	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	1.5	0.0	0.9	0.0
	その他	3.9	3.4	4.3	0.0	3.8	5.6	1.1	5.1	4.0	4.2	3.7	2.3	6.7
	無回答	2.0	2.0	2.1	0.0	3.8	0.0	1.1	0.0	1.1	0.4	0.9	3.8	8.3

	職業							
	会社員・ 公務員・ 団体職員 などの正 規職員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アル バイト	自営業・ 個人事 業主	家事に 従事	学生	その他 の職業	仕事は してい ない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	これまでと同じように親しく付き合う	89.2	82.1	85.9	80.2	93.1	76.5	76.6
	表面的には付き合うが、できるだけ付き合いは避けていく	6.6	11.8	5.6	13.4	1.7	17.6	12.7
	付き合いをやめてしまう	0.9	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.4
	その他	2.8	4.6	8.5	2.9	3.4	0.0	4.5
	無回答	0.5	1.1	0.0	2.3	1.7	5.9	5.7

13 同和地区出身の人との結婚についての対応

問 13 同和地区出身の人との結婚について、おたずねします。

表 24. 問 13-1 あなたが同和地区出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚などから強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する	29.9	32.4	28.4	28.6	46.2	44.4	41.8	35.0	32.0	27.0	25.0	29.1	24.2
	自分の意志を貫いて結婚する	29.5	38.0	23.7	42.9	30.8	27.8	31.9	30.7	32.6	33.8	24.5	27.2	27.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	11.1	7.6	13.3	0.0	7.7	11.1	8.8	6.6	8.0	7.2	17.6	13.1	15.0
	絶対に結婚しない	2.0	0.9	2.8	0.0	0.0	5.6	2.2	4.4	2.3	1.1	1.4	1.4	1.7
	わからない	26.5	20.3	30.8	28.6	15.4	11.1	15.4	22.6	24.0	30.8	31.5	26.8	27.5
	無回答	1.0	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.1	0.0	0.0	2.3	4.2

	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	職業						仕事はしていない
		派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業		
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	親などを説得し、自分の意志を貫いて結婚する	33.7	25.1	29.6	26.7	50.0	35.3	26.2
	自分の意志を貫いて結婚する	34.9	26.6	38.0	22.1	29.3	35.3	27.5
	家族や親戚などの反対があれば、結婚しない	8.0	12.2	5.6	18.0	5.2	5.9	13.5
	絶対に結婚しない	2.1	1.1	2.8	1.7	1.7	11.8	1.6
	わからない	21.1	34.2	22.5	30.8	13.8	11.8	27.9
	無回答	0.2	0.8	1.4	0.6	0.0	0.0	3.3

表 25. 問 13-2 あなたの子どもが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合あなたはどうしますか。（子どもがいると仮定してお答えください。）
 （あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	反対せずに、子どもの意志を尊重する	57.6	65.9	52.1	71.4	61.5	66.7	70.3	62.8	64.6	54.8	50.0	59.6	50.0
	親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない	19.1	14.7	22.6	0.0	23.1	16.7	12.1	14.6	17.1	19.0	19.4	19.7	28.3
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	2.1	2.0	2.1	0.0	0.0	5.6	4.4	0.7	1.1	1.9	2.3	2.3	1.7
	家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない	1.5	0.9	1.8	0.0	0.0	5.6	1.1	1.5	2.3	1.9	1.9	0.5	0.0
	わからない	18.6	15.5	20.4	28.6	15.4	5.6	12.1	20.4	13.7	22.1	25.5	16.4	15.8
	無回答	1.0	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.4	0.9	1.4	4.2

	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	職業				
				家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	反対せずに、子どもの意志を尊重する	63.9	55.9	63.4	45.9	65.5	35.3	56.1
	親としては反対するが、子どもの意志が固ければ仕方がない	14.8	19.4	19.7	26.7	20.7	47.1	18.0
	家族や親戚などの反対があれば、結婚を認めない	2.1	1.5	1.4	2.9	1.7	0.0	2.0
	家族や親戚などの意見にかかわらず、絶対に結婚を認めない	1.9	1.1	0.0	0.6	1.7	0.0	2.0
	わからない	17.1	20.9	15.5	23.3	10.3	11.8	18.9
	無回答	0.2	1.1	0.0	0.6	0.0	5.9	2.9

14 同和問題で人権上問題があると思うこと

表 26. 問 14 同和問題で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	結婚を周囲から反対されること	49.7	49.3	50.9	71.4	46.2	33.3	59.3	54.0	52.6	51.7	44.0	51.2	41.7
	子どもをもつことを周囲から反対されること	38.6	38.5	39.2	71.4	38.5	33.3	53.8	44.5	43.4	39.9	39.4	33.3	20.8
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	52.0	50.3	54.4	71.4	61.5	55.6	65.9	55.5	58.9	50.6	51.9	47.9	39.2
	地域社会で不利な扱いを受けること	64.3	62.9	66.0	71.4	69.2	61.1	76.9	58.4	72.6	65.4	64.4	65.3	45.0
	身元調査が行われること	36.1	36.7	36.1	57.1	30.8	22.2	37.4	29.2	40.6	36.9	36.6	40.8	28.3
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	61.4	60.5	62.6	71.4	53.8	44.4	69.2	60.6	66.3	59.7	65.7	63.8	45.0
	差別的な落書きがあること	38.4	38.4	38.6	71.4	46.2	38.9	49.5	42.3	50.9	36.5	36.1	32.9	25.0
	インターネット・SNSを利用した差別的な情報が掲載されること	42.9	41.5	44.2	57.1	61.5	38.9	58.2	43.1	50.3	41.1	42.1	40.4	29.2
	その他	2.3	2.4	2.1	0.0	0.0	0.0	1.1	3.6	2.9	3.0	0.9	2.3	1.7
	特に問題はない	3.1	5.2	1.8	0.0	0.0	16.7	0.0	5.1	4.0	1.9	2.3	3.3	5.0
	わからない	14.5	14.0	14.3	14.3	15.4	16.7	8.8	13.9	12.6	16.0	17.1	7.5	26.7
	無回答	1.8	1.3	1.8	14.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.6	1.1	1.4	3.3	5.8

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事していない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	結婚を周囲から反対されること	55.0	48.3	46.5	51.7	48.3	23.5	45.9
	子どもをもつことを周囲から反対されること	44.5	38.8	33.8	32.6	44.8	23.5	34.8
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	56.4	53.2	49.3	46.5	65.5	35.3	48.0
	地域社会で不利な扱いを受けること	67.7	68.8	54.9	59.3	69.0	64.7	59.8
	身元調査が行われること	37.0	36.1	38.0	36.6	31.0	29.4	35.7
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	64.2	62.4	56.3	61.0	60.3	52.9	58.6
	差別的な落書きがあること	45.0	36.5	38.0	32.6	48.3	17.6	32.8
	インターネット・SNSを利用した差別的な情報が掲載されること	45.4	42.2	46.5	39.0	58.6	23.5	40.2
	その他	3.0	1.5	2.8	1.2	0.0	11.8	1.6
	特に問題はない	4.2	1.5	2.8	1.2	5.2	0.0	4.5
	わからない	11.5	14.1	21.1	18.0	13.8	11.8	16.4
	無回答	0.9	1.1	2.8	2.3	0.0	0.0	3.7

15 同和問題を解決するために必要なこと

表 27. 問 15 同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
同和問題にかかわる人権相談などを充実する	27.1	28.5	25.6	28.6	23.1	16.7	22.0	24.8	22.3	24.0	29.6	35.7	30.0	
学校や地域における人権教育を推進する	56.4	54.0	59.0	57.1	61.5	44.4	58.2	56.9	54.9	54.8	62.0	59.2	45.0	
広報紙・誌の発行や人権講演会(オンライン含む)など、人権啓発を推進する	19.7	19.6	20.1	0.0	19.2	11.1	17.6	15.3	13.7	17.9	25.0	24.9	20.0	
市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	48.3	46.4	50.6	57.1	61.5	44.4	47.3	43.8	42.9	50.6	49.5	55.4	43.3	
同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	8.7	10.1	7.7	0.0	11.5	11.1	11.0	8.0	8.0	8.7	6.5	9.4	10.0	
同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	20.5	21.2	20.3	14.3	19.2	22.2	25.3	18.2	19.4	20.5	18.5	23.0	20.0	
同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまって生活しないで、分散して住むようにする	22.1	19.9	24.3	0.0	7.7	22.2	23.1	22.6	21.1	21.7	19.4	25.8	25.0	
同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる	13.1	16.0	11.1	0.0	11.5	27.8	11.0	15.3	16.0	9.9	11.6	11.7	16.7	
その他	2.3	3.4	1.6	0.0	3.8	0.0	1.1	5.8	4.0	1.5	0.5	1.9	1.7	
特にない	1.6	2.6	0.9	0.0	3.8	0.0	2.2	2.2	2.9	1.5	0.5	1.4	0.8	
わからない	9.4	8.9	9.6	14.3	7.7	16.7	13.2	10.9	10.3	8.7	9.3	6.1	10.8	
無回答	3.4	2.2	3.6	0.0	0.0	16.7	3.3	1.5	1.7	1.1	3.7	4.2	8.3	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
同和問題にかかわる人権相談などを充実する	23.2	25.5	25.4	27.3	24.1	5.9	37.7	
学校や地域における人権教育を推進する	54.6	58.9	52.1	58.7	60.3	35.3	57.4	
広報紙・誌の発行や人権講演会(オンライン含む)など、人権啓発を推進する	15.0	19.0	16.9	23.3	20.7	11.8	26.6	
市民一人ひとりが、同和問題について、正しい理解を深めるように努力する	46.4	49.4	52.1	49.4	58.6	35.3	48.4	
同和地区の人が、積極的に行政や同和地区外の人に働きかけていく	8.0	9.5	9.9	5.2	12.1	11.8	9.8	
同和地区内外の人たちが、交流を活発にし、まちづくりをすすめる	19.0	20.9	21.1	20.9	24.1	11.8	21.3	
同和地区の人が一定の地区(同和地区)にかたまって生活しないで、分散して住むようにする	21.5	22.4	16.9	29.7	20.7	17.6	19.7	
同和問題については、そっとしておけば、差別は自然になくなる	12.9	11.4	9.9	10.5	20.7	29.4	13.9	
その他	3.7	1.1	4.2	0.6	1.7	11.8	0.8	
特にない	2.3	1.9	1.4	0.0	1.7	0.0	1.2	
わからない	8.7	9.1	7.0	13.4	8.6	11.8	9.4	
無回答	1.9	1.9	4.2	2.3	5.2	0.0	7.0	

16 女性について人権上問題があると思うこと

表 28. 問 16 女性に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること	56.9	51.8	60.8	71.4	80.8	44.4	57.1	52.6	60.6	59.7	58.8	56.8	44.2
	結婚すべきと言われること	40.6	34.5	45.0	57.1	61.5	33.3	50.5	45.3	51.4	45.2	39.8	32.9	14.2
	出産して子どもをもつべきと言われること	48.8	42.5	54.0	57.1	61.5	55.6	61.5	52.6	61.7	55.5	46.3	40.4	19.2
	本人の意思が尊重されないこと	33.8	33.3	34.6	28.6	53.8	44.4	39.6	38.0	36.0	31.6	29.6	32.4	31.7
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	59.2	53.8	63.6	57.1	76.9	66.7	63.7	58.4	58.9	54.4	63.9	62.4	50.8
	企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと	38.8	33.9	42.8	71.4	57.7	50.0	37.4	31.4	41.1	35.0	38.9	46.0	34.2
	職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること	56.2	50.3	60.7	71.4	69.2	61.1	70.3	62.0	58.9	57.0	58.3	53.1	32.5
	配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力	40.7	38.4	43.3	28.6	53.8	55.6	35.2	42.3	45.7	41.4	42.6	38.0	31.7
	性犯罪・売春・買春(援助交際も含む)があること	48.3	41.3	54.3	42.9	61.5	66.7	56.0	54.7	53.1	50.2	45.8	41.8	33.3
	テレビや雑誌、インターネット・SNSなどで女性の性を強調する情報が氾濫していること	34.6	27.9	40.1	42.9	50.0	44.4	33.0	29.9	31.4	31.9	38.0	38.5	33.3
	女性に対する支援・相談体制が十分でないこと	24.6	22.3	26.5	28.6	34.6	16.7	26.4	21.2	22.3	22.8	25.9	27.7	25.0
	性と生殖に関する健康と権利についての十分な理解、性教育がされていないこと	37.0	30.4	42.9	28.6	42.3	55.6	47.3	39.4	37.1	32.7	36.1	39.0	30.0
	その他	1.9	2.0	1.9	0.0	0.0	5.6	1.1	6.6	1.1	2.3	0.5	0.9	0.8
	特に問題はない	3.1	6.1	1.0	0.0	0.0	11.1	1.1	5.8	4.0	3.8	1.4	2.3	3.3
わからない	3.1	3.5	2.5	14.3	0.0	5.6	2.2	2.2	3.4	1.5	2.8	1.9	11.7	
無回答	1.2	0.7	1.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.4	0.9	0.5	5.8	

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること	55.0	62.0	56.3	58.7	69.0	52.9	51.6
	結婚すべきと言われること	46.4	44.9	33.8	36.0	53.4	29.4	29.1
	出産して子どもをもつべきと言われること	55.7	53.2	45.1	48.3	62.1	35.3	32.0
	本人の意思が尊重されないこと	35.1	31.9	25.4	34.3	51.7	23.5	32.4
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	55.7	61.6	56.3	61.0	74.1	76.5	58.6
	企業の取締役や国会議員など指導的地位の女性が少ないこと	33.3	41.4	36.6	40.1	55.2	41.2	40.6
	職場や学校などにおけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントがあること	56.9	57.8	56.3	57.6	67.2	52.9	50.4
	配偶者や交際相手など親しい関係にある人からの暴力	41.0	43.7	40.8	38.4	53.4	23.5	37.3
	性犯罪・売春・買春(援助交際も含む)があること	50.4	50.6	39.4	50.0	67.2	29.4	39.8
	テレビや雑誌、インターネット・SNSなどで女性の性を強調する情報が氾濫していること	29.3	38.0	26.8	39.5	50.0	23.5	35.7
	女性に対する支援・相談体制が十分でないこと	20.1	25.1	26.8	25.6	27.6	35.3	28.3
	性と生殖に関する健康と権利についての十分な理解、性教育がされていないこと	33.0	38.4	40.8	39.5	46.6	17.6	38.1
	その他	2.6	2.7	1.4	0.6	1.7	0.0	0.4
	特に問題はない	4.4	1.9	2.8	1.2	3.4	5.9	3.7
わからない	2.3	1.9	1.4	4.1	1.7	0.0	6.6	
無回答	0.9	0.4	1.4	0.0	0.0	0.0	2.5	

17 子どもについて人権上問題があると思うこと

表 29. 問 17 子どもに関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	72.9	72.3	74.9	71.4	73.1	61.1	70.3	69.3	72.6	72.2	74.5	82.6	65.0
	教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること	51.0	46.0	55.5	71.4	53.8	61.1	57.1	52.6	58.3	51.0	48.6	48.4	40.8
	親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	80.6	77.1	84.0	71.4	84.6	77.8	85.7	81.8	88.0	84.0	80.1	78.9	60.8
	本人の意思が尊重されないこと	44.6	40.2	49.7	28.6	80.8	66.7	54.9	54.0	46.3	46.4	37.5	39.4	33.3
	性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること	67.6	60.0	74.4	57.1	76.9	61.1	74.7	71.5	74.3	71.5	64.8	62.4	52.5
	不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	52.2	47.3	56.8	28.6	57.7	61.1	61.5	64.2	67.4	55.5	44.9	40.4	32.5
	生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	60.1	54.9	65.5	28.6	65.4	66.7	75.8	54.0	64.0	61.6	63.9	56.3	46.7
	男の子らしさ、女の子らしさを求められること	35.2	27.6	41.4	42.9	65.4	50.0	47.3	37.2	47.4	35.7	33.3	28.6	12.5
	家事や介護等を日常的に行うことで、子どもが子どもとして過ごす時間や権利が奪われること(ヤングケアラー)	57.2	46.2	66.3	57.1	61.5	61.1	58.2	59.1	66.3	58.6	54.6	55.4	44.2
	その他	0.9	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.6	0.8	0.5	1.4	1.7
	特に問題はない	1.3	2.2	0.6	0.0	0.0	5.6	0.0	2.2	0.6	1.1	1.4	1.4	1.7
	わからない	2.5	3.0	1.9	0.0	0.0	5.6	0.0	3.6	1.7	1.9	1.4	1.4	10.0
	無回答	0.9	0.7	0.4	28.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	0.4	0.9	0.0	5.0

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	70.5	73.4	76.1	77.9	69.0	70.6	73.8
	教師からたたかれたり、殴られたりするなどの体罰等を受けること	49.9	56.3	40.8	56.4	63.8	11.8	45.5
	親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	83.6	83.7	78.9	83.1	87.9	58.8	70.5
	本人の意思が尊重されないこと	45.7	46.0	32.4	44.2	72.4	29.4	41.0
	性犯罪や、児童買春、児童ポルノなどがあること	67.4	71.9	74.6	72.1	79.3	47.1	56.1
	不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	56.4	57.8	50.7	51.2	63.8	11.8	38.9
	生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	61.6	61.6	57.7	63.4	65.5	64.7	53.7
	男の子らしさ、女の子らしさを求められること	36.8	37.6	39.4	36.0	60.3	17.6	23.4
	家事や介護等を日常的に行うことで、子どもが子どもとして過ごす時間や権利が奪われること(ヤングケアラー)	56.9	60.5	52.1	65.7	67.2	23.5	49.2
	その他	0.7	0.4	1.4	1.2	0.0	5.9	1.6
	特に問題はない	1.4	0.8	1.4	0.0	1.7	0.0	2.5
	わからない	1.4	2.3	0.0	3.5	1.7	5.9	4.9
	無回答	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	2.9

18 高齢者について人権上問題があると思うこと

表 30. 問 18 高齢者に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること	53.5	49.2	57.7	85.7	69.2	50.0	50.5	50.4	58.3	60.5	54.2	46.0	50.0
	本人の意思が尊重されないこと	36.5	32.8	39.9	42.9	46.2	33.3	40.7	32.8	33.1	40.3	38.0	35.2	31.7
	広報物等の文字の大きさ、わかりやすい文章表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	30.7	26.6	34.8	14.3	30.8	11.1	28.6	20.4	35.4	33.5	32.9	32.9	27.5
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	30.9	28.9	32.2	57.1	19.2	27.8	30.8	23.4	26.3	38.0	36.6	34.7	17.5
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	29.4	28.1	31.1	57.1	38.5	50.0	42.9	21.2	28.6	29.3	28.2	28.6	29.2
	悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	54.1	47.9	60.1	57.1	34.6	55.6	56.0	51.1	60.0	58.6	59.7	50.2	39.2
	アパートや住宅への入居が困難なこと	56.9	51.0	60.7	71.4	30.8	50.0	51.6	48.9	54.3	61.2	64.4	61.0	49.2
	家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	43.1	37.4	48.2	57.1	73.1	50.0	52.7	40.9	47.4	44.5	40.7	37.6	35.8
	病院や福祉施設内において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	50.7	43.9	57.0	71.4	65.4	50.0	54.9	47.4	61.1	51.0	53.2	44.6	40.0
	道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	34.4	29.2	38.5	28.6	19.2	16.7	35.2	22.6	37.1	34.6	35.6	39.4	37.5
	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	41.1	35.2	46.6	42.9	34.6	22.2	33.0	40.1	46.3	44.5	45.8	41.8	28.3
	その他	1.5	1.9	1.3	0.0	0.0	5.6	0.0	1.5	1.1	1.1	1.4	0.9	4.2
	特に問題はない	3.7	6.5	1.3	0.0	3.8	22.2	3.3	7.3	7.4	0.4	1.9	3.3	3.3
	わからない	3.6	4.7	3.0	0.0	3.8	0.0	2.2	6.6	3.4	3.4	2.8	1.9	7.5
無回答	1.4	1.3	0.9	14.3	0.0	0.0	2.2	0.7	1.7	0.8	1.4	0.5	5.0	

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	家庭や地域社会で、邪魔者扱いされたり、孤立した状態に置かれたりすること	52.2	55.9	57.7	54.1	62.1	35.3	51.6
	本人の意思が尊重されないこと	34.7	35.7	38.0	35.5	43.1	17.6	39.8
	広報物等の文字の大きさ、わかりやすい文章表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	28.8	32.7	36.6	36.6	24.1	11.8	28.7
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	28.8	37.6	23.9	34.9	29.3	35.3	26.2
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	25.8	27.4	26.8	30.2	53.4	17.6	33.2
	悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	53.9	55.9	64.8	61.0	50.0	47.1	45.5
	アパートや住宅への入居が困難なこと	53.4	62.0	53.5	64.0	43.1	41.2	57.0
	家庭内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	41.2	46.0	36.6	48.8	69.0	11.8	36.9
	病院や福祉施設内において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	50.1	52.9	52.1	57.0	62.1	17.6	44.3
	道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	30.0	33.5	31.0	44.8	22.4	29.4	38.9
	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	40.5	44.9	39.4	44.8	29.3	52.9	37.7
	その他	1.6	0.8	0.0	0.6	1.7	5.9	2.5
	特に問題はない	5.9	2.7	2.8	0.6	6.9	11.8	2.5
	わからない	3.0	3.8	2.8	3.5	1.7	0.0	5.7
無回答	1.6	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	2.9	

19 障害のある人について人権上問題があると思うこと

問 19 3つの障害（身体障害、知的障害、精神障害）のある人に関することについて、それぞれおたずねします。

表 31. 問 19-1 身体障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	54.5	51.0	58.0	71.4	57.7	61.1	56.0	48.2	60.6	59.3	54.2	53.1	44.2	
本人の意思が尊重されないこと	42.6	41.5	44.5	42.9	46.2	50.0	49.5	46.7	41.1	44.9	44.0	37.1	36.7	
結婚を周囲から反対されること	37.4	37.6	38.3	71.4	53.8	33.3	48.4	38.0	40.6	38.8	32.4	35.7	32.5	
子どもをもつことを周囲から反対されること	34.4	34.6	35.2	57.1	46.2	22.2	41.8	33.6	36.0	38.8	34.3	30.5	26.7	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	41.5	41.0	42.5	57.1	50.0	61.1	44.0	35.8	40.6	45.6	41.7	40.8	36.7	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	54.0	51.6	56.5	85.7	65.4	66.7	59.3	56.2	55.4	54.0	55.6	51.2	45.8	
アパートや住宅への入居が困難なこと	40.0	38.0	41.3	71.4	26.9	55.6	36.3	32.1	38.9	44.5	40.3	46.0	33.3	
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかつたりすること	30.3	30.0	31.4	42.9	30.8	44.4	30.8	29.2	26.9	35.4	31.5	27.7	28.3	
家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	45.1	41.2	49.6	57.1	61.5	50.0	51.6	40.1	52.6	44.9	46.8	39.9	38.3	
保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	44.5	40.8	47.9	71.4	50.0	33.3	46.2	45.3	45.1	47.9	44.4	45.1	35.8	
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	40.1	36.5	43.9	42.9	46.2	27.8	30.8	33.6	41.7	44.9	41.2	45.5	32.5	
店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	36.8	34.1	39.8	42.9	50.0	61.1	38.5	33.6	36.0	40.7	39.8	31.9	29.2	
道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	40.6	36.5	43.8	42.9	30.8	27.8	36.3	30.7	36.6	43.7	45.4	46.5	40.0	
手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	37.3	34.5	39.9	42.9	38.5	38.9	40.7	29.9	42.3	42.2	38.9	34.3	26.7	
その他	1.2	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.8	1.4	1.4	3.3	
特に問題はない	2.1	3.9	0.7	0.0	0.0	5.6	4.4	6.6	4.6	0.4	0.5	0.9	0.8	
わからない	6.6	7.3	6.1	0.0	3.8	5.6	6.6	7.3	7.4	5.7	5.1	5.2	12.5	
無回答	3.1	2.6	2.5	14.3	0.0	0.0	3.3	2.2	1.1	1.1	3.2	3.3	10.0	

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	56.0	58.6	53.5	54.1	58.6	29.4	50.0	
本人の意思が尊重されないこと	43.8	41.4	40.8	41.9	58.6	17.6	41.4	
結婚を周囲から反対されること	40.7	35.4	42.3	33.7	50.0	17.6	34.4	
子どもをもつことを周囲から反対されること	38.4	31.6	38.0	31.4	43.1	5.9	32.8	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	43.3	38.4	39.4	38.4	51.7	70.6	40.6	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	52.9	54.4	52.1	55.8	67.2	41.2	53.3	
アパートや住宅への入居が困難なこと	38.9	39.2	45.1	40.1	37.9	52.9	41.0	
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかつたりすること	30.4	28.5	29.6	30.8	34.5	35.3	31.1	
家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	44.7	39.5	54.9	46.5	65.5	35.3	43.9	
保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	45.7	43.3	47.9	47.1	43.1	23.5	43.4	
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	38.6	36.9	42.3	43.6	37.9	41.2	44.7	
店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	37.7	31.9	39.4	40.7	51.7	23.5	34.4	
道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	37.0	39.5	42.3	44.8	32.8	35.3	46.7	
手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	39.8	36.1	36.6	33.1	43.1	23.5	36.5	
その他	0.9	1.1	0.0	1.2	0.0	5.9	2.0	
特に問題はない	4.4	1.1	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6	
わからない	7.3	5.3	2.8	7.0	5.2	0.0	8.6	
無回答	1.6	1.9	1.4	4.7	0.0	5.9	5.3	

表 32. 問 19-2 知的障害のある人に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	50.6	48.8	52.5	71.4	42.3	44.4	41.8	43.1	50.9	57.4	55.1	51.2	45.0
	本人の意思が尊重されないこと	41.8	41.0	43.5	57.1	46.2	50.0	49.5	40.1	38.3	46.4	42.1	40.4	34.2
	結婚を周囲から反対されること	32.0	33.3	31.7	57.1	38.5	22.2	36.3	30.7	35.4	36.1	30.1	29.6	25.0
	子どもをもつことを周囲から反対されること	29.1	30.0	29.0	57.1	34.6	27.8	36.3	24.1	30.9	33.5	30.1	25.8	20.8
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	33.1	32.0	34.5	71.4	42.3	55.6	35.2	26.3	33.1	35.4	35.6	33.8	25.0
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	50.4	49.3	51.9	57.1	53.8	55.6	57.1	48.2	53.1	54.8	50.9	46.5	39.2
	アパートや住宅への入居が困難なこと	34.0	32.8	34.9	71.4	23.1	22.2	26.4	32.1	34.3	39.2	32.4	39.4	26.7
	入院治療が必要なのに、入院させること	34.2	33.3	35.7	42.9	34.6	33.3	36.3	29.9	34.3	36.5	32.9	36.6	30.8
	スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	27.6	26.6	28.8	42.9	34.6	27.8	27.5	24.1	22.9	29.3	26.9	31.9	28.3
	家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	43.6	40.2	47.8	57.1	61.5	50.0	47.3	39.4	48.6	46.4	44.4	39.9	35.0
	保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	40.9	38.4	43.5	42.9	42.3	33.3	41.8	39.4	40.6	42.2	40.3	43.2	36.7
	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	37.3	34.8	40.4	42.9	26.9	22.2	29.7	29.9	41.7	41.4	41.2	40.8	28.3
	店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	29.8	28.3	31.7	42.9	30.8	33.3	31.9	26.3	28.6	35.7	31.0	27.2	24.2
	手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	31.1	28.7	33.4	42.9	42.3	33.3	37.4	23.4	31.4	34.2	31.5	32.4	21.7
	その他	1.2	1.5	1.0	0.0	0.0	5.6	0.0	1.5	0.0	1.1	1.9	1.4	1.7
	特に問題はない	3.2	5.4	1.5	0.0	0.0	16.7	7.7	7.3	5.7	1.1	0.5	1.9	2.5
わからない	10.5	10.6	10.4	0.0	7.7	11.1	8.8	10.9	11.4	9.9	11.6	8.9	12.5	
無回答	3.3	2.4	3.4	14.3	0.0	0.0	2.2	2.9	1.1	1.1	3.7	3.8	11.7	

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	51.3	54.8	43.7	51.2	44.8	41.2	49.2
	本人の意思が尊重されないこと	42.9	38.4	39.4	41.9	56.9	29.4	42.2
	結婚を周囲から反対されること	36.1	30.8	36.6	25.0	39.7	11.8	29.9
	子どもをもつことを周囲から反対されること	31.9	26.6	36.6	23.3	37.9	11.8	29.1
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	33.5	32.7	35.2	30.8	48.3	41.2	31.1
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	51.1	50.6	49.3	48.3	62.1	23.5	50.0
	アパートや住宅への入居が困難なこと	33.7	34.2	32.4	33.1	27.6	35.3	36.1
	入院治療が必要なのに、入院させること	33.3	32.3	31.0	38.4	41.4	17.6	35.2
	スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	25.8	24.3	23.9	30.2	32.8	17.6	33.2
	家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	42.4	40.7	50.7	47.1	62.1	17.6	42.2
	保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	41.2	36.1	45.1	44.2	44.8	29.4	41.0
	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	37.5	36.9	35.2	39.5	31.0	47.1	37.7
	店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	31.9	25.9	29.6	31.4	34.5	29.4	28.3
	手話、筆談、触手話、書類の音声読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	30.7	27.8	32.4	34.3	43.1	23.5	30.3
	その他	1.4	1.1	0.0	0.6	1.7	0.0	1.6
	特に問題はない	5.9	1.9	2.8	0.0	5.2	0.0	2.5
わからない	10.5	10.6	9.9	10.5	6.9	5.9	11.9	
無回答	1.6	2.7	2.8	3.5	0.0	5.9	6.6	

表 33. 問 19-3 精神障害のある人に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
じろじろ見られたり、避けられたりすること	43.9	43.6	43.9	71.4	30.8	33.3	39.6	32.1	48.0	47.9	46.3	46.5	40.8
本人の意思が尊重されないこと	37.8	37.2	39.1	57.1	50.0	44.4	46.2	37.2	37.7	39.5	36.1	36.6	30.8
結婚を周囲から反対されること	28.6	28.9	28.7	57.1	46.2	27.8	34.1	27.0	29.7	30.8	26.4	27.2	23.3
子どもをもつことを周囲から反対されること	25.4	26.6	24.3	57.1	30.8	27.8	28.6	20.4	29.1	28.1	25.9	22.5	18.3
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	32.4	33.1	32.7	57.1	34.6	50.0	37.4	28.5	30.9	35.4	32.4	32.4	26.7
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	49.9	47.7	52.7	57.1	57.7	55.6	58.2	46.0	50.9	51.7	50.0	51.2	39.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	29.8	29.8	29.7	57.1	26.9	22.2	31.9	26.3	33.7	29.7	26.9	34.7	24.2
入院治療が必要なのに、入院させること	32.5	31.3	33.7	42.9	30.8	27.8	37.4	31.4	32.6	35.0	33.3	30.5	27.5
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	24.6	24.2	25.4	42.9	19.2	27.8	28.6	22.6	21.7	23.2	26.4	28.2	22.5
家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	40.2	36.9	44.2	57.1	69.2	50.0	46.2	38.0	45.7	39.9	42.6	36.2	28.3
保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	33.4	31.8	34.8	42.9	38.5	44.4	33.0	34.3	35.4	35.7	32.4	32.9	23.3
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	35.3	31.1	39.5	42.9	19.2	27.8	30.8	29.9	39.4	37.3	36.6	40.8	27.5
店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	26.3	25.1	27.7	42.9	26.9	33.3	30.8	21.9	26.3	29.3	27.3	24.4	21.7
障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	36.7	34.6	38.9	42.9	30.8	33.3	42.9	31.4	34.9	43.7	37.5	38.0	23.3
その他	1.0	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	0.8	0.9	0.5	2.5
特に問題はない	3.7	5.6	2.2	0.0	0.0	11.1	6.6	8.8	8.0	1.9	1.4	1.4	1.7
わからない	13.3	12.7	13.6	0.0	11.5	11.1	11.0	13.1	13.1	15.6	14.8	10.8	13.3
無回答	3.8	3.9	3.1	14.3	0.0	0.0	3.3	2.2	0.6	1.1	3.2	4.7	16.7

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	42.6	46.8	43.7	43.6	39.7	29.4	45.1	
本人の意思が尊重されないこと	37.0	35.0	33.8	36.6	56.9	29.4	40.6	
結婚を周囲から反対されること	30.9	25.9	31.0	24.4	44.8	11.8	27.5	
子どもをもつことを周囲から反対されること	28.3	21.3	25.4	18.6	36.2	11.8	27.5	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	31.9	31.9	35.2	27.3	44.8	41.2	33.6	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	48.9	48.3	54.9	49.4	63.8	29.4	50.4	
アパートや住宅への入居が困難なこと	30.2	26.2	32.4	29.7	27.6	35.3	31.6	
入院治療が必要なのに、入院させること	33.7	28.1	26.8	37.2	34.5	17.6	33.6	
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	23.9	20.2	19.7	25.6	27.6	17.6	30.7	
家庭内や病院・福祉施設内での看護や介護において、暴力(性暴力、虐待を含む)があること	39.3	36.5	38.0	44.8	65.5	17.6	39.3	
保育所や幼稚園、学校等の受け入れ体制が十分でないこと	36.5	26.6	28.2	35.5	41.4	17.6	33.6	
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	33.0	33.5	32.4	44.2	27.6	41.2	36.9	
店舗や施設等において、障害を理由に利用制限があるなど、気軽に利用できないこと	27.2	22.1	26.8	26.7	32.8	23.5	27.5	
障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	37.5	36.1	38.0	36.0	36.2	35.3	35.2	
その他	1.2	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	1.6	
特に問題はない	7.0	1.9	5.6	0.0	3.4	5.9	2.0	
わからない	13.3	16.0	12.7	12.8	8.6	17.6	12.3	
無回答	1.6	2.7	2.8	4.7	0.0	5.9	8.2	

20 外国人について人権上問題があると思うこと

問 20 外国人に関することについて、おたずねします。

表 34. 問 20-1 外国人や、保護者が外国人である子どもなどに関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
じろじろ見られたり、避けられたりすること	30.6	28.3	33.0	42.9	30.8	27.8	37.4	27.7	32.6	32.7	29.2	28.6	30.0
本人の意思が尊重されないこと	26.8	26.8	27.2	42.9	42.3	22.2	39.6	26.3	25.7	28.9	23.6	23.5	24.2
文化が理解・尊重されないこと	47.2	46.2	49.3	42.9	57.7	33.3	51.6	40.1	46.3	50.6	47.2	49.3	40.8
名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	53.5	49.5	57.5	71.4	84.6	61.1	67.0	59.1	57.1	60.1	45.4	47.9	36.7
何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること	55.1	51.0	60.4	57.1	69.2	44.4	56.0	56.9	62.3	56.3	54.6	54.0	45.0
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	33.8	32.6	34.8	42.9	38.5	33.3	37.4	28.5	35.4	36.1	31.5	39.0	24.2
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	43.3	42.8	44.8	28.6	57.7	44.4	54.9	43.1	47.4	44.1	41.2	40.8	34.2
アパートや住宅への入居が困難なこと	29.4	27.9	31.2	28.6	42.3	33.3	34.1	24.1	30.9	28.1	29.2	33.8	24.2
施設・公園・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと	24.2	20.9	27.7	28.6	30.8	16.7	20.9	18.2	23.4	25.5	23.6	28.6	24.2
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	37.7	35.6	40.7	42.9	42.3	33.3	31.9	30.7	32.6	36.9	40.3	46.9	39.2
近隣や地域のひととの交流や理解を深める機会が少ないこと	28.5	27.6	29.9	28.6	15.4	22.2	27.5	24.1	22.3	28.9	29.2	37.1	30.8
日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)や対応が受けられないこと	24.3	24.0	24.6	42.9	38.5	22.2	26.4	19.0	22.9	25.9	25.9	23.9	22.5
外国人である子どもたちが集える居場所や、困った時に相談する場所がないこと	28.6	26.8	30.8	42.9	46.2	22.2	29.7	29.2	23.4	30.8	29.6	30.5	22.5
特定の国籍によって対応に差がでること	37.8	34.3	40.7	28.6	53.8	38.9	41.8	32.1	36.0	42.6	35.2	39.9	30.8
その他	1.1	1.7	0.7	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	1.7	0.8	0.5	0.5	2.5
特に問題はない	6.0	8.8	4.0	0.0	0.0	22.2	9.9	12.4	8.0	5.7	2.8	2.8	3.3
わからない	8.0	8.4	7.7	0.0	0.0	5.6	2.2	7.3	7.4	7.2	10.6	7.5	15.0
無回答	3.2	2.8	2.4	28.6	0.0	0.0	3.3	0.7	1.1	0.8	3.2	5.2	10.0

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	31.4	30.8	35.2	30.8	34.5	5.9	29.1	
本人の意思が尊重されないこと	27.6	25.5	23.9	22.7	41.4	11.8	27.9	
文化が理解・尊重されないこと	46.4	45.2	50.7	48.3	55.2	52.9	46.3	
名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	56.9	52.1	50.7	51.2	77.6	47.1	47.1	
何か問題が発生した場合、外国人というだけで、悪者扱いされたり、疑いをかけられたりすること	55.5	55.1	56.3	56.4	65.5	52.9	53.3	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	32.8	35.0	36.6	29.7	44.8	35.3	33.6	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	42.2	39.5	47.9	43.6	63.8	35.3	43.4	
アパートや住宅への入居が困難なこと	29.5	23.6	35.2	29.1	43.1	29.4	31.6	
施設・公園・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと	22.2	21.3	23.9	26.7	25.9	23.5	27.9	
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	31.4	40.7	40.8	38.4	39.7	29.4	44.7	
近隣や地域のひととの交流や理解を深める機会が少ないこと	26.0	27.8	29.6	24.4	22.4	41.2	36.5	
日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)や対応が受けられないこと	24.1	21.7	26.8	18.0	36.2	23.5	28.3	
外国人である子どもたちが集える居場所や、困った時に相談する場所がないこと	24.8	29.3	32.4	28.5	39.7	35.3	30.7	
特定の国籍によって対応に差がでること	37.0	35.0	40.8	39.5	55.2	35.3	36.5	
その他	1.2	0.4	4.2	0.6	0.0	11.8	0.8	
特に問題はない	9.4	4.2	7.0	2.9	6.9	0.0	4.1	
わからない	6.6	9.1	5.6	12.2	0.0	0.0	10.2	
無回答	1.2	1.1	4.2	4.7	0.0	5.9	6.6	

表 35. 問 20-2 あなたはヘイトスピーチについてどのように思いますか。

(あてはまるもの1つに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う	52.9	50.8	54.4	71.4	50.0	38.9	45.1	40.9	49.1	52.1	56.5	63.4	59.2
	許されない行為ではあるが、共感するところもある	14.6	16.8	13.5	14.3	19.2	0.0	17.6	21.9	18.3	13.7	12.5	13.1	7.5
	表現の自由として許される行為ではあるが、共感できない	15.0	14.3	16.1	0.0	23.1	33.3	23.1	23.4	16.0	19.0	10.2	8.0	7.5
	表現の自由として許される行為であり、当然のことだと思う	1.4	1.5	1.0	14.3	0.0	11.1	4.4	1.5	2.9	0.0	0.9	1.4	0.0
	自分には関係ないことであり、共感も反感もない	1.8	2.0	1.3	0.0	0.0	5.6	2.2	2.2	2.9	1.5	1.9	0.9	1.7
	その他	0.9	1.5	0.4	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	0.6	1.1	0.5	0.0	1.7
	わからない	9.1	7.8	10.1	0.0	7.7	11.1	6.6	7.3	8.0	9.9	13.0	5.2	13.3
	無回答	4.1	5.2	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.3	2.7	4.6	8.0	9.2

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	許されない行為で、絶対にやめるべきだと思う	49.4	51.7	56.3	57.0	50.0	41.2	58.6
	許されない行為ではあるが、共感するところもある	16.4	17.1	15.5	13.4	12.1	11.8	10.2
	表現の自由として許される行為ではあるが、共感できない	18.3	16.3	16.9	12.8	25.9	11.8	7.8
	表現の自由として許される行為であり、当然のことだと思う	2.3	0.8	4.2	0.0	3.4	0.0	0.4
	自分には関係ないことであり、共感も反感もない	2.3	1.1	0.0	1.7	1.7	0.0	2.5
	その他	1.2	1.1	0.0	0.0	0.0	5.9	0.8
	わからない	8.2	9.9	2.8	11.6	6.9	17.6	9.8
	無回答	1.9	1.9	4.2	3.5	0.0	11.8	9.8

21 感染症・疾病の患者等について人権上問題があると思うこと

問 21 感染症・疾病の患者等に関する事で、おたずねします。

表 36. 問 21-1 疾病・感染症・病歴等に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
じろじろ見られたり、避けられたりすること	37.1	34.3	39.9	42.9	53.8	44.4	40.7	32.8	42.3	40.3	33.8	33.8	31.7
患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	55.1	51.0	59.8	42.9	69.2	77.8	60.4	59.1	57.1	57.0	53.2	54.5	39.2
病院での治療や入院を断られること	51.8	46.9	56.8	57.1	69.2	44.4	50.5	43.8	50.3	57.0	52.3	53.5	47.5
結婚を周囲から反対されること	26.7	27.0	27.2	42.9	42.3	33.3	40.7	25.5	29.7	28.5	24.1	19.7	24.2
子どもをもつことを周囲から反対されること	25.6	25.1	26.6	42.9	34.6	33.3	37.4	25.5	29.1	25.9	25.5	19.2	20.8
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	26.5	24.6	29.0	42.9	30.8	50.0	35.2	23.4	25.1	27.4	26.4	26.3	22.5
無断で検査をされること	35.7	32.2	38.8	42.9	30.8	33.3	38.5	28.5	31.4	43.7	34.3	39.0	29.2
患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	56.6	53.1	60.8	57.1	61.5	72.2	70.3	49.6	59.4	62.4	56.0	50.2	47.5
医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	50.6	47.5	54.4	57.1	57.7	66.7	64.8	47.4	54.9	52.5	50.9	45.5	40.8
患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	34.4	32.2	37.0	28.6	38.5	33.3	39.6	39.4	36.6	35.7	32.9	31.0	27.5
疾病・感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	41.7	37.4	45.6	57.1	42.3	61.1	49.5	43.1	43.4	43.0	43.5	36.2	33.3
マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	49.0	43.9	53.3	42.9	61.5	61.1	59.3	41.6	56.0	52.1	46.8	47.9	35.0
その他	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.5	0.0	0.8
特に問題はない	2.3	4.3	0.6	0.0	0.0	5.6	3.3	5.1	2.9	1.1	2.3	0.9	2.5
わからない	10.2	11.9	8.4	14.3	3.8	0.0	7.7	13.9	9.1	9.9	11.1	8.9	13.3
無回答	3.1	3.4	2.5	14.3	0.0	0.0	2.2	3.6	0.6	1.1	2.8	3.8	12.5

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	38.6	38.0	28.2	39.0	50.0	11.8	32.8	
患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	56.0	56.7	52.1	53.5	72.4	23.5	53.3	
病院での治療や入院を断られること	49.9	52.5	53.5	54.7	55.2	23.5	53.7	
結婚を周囲から反対されること	32.6	20.9	26.8	22.1	41.4	11.8	24.6	
子どもをもつことを周囲から反対されること	30.9	20.5	23.9	22.1	37.9	5.9	24.2	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	26.9	23.2	28.2	27.9	41.4	11.8	26.2	
無断で検査をされること	33.7	35.7	33.8	43.0	41.4	11.8	34.4	
患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	58.8	55.5	50.7	58.7	69.0	35.3	53.3	
医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	51.8	49.8	49.3	55.8	65.5	23.5	45.1	
患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	37.0	28.5	31.0	39.0	37.9	23.5	33.6	
疾病・感染症等に関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	43.6	38.8	42.3	42.4	51.7	11.8	41.0	
マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	50.1	45.2	49.3	51.2	65.5	29.4	47.5	
その他	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	
特に問題はない	3.7	1.5	2.8	0.0	1.7	0.0	2.5	
わからない	10.5	9.9	12.7	8.1	1.7	29.4	11.5	
無回答	1.9	1.9	1.4	4.1	0.0	11.8	6.1	

表 37. 問 21-2 ハンセン病患者・回復者・家族等に関することでああなたが、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	50.4	45.6	54.3	71.4	42.3	50.0	52.7	39.4	52.0	53.6	56.0	50.2	44.2
	結婚を周囲から反対されること	42.4	39.1	45.4	71.4	42.3	33.3	41.8	29.2	43.4	44.9	46.3	44.6	40.8
	子どもをもつことを周囲から反対されること	40.5	38.7	42.5	42.9	34.6	38.9	38.5	34.3	42.9	42.2	45.4	39.0	35.8
	家族や親戚からつきあいを拒絶されること	47.2	41.5	52.4	71.4	53.8	61.1	47.3	38.7	49.7	46.4	48.6	48.8	45.8
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	33.7	30.5	37.1	42.9	30.8	38.9	36.3	26.3	41.1	35.0	35.6	31.9	28.3
	社会復帰が困難なこと	49.4	45.3	52.8	71.4	46.2	61.1	52.7	36.5	48.0	54.8	55.1	51.6	35.8
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	52.0	48.4	55.6	71.4	69.2	66.7	53.8	42.3	55.4	54.8	53.7	53.1	40.8
	アパートや住宅への入居が困難なこと	33.9	32.6	35.7	28.6	30.8	33.3	33.0	26.3	39.4	36.9	34.7	35.2	26.7
	旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	37.5	34.5	40.7	42.9	34.6	33.3	42.9	29.2	41.7	43.3	36.6	36.6	28.3
	怖い病気といった誤解があること	56.5	49.7	62.6	71.4	38.5	50.0	50.5	43.1	62.9	61.6	57.9	63.4	45.8
	ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	42.0	39.1	44.8	42.9	42.3	38.9	40.7	37.2	46.9	48.3	44.0	37.1	33.3
	近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	30.3	26.3	34.6	28.6	19.2	33.3	29.7	24.8	29.7	31.6	31.9	35.2	27.5
	その他	0.7	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	1.4	0.9	0.8
	特に問題はない	1.7	3.0	0.4	0.0	0.0	11.1	2.2	4.4	3.4	0.8	0.9	0.9	0.0
	わからない	17.6	20.1	15.1	14.3	15.4	11.1	24.2	27.7	15.4	16.7	14.8	11.7	23.3
	無回答	3.8	3.9	3.6	14.3	3.8	0.0	1.1	2.9	2.3	1.5	2.8	6.6	11.7

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	49.6	54.4	49.3	56.4	48.3	23.5	45.1
	結婚を周囲から反対されること	40.5	39.5	45.1	48.3	44.8	35.3	43.0
	子どもをもつことを周囲から反対されること	40.5	36.9	40.8	44.2	41.4	35.3	40.6
	家族や親戚からつきあいを拒絶されること	45.0	43.7	47.9	54.7	56.9	35.3	46.7
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	33.5	31.9	36.6	35.5	39.7	17.6	34.0
	社会復帰が困難なこと	47.3	48.7	49.3	52.9	55.2	41.2	49.6
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	51.3	50.2	49.3	54.7	69.0	29.4	51.6
	アパートや住宅への入居が困難なこと	34.0	29.3	38.0	37.2	36.2	23.5	35.2
	旅館やホテルなどの利用で不当な扱いを受けること	37.2	34.2	39.4	41.3	41.4	29.4	37.3
	怖い病気といった誤解があること	55.5	55.5	54.9	65.7	48.3	52.9	54.9
	ハンセン病患者・回復者・家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	43.8	38.8	40.8	44.8	43.1	35.3	40.6
	近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	29.0	26.2	31.0	37.2	29.3	23.5	32.0
	その他	0.5	0.8	1.4	0.0	0.0	0.0	1.6
	特に問題はない	3.3	0.4	2.8	0.0	3.4	0.0	1.2
	わからない	18.3	18.3	18.3	14.5	12.1	29.4	18.9
	無回答	2.6	1.1	4.2	5.2	1.7	5.9	7.4

表 38. 問 21-3 エイズ患者やHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者に関することで、あなたが人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	26.5	25.3	28.0	42.9	26.9	16.7	29.7	21.9	30.9	33.1	24.1	21.6	24.2
	患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	44.3	40.2	48.8	42.9	57.7	55.6	52.7	43.1	49.7	48.7	37.5	43.2	32.5
	病院や福祉施設において、エイズ患者・HIV感染者であることを理由に利用制限を受けること	45.7	41.9	49.6	57.1	53.8	44.4	47.3	36.5	45.7	49.0	42.6	51.6	41.7
	結婚を周囲から反対されること	29.9	28.7	31.7	28.6	30.8	44.4	38.5	29.9	31.4	30.8	25.9	27.7	28.3
	子どもをもつことを周囲から反対されること	26.3	27.4	26.5	14.3	26.9	33.3	35.2	27.7	30.9	26.6	21.3	23.9	23.3
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	25.0	23.1	27.1	28.6	38.5	33.3	29.7	25.5	25.7	25.9	25.0	22.1	20.8
	無断で検査をされること	32.4	28.9	35.8	42.9	30.8	33.3	37.4	24.8	32.0	35.4	32.9	35.7	26.7
	患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	51.6	49.5	54.1	57.1	53.8	55.6	60.4	42.3	56.0	56.7	52.3	52.1	35.0
	医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	42.8	38.9	46.6	57.1	50.0	50.0	52.7	41.6	50.3	43.3	44.0	36.6	31.7
	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	34.0	32.2	35.7	28.6	38.5	38.9	39.6	32.8	37.7	39.2	31.0	30.0	24.2
	エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	57.9	52.9	63.0	57.1	57.7	72.2	56.0	54.7	64.6	59.3	59.3	59.2	44.2
	マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	45.1	40.8	48.8	42.9	53.8	50.0	54.9	41.6	53.7	48.7	40.7	42.3	30.8
	その他	0.7	1.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.8	0.5	0.5	2.5
	特に問題はない	3.5	6.1	1.3	0.0	0.0	5.6	6.6	6.6	6.3	1.9	2.3	2.3	2.5
	わからない	12.9	15.3	10.9	14.3	3.8	11.1	15.4	16.8	10.9	10.3	12.5	12.7	19.2
無回答	3.2	2.2	3.3	14.3	0.0	0.0	2.2	2.2	1.1	1.1	3.2	5.2	10.0	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	29.3	24.3	21.1	25.6	31.0	11.8	26.6
	患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	47.1	40.7	42.3	41.3	62.1	23.5	44.3
	病院や福祉施設において、エイズ患者・HIV感染者であることを理由に利用制限を受けること	45.9	43.7	39.4	48.8	53.4	47.1	45.9
	結婚を周囲から反対されること	31.6	27.0	29.6	28.5	43.1	17.6	29.1
	子どもをもつことを周囲から反対されること	30.0	22.1	26.8	22.1	36.2	11.8	26.2
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	25.5	20.5	29.6	25.6	39.7	17.6	25.0
	無断で検査をされること	30.0	29.7	36.6	37.8	39.7	11.8	35.2
	患者や感染者、その家族等が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	53.2	49.4	50.7	50.6	62.1	29.4	51.6
	医療従事者やその家族が誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	44.3	39.9	40.8	45.3	55.2	23.5	40.2
	患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	36.5	31.2	38.0	31.4	41.4	23.5	32.0
	エイズ・HIVに関する正しい知識について義務教育などで十分に扱われていないこと	59.7	56.7	66.2	58.1	62.1	58.8	52.5
	マスメディアやインターネット・SNSで、興味本位や不確かな情報が拡散されること	49.4	39.5	43.7	43.6	58.6	35.3	42.6
	その他	0.7	0.4	0.0	1.2	0.0	5.9	0.8
	特に問題はない	5.4	3.0	2.8	0.6	1.7	5.9	3.7
	わからない	11.5	12.9	12.7	15.1	5.2	17.6	15.6
無回答	1.9	2.3	1.4	4.1	0.0	5.9	6.1	

22 ホームレスについて人権上問題があると思うこと

表 39. 問 22 ホームレスに関することについて、あなたが人権上問題があると思うことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	36.1	33.0	38.8	57.1	34.6	50.0	41.8	33.6	33.7	36.9	38.9	35.2	31.7	
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	37.0	35.2	38.6	57.1	50.0	55.6	41.8	29.2	32.0	35.4	33.8	43.7	41.7	
通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力(性暴力、虐待を含む)を振るわれたりすること	59.4	53.6	65.2	71.4	65.4	61.1	65.9	59.1	63.4	62.0	60.6	57.7	45.0	
結婚を周囲から反対されること	15.8	16.2	16.0	14.3	19.2	22.2	24.2	12.4	16.6	15.6	14.8	14.6	16.7	
子どもをもつことを周囲から反対されること	14.8	16.6	13.8	14.3	19.2	11.1	20.9	12.4	15.4	14.8	14.4	14.1	15.0	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	43.4	40.6	45.9	57.1	53.8	50.0	54.9	36.5	44.0	38.0	41.7	50.2	41.7	
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	34.3	31.7	37.3	14.3	53.8	50.0	40.7	31.4	33.7	31.2	35.6	35.2	30.0	
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	43.1	39.5	46.3	42.9	53.8	50.0	47.3	38.0	38.9	46.8	45.4	44.1	35.8	
アパートや住宅への入居が困難なこと	34.0	32.8	35.1	28.6	26.9	33.3	38.5	32.1	30.9	33.5	31.5	39.9	33.3	
店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	25.4	22.9	28.0	28.6	30.8	38.9	34.1	23.4	25.1	25.1	25.9	23.0	22.5	
社会的に孤立をしてしまうこと	45.1	42.8	47.6	28.6	50.0	55.6	47.3	40.1	47.4	46.0	44.9	48.4	36.7	
ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと	42.7	40.4	45.6	42.9	50.0	55.6	41.8	37.2	41.7	40.3	46.3	46.0	38.3	
その他	1.2	1.9	0.7	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	0.6	1.1	1.4	0.9	2.5	
特に問題はない	4.6	7.8	2.1	0.0	3.8	22.2	11.0	8.0	6.3	4.2	1.9	1.9	2.5	
わからない	10.2	10.6	9.6	14.3	11.5	11.1	3.3	10.2	8.0	11.0	10.6	8.9	17.5	
無回答	3.1	3.0	2.8	14.3	0.0	0.0	2.2	3.6	2.3	1.9	2.8	3.3	9.2	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	35.6	36.1	33.8	39.0	44.8	29.4	34.0	
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	35.1	29.7	42.3	36.6	53.4	47.1	41.4	
通行人などの周囲の人から嫌がらせを受けたり、暴力(性暴力、虐待を含む)を振るわれたりすること	60.0	62.0	56.3	64.5	67.2	35.3	53.7	
結婚を周囲から反対されること	18.0	12.2	14.1	12.2	25.9	11.8	17.2	
子どもをもつことを周囲から反対されること	17.1	11.8	12.7	11.6	20.7	11.8	16.0	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	41.7	35.7	43.7	49.4	58.6	17.6	48.4	
医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	33.0	30.8	31.0	33.7	56.9	5.9	38.1	
就職することが難しく、経済的に自立した生活ができないこと	43.1	42.6	38.0	45.3	53.4	52.9	39.8	
アパートや住宅への入居が困難なこと	33.0	30.0	33.8	35.5	34.5	35.3	37.7	
店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	25.3	24.3	23.9	22.7	36.2	23.5	26.2	
社会的に孤立をしてしまうこと	45.2	44.1	43.7	49.4	48.3	52.9	42.6	
ホームレスを支援するための施設整備が十分でないこと	41.5	39.2	36.6	48.8	50.0	35.3	43.4	
その他	1.4	1.1	2.8	0.6	0.0	5.9	0.8	
特に問題はない	7.5	4.6	4.2	0.6	8.6	0.0	2.5	
わからない	7.5	10.3	15.5	10.5	6.9	5.9	14.3	
無回答	3.0	1.9	1.4	2.9	0.0	5.9	5.3	

23 性的少数者について人権上問題があると思うこと

問 23 性的少数者に関することについて、おたずねします。

表 40. 問 23-1 性的少数者関すること、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	29.0	26.4	31.7	42.9	34.6	27.8	35.2	21.9	34.9	32.3	31.5	24.4	21.7	
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	50.5	45.3	55.6	42.9	65.4	61.1	54.9	48.9	50.9	51.7	53.2	47.4	40.0	
婚姻を認められないこと	35.4	26.6	43.0	57.1	50.0	50.0	49.5	35.0	40.6	36.5	40.7	23.9	22.5	
子どもをもつことを周囲から反対されること	24.2	21.4	27.4	28.6	42.3	33.3	36.3	19.7	28.0	25.9	25.5	18.3	15.8	
進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	33.8	31.5	36.7	14.3	53.8	50.0	44.0	27.0	38.9	35.0	37.0	29.1	21.7	
地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられたりすること	45.7	41.5	50.1	57.1	65.4	50.0	54.9	39.4	51.4	49.0	45.8	43.7	32.5	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	49.9	45.6	53.7	57.1	61.5	66.7	60.4	43.8	56.0	49.4	52.3	46.5	37.5	
本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること	50.6	44.5	56.2	57.1	80.8	50.0	58.2	53.3	60.0	51.7	49.5	46.0	31.7	
法整備などが十分でないこと	34.7	31.8	37.4	28.6	42.3	50.0	41.8	32.8	41.7	34.6	36.6	34.3	17.5	
トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと	37.1	31.1	42.2	57.1	42.3	27.8	30.8	36.5	38.9	36.9	43.1	40.4	25.8	
トイレ・脱衣を伴う介護を受ける際や、病院に入院する際に、本人の性自認が十分配慮されていないこと	34.6	29.6	39.2	57.1	57.7	38.9	30.8	29.9	40.6	33.8	38.9	34.3	22.5	
就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること	22.1	18.8	25.4	42.9	30.8	33.3	31.9	17.5	26.3	22.4	24.1	17.8	14.2	
性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと	33.5	30.4	36.8	28.6	42.3	27.8	40.7	32.1	36.6	31.2	37.0	31.5	27.5	
その他	1.4	1.9	0.9	14.3	0.0	0.0	2.2	2.9	1.1	1.5	0.0	1.4	2.5	
特に問題はない	5.0	8.8	2.1	0.0	0.0	22.2	7.7	8.0	8.6	3.0	2.8	3.8	3.3	
わからない	14.3	16.0	13.0	14.3	7.7	11.1	8.8	11.7	9.7	16.0	13.0	17.4	23.3	
無回答	3.8	3.7	3.3	14.3	0.0	0.0	3.3	2.9	1.1	1.1	4.2	5.6	11.7	

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	31.6	26.6	33.8	27.3	39.7	5.9	26.6	
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	52.2	46.8	52.1	55.2	63.8	41.2	44.7	
婚姻を認められないこと	37.5	36.9	43.7	30.8	56.9	11.8	28.7	
子どもをもつことを周囲から反対されること	27.2	22.4	23.9	22.1	43.1	5.9	20.1	
進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	35.6	30.8	38.0	36.6	56.9	11.8	27.9	
地域社会・職場・家庭・学校などでいじめられたり、排除・孤立させられたりすること	47.3	41.4	50.7	50.6	65.5	17.6	41.4	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	49.4	46.8	49.3	52.3	70.7	29.4	49.2	
本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露されること	53.4	48.3	54.9	52.3	69.0	35.3	43.4	
法整備などが十分でないこと	40.0	31.9	38.0	36.6	46.6	17.6	26.2	
トイレや入浴施設などの設備で十分配慮されていないこと	34.0	42.2	42.3	40.1	32.8	35.3	35.2	
トイレ・脱衣を伴う介護を受ける際や、病院に入院する際に、本人の性自認が十分配慮されていないこと	34.0	36.5	39.4	38.4	43.1	11.8	29.1	
就職や住居への入居の際などに性別について聞かれること	23.9	21.7	22.5	19.2	34.5	11.8	18.9	
性的少数者のための相談・支援体制が十分でないこと	35.8	30.8	39.4	33.1	37.9	17.6	31.1	
その他	1.6	1.1	5.6	0.6	1.7	0.0	0.8	
特に問題はない	7.5	4.6	2.8	1.2	6.9	0.0	4.5	
わからない	11.5	14.1	14.1	15.7	5.2	29.4	19.3	
無回答	2.1	2.7	4.2	3.5	0.0	5.9	7.8	

表 41. 問 23-2 もしあなたの家族（親・子・配偶者など）が性的少数者であることをあなたに告白した場合、あなたはその人の理解者になることができますか。
（あてはまるもの1つに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	できると思う	53.8	50.5	56.4	85.7	73.1	55.6	67.0	64.2	58.9	58.6	53.7	45.5	25.0
	できないと思う	7.2	8.9	5.9	0.0	7.7	16.7	7.7	5.8	5.1	4.2	5.1	8.5	15.8
	わからない	37.2	38.4	36.1	14.3	19.2	27.8	25.3	29.2	36.0	36.1	39.8	43.2	50.8
	無回答	1.9	2.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.1	1.4	2.8	8.3

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	できると思う	60.0	56.7	63.4	47.7	70.7	41.2	38.5
	できないと思う	6.6	5.7	5.6	4.7	10.3	11.8	10.7
	わからない	32.6	36.5	31.0	45.9	19.0	35.3	46.7
	無回答	0.9	1.1	0.0	1.7	0.0	11.8	4.1

表 42. 問 23-3 性的少数者について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。
（✓はいくつでも）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	多様性や個性のひとつ	55.9	48.2	62.4	85.7	57.7	55.6	69.2	63.5	68.0	59.3	56.0	48.4	25.8
	身近にいないのでよくわからない	35.1	36.1	33.7	28.6	30.8	27.8	14.3	25.5	23.4	35.7	34.7	45.1	62.5
	個人の趣味や嗜好の問題	20.3	22.3	18.2	14.3	23.1	44.4	33.0	31.4	20.6	18.3	18.1	15.0	10.0
	理解ができない	5.7	7.6	4.4	0.0	0.0	16.7	7.7	5.1	4.6	3.0	2.3	8.5	14.2
	無回答	1.9	2.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.9	3.8	7.5

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	多様性や個性のひとつ	62.5	57.8	60.6	55.8	63.8	47.1	39.8
	身近にいないのでよくわからない	24.4	37.3	28.2	41.3	25.9	35.3	51.2
	個人の趣味や嗜好の問題	24.6	19.4	16.9	15.1	29.3	17.6	16.4
	理解ができない	5.4	3.0	5.6	4.7	5.2	0.0	10.7
	無回答	0.7	1.5	0.0	1.2	0.0	11.8	4.1

24 自殺（自死）について、どのように思うか

表 43. 問 24 自殺（自死）について、どのように思いますか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	いのちを大切にしないのは、いけないことだと思う	40.8	46.9	36.4	28.6	11.5	33.3	19.8	35.0	37.7	40.3	38.4	53.5	56.7
	生死は最終的に本人の判断に任せるべきだと思う	23.7	27.6	20.9	14.3	46.2	38.9	39.6	36.5	29.1	20.9	21.8	12.7	12.5
	自殺したいという気持ちは繰り返し現れるので、周囲の人が止めることはできないと思う	14.2	14.2	13.9	14.3	23.1	16.7	31.9	21.2	16.6	8.4	11.6	10.3	11.7
	自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う	55.5	55.5	55.8	57.1	65.4	50.0	63.7	63.5	58.3	57.8	52.3	46.0	53.3
	自分にはあまり関係がないと思う	5.7	7.6	4.0	14.3	7.7	22.2	6.6	5.1	4.0	3.8	4.2	3.3	15.8
	本人が選んだことだから仕方がないと思う	15.6	17.1	14.2	28.6	19.2	38.9	33.0	21.9	14.9	13.3	13.4	11.7	8.3
	自殺を口にする人は、本当に自殺はしないと	9.0	8.0	9.9	0.0	19.2	27.8	17.6	10.2	7.4	8.0	6.9	5.6	9.2
	防ぐことができる自殺も多いと思う	65.0	65.2	65.4	71.4	69.2	72.2	64.8	62.8	64.0	70.3	66.7	64.8	52.5
	自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを発していると思う	52.4	53.4	52.5	42.9	50.0	50.0	54.9	47.4	52.6	55.9	50.9	55.4	46.7
	自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う	58.1	57.5	58.7	57.1	73.1	66.7	63.7	64.2	67.4	62.7	52.3	46.5	51.7
	自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う	68.5	63.7	72.3	71.4	61.5	61.1	63.7	68.6	72.0	77.9	69.9	61.5	58.3
	自死遺族は自責の念を抱きやすいと思う	51.0	40.2	59.0	85.7	53.8	55.6	50.5	50.4	59.4	62.4	51.9	38.0	35.0
	身近な人を自殺で亡くした人で、深く悲しんでいない人は少ないと思う	42.0	32.8	49.1	28.6	42.3	38.9	30.8	29.9	50.9	45.2	45.8	40.4	40.0
	いつまでも身近な人の自殺を悲しまず、残された者を大切にしたいと思う	11.4	11.0	11.7	0.0	7.7	16.7	7.7	8.0	14.3	10.6	10.2	10.8	18.3
	自殺を実行するかどうかは、周囲の人の影響が大きいと思う	26.5	28.5	25.7	14.3	61.5	55.6	42.9	29.9	25.7	24.0	19.4	22.1	25.8
無回答	0.7	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.9	0.9	3.3	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	いのちを大切にしないのは、いけないことだと思う	34.7	38.8	47.9	44.2	19.0	52.9	53.3
	生死は最終的に本人の判断に任せるべきだと思う	30.9	20.2	26.8	14.5	48.3	0.0	16.8
	自殺したいという気持ちは繰り返し現れるので、周囲の人が止めることはできないと思う	16.9	11.0	12.7	14.0	27.6	0.0	11.5
	自殺する人は、よほど辛いことがあったのだと思う	57.6	54.8	57.7	52.9	62.1	52.9	52.9
	自分にはあまり関係がないと思う	4.4	1.9	9.9	3.5	10.3	0.0	10.7
	本人が選んだことだから仕方がないと思う	19.0	12.9	18.3	12.2	29.3	5.9	11.9
	自殺を口にする人は、本当に自殺はしないと	7.3	8.4	12.7	7.0	25.9	0.0	8.2
	防ぐことができる自殺も多いと思う	65.8	61.2	74.6	67.4	70.7	58.8	61.9
	自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを発していると思う	51.5	51.3	64.8	51.2	53.4	35.3	53.7
	自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多いと思う	64.2	57.8	50.7	54.7	72.4	52.9	49.6
	自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっていると思う	68.6	73.8	69.0	72.1	67.2	64.7	60.2
	自死遺族は自責の念を抱きやすいと思う	54.6	51.3	49.3	57.0	56.9	23.5	41.0
	身近な人を自殺で亡くした人で、深く悲しんでいない人は少ないと思う	38.4	40.7	45.1	52.9	37.9	23.5	41.8
	いつまでも身近な人の自殺を悲しまず、残された者を大切にしたいと思う	10.1	8.7	7.0	15.1	12.1	11.8	15.2
	自殺を実行するかどうかは、周囲の人の影響が大きいと思う	26.5	22.1	26.8	20.9	62.1	23.5	26.2
無回答	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	

25 アイヌ民族について人権上問題があると思うこと

表 44. 問 25 アイヌ民族に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	21.6	20.7	23.2	28.6	19.2	22.2	31.9	15.3	24.6	22.8	25.5	16.9	17.5
	アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと	47.6	46.7	49.0	57.1	38.5	44.4	49.5	33.6	41.7	51.0	53.2	54.5	42.5
	先住民族としての権利(漁猟、採集等の権利や土地の権利等)が尊重されていないこと	44.7	43.6	46.2	42.9	53.8	55.6	50.5	32.8	40.6	47.5	47.7	48.8	37.5
	結婚を周囲から反対されること	25.0	25.3	25.6	14.3	26.9	33.3	38.5	21.2	26.3	28.1	25.9	18.8	19.2
	子どもをもつことを周囲から反対されること	23.0	23.5	23.7	14.3	19.2	27.8	39.6	20.4	27.4	24.3	23.6	16.0	17.5
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	26.3	25.1	27.8	28.6	38.5	33.3	41.8	19.7	29.1	28.1	25.0	23.5	20.0
	経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	24.3	22.7	26.2	28.6	34.6	38.9	37.4	19.7	25.7	25.1	20.8	23.0	20.8
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	37.5	35.2	39.9	28.6	53.8	50.0	48.4	31.4	36.0	38.4	40.7	33.8	33.3
	アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	44.3	43.2	45.4	42.9	53.8	50.0	52.7	38.0	44.0	47.9	45.8	45.1	30.8
	その他	0.7	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.1	0.0	1.4	0.8
	特に問題はない	3.8	5.8	1.9	0.0	0.0	16.7	2.2	7.3	4.6	1.9	4.2	4.7	0.8
	わからない	25.9	25.3	26.9	28.6	19.2	16.7	26.4	31.4	29.7	27.4	26.9	17.4	29.2
	無回答	5.3	3.5	5.6	14.3	0.0	0.0	4.4	4.4	4.0	2.7	2.3	7.0	16.7

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	じろじろ見られたり、避けられたりすること	23.7	19.8	21.1	21.5	29.3	5.9	19.7
	アイヌ民族が先住民族であることを十分に認識されていないこと	46.6	43.3	52.1	47.7	44.8	58.8	51.6
	先住民族としての権利(漁猟、採集等の権利や土地の権利等)が尊重されていないこと	42.4	40.7	50.7	43.6	56.9	47.1	48.4
	結婚を周囲から反対されること	27.2	22.4	25.4	20.9	37.9	5.9	25.0
	子どもをもつことを周囲から反対されること	25.5	20.2	26.8	20.3	32.8	5.9	22.1
	採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	26.7	22.8	29.6	26.7	43.1	17.6	26.2
	経済的に困窮状態におかれている人が多いこと	23.9	21.3	23.9	23.8	41.4	23.5	24.6
	誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	36.1	31.9	36.6	40.1	58.6	29.4	40.2
	アイヌ民族の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていないこと	45.9	43.7	39.4	43.0	55.2	41.2	42.2
	その他	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	5.9	1.2
	特に問題はない	5.9	2.3	5.6	1.7	5.2	0.0	2.9
	わからない	24.6	33.5	26.8	26.2	15.5	29.4	23.4
	無回答	3.7	4.6	1.4	7.6	1.7	5.9	7.8

26 犯罪被害者等について人権上問題があると思うこと

表 45. 問 26 犯罪被害者等に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%														
犯罪行為によって精神的なショックを受けること	62.3	57.9	66.6	57.1	76.9	77.8	73.6	70.1	66.3	65.0	57.4	56.8	47.5	
犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること	53.9	57.4	50.9	71.4	53.8	72.2	59.3	68.6	68.0	58.2	48.6	42.7	31.7	
事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること	67.2	62.0	71.6	85.7	73.1	61.1	69.2	66.4	74.9	74.9	64.8	66.2	45.0	
「被害者にも問題があった」などと非難されること	63.8	56.8	69.7	85.7	76.9	66.7	70.3	68.6	77.7	70.7	62.0	50.2	41.7	
捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること	53.3	50.3	56.2	71.4	65.4	66.7	53.8	59.9	65.1	56.3	51.9	46.0	35.8	
マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること	72.1	68.3	75.9	71.4	76.9	77.8	82.4	77.4	79.4	78.7	73.6	62.9	45.8	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	61.3	56.1	66.1	85.7	57.7	66.7	72.5	67.2	72.0	65.4	60.6	53.5	39.2	
犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと	47.1	44.9	49.7	71.4	30.8	50.0	45.1	44.5	57.1	48.7	49.1	47.4	34.2	
その他	0.5	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.9	0.5	0.8	
特に問題はない	1.1	2.2	0.3	0.0	3.8	5.6	0.0	2.9	1.1	1.1	0.9	0.5	0.0	
わからない	6.8	8.0	5.8	0.0	3.8	11.1	5.5	8.0	4.6	6.5	4.6	6.6	15.0	
無回答	3.5	3.2	3.0	14.3	0.0	0.0	2.2	0.7	0.6	2.3	2.8	3.8	15.0	

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
%							
犯罪行為によって精神的なショックを受けること	66.0	63.9	74.6	60.5	77.6	41.2	51.2
犯罪行為によって様々な経済的な負担を強いられること	63.0	53.6	63.4	41.3	63.8	35.3	45.1
事件のことを興味本位で質問されたり、うわさ話をされたりすること	69.8	68.4	71.8	69.2	67.2	76.5	58.6
「被害者にも問題があった」などと非難されること	69.6	66.9	69.0	62.2	75.9	35.3	50.0
捜査や刑事裁判によって肉体的・精神的な負担がかかること	59.0	57.0	52.1	50.0	62.1	41.2	42.2
マスコミ報道により、犯罪被害者等の私生活の平穏が保てなくなること	78.2	74.1	71.8	69.2	82.8	70.6	60.2
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	65.6	62.7	71.8	61.0	69.0	41.2	50.8
犯罪被害者等のための相談・支援体制が十分でないこと	48.7	47.1	53.5	48.8	39.7	35.3	45.1
その他	0.5	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.8
特に問題はない	1.9	1.1	0.0	0.0	3.4	0.0	0.4
わからない	5.9	7.2	5.6	4.7	3.4	5.9	11.1
無回答	1.6	1.1	1.4	5.2	0.0	0.0	7.8

27 刑を終えて出所した人について人権上問題があると思うこと

表 46. 問 27 刑を終えて出所した人に関する事で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%														
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	37.9	36.3	39.8	42.9	34.6	38.9	34.1	29.2	31.4	33.5	37.0	49.8	50.0	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	18.2	18.1	18.8	14.3	34.6	27.8	23.1	11.7	18.3	19.8	16.2	18.3	17.5	
社会的に孤立してしまうこと	47.2	44.9	50.1	42.9	65.4	44.4	39.6	33.6	45.7	50.6	48.1	56.8	43.3	
結婚を周囲から反対されること	17.6	17.9	18.0	14.3	26.9	16.7	26.4	16.8	17.1	16.7	15.3	16.9	19.2	
子どもをもつことを周囲から反対されること	14.3	15.5	13.9	14.3	15.4	11.1	22.0	12.4	14.9	13.7	13.4	14.1	15.0	
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	25.8	25.1	27.4	14.3	42.3	22.2	28.6	16.8	22.9	23.6	28.7	30.5	27.5	
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	37.0	38.9	37.0	28.6	38.5	55.6	44.0	23.4	32.6	34.2	42.6	41.3	40.0	
アパートや住宅への入居が困難なこと	29.1	29.8	29.3	28.6	42.3	22.2	26.4	21.9	26.9	26.6	29.6	37.1	30.8	
刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと	41.2	40.8	42.3	42.9	30.8	38.9	35.2	29.2	37.7	39.2	46.3	53.5	40.0	
その他	1.2	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.7	1.5	1.9	0.5	0.8	
特に問題はない	7.8	10.4	6.1	0.0	7.7	22.2	19.8	17.5	13.1	5.3	1.9	3.8	1.7	
わからない	20.1	18.2	20.1	57.1	15.4	11.1	17.6	19.0	20.6	23.2	23.1	14.1	23.3	
無回答	4.0	4.1	3.4	0.0	0.0	5.6	3.3	5.1	2.3	3.4	1.9	4.2	10.0	

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
%							
社会的な理解が十分でないため、誤解や偏見があること	33.5	35.7	32.4	39.0	43.1	29.4	47.5
じろじろ見られたり、避けられたりすること	19.4	15.6	9.9	14.5	32.8	11.8	20.9
社会的に孤立してしまうこと	47.1	42.6	46.5	47.7	56.9	52.9	50.8
結婚を周囲から反対されること	18.5	14.1	22.5	12.2	29.3	17.6	20.1
子どもをもつことを周囲から反対されること	15.0	11.4	16.9	11.0	17.2	11.8	18.0
採用、賃金、仕事の内容、昇給昇進など、職場における待遇に違いがあること	23.9	26.6	25.4	21.5	36.2	17.6	29.5
誹謗・中傷などの差別的な発言や行為を受けること	35.4	32.3	39.4	33.7	50.0	29.4	44.7
アパートや住宅への入居が困難なこと	27.9	24.3	35.2	27.9	34.5	29.4	33.2
刑を終えて出所した人のための相談・支援体制が十分でないこと	38.6	39.5	38.0	46.5	39.7	47.1	45.5
その他	0.9	0.8	4.2	0.6	0.0	5.9	1.6
特に問題はない	13.6	4.9	8.5	3.5	13.8	0.0	3.3
わからない	16.2	28.1	19.7	22.1	10.3	17.6	19.7
無回答	3.7	2.3	1.4	4.1	1.7	5.9	6.1

28 インターネット・SNSにおいて人権上問題があると思うこと

表 47. 問 28 インターネット・SNSに関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
%													
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること	81.3	79.5	83.6	100.0	76.9	88.9	83.5	76.6	86.3	81.7	87.0	84.0	64.2
犯罪を誘発する場となっていること	65.7	66.1	65.7	100.0	61.5	66.7	64.8	65.0	78.9	71.9	67.1	58.2	46.7
未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること	46.1	43.6	48.8	100.0	61.5	44.4	47.3	44.5	51.4	51.7	49.1	40.8	28.3
児童ポルノをはじめとする性暴力の温床となっていること	63.1	59.2	67.2	100.0	61.5	66.7	64.8	65.0	77.1	65.4	62.5	57.7	45.8
個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	75.3	70.4	79.1	100.0	88.5	77.8	73.6	77.4	83.4	81.4	76.4	68.1	59.2
インターネット・SNS上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	52.4	49.9	55.5	71.4	38.5	50.0	46.2	48.2	61.1	57.8	58.3	48.8	39.2
人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	67.9	65.2	70.4	85.7	57.7	66.7	64.8	54.7	70.9	72.6	72.2	73.2	55.8
インターネットリテラシーが不足していること	59.7	55.5	63.2	100.0	76.9	83.3	68.1	72.3	69.1	64.6	57.4	49.8	31.7
その他	0.6	1.1	0.0	14.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.5	0.5	0.0	0.8
特に問題はない	0.6	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
わからない	3.7	3.9	3.3	0.0	0.0	0.0	2.2	2.9	1.1	2.7	1.4	7.0	10.8
無回答	2.5	2.4	2.5	0.0	0.0	0.0	2.2	1.5	1.1	0.8	1.4	2.8	12.5

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
%							
他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載されること	81.0	84.4	83.1	85.5	81.0	82.4	76.6
犯罪を誘発する場となっていること	71.7	69.2	70.4	57.6	63.8	76.5	56.6
未成年者の犯罪について、実名や顔写真を掲載されること	48.9	48.7	49.3	42.4	53.4	29.4	38.9
児童ポルノをはじめとする性暴力の温床となっていること	67.2	66.2	67.6	60.5	67.2	70.6	52.9
個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	79.6	77.2	83.1	75.6	81.0	52.9	65.2
インターネット・SNS上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	53.4	54.4	54.9	54.7	48.3	47.1	49.6
人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	65.1	74.1	69.0	70.9	62.1	76.5	64.8
インターネットリテラシーが不足していること	67.2	58.9	64.8	55.8	72.4	58.8	47.5
その他	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	5.9	0.4
特に問題はない	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	2.6	1.1	2.8	2.9	0.0	0.0	10.2
無回答	1.2	0.8	2.8	4.7	1.7	0.0	4.9

29 大規模災害が起きた場合に人権上問題があると思うこと

表 48. 問 29 大規模災害が起きた場合に、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに✓）

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
%													
避難生活でプライバシーが守られないこと	68.7	63.1	73.5	71.4	65.4	66.7	59.3	64.2	70.3	70.7	73.1	74.2	58.3
デマや風評が広まり、差別的な言動が起きること	67.0	66.1	68.2	71.4	73.1	72.2	75.8	69.3	74.9	71.5	69.0	58.7	47.5
配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	62.0	58.5	65.7	71.4	57.7	66.7	51.6	56.9	62.3	58.6	64.4	71.8	62.5
避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	59.0	54.4	62.9	85.7	57.7	66.7	57.1	65.7	61.7	61.2	61.1	56.8	44.2
避難所において、ホームレスなど特定の人拒否されること	38.8	38.5	39.3	57.1	57.7	50.0	37.4	35.0	34.9	42.6	39.4	37.6	36.7
生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・暴力(虐待)が起ること	51.9	50.1	52.8	71.4	57.7	72.2	62.6	64.2	57.7	54.8	50.5	40.8	34.2
避難所等において性犯罪が起ること	53.8	47.1	59.3	71.4	57.7	61.1	73.6	65.7	67.4	56.7	48.6	38.5	35.8
その他	1.0	0.9	1.0	14.3	0.0	5.6	2.2	0.7	0.0	1.1	1.4	0.9	0.8
特に問題はない	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	1.7	0.0	0.5	1.4	0.0
わからない	4.6	6.5	3.0	0.0	3.8	5.6	1.1	5.1	1.1	5.7	5.1	2.8	12.5
無回答	2.7	2.2	2.5	14.3	0.0	0.0	1.1	0.7	2.3	0.8	1.4	4.2	10.0

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%								
避難生活でプライバシーが守られないこと	66.5	70.7	69.0	75.6	63.8	52.9	68.4	
デマや風評が広まり、差別的な言動が起きること	73.1	65.8	66.2	61.6	75.9	58.8	61.5	
配慮が必要な障害者、高齢者、乳幼児、傷病者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	57.4	58.2	71.8	69.8	62.1	70.6	65.6	
避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	60.4	58.6	69.0	59.9	62.1	47.1	54.1	
避難所において、ホームレスなど特定の人拒否されること	39.1	33.8	43.7	40.7	51.7	41.2	36.9	
生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・暴力(虐待)が起ること	58.8	52.5	56.3	39.0	69.0	35.3	45.1	
避難所等において性犯罪が起ること	59.7	55.9	56.3	48.8	69.0	41.2	42.2	
その他	1.2	1.1	1.4	0.0	1.7	0.0	1.2	
特に問題はない	1.6	0.8	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0	
わからない	2.6	4.9	4.2	3.5	3.4	11.8	9.0	
無回答	1.2	1.5	0.0	5.8	0.0	5.9	4.1	

30 職業や職場環境について人権上問題があると思うこと

表 49. 問 30 職業や職場環境について、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別								
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120
%													
いわゆるハラスメント(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど)があること	76.7	75.2	78.6	85.7	80.8	83.3	80.2	72.3	82.9	77.6	82.9	74.6	58.3
職業によって、人物の評価がされること	47.4	45.4	50.1	28.6	57.7	72.2	56.0	50.4	48.0	47.9	44.0	46.0	40.8
個人の属性(性別、国籍等)によって、能力を発揮する機会が公平に与えられないこと	42.6	41.3	43.8	28.6	53.8	66.7	42.9	46.7	46.3	41.8	40.3	40.8	36.7
非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したいとも抜けられないこと	51.2	49.2	52.4	57.1	57.7	77.8	49.5	42.3	47.4	51.7	52.3	61.0	40.0
職場でのいじめやいやがらせがあること	58.3	54.0	61.7	85.7	65.4	72.2	64.8	64.2	62.9	55.5	63.0	54.0	42.5
長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと	53.6	52.5	54.9	71.4	73.1	83.3	74.7	65.7	60.6	51.7	48.1	45.1	35.0
その他	1.3	1.3	1.2	14.3	0.0	5.6	3.3	1.5	1.1	1.1	0.9	0.5	1.7
特に問題はない	1.8	2.8	1.2	0.0	0.0	0.0	1.1	2.9	1.7	3.4	0.9	1.4	0.8
わからない	4.3	4.7	3.8	0.0	3.8	5.6	2.2	2.2	2.9	3.8	1.9	5.6	13.3
無回答	2.4	2.8	1.9	14.3	0.0	0.0	2.2	2.9	0.0	1.5	1.4	2.3	10.8

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
%							
いわゆるハラスメント(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど)があること	78.5	76.8	71.8	78.5	84.5	52.9	73.0
職業によって、人物の評価がされること	49.2	46.4	46.5	46.5	60.3	41.2	45.5
個人の属性(性別、国籍等)によって、能力を発揮する機会が公平に与えられないこと	43.6	39.9	42.3	42.4	60.3	35.3	41.0
非正規雇用など不安定な雇用形態から抜け出したいとも抜けられないこと	45.0	51.7	60.6	57.6	67.2	58.8	48.8
職場でのいじめやいやがらせがあること	59.7	55.1	62.0	61.6	74.1	41.2	53.3
長時間労働などにより、仕事と生活の調和を保つことが難しいこと	59.7	48.3	54.9	52.9	79.3	47.1	44.3
その他	1.9	1.1	0.0	1.2	1.7	0.0	0.8
特に問題はない	2.3	2.7	4.2	0.0	0.0	0.0	1.2
わからない	3.7	1.9	1.4	5.2	1.7	11.8	8.2
無回答	1.2	1.5	1.4	2.3	1.7	0.0	6.1

31 北朝鮮による拉致問題について知っていること

表 50. 問 31 北朝鮮当局による拉致について、あなたが知っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
% 政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ	83.4	81.9	84.5	85.7	76.9	77.8	73.6	78.8	85.1	86.7	88.9	82.6	80.8	
	89.3	88.5	91.6	85.7	84.6	83.3	83.5	84.7	92.0	93.2	95.4	90.6	86.7	
	70.8	72.6	68.8	85.7	38.5	55.6	46.2	57.7	73.1	76.8	78.7	77.9	70.0	
	33.9	35.2	32.7	57.1	19.2	27.8	25.3	20.4	25.7	33.5	44.9	44.1	35.0	
	15.7	16.4	15.5	14.3	3.8	33.3	17.6	10.9	14.9	14.4	13.4	19.7	20.0	
	3.7	4.8	3.0	14.3	7.7	16.7	9.9	8.0	1.7	3.0	1.4	3.3	0.8	
	0.9	1.3	0.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	1.1	1.1	0.5	1.4	1.7	
	1.2	0.9	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.5	1.9	6.7	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
% 政府により北朝鮮に拉致されたと認定されている人のことを「拉致被害者」ということ	82.0	87.5	83.1	87.2	81.0	58.8	82.8	
	90.2	91.3	94.4	95.3	84.5	82.4	87.3	
	69.8	70.3	87.3	75.0	46.6	41.2	73.8	
	31.4	32.3	47.9	37.8	19.0	23.5	37.7	
	18.0	12.9	16.9	10.5	13.8	5.9	18.9	
	4.7	1.9	2.8	1.2	10.3	11.8	4.1	
	0.7	0.8	0.0	0.6	1.7	11.8	1.2	
	0.0	0.4	0.0	1.7	0.0	0.0	3.7	

32 人権問題に関する知識や情報の収集源

表 51. 問 32 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。

(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～ 17歳	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
講演会(オンラインを含む)	10.7	13.6	8.3	28.6	7.7	16.7	11.0	5.8	9.7	11.4	10.6	12.7	12.5	
研修会	14.0	17.3	11.2	14.3	0.0	5.6	12.1	10.9	16.0	17.1	18.5	12.7	8.3	
インターネット・SNS	47.4	52.7	43.5	85.7	76.9	66.7	73.6	73.7	67.4	47.9	38.4	24.9	15.8	
街頭キャンペーンなどのイベント	6.9	8.0	6.1	0.0	3.8	16.7	6.6	8.0	8.6	4.9	7.9	5.6	7.5	
自治体が発行する広報紙・誌	24.3	23.6	24.4	28.6	15.4	11.1	9.9	11.7	20.6	20.9	25.9	39.9	36.7	
自治体以外が発行した広報紙・誌	9.5	10.6	8.3	14.3	3.8	11.1	5.5	5.1	6.9	6.8	10.6	14.6	16.7	
ポスター	11.3	12.3	10.8	14.3	11.5	27.8	11.0	14.6	10.3	12.2	13.4	6.6	10.8	
テレビ	66.8	64.6	68.3	71.4	69.2	77.8	57.1	59.1	65.1	68.4	71.8	67.6	70.0	
ラジオ	11.4	14.7	8.9	28.6	3.8	5.6	5.5	6.6	5.7	10.3	19.0	13.6	17.5	
映画、DVD	17.4	16.0	18.2	42.9	19.2	38.9	23.1	17.5	17.7	20.2	19.0	13.1	6.7	
新聞、雑誌	46.3	47.1	45.3	71.4	11.5	16.7	19.8	23.4	37.7	40.7	59.7	65.3	69.2	
本	27.7	28.1	27.1	28.6	30.8	11.1	20.9	23.4	30.9	26.2	31.0	27.7	30.8	
学校の授業	38.8	33.9	42.5	42.9	100.0	94.4	69.2	59.1	51.4	44.1	25.5	12.2	14.2	
家族・友人など周囲の身近な人	23.0	17.9	27.4	14.3	15.4	38.9	18.7	29.2	20.0	25.9	23.1	21.1	20.0	
その他	2.2	1.9	2.5	0.0	0.0	0.0	2.2	1.5	2.9	3.0	3.2	0.5	2.5	
無回答	1.3	1.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	0.8	0.9	2.8	3.3	

	職業						
	会社員・ 公務員・ 団体職員 などの正 規職員	派遣社 員・契約 社員・非 常勤職 員・パー ト・アルバ イト	自営業・ 個人事業 主	家事に従 事	学生	その他の 職業	仕事はし ていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
講演会(オンラインを含む)	11.9	7.6	12.7	9.3	12.1	5.9	12.3
研修会	20.6	13.7	9.9	4.7	3.4	11.8	14.3
インターネット・SNS	62.3	44.1	46.5	33.7	74.1	29.4	31.1
街頭キャンペーンなどのイベント	6.6	8.4	7.0	3.5	8.6	0.0	7.8
自治体が発行する広報紙・誌	16.9	27.4	21.1	28.5	13.8	23.5	35.7
自治体以外が発行した広報紙・誌	6.1	10.6	12.7	8.1	5.2	5.9	14.8
ポスター	11.2	12.2	9.9	9.3	19.0	5.9	11.5
テレビ	60.9	70.3	70.4	71.5	70.7	52.9	69.3
ラジオ	9.4	12.5	12.7	9.9	3.4	0.0	16.8
映画、DVD	17.3	20.5	22.5	17.4	27.6	17.6	9.8
新聞、雑誌	34.9	44.5	52.1	60.5	13.8	52.9	62.3
本	26.7	21.3	33.8	31.4	22.4	29.4	32.0
学校の授業	49.9	37.3	28.2	30.2	91.4	35.3	19.3
家族・友人など周囲の身近な人	23.2	21.7	29.6	27.9	20.7	11.8	19.7
その他	3.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
無回答	0.5	1.1	0.0	1.7	0.0	0.0	2.9

33 参加・見たことのある人権についての理解を深めるための取組

問 33 横浜市では人権についての理解を深めていただくために、さまざまな取組を進めています。

表 52. 問 33-1 あなたが参加したことがあるものや、見たことがあるものはありますか。
(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	講演会(オンラインを含む)	5.5	7.1	4.3	0.0	11.5	16.7	4.4	2.9	2.9	4.2	7.4	7.0	7.5
	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	13.1	12.1	13.6	28.6	11.5	22.2	8.8	7.3	12.0	15.6	15.3	16.0	9.2
	「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	34.4	29.4	38.2	28.6	23.1	22.2	11.0	15.3	28.0	36.1	40.3	50.2	44.2
	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	21.3	17.7	24.9	0.0	46.2	27.8	28.6	22.6	25.7	20.5	23.6	16.0	8.3
	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	26.1	26.1	26.2	42.9	38.5	44.4	35.2	31.4	30.9	25.5	21.3	20.2	22.5
	横浜市の人権に関するホームページ	6.5	8.8	4.9	0.0	7.7	5.6	4.4	4.4	5.1	4.2	8.3	8.9	10.8
	その他	0.9	0.7	1.2	0.0	3.8	0.0	2.2	0.7	0.6	0.4	1.4	0.5	1.7
	どれも参加したことや見たことはない	39.3	43.8	36.2	42.9	23.1	44.4	41.8	47.4	43.4	42.2	38.0	32.4	35.0
	無回答	2.7	2.2	2.8	0.0	0.0	5.6	2.2	0.7	0.6	1.5	1.9	5.2	6.7

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	講演会(オンラインを含む)	4.2	4.9	8.5	4.1	13.8	17.6	6.1
	人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	9.8	16.7	14.1	14.5	15.5	5.9	14.3
	「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	24.4	39.2	32.4	46.5	20.7	23.5	43.0
	市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	21.1	25.1	23.9	18.6	37.9	35.3	13.9
	市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	30.4	27.4	25.4	18.6	39.7	23.5	20.9
	横浜市の人権に関するホームページ	4.9	6.8	5.6	4.1	8.6	11.8	10.7
	その他	1.4	0.4	0.0	0.6	1.7	5.9	0.8
	どれも参加したことや見たことはない	45.4	35.4	42.3	34.9	32.8	41.2	36.9
	無回答	0.9	2.7	0.0	4.1	1.7	0.0	5.3

表 53. 問 33-2 横浜市は、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
講演会(オンラインを含む)	13.6	16.0	12.3	0.0	3.8	16.7	16.5	6.6	12.0	12.9	17.6	16.0	14.2	
人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	23.7	24.2	23.5	14.3	19.2	22.2	16.5	15.3	20.0	27.0	26.4	31.0	20.8	
「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	35.4	34.8	36.5	0.0	19.2	16.7	16.5	19.0	24.6	33.5	42.1	54.0	49.2	
市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	24.0	22.7	25.4	14.3	30.8	33.3	25.3	27.7	22.9	25.1	23.6	22.1	20.8	
市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	28.7	27.2	30.8	14.3	34.6	38.9	38.5	35.8	26.3	31.9	25.0	23.0	26.7	
横浜市のホームページによる情報提供	22.4	25.5	20.0	0.0	19.2	22.2	23.1	12.4	14.3	21.3	23.1	32.9	28.3	
市民向け連続講座	11.9	11.2	12.7	0.0	11.5	11.1	13.2	4.4	9.1	14.4	16.2	12.2	10.0	
学校での教育	63.5	58.7	67.6	71.4	80.8	83.3	75.8	65.0	69.1	66.2	64.4	58.7	39.2	
企業向けの啓発	38.9	38.9	39.5	42.9	34.6	55.6	42.9	39.4	42.3	44.5	43.1	31.9	21.7	
インターネット・SNSを活用した情報発信	37.6	37.4	37.7	42.9	42.3	55.6	54.9	47.4	45.1	39.9	35.2	28.2	16.7	
人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会	14.2	11.0	17.0	0.0	15.4	27.8	16.5	10.2	13.1	12.2	19.4	14.1	10.8	
パンフレットなどの資料の配布	15.1	16.0	15.1	0.0	19.2	11.1	15.4	8.8	12.6	12.5	15.3	19.2	24.2	
情報発信や交流ができる拠点の設置	18.6	18.6	19.2	14.3	15.4	16.7	20.9	14.6	17.7	19.0	24.1	16.4	16.7	
その他	2.2	2.4	2.1	14.3	3.8	5.6	2.2	2.2	2.3	2.7	1.4	1.4	2.5	
特にない	3.1	5.6	1.0	0.0	3.8	0.0	3.3	3.6	4.0	1.9	2.3	3.3	4.2	
わからない	8.4	6.3	9.9	0.0	11.5	5.6	2.2	8.8	8.6	7.6	7.9	8.9	15.0	
無回答	2.2	1.9	2.2	14.3	0.0	0.0	3.3	0.7	2.3	1.5	1.9	1.9	6.7	

	職業							
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない	
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
講演会(オンラインを含む)	11.0	13.3	19.7	12.8	13.8	17.6	17.2	
人権啓発キャンペーン(街頭啓発、区民まつり、人権パネル展示等)	19.7	22.4	33.8	25.0	19.0	17.6	29.9	
「広報よこはま」や「人権に関するコラム」といった啓発記事	25.1	35.7	43.7	50.0	20.7	23.5	45.1	
市立学校・公共施設などに掲出されている「人権尊重ポスター」	23.4	25.9	23.9	24.4	32.8	5.9	23.0	
市内地下鉄・私鉄での「車内広告」	30.4	27.8	29.6	27.9	39.7	11.8	27.5	
横浜市のホームページによる情報提供	18.7	19.0	26.8	23.8	25.9	11.8	30.7	
市民向け連続講座	10.5	11.8	11.3	15.7	12.1	5.9	12.7	
学校での教育	65.8	66.9	62.0	68.0	82.8	35.3	51.6	
企業向けの啓発	45.0	40.3	36.6	33.7	39.7	5.9	34.0	
インターネット・SNSを活用した情報発信	44.7	34.2	46.5	30.2	53.4	17.6	30.3	
人権をテーマにした演劇、コンサート、映画会	11.7	17.5	15.5	14.5	19.0	11.8	13.5	
パンフレットなどの資料の配布	11.5	11.4	25.4	13.4	17.2	5.9	23.4	
情報発信や交流ができる拠点の設置	15.9	21.3	23.9	17.4	19.0	11.8	20.1	
その他	2.8	1.5	4.2	0.0	5.2	5.9	1.6	
特にない	3.0	2.7	4.2	1.2	1.7	5.9	4.5	
わからない	6.6	10.3	7.0	7.0	6.9	5.9	11.9	
無回答	1.4	1.9	2.8	2.3	0.0	5.9	3.3	

34 参加したいと思えるイベント等

表 54. 問 34 横浜市が実施する人権啓発講演会や啓発イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
%	会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である	30.4	27.0	33.1	14.3	7.7	11.1	24.2	13.9	19.4	27.8	33.3	49.3	44.2
	会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である	30.0	24.8	34.0	57.1	42.3	27.8	35.2	38.0	30.3	35.0	29.2	25.4	14.2
	オンラインを活用し自宅で参加(聴講)できるものである	22.0	22.7	21.9	42.9	26.9	33.3	29.7	23.4	22.3	25.9	25.0	16.4	10.0
	著名人が出演している	20.9	18.6	22.9	14.3	42.3	33.3	24.2	31.4	25.1	24.0	19.0	9.9	10.0
	人権問題に直面している当事者が出演している	19.8	18.2	21.7	14.3	7.7	38.9	23.1	19.7	22.3	18.6	19.9	18.8	18.3
	他の行事やイベントに組み込まれている	24.6	19.9	28.7	42.9	50.0	27.8	30.8	28.5	29.1	27.0	21.8	20.2	12.5
	子どもが楽しみながら人権について学べる企画である	35.8	27.6	42.6	42.9	53.8	44.4	44.0	48.2	46.3	31.2	33.3	29.6	23.3
	その他	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.6	1.5	0.5	0.9	0.0
	特にない	12.1	16.2	8.7	0.0	7.7	16.7	13.2	19.0	10.9	12.9	6.9	10.8	15.8
	わからない	11.3	13.8	9.3	14.3	7.7	11.1	9.9	5.8	10.3	10.6	14.4	11.7	17.5
	無回答	3.1	3.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	0.4	3.2	5.2	11.7

	職業	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
%	会場が区の公会堂や地区センターなど家から近い公共の場である	19.7	30.4	35.2	44.2	13.8	29.4	41.4
	会場がショッピングモールやデパートなど人の集まりやすい場である	29.0	40.3	25.4	25.0	36.2	23.5	24.6
	オンラインを活用し自宅で参加(聴講)できるものである	23.2	23.2	32.4	19.2	34.5	5.9	17.2
	著名人が出演している	24.6	25.5	19.7	18.0	36.2	23.5	8.6
	人権問題に直面している当事者が出演している	19.9	19.4	28.2	20.9	20.7	11.8	17.6
	他の行事やイベントに組み込まれている	25.5	24.7	25.4	30.8	39.7	23.5	16.0
	子どもが楽しみながら人権について学べる企画である	37.7	39.5	31.0	40.7	50.0	29.4	24.2
	その他	1.2	0.8	1.4	0.6	0.0	0.0	0.4
	特にない	15.2	11.0	5.6	7.6	10.3	17.6	13.5
	わからない	10.5	10.6	11.3	7.0	6.9	29.4	16.8
	無回答	1.4	1.5	4.2	4.7	0.0	0.0	6.6

35 「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するための取組

表 55. 問 35 横浜市がめざす「互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」を実現するためには、あなたはどのような取組が特に必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実	16.4	18.8	14.9	0.0	0.0	0.0	9.9	8.8	12.6	14.1	19.4	21.6	30.0	
学校における人権教育の充実	43.5	39.1	46.9	42.9	50.0	38.9	53.8	43.1	48.6	46.0	44.0	35.2	35.8	
家庭や地域における一人ひとりの人権意識の向上	16.1	15.1	17.3	0.0	19.2	11.1	17.6	16.1	17.1	19.8	15.7	13.1	12.5	
企業における人権意識の向上	15.1	16.0	14.3	0.0	15.4	11.1	16.5	21.2	21.1	16.7	15.3	7.5	9.2	
教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上	17.6	14.9	19.8	14.3	7.7	16.7	13.2	14.6	16.0	16.3	19.0	22.5	18.3	
発言力・影響力が強い立場にある人の人権意識の向上	13.4	10.4	15.8	28.6	34.6	16.7	22.0	15.3	16.0	16.0	8.3	7.5	10.0	
差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実	12.9	11.0	14.1	0.0	15.4	22.2	12.1	8.8	13.1	14.1	13.4	16.0	7.5	
人権に関する条例の制定	5.8	6.0	5.9	0.0	11.5	5.6	8.8	5.1	9.7	4.9	5.6	5.2	1.7	
人権侵害に対する取締りの推進	5.0	6.7	3.8	14.3	3.8	0.0	14.3	4.4	5.1	3.0	4.6	6.1	3.3	
人権問題に取り組む団体等との連携・協働の強化	2.3	2.4	2.2	0.0	0.0	0.0	3.3	2.2	1.7	3.0	3.2	1.4	0.8	
人権に関する相談体制の充実	8.2	7.6	8.3	14.3	3.8	0.0	9.9	5.8	5.1	9.9	8.8	8.5	10.8	
人権侵害に対する救済策の強化	6.3	3.7	7.5	14.3	0.0	0.0	8.8	2.2	4.0	8.0	6.9	8.0	5.8	
その他	1.0	1.5	0.7	0.0	3.8	0.0	0.0	1.5	0.6	0.4	1.4	1.9	0.8	
特にない	2.5	4.7	0.6	0.0	0.0	11.1	1.1	5.1	2.9	1.9	0.5	2.8	4.2	
わからない	6.0	5.2	6.8	0.0	0.0	11.1	4.4	6.6	5.7	5.3	4.6	6.6	10.0	
無回答	28.1	28.9	27.4	57.1	26.9	33.3	20.9	31.4	28.0	25.9	29.2	31.5	27.5	

	職業						
	会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244
市民の人権意識を高めるための広報・啓発の充実	12.9	16.0	11.3	22.1	1.7	11.8	23.8
学校における人権教育の充実	44.7	44.9	36.6	51.2	43.1	35.3	36.1
家庭や地域における一人ひとりの人権意識の向上	18.3	14.1	11.3	18.0	15.5	11.8	15.6
企業における人権意識の向上	20.8	17.9	7.0	8.7	12.1	17.6	10.2
教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識の向上	12.2	17.9	19.7	28.5	10.3	23.5	18.4
発言力・影響力が強い立場にある人の人権意識の向上	15.2	11.8	18.3	14.0	27.6	17.6	7.0
差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実	11.0	12.5	11.3	18.0	19.0	5.9	12.7
人権に関する条例の制定	7.7	4.9	9.9	3.5	8.6	0.0	3.7
人権侵害に対する取締りの推進	6.3	3.4	7.0	0.6	8.6	0.0	7.0
人権問題に取り組む団体等との連携・協働の強化	2.6	3.8	2.8	1.2	1.7	0.0	1.2
人権に関する相談体制の充実	6.6	9.9	11.3	6.4	5.2	11.8	9.4
人権侵害に対する救済策の強化	7.0	6.1	4.2	8.1	0.0	11.8	4.9
その他	0.9	0.4	2.8	0.6	1.7	5.9	0.8
特にない	3.0	1.5	2.8	1.2	3.4	5.9	3.3
わからない	4.7	8.0	4.2	2.9	5.2	11.8	8.6
無回答	27.6	26.2	33.8	27.9	29.3	23.5	29.9

36 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動

表 56. 問 36 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。

(あてはまるもの3つ以内に✓)

	全体	性別			年齢別									
		男性	女性	その他	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
該当者(n)	1270	537	676	7	26	18	91	137	175	263	216	213	120	
人権に対する正しい知識を身につけること	51.3	48.2	53.8	71.4	53.8	22.2	51.6	43.8	45.7	54.8	52.8	55.9	56.7	
自分の中にある無意識の偏見や差別に気づき、自分が他人を差別してしまうかもしれないことを自覚すること	46.9	40.0	52.5	57.1	42.3	33.3	49.5	37.2	44.0	52.1	50.9	48.8	42.5	
古いしきたりや固定観念にとらわれないこと	26.8	24.4	28.8	14.3	53.8	16.7	31.9	31.4	21.1	30.0	23.6	24.9	25.8	
他人の立場や権利を尊重すること	34.5	35.8	33.6	71.4	34.6	16.7	36.3	26.3	33.7	30.8	37.0	41.8	40.0	
自分が生活している地域の人々を大切にすること	6.1	5.6	6.2	0.0	3.8	0.0	6.6	0.7	4.0	6.1	3.2	10.8	13.3	
家族が互いの立場や権利を大切にすること	9.8	8.4	11.1	0.0	11.5	11.1	16.5	8.8	9.1	8.4	7.9	6.1	20.0	
職場や学校で、人権を尊重する意識を高めようこと	22.2	23.3	21.6	0.0	15.4	16.7	22.0	19.7	26.3	25.9	23.1	21.1	14.2	
その他	0.7	0.6	0.9	0.0	3.8	0.0	1.1	0.7	0.6	0.8	0.5	0.5	0.0	
特になし	1.9	3.5	0.6	0.0	0.0	11.1	1.1	2.9	2.9	1.5	0.0	2.8	1.7	
わからない	2.7	3.2	2.2	14.3	0.0	5.6	2.2	4.4	5.1	1.9	2.3	1.4	2.5	
無回答	20.1	21.6	18.6	14.3	19.2	38.9	17.6	28.5	20.6	17.9	19.9	17.4	15.0	

	全体	職業						
		会社員・公務員・団体職員などの正規職員	派遣社員・契約社員・非常勤職員・パート・アルバイト	自営業・個人事業主	家事に従事	学生	その他の職業	仕事はしていない
該当者(n)	427	263	71	172	58	17	244	
人権に対する正しい知識を身につけること	48.9	52.1	47.9	56.4	46.6	41.2	55.3	
自分の中にある無意識の偏見や差別に気づき、自分が他人を差別してしまうかもしれないことを自覚すること	47.3	47.9	47.9	57.0	41.4	29.4	40.6	
古いしきたりや固定観念にとらわれないこと	26.0	29.3	25.4	32.0	37.9	23.5	20.9	
他人の立場や権利を尊重すること	33.0	32.7	33.8	30.2	31.0	47.1	43.4	
自分が生活している地域の人々を大切にすること	4.2	4.2	7.0	7.6	1.7	0.0	11.9	
家族が互いの立場や権利を大切にすること	8.4	8.0	5.6	16.9	12.1	11.8	9.8	
職場や学校で、人権を尊重する意識を高めようこと	25.5	20.9	18.3	22.1	13.8	11.8	22.1	
その他	0.5	0.8	1.4	0.0	1.7	5.9	0.0	
特になし	2.3	1.1	4.2	0.6	3.4	5.9	1.6	
わからない	3.5	1.5	0.0	2.3	1.7	5.9	3.7	
無回答	20.8	19.4	23.9	16.3	25.9	17.6	18.0	

人権に関する市民意識調査
報告書

令和8年3月

発行 横浜市市民局人権課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10
TEL 045-671-2718 FAX 045-681-5453

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/jinken/>